南アルプス市埋蔵文化財調査報告書　第18集

山梨県南アルプス市

Higashideguchi

東出口遺跡

宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2008. 3

株式会社　パナホーム山梨
南アルプス市教育委員会
財団法人 山梨文化財研究所

HIGASHIDEGUCHI SITE EXCAVATION REPORT

南アルプス市埋蔵文化財調査報告書　第18集

山梨県南アルプス市

Higashideguchi

東出口遺跡

宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

２００８．３

株式会社　パナホーム山梨

南アルプス市教育委員会

財団法人 山梨文化財研究所

HIGASHIDEGUCHI SITE EXCAVATION REPORT

例　言

1　本書は山梨県南アルプス市下宮地字滝沢通678番地に所在する、東出口遺跡の発掘調査報告書である。

2　発掘調査は、宅地造成工事に先立ち実施されたもので、㈱パナホーム山梨の委託を受けた㈶山梨文化財研究所が、発掘調査および整理作業にあたった。

3　本報告書の執筆・編集・写真撮影等は、平野　修（財団法人山梨文化財研究所）がおこなった。

4　本書挿図第３図は、斎藤秀樹氏（南アルプス市教育委員会）作成によるもので、『山梨県考古学協会誌』第16号に所収されているものを転載し、掲載に際しては斎藤氏に使用許可を得た。

5　石器・石製品の石材鑑定については、財団法人山梨文化財研究所の河西　学氏にお願いした。

6　発掘調査および報告書の作成にあたっては、次の機関・団体及び個人から御指導・ご教示・ご協力を賜った。記して厚く感謝申し上げる（順不同・敬称略）。

南アルプス市教育委員会、㈱テクノプランニング、㈱スカイサーベイ、塩の会、山梨県考古学協会、岩本正二、立松　彰、森　泰通、平川　南、田中大輔、斎藤秀樹、保阪太一、河西　学、櫛原功一、室伏　徹、望月秀和

7　本書に係る出土遺物及び記録図面、写真などは南アルプス市教育委員会が保管している。

凡　例

1　遺構・遺物の縮尺は、原則として各図ごとに示している。

2　本書挿図第１図で使用している地図は、南アルプス市都市計画図（1:2,500）を使用している。

3　遺物の挿図番号は、各遺構ごとに連番で付した。遺物分布図および観察表・本文中の番号は対応している。

4　各遺構における遺物分布図で示したマークは、以下の通りである。

●：土師器　▲：須恵器　■：陶器・磁器　□：土製品　△：石器・石製品　○：金属製品

◆：骨　★：炭化物・炭化材

5　遺構図版中で使用しているスクリーントーン▨は礫断面、－－－－破線は、推定線および焼土範囲、焼土＋炭化物範囲を示す。

6　遺物図版中で使用しているスクリーントーンおよび記号・線の凡例は、以下の通りである。

■：須恵器・油煙　▩：黒色化範囲・赤彩　▨：擦り面　▩：ウルシ状付着物

↓　：灰釉範囲　また石器断面図における矢印は擦り面の範囲を示している。、

7　土層および遺物の色調名は、『新版標準土色帳』13版（農林省水産技術会議事務所監修　小山正忠・竹原秀雄編・著1993）によっている。

目　　次

例　言
凡　例
第Ⅰ章　調査に至る経緯と経過 …… 1
　第１節　調査に至る経緯と調査体制 …… 1
　第２節　調査の方法と経過 …… 1
第Ⅱ章　遺跡の位置と環境 …… 4
　第１節　遺跡の位置と立地 …… 4
　第２節　層　位 …… 4
　第３節　歴史的環境 …… 4
第Ⅲ章　検出された遺構と遺物 …… 6
　第１節　竪穴建物（ＳＩ）…… 6
　第２節　掘立柱建物（ＳＢ）…… 16
　第３節　土坑・ピット（ＳＫ）…… 16
　第４節　溝（ＳＤ）…… 19
　第５節　遺構外出土遺物 …… 19
　第６節　その他の土器 …… 19
第Ⅳ章　総　括 …… 33
　第１節　古墳時代以前の遺構と遺物 …… 33
　第２節　奈良時代の遺構と遺物 …… 33
　第３節　平安時代の遺構と遺物 …… 33
　第４節　中世段階以降の遺構と遺物 …… 34
　第５節　焼塩土器について …… 34
　第６節　まとめ …… 35

表　目　次

第１表　東出口遺跡SI（竪穴建物跡）データ一覧表 …… 14
第２表　東出口遺跡竪穴内ピットデータ一覧表 …… 15
第３表　東出口遺跡ＳＫ（土坑・ピット）データ一覧表 …… 17
第４表　東出口遺跡出土土器観察表 …… 20
第５表　東出口遺跡出土土製品観察表 …… 31
第６表　東出口遺跡出土石製品観察表 …… 32
第７表　東出口遺跡出土金属製品観察表 …… 32

挿図目次

第１図　調査区位置図 …… 1
第２図　調査区設定図 …… 3
第３図　遺跡の位置と周辺遺跡位置図 …… 5
第４図　遺跡全体図 …… 7・8
第５図　SI 1～4号竪穴建物跡 …… 37
第６図　SI 5号竪穴建物跡 …… 38
第７図　SI 6号竪穴建物跡、SK5・6、SD5 …… 39
第８図　SI 7・８号竪穴建物跡、SK11 …… 40
第９図　SI 9・10号竪穴建物跡 …… 41
第10図　SI11号竪穴建物跡 …… 42
第11図　SI12・13号竪穴建物跡 …… 43・44
第12図　SI14・15号竪穴建物跡、SK33～40 …… 45
第13図　SI14～16号竪穴建物跡、SK33～40・50・58・66、SD19 …… 46
第14図　SI17号竪穴建物跡、SK53・54・60・71、SD24 …… 47
第15図　SI17号竪穴建物跡、SK53・54・60・71 …… 48
第16図　SI18号竪穴建物跡 …… 49
第17図　SI19～21・25号竪穴建物跡 …… 50
第18図　SI21・22・25号竪穴建物跡 …… 51
第19図　SI23・24・29・32号竪穴建物跡、SK84～87・90・91、SD30 …… 52
第20図　SI23・24・29・32号竪穴建物跡 …… 53
第21図　SI26号竪穴建物跡 …… 54
第22図　SI27・34号竪穴建物跡、SK88・89・92・94・95、SD31 …… 55
第23図　SI28・30・31号竪穴建物跡、SK101・126・132～134、SD29 …… 56
第24図　SI30・31・33号竪穴建物跡、SK102～104・126・132～134 …… 57
第25図　SB1号掘立柱建物跡、SK117・118・120・122～125 …… 58
第26図　SK 7・8・18～21・26～28・31・32・41 …… 59
第27図　SK96～100・105～110・113・114 …… 60
第28図　SK111・112・115・116・119・121・128～131 …… 61
第29図　SD 1～4・6～8、SK 1～4・9・10・12・13 …… 62
第30図　SD 9～14、SK14～17・22～25・29 …… 63
第31図　SD15・17、SK30・42～44 …… 64
第32図　SD18～20・25・26、SK45～49・51・52・56・57・59・61～65・67・68 …… 65
第33図　SD21～23・27・28、SK69・70・72～83 …… 66
第34図　SD31、SK72～83 …… 67
第35図　SD32、SK127、銭貨出土状況 …… 68
第36図　SI 1・4・5（1）出土遺物 …… 69
第37図　SI 5（1）・6・7（1）出土遺物 …… 70
第38図　SI 7（2）出土遺物 …… 71
第39図　SI 7（3）出土遺物 …… 72
第40図　SI 7（4）・8出土遺物 …… 73
第41図　SI10出土遺物 …… 74
第42図　SI11出土遺物 …… 75
第43図　SI12（1）出土遺物 …… 76
第44図　SI12（2）出土遺物 …… 77
第45図　SI12（3）出土遺物 …… 78
第46図　SI14・15・17（1）出土遺物 …… 79
第47図　SI17（2）・18（1）出土遺物 …… 80
第48図　SI18（2）・19出土遺物 …… 81
第49図　SI20・21（1）出土遺物 …… 82
第50図　SI21（2）・22出土遺物 …… 83
第51図　SI23（1）出土遺物 …… 84
第52図　SI23（2）出土遺物 …… 85
第53図　SI23（3）・24（1）出土遺物 …… 86
第54図　SI24（2）・25・26（1）出土遺物 …… 87
第55図　SI26（2）・27・28出土遺物 …… 88
第56図　SI30・31・32・33出土遺物 …… 89
第57図　SK 5・7・21・28・34・39・40・41・42・44・74出土遺物 …… 90
第58図　SK75・92・94・96・98・99・100・111・113・127・132出土遺物 …… 91
第59図　SK134、SD 4・12・15・16・17・23・27出土遺物 …… 92
第60図　SD29・31・32、遺構外（1）出土遺物、その他の土器 …… 93
第61図　遺構外（2）出土遺物、その他の土器 …… 94

写真図版目次

図版１　１．東出口遺跡景観空中写真１（東から）　２．東出口遺跡景観空中写真２（西から）

図版２　３．遺跡調査前状況１（南西から）
４．遺跡調査前状況２（南東から）
５．重機によるトレンチ掘削風景１
６．重機によるトレンチ掘削風景２
７．調査区（１トレンチ）完掘近景１（南西から）
８．調査区（１トレンチ）完掘近景２（北西から）
９．調査区（１トレンチ）完掘近景３（西から）
10．調査区（１トレンチ）完掘近景４（北から）
11．調査区（１トレンチ）完掘近景５（北西から）
12．調査区（２トレンチ）完掘近景１（東から）
13．調査区（２トレンチ）完掘近景２（南東から）
14．調査区（３トレンチ）完掘近景１（北西から）
15．調査区（３トレンチ）完掘近景２（北から）
16．調査区（３トレンチ）完掘近景３（北東から）
17．調査区（３トレンチ）完掘近景４（西から）
図版３　18．調査風景１
19．調査風景２
20．ラジコンヘリによる空撮実施状況
21．SI１完掘状況（西から）
22．SI１遺物出土状況・セクション（東から）
23．SI１カマド内遺物出土状況（西から）
24．SI２・３完掘状況（北西から）
25．SI４、SD３・４、SK１～４完掘状況（西から）
26．SI４カマド完掘状況
27．SI５完掘状況（南から）
28．SI５カマド内遺物出土状況１
29．SI５カマド内遺物出土状況２
30．SI６完掘状況及び遺物出土状況（西から）
31．SI６遺物出土状況１
32．SI６遺物出土状況２
図版４　33．SI７・８完掘状況（南東から）
34．SI７・８遺物出土状況（南東から）
35．SI７遺物出土状況１（東から）
36．SI７遺物出土状況２
37．SI７遺物出土状況３
38．SI７カマド完掘状況（西から）
39．SI７カマド内遺物出土状況
40．SI８カマド完掘状況
41．SI８カマド内遺物出土状況
42．SI９セクション内検出状況（北東から）
43．SI９カマドセクション
44．SI10完掘状況（北から）
45．SI10カマド完掘状況（西から）
46．SI10カマド内遺物出土状況１
47．SI10カマド内遺物出土状況２
図版５　48．SI11完掘状況（南から）
49．SI11遺物出土状況（南から）
50．SI11遺物出土状況近景
51．SI11カマド完掘状況
52．SI11カマド内遺物出土状況１
53．SI11カマド内遺物出土状況２
54．SI12完掘状況（北東から）
55．SI12西面セクション
56．SI12遺物出土状況全景（北西から）
57．SI12内遺物・礫出土状況１（西から）
58．SI12内遺物・礫出土状況２（東から）
59．SI12カマド周辺内遺物出土状況
60．SI12遺物出土状況１
61．SI12遺物出土状況２
62．SI12遺物出土状況３
図版６　63．SI12遺物（62に同じ）出土状況４
64．SI12緑釉陶器香炉片出土状況
65．SI12カマド完掘状況
66．SI12カマド内遺物出土状況１
67．SI12カマド内遺物出土状況２
68．SI12カマド内遺物出土状況３
69．SI13完掘状況（北から）
70．SI14・15、SK33～40遺物出土・完掘状況（南から）
71．SI15遺物出土状況１
72．SI15遺物出土状況２
73．SI15内SK37～39完掘・遺物出土状況（南から）
74．SI15内SK40完掘・遺物出土状況（南から）
75．SI16完掘状況（西から）
76．SI17完掘状況（北から）
77．SI17遺物出土状況（南西から）
図版７　78．SI17遺物出土状況（南壁際）
79．SI17鉄製品出土状況
80．SI17鉄滓出土状況
81．SI17棚状施設内遺物出土状況１
82．SI17棚状施設内遺物出土状況２
83．SI17棚状施設内遺物出土状況３
84．SI17カマド完掘状況
85．SI17カマド内遺物出土状況及び煙道部セクション
86．SI17カマド内遺物出土状況
87．SI18完掘状況（北西から）
88．SI18遺物出土状況１（西から）
89．SI18遺物出土状況２
90．SI18遺物出土状況３
91．SI18カマド完掘状況（北から）
92．SI18南面セクション（北西から）
図版８　93．SI19完掘・遺物出土状況（南東から）
94．SI19遺物出土状況
95．SI20完掘状況（西から）
96．SI20鉄製品出土状況
97．SI20カマド完掘状況
98．SI20カマド内遺物出土状況
99．SI21完掘・遺物出土状況（西から）
100．SI21カマド周辺遺物出土状況
101．SI21遺物出土状況
102．SI21鉄製品出土状況
103．SI22完掘・遺物出土状況（北西から）
104．SI22焼土硬化面確認状況
105．SI22炭化材検出状況
106．SI22鉄滓出土状況
107．SI22土錘出土状況
図版９　108．SI23完掘状況（北西から）
109．SI23遺物出土状況（北西から）
110．SI23カマド１完掘状況（西から）
111．SI23カマド１内遺物出土状況１（西から）
112．SI23カマド１内遺物出土状況２
113．SI23カマド１内遺物出土状況３
114．SI23カマド１前面灰釉陶器出土状況
115．SI23カマド１北脇鉄製品出土状況
116．SI23カマド２完掘状況（南西から）
117．SI23カマド２内遺物出土状況１（南西から）
118．SI23カマド２内遺物出土状況２
119．SI24・29・32完掘状況（南から）
120．SI24・29・32遺物出土状況全景（南から）
121．SI24・29北面セクション１
122．SI24・29北面セクション２
図版10　123．SI24遺物出土状況（南西から）
124．SI24遺物出土状況１
125．SI24遺物出土状況２
126．SI24カマド完掘状況
127．SI32遺物出土状況全景（南から）
128．SI32遺物出土状況１
129．SI32遺物出土状況２
130．SI32遺物出土状況３

131. SI32 カマド状掘りかた完掘状況（南西から）
132. SI25 完掘状況（南西から）
133. SI25 遺物出土状況（南西から）
134. SI25 カマド完掘状況及び遺物出土状況
135. SI25 遺物出土状況
136. SI25 カマド掘りかた検出状況
137. SI26 完掘状況（西から）
図版11 138. SI26 カマドセクション（北から）
139. SI26 遺物出土状況全景（西から）
140. SI26 遺物出土状況近景（北西から）
141. SI26 遺物出土状況
142. SI26 竪穴掘りかた検出状況（西から）
143. SI27・28 遺物出土状況（西から）
144. SI27 遺物出土状況及び北面セクション
145. SI28 遺物出土状況
146. SI28 南面セクション
147. SI28 完掘状況（西から）
148. SI28 カマド完掘状況
149. SI30・31 完掘状況（西から）
150. SI30・31 遺物出土状況全景（西から）
151. SI30 遺物出土状況 1
152. SI30 遺物出土状況 2
図版12 153. SI30 遺物出土状況 3
154. SI31 カマド完掘状況
155. SI31 北東コーナー部土坑検出状況
156. SI31 カマド内遺物出土状況 1
157. SI31 カマド内遺物出土状況 2
158. SI30・31 掘りかた検出状況（南から）
159. SI30・31床下土坑（SK132等）セクション
160. SI30・31 床下土坑（SK132 等）土錘出土状況
161. SI33 完掘状況（南から）
162. SI33 遺物出土状況全景（南から）
163. SI33 遺物出土状況 1
164. SI33 遺物出土状況 2
165. SI33 馬歯出土状況
166. SB 1 完掘状況（南から）
167. SB 1 完掘状況（東から）
図版13 168. SB 1 柱穴掘りかた（SK117）セクション
169. SB 1 柱穴掘りかた（SK118）セクション
170. SK 4 完掘状況（北西から）
171. SK 5 完掘状況（北から）
172. SK 7・8 完掘状況（北東から）
173. SK15 ～ 20・25・26 完掘状況（南から）
174. SK16 ～ 19（東から）
175. SK20 完掘状況（南西から）
176. SK21 完掘状況（南から）
177. SK31 完掘状況（南から）
178. SK31 焼土検出状況（南から）
179. SK32 完掘状況（南西から）
180. SK34（SI15 内）完掘状況（北西から）
181. SK34（SI15 内）遺物出土状況
182. SK41 遺物出土状況（南西から）
図版14 183. SK41 馬歯出土状況
184. SK44 完掘状況（南東から）
185. SK72 焼土・炭化物検出状況（南から）
186. SK88・89（SI27 内）確認状況
187. SK92 遺物出土状況 1（北東から）
188. SK92 遺物出土状況 2
189. SK92 遺物出土状況 3
190. SK94 遺物出土状況（北から）
191. SK95 遺物出土状況（北から）
192. SK96・97 完掘状況（北から）
193. SK99 遺物出土状況（西から）
194. SK100 遺物出土状況 1（東から）
195. SK100 炭化材・土器覆土内混入状況
196. SK100 遺物出土状況 2
197. SK111 遺物出土状況（南から）
図版15 198. SK113・114 完掘状況（東から）
199. SK113 遺物出土状況
200. SK115 検出状況（南から）
201. SK116 検出状況（南から）
202. SK125 検出状況（南から）
203. SK127 遺物出土状況（東から）
204. SD 1 完掘状況（北東から）
205. SD 2 西面セクション
206. SD 3 完掘状況（西から）
207. SD 4・SK 1 ～ 4 完掘状況（西から）
208. SD 5 完掘状況（北西から）
209. SD 6 ～ 8、SK 9・10 完掘状況（北から）
210. SD 7・8 完掘状況（南西から）
211. SD 8、SK 9・10 完掘状況（南西から）
212. SD 9 完掘状況（東から）
図版16 213. SD 9 西面セクション
214. SD 9・12、SK24 セクション（東から）
215. SD10・11 完掘状況（北から）
216. SD12 完掘状況（北から）
217. SD12 遺物出土状況
218. SD13・14、SK27 ～ 29 完掘状況（北東から）
219. SD15・17、SK42 ～ 44 完掘状況（南から）
220. SD15 遺物出土状況
221. SD17 遺物出土状況
222. SD16 完掘状況（南から）
223. SD16 遺物出土状況 1
224. SD16 遺物出土状況 2
225. SD18 完掘状況（南から）
226. SD18 北面セクション
227. SD19 及び周辺 SK 群完掘状況（南から）
図版17 228. SD21 ～ 23、SK69・70 完掘状況（西から）
229. SD21・22、SK69 完掘状況及びセクション（南西から）
230. SD29 完掘状況（南西から）
231. SD29 遺物出土状況 1
232. SD29 遺物出土状況 2
233. SD29 遺物出土状況 3
234. SD30 完掘状況（南西から）
235. SD31 完掘状況（南から）
236. SD31 北面セクション
237. SD31 南面セクション
238. X9Y2グリッド（遺構外）銭貨出土状況 1（北西から）
239. X9Y2 グリッド（遺構外）銭貨出土状況 2
240. X9Y2 グリッド（遺構外）銭貨出土状況 3
241. X9Y2 グリッド（遺構外）銭貨出土状況 4
242. X9Y2 グリッド（遺構外）銭貨出土状況 5
図版18 出土遺物（1）
図版19 出土遺物（2）
図版20 出土遺物（3）
図版21 出土遺物（4）
図版22 出土遺物（5）
図版23 出土遺物（6）
図版24 出土遺物（7）
図版25 出土遺物（8）
図版26 出土遺物（9）
図版27 出土遺物（10）
図版28 出土遺物（11）
図版29 出土遺物（12）
図版30 出土遺物（13）
図版31 出土遺物（14）
図版32 出土遺物（15）
図版33 出土遺物（16）その他の土器（焼塩土器群）

第Ⅰ章　調査に至る経緯と経過

第１節　調査に至る経緯と調査体制

山梨県南アルプス市下宮地地内に株式会社パナホーム山梨が計画を進めていた宅地分譲地造成工事予定地は、南アルプス市埋蔵文化財包蔵地ＫＧ－139－東出口遺跡に隣接していることから、南アルプス市教育委員会と株式会社パナホーム山梨が協議した結果、試掘・確認調査を実施することとなり、平成17年（2005）6月13～24日、7月27日に試掘・確認調査を実施した。その結果、弥生時代中期、古墳時代初頭、平安時代の土器片の出土とともに、竪穴建物跡や溝状遺構、土坑、炉跡と思われる遺構群も確認されたことから、遺跡の存在が確実視されたために、開発をおこなう際には、埋蔵文化財の発掘調査が必要であると判断した。なお、試掘調査の詳細な報告については、南アルプス市教育委員会が平成18年（2006）に刊行した『平成17年度埋蔵文化財試掘調査報告書』（南アルプス市埋蔵文化財調査報告書第11集）を参照されたい。

平成18年（2006）2月に、南アルプス市教育委員会および株式会社パナホーム山梨より、財団法人山梨文化財研究所に対し、東出口遺跡の発掘調査の依頼があり、三者で協議をおこなった結果、協定ならびに委託契約を結んで発掘調査および報告書刊行に向けた整理作業にあたることとなった。

委託者である株式会社パナホーム山梨、受託者である財団法人山梨文化財研究所、統括・指導監督機関である南アルプス市教育委員会の三者で埋蔵文化財発掘調査業務に係る協定書を締結し、委託者ならび受託者の二者で、（仮称）「エコライフタウン滝沢通り」建設に伴う埋蔵文化財発掘調査及び報告書作成業務委託契約を締結し事業にあたった。なお、現在は「エコライフタウン　サンフィールズ滝沢通り」という名称の住宅分譲地となっている。

調査体制については以下のとおりである。

○調 査 主 体　財団法人 山梨文化財研究所

○調査担当者　平野　修（財団法人 山梨文化財研究所）

○発掘調査・整理業務参加者および協力者（五十音順）

秋山高之助、飯室恵子、加藤由利子、神田久美子、工藤忠誠、窪田信一、小菅春江、小林素子、桜井理恵、清水裕子、手塚松雄、中川博子、中川美治、萩原 忠、古郡 明、穂坂美佐子（以上、発掘調査参加者）

岩崎満佐子、小林澄子、小林典子、竜沢みち子、手塚由美、手塚理恵、日向シンティア（以上、整理業務参加者）

○統括・指導監督　南アルプス市教育委員会

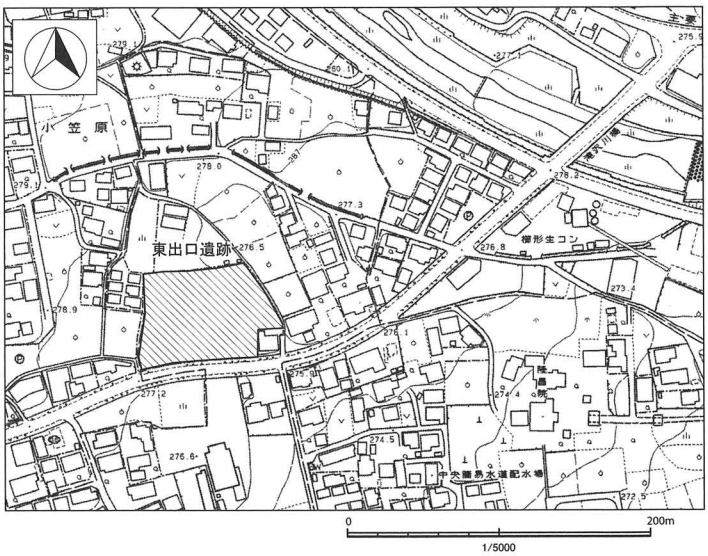
第２節　調査の方法と経過

(1) 調査の方法

発掘調査は、開発予定地内において遺構確認面まで掘削が及ぶ道路予定地部分のみの調査であった。試掘調査の結果で、古墳時代から平安時代の確認面と、弥生時代の確認面が存在することが確認されていたが、調査経費や期間などの関係で、弥生時代の確認面調査については、試掘トレンチ内だけに留めた。調査区は道路予定地に全体にわたっているが、試掘調査で判明した工場跡地があるが故、撹乱掘削が著しい北側の東西ラインの一部と、東側の南北ラインの一部を除いて、重機による表土層および撹乱層の除去をおこなった。なお、調査の便宜を図るため、西側から時計回りに「第１トレンチ」「第２トレンチ」「第３トレンチ」という名称を付けて調査を実施した（第３図・４図参照）。

表土除去作業終了後、開発予定地全体を覆うように国土座標にあわせて、南北方向をＸ軸、東西方向をＹ軸とし、５ｍメッシュを基本とするグリッドを設定した。南西隅を基点として、世界測地系座標Ｘ＝-43790.000、Ｙ＝-2795.000を原点（X=0、Y=0）としている。グリッドの名称は南北方向を南からX0・X1・X2･･･、東西方向を西からY0・Y1・Y2･･･とし、南西隅を基点として、「X1Y1グリッド」と呼称した。

表土および盛土層の除去・掘削については重機を使用したが、遺構調査については、すべて人力にて覆土を除去し、発生土の排出についても人力にておこなった。洪



第１図　調査区位置図

水層である砂礫層の一部が遺構覆土に混入しているため、その除去には大変苦慮した。確認された遺構は、確認されたものから順次遺構番号を付して調査をおこなっていったが、重複し新旧関係が不明瞭な遺構については、同時に調査をおこない、土層観察・出土遺物の様相から新旧関係の決定をおこなってから遺構番号を付したものもある。

出土した遺物については、原位置が判明する直径３㎝以上の大きさを測る土器片等については、極力、光波測量機によって各出土地点ごとにナンバリングをして取り上げていった。遺構の測量についても光波測量機による平面測量を中心におこない、カマドなど小規模な遺構については、1/10・1/20の縮尺を基本として、平板測量と遣り方測量も併用しておこなった。

光波測量に用いた機器およびシステムは以下のとおりである。

○光波測量機……TOPCON GTS-320F Ⅱ A
○データコレクタ……TOPCON　FC- 7
○取り上げ・図化ソフト……アイシン精機株式会社製　遺構くん

なお、遺構の名称は、以下ような略称を使用した。

○竪穴建物……ＳＩ　○掘立柱・礎石建物……ＳＢ
○溝状遺構……ＳＤ　○土坑・ピット…ＳＫ

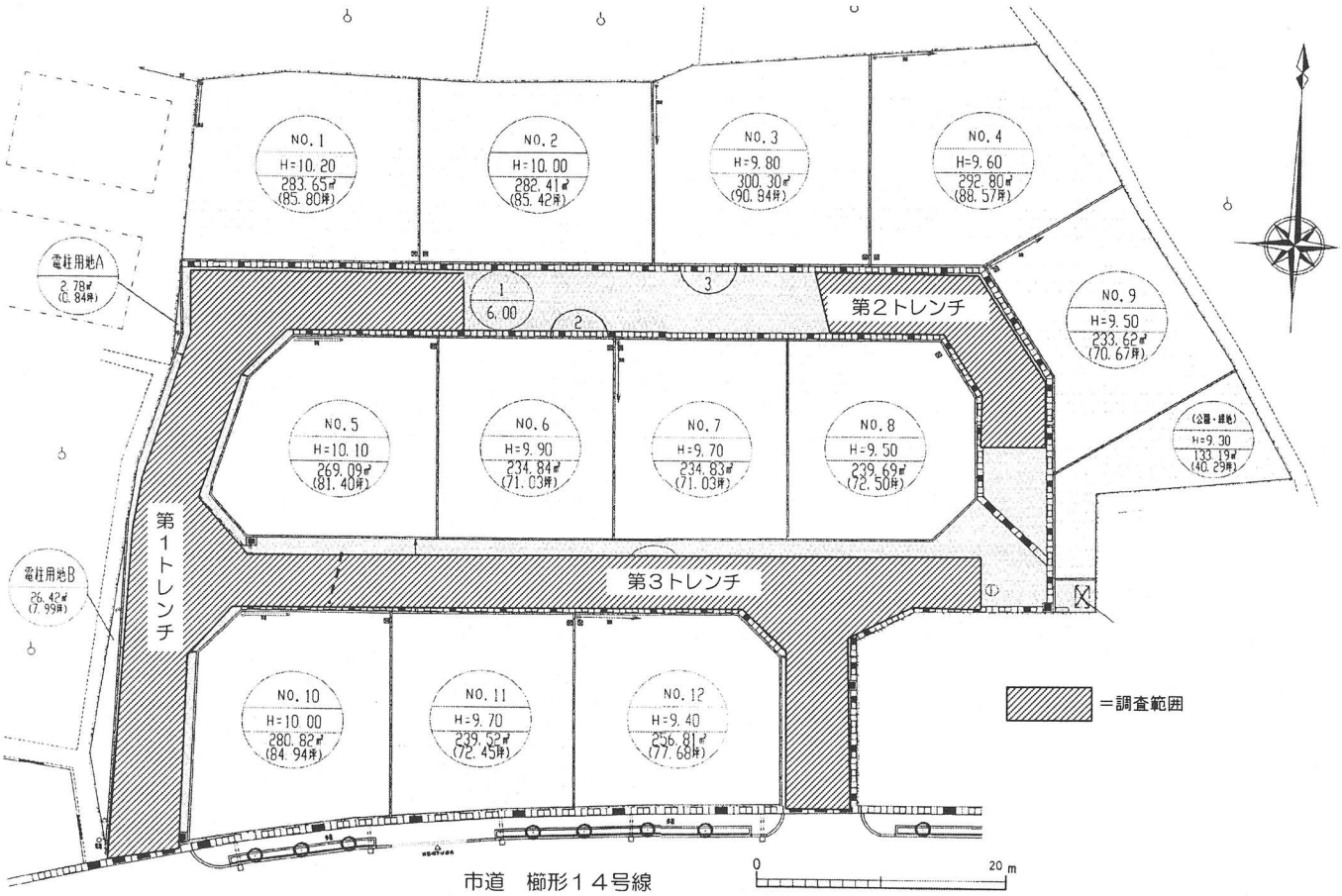
(2) 調査の経過

平成18（2006）年

３月６日㈪　調査事務所設置、調査区重機による表土剥ぎ開始
３月７日㈫　機材搬入
３月８日㈬　１・２トレンチ表土剥ぎ完了。発掘調査開始、遺構確認作業
３月９日㈭　３トレンチ表土剥ぎ、遺構確認作業を並行して実施
３月10日㈮　３トレンチ表土剥ぎ完了。遺構確認作業を並行して実施
３月13日㈪　１トレンチ内遺構調査開始 基準杭およびグリッド杭設定
３月14日㈫　SI1、SD1・2等調査開始
３月15日㈬　SI2・3等調査開始
３月16日㈭　SI1カマド調査調査
３月17日㈮　SI4・5、SD4等調査開始
３月20日㈪　SI1・4・5、SK2～5等調査
３月22日㈬　SI4、SK4等調査
３月23日㈭　SI4～7等調査
３月24日㈮　SI1～7等調査
３月27日㈪　SI5～7等調査、遺構確認作業
３月28日㈫　SI5～10、SK5、SD5等調査
３月29日㈬　SI5～10、SK5～8等調査
３月30日㈭　SI5～10、SK5～10、SD6～8等調査
３月31日㈮　SI5・8・10、SK10・11、SD9等調査
４月３日㈪　SI8・10・11、遺構確認作業
４月４日㈫　SI8・10・11、SK12～15、SD10・11等調査、遺構確認作業
４月６日㈭　SI7・8・10・11等調査、遺構確認作業
４月７日㈮　SI11・12、SK12～20調査、遺構確認作業
４月10日㈪　SI11・12等調査、遺構確認作業
４月12日㈬　SI11・12、SK21等調査
４月13日㈭　SI11・12、SK15～20・25・26、SD12等調査
４月14日㈮　SI12、SD12等調査、遺構確認作業
４月17日㈪　SI12等調査、遺構確認作業
４月18日㈫　SI12等調査、遺構確認作業
４月19日㈬　SI12・13、SD28・30・31、SD16等調査
４月21日㈮　SI12・13、SD13・14・16、SK27～29調査
４月24日㈪　SI14・15、SK37～41、SD14・15等調査、２トレンチ内遺構調査開始
４月25日㈫　SI14・15、SK33～41・42～44、SD16等調査
４月26日㈬　１トレンチ完掘全景写真撮影、SI17、SD18等調査
４月27日㈭　SI17、SD18等調査、遺構確認作業
４月28日㈮　SI17、SK45～67、SD18～20等調査
５月１日㈪　SI17、SK50・57～67・69等調査、３トレンチ内遺構調査開始
５月３日㈬　SI17・18、SD24～26等調査
５月３日㈬　SI17・18、SD24～26等調査
５月４日㈭　SI17・18、SD24～26等調査
５月５日㈮　SI17・18等調査
５月８日㈪　SI17～19等調査、２トレンチ完掘全景写真撮影
５月９日㈫　SI17～19等調査、遺構確認作業
５月10日㈬　SI18・20等調査、遺構確認作業
５月11日㈭　SI18・20・21等調査、遺構確認作業
５月12日㈮　SI20～23、SK72等調査、遺構確認作業
５月15日㈪　SI20～23、SK72～82、SD27等調査、遺構確認作業
５月16日㈫　SI21～23、SD27等調査、遺構確認作業
５月17日㈬　SI21・23・24・26～28、SK72～83、SD27・28等調査
５月18日㈭　SK84～86等調査、遺構確認作業
５月19日㈮　SI23・24・28・29等調査、遺構確認作業
５月21日㈰　SI21・23～25・28・29等調査、遺構確認作業
５月22日㈪　SI23・25～27・30・31、SK73～95等調査
５月23日㈫　SI23～27・30、SK93等調査
５月24日㈬　SI22・23・25・26・30、SK96～100等調査
５月25日㈭　SI22・23・25・26・30、SK96～99、SD29等調査
５月26日㈮　SI22・23・26・30・31、SK102～114調査

5月27日(土)　SI22・23、SK100・106・110～114等調査
5月29日(月)　SI22～24・26・28・30・31、SK115～118等調査
5月30日(火)　SI24・26・27～29・32、SK119～125調査
5月31日(水)　SI24・26・27～29・31～33、SK128～131、SD30・31等調査
6月1日(木)　SI24・28・30～33、SK127、SD30・31等調査
6月2日(金)　SI24・28・30～33、SK132～134等調査、3トレンチ完掘全景写真撮影
6月3日(土)　ラジコンヘリコプターによる遺跡全体空撮
6月5日(月)　機材撤収、調査事務所撤去、現地調査終了。調査面積　778㎡（部分的に2面調査を実施したため実質933.6㎡）
6月8日(木)　埋蔵文化財保管所および埋蔵文化財調査終了報告、埋蔵物発見届けを、南アルプス市教育委員会を経由し、山梨県教育委員会・南アルプス警察署に提出する。

なお、整理作業は平成18年7月以降、断続的におこない、本報告書刊行に至った。



第2図　調査区設定図（1/600）

第Ⅱ章　遺跡の位置と環境

第１節　遺跡の位置と立地

東出口遺跡は、甲府盆地の西部、御勅使川扇状地上に形成された滝沢川扇状地の微高地上に立地している。国内第２位の標高3,193ｍを測る北岳を筆頭に、間ノ岳、仙丈ケ岳など南アルプス（赤石山脈）北部の3,000m級の高峰、名峰が連なる。櫛形山累層の最高峰である櫛形山（2051.7ｍ）に端を発する大和川・高室川・入増川・塩沢川・深沢川が流下しながら合流して滝沢川となり富士川（釜無川）に合流する。滝沢川は、古来から水害が頻発する河川として知られ、天井川を形成していた。近世以降、いくたびかの改修工事が試みられてきたが、近年の大改修工事によって、築堤河道から、掘込河道への転換がなされて、ようやく安定した河相を見せるに至ったが、多くの中小河川では未だ天井川を形成し、複雑に入り組んで釜無川に合流しており、大雨の際には浸水被害を生じることが多いという。

南アルプス市北部を東流している御勅使川は、総面積約40平方㎞、海抜250～500ｍに及ぶ広大な扇状地を形成し、現在では南アルプス市と韮崎市を分界している大河川である。しかし同市百々に所在する百々遺跡や甲西バイパス建設関連に伴う発掘調査成果から、御勅使川は平安時代以前には、現在よりさらに南側を流下していたことが判明し、東出口遺跡が属する現在の同市十日市場地区でも御勅使川の旧流路の存在が指摘され、本遺跡は、御勅使川扇状地の扇端部、さらに滝沢川によって形成された滝沢川扇状地の扇頂部付近の右岸地帯にあたる。遺跡の標高は、275～277ｍを測る。

第２節　層　位

本遺跡の地形状況は、西方から東方にかけての緩傾斜地であるが、ここでは、遺跡東端に位置する第２トレンチの状況を中心に記しておく（第２・４図参照）。遺構の切り込み面は、中世段階では第２層直下、奈良～平安時代段階では第５層直下もしくは第６層中である。平安期の遺構確認面までの深度は、本遺跡西端に位置するSI1号竪穴建物跡では、現表土から約80㎝、本遺跡東端に位置するSI17号竪穴建物跡では1m60㎝を測り、西から東に行くに従って徐々に深度を増し、このことからも西方から東方にかけて地形的に傾斜していることがわかる。

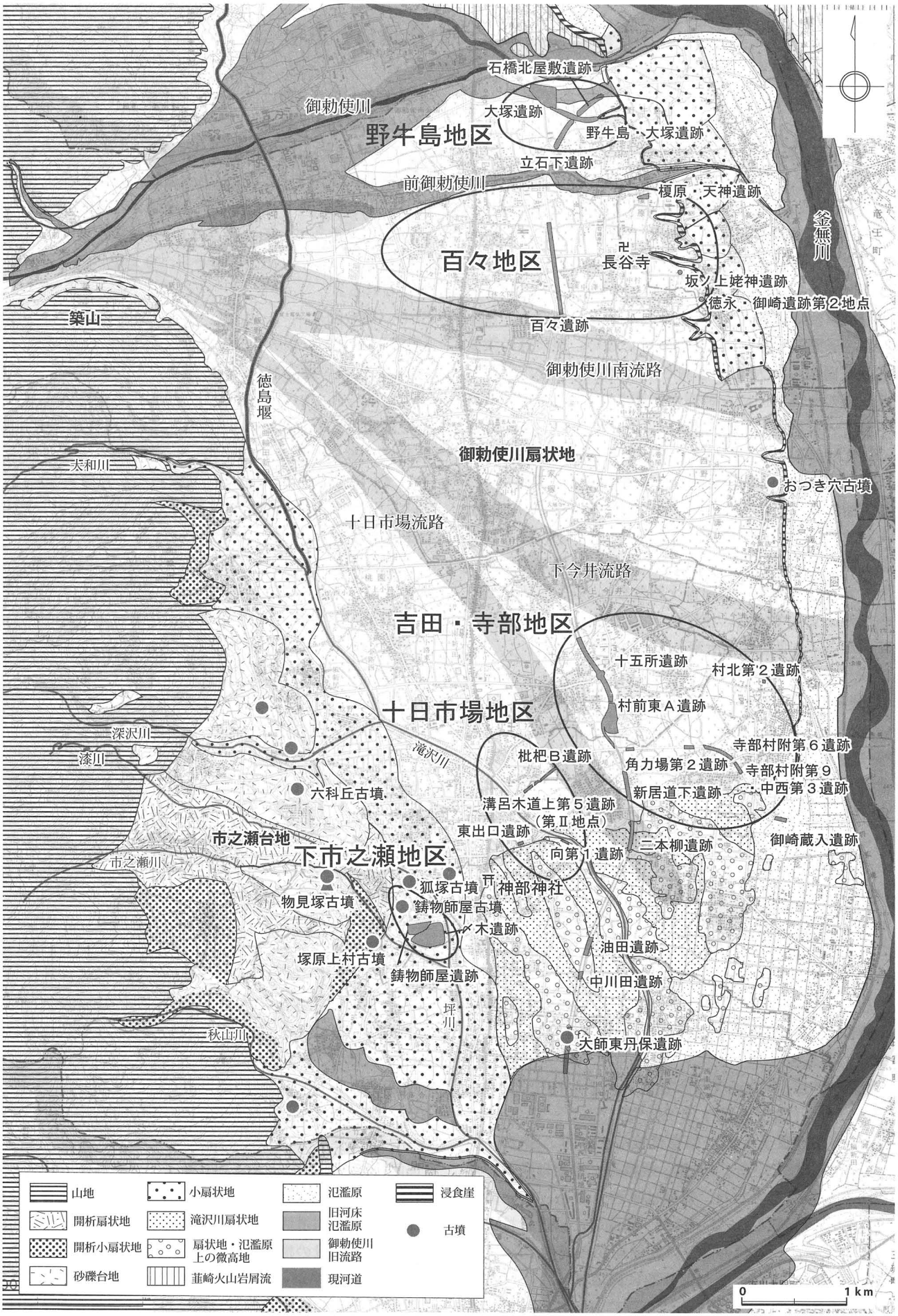
第１層　表土＆客土層
第２層　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3 小礫含む）
第３層　黒褐色砂質土（10YR3/2 砂礫中心）
第４層　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3 小礫含むが第２層より少ない）
第５層　黒褐色砂質土（10YR3/2 砂礫中心）
第６層　褐色砂質土（10YR4/6 ほとんど礫含まず）
第７層　暗褐色砂質土（10YR3/4 ややシルト化）
第８層　黒褐色砂質土（10YR3/2 ややシルト化、砂礫も含む）
第９層　暗褐色砂質土（10YR3/3 シルト化やや顕著、小礫を含む）
第10層　砂礫層
第11層　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/4 ）

第３節　歴史的環境

平成の市町村合併以前の行政区画のうえでは、本遺跡は旧中巨摩郡甲西町域にあたるが、当該地域は旧若草町や旧櫛形町の旧町域が複雑に入り組んでいる。本遺跡が位置する下宮地地区には、『延喜式』にみえる式内社巨麻郡五座の一つと伝えられる神部神社が鎮座している。その脇を現在の国道52号線が通り、中世から近世にかけては河内路（駿州往還）の「西郡路」とも呼ばれる陸上交通路が通っており、いつくかの陸上交通路とも交差している。古代を中心とした遺跡もこうした各ルート上に沿うように検出されており、これらルートの起源が古代まで遡れる可能性を示唆している。

本遺跡に隣接する遺跡としては、同じ滝沢川右岸の旧若草町の向第１遺跡、滝沢川左岸では旧若草町の溝呂木道上第５遺跡、旧櫛形町の枇杷Ｂ遺跡などがあり、弥生時代中期から平安時代に至る集落遺跡が確認されている。向第１遺跡では奈良時代初頭の竪穴建物跡が検出され、集落跡の一部が確認されている。溝呂木道上第５遺跡では、弥生時代後期の竪穴建物跡１軒、古墳時代後期の竪穴建物跡２軒、８世紀および10世紀代の竪穴建物跡５軒、土坑等が検出され、連綿と続く集落跡が確認されている。甲西バイパス建設に伴う発掘調査では、古墳時代後期および腰帯具も出土した奈良・平安時代の集落跡である新居道下遺跡、条里型土地割が展開し、中世の木棺墓が検出された二本柳遺跡も比較的近接した位置にある。

また、市之瀬台地方面に目を向ければ、縄文時代中期の大集落遺跡とともに、奈良・平安時代における大集落遺跡も存在した鋳物師屋遺跡や〆木遺跡等があり、律令制段階において中心的な郷の存在が当該地に想定されていた。今回の本遺跡の発掘調査地は、これまで考古学データの上では空白地帯でありその実態が不明瞭であった。今回の発掘調査で律令制段階の集落遺跡が、市之瀬台地の東側の滝沢川右岸地帯においても展開していることが判明し、左岸地帯の大規模集落遺跡との有機的な関連が示唆される。



第３図　遺跡の位置と周辺遺跡位置図（1/50,000）（斉藤秀樹氏作成）

第Ⅲ章　検出された遺構と遺物

第１節　竪穴建物（SI）

SI １（第５図）

（位置）第１トレンチＸ１Ｙ１グリッド内で検出されている。遺構の大半が西側の調査区外に延びている。（重複・遺存状況）溝状遺構であるSD2と重複しており、それを掘り込んで構築している。（形態・規模等）形全体像は不明であるが、形態は隅丸方形を呈するものと思われ、規模は東西は現状で0.94 m、南北は2.84 mを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは確認面から最大48cmを測り、床面は貼床で、カマド前面部の一部で堅固な範囲が確認された。（柱穴）検出されていない。（カマド）東壁においてカマドと思われる炭化材および焼土粒を含む長楕円形を呈する掘り込みを確認している。焼土の残存は顕著ではなく、調査区の境界断面には天井石状の扁平な礫が検出されている。（出土遺物）遺物の出土量は、あまり多くないが、床面直上および貼床内からの出土が多い。古墳時代前期の土器片とともに、土師器坏（刻書土器含む）、須恵器坏などの小片が出土している。（時期）カマド出土の土師器甕の時期から、９世紀代の所産と考えられる。

SI ２（第５図）

（位置）第１トレンチＸ１Ｙ１グリッド内で検出されている。遺構の大半が東側の調査区外に延びている。（重複・遺存状況）SI3および溝状遺構であるSD1と重複し、遺構の大半が同溝状遺構に破壊されており、竪穴部コーナー部分を検出したのみ。（形態・規模等）形態・規模とも不明。（出土遺物）特になし。（時期）不明。

SI ３（第５図）

（位置）第１トレンチＸ１Ｙ１グリッド内で検出されている。SI2と同様、遺構の大半が東側の調査区外に延びている。（重複・遺存状況）SI2およびSD1と重複し、遺構の大半が両遺構に破壊され竪穴部コーナー部分を検出したのみ。（形態・規模等）形態・規模とも不明。（出土遺物）特になし。（時期）不明。

SI ４（第５図）

（位置）第１トレンチＸ２・３Ｙ１グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI5、SK2～4、SD4と重複し、SI5覆土上面一部を構築しており、SK2～4、SD4に切られている。（形態・規模等）形態は隅丸方形を呈するものと思われ、規模は東西2.82 m、南北は推定で2.96 mを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは確認面から最大24cmを測り、床面は堅固な範囲が部分的に確認された。（柱穴）検出されていない。（カマド）東壁においてカマドと思われる浅い長楕円形を呈する掘りかたを確認している。その周囲の覆土上面には、焼土と小礫を含む黒褐色砂質土の範囲が舌状に覆っていた。当初はカマドとして捉えていなかったが、焼土の範囲が床面においても残存していたため、カマドとした。（出土遺物）遺物の出土量は非常に少なく、カマド掘りかた内からわずかに図示した土器群が出土しているに過ぎない。（時期）遺構の重複関係およびわずかな出土遺物から、９世紀以降の所産と考えられる。

SI ５（第６図）

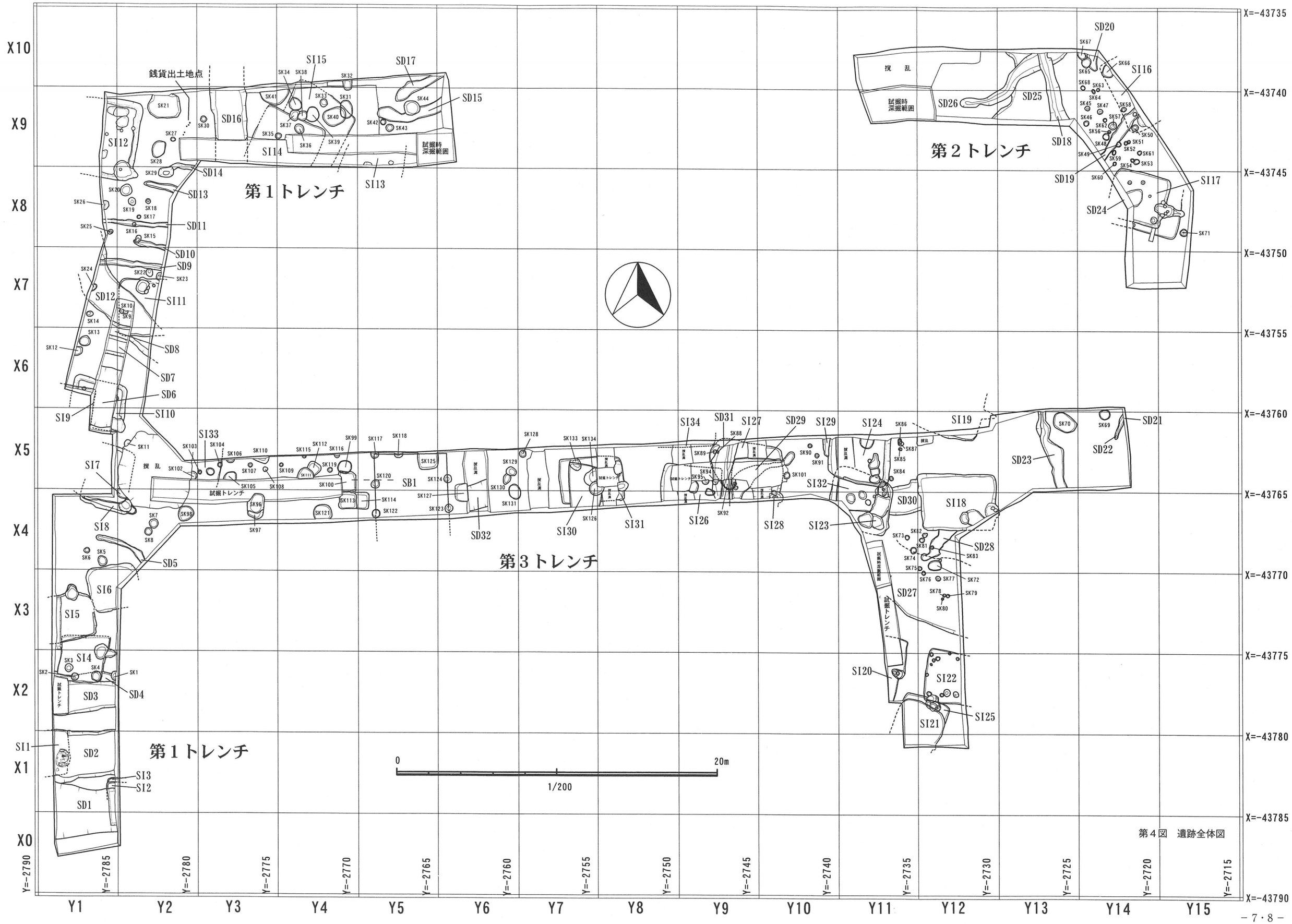
（位置）第１トレンチＸ３Ｙ１グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI4およびSI6と重複し、両遺構に切られている。（形態・規模等）形態は隅丸長方形を呈するものと思われ、規模は東西は現状で2.16 m、南北は2.96 mを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは確認面から最大40cmを測り、カマド前面部の床面は堅固である。（柱穴）検出されていない。（カマド）北壁において焼土を含む楕円形の掘りかたを確認している。掘りかたは比較的深く、その底面は赤化し、土師器甕片が据え置かれたような状態で出土している。（出土遺物）遺物の覆土上層を中心に一定量出土しているが、床面レベル出土の遺物は極めて少ない。（時期）カマド出土土師器甕などから、８世紀代の所産と考えられる。

SI ６（第７図）

（位置）第１トレンチＸ３Ｙ１グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI5と重複し、同遺構を掘り込んで構築している。本遺構の南東部分の約1/4が調査区外にかかっている。（形態・規模等）形態は隅丸長方形を呈するものと思われ、規模は東西3.14 m、南北2.74 mを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは確認面から最大42cmを測り、床面は散在的に堅固な部分が認められる。（柱穴）検出されていない。（カマド）検出されていない。おそらく調査区外の東壁側に付設されていると思われる。（出土遺物）覆土上層を中心に散在的に出土しているが、土師器坏が破砕した状態で、床面直上レベルおよび壁際から出土しているものもみられる。（時期）出土土器などから、10世紀前半代の所産と考えられる。

SI ７（第８図）

（位置）第１トレンチＸ４・５Ｙ１・２グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI8とほぼ重なるように重複し、同遺構を掘り込んで構築している。本遺構の大半が、後世の撹乱によって破壊されていたり、西側の調査区外にかかっている。（形態・規模等）形態は隅丸長方形を呈するものと思われ、規模は東西方向は不明で、南北は3.44 mを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は


第1トレンチ
第2トレンチ
第3トレンチ
第1トレンチ
銭貨出土地点
試掘時深掘範囲
撹乱
試掘トレンチ
SB1
0
20m
1/200
X10
X9
X8
X7
X6
X5
X4
X3
X2
X1
X0
Y1
Y2
Y3
Y4
Y5
Y6
Y7
Y8
Y9
Y10
Y11
Y12
Y13
Y14
Y15
X=-43735
X=-43740
X=-43745
X=-43750
X=-43755
X=-43760
X=-43765
X=-43770
X=-43775
X=-43780
X=-43785
X=-43790
Y=-2790
Y=-2785
Y=-2780
Y=-2775
Y=-2770
Y=-2765
Y=-2760
Y=-2755
Y=-2750
Y=-2745
Y=-2740
Y=-2735
Y=-2730
Y=-2725
Y=-2720
Y=-2715

第４図　遺跡全体図

検出されていない。竪穴部の深さは、セクション断面の観察から、確認面より最大46cmを測り、床面は散在的に堅固な部分が認められる。（柱穴）検出されていない。（カマド）東壁の南東隅近くに付設され、楕円形状を呈する浅い掘りかたが検出されている。羽釜片等がその内部および周辺から出土している。（出土遺物）遺物の出土量は多い。覆土上層から床面レベルにかけてまでまんべんなく出土している。（時期）出土土器などから、10世紀前半代の所産と考えられる。

SI８（第８図）

（位置）第１トレンチＸ４・５Ｙ１・２グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI7と後世の撹乱によって大半が破壊されており、さらに西側の調査区外にかかっている。（形態・規模等）形態は不明であるが、隅丸方形を呈するものと思われる。規模は東西方向は3.08ｍを測り、南北方向は不明である。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、確認面より最大22cmを測り、検出された範囲内では、堅固な床面は認められない。（柱穴）検出されていない。（カマド）東壁の南東隅に付設され、石組みを伴っている。（出土遺物）遺物の出土量は多い。覆土上層から床面レベルにかけてまでまんべんなく出土している。（時期）出土土器などから、10世紀前半代の所産と考えられる。

SI９（第９図）

（位置）第１トレンチＸ５・６Ｙ１・２グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI10およびSD6の上層に構築されており、試掘調査時のトレンチ掘削によって欠失し、さらにその大半が調査区外にかかっており、北壁の一部を検出したに過ぎない。（形態・規模等）形態・規模とも不明。（カマド）検出されていないが、試掘トレンチ西面セクションにおいて、カマドに伴うと思われる焼土層が確認されているため、おそらく東壁に付設されていたものと思われる。（出土遺物）特になし。（時期）SI10との重複関係から、10世紀前半以降の所産か。

SI10（第９図）

（位置）第１トレンチＸ５・６Ｙ１・２グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI9の下層およびSD6の上層に構築されており、試掘調査時のトレンチ掘削によって竪穴中央部を欠失し、さらに竪穴西側の1/3程度が調査区外にかかっている。（形態・規模等）形態は隅丸方形を呈するものと思われる。規模は東西3.38ｍを測り、南北3.12ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出された壁下にめぐっている。竪穴部の深さは、確認面より34cmを測り、床面は部部的に貼床を施し、比較的堅固である。（柱穴）ピット２基が検出されており、ピット１については、柱痕跡を示す堆積状況を示すが、深さ10cm程度の浅いものである。（カマド）東壁の南東隅に付設されている。掘りかたのみの検出であるが、燃焼部内底面および焼土ブロックを多く含む覆土下層からは、袖石状の扁平な礫１個、土師器坏と甕が出土している。カマド覆土の上層は一括埋土の状況を示し、本来は石組みを伴うカマドであるが、人為的に破壊された可能性が高い。（出土遺物）遺物の出土量は少なく、カマドから主に出土している。（時期）出土土器などから、10世紀前半代の所産と考えられる。

SI11（第10図）

（位置）第１トレンチＸ６・７Ｙ２グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SK9・10、SD8・12の上層およびSK23を切って構築されている。試掘調査時のトレンチ掘削によって南西部分を欠失し、さらに竪穴東側の1/3程度が調査区外にかかっている。（形態・規模等）形態は隅丸長方形を呈するものと思われる。規模は東西は現状で2.62ｍを測り、南北は3.52ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、確認面より30cmを測り、床面はカマド周辺部が比較的堅固である。（柱穴）不明。（カマド）北壁のほぼ中央に付設されている。燃焼部掘りかたと袖石とみられる礫の一部が残存しており、燃焼部内からは土師器甕片と、板状の焼土化した粘土等が出土している。この板状の焼土化した粘土は、カマド本体に貼った粘土だと思われる。カマド覆土の上層は一括埋土の状況を示し、本来は石組みを伴うカマドであるが、人為的に破壊された可能性が高い。（出土遺物）遺物はカマド周辺部を中心に出土しており、土器等に混じりカマドから抜き取られたと思われる礫が、カマド前面部において集積した状態で出土している。（時期）出土土器などから、９世紀前半代の所産と考えられる。

SI12（第11図）

（位置）第１トレンチＸ８・９Ｙ１・２グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）重複関係は特にみられない。遺構の約2/3以上が西側調査区外にかかるが、遺存状況は比較的良好である。（形態・規模等）形態は隅丸方形もしくは長方形を呈するものと思われ、規模は東西は現状で2.28ｍを測り、南北は5.02ｍを測り、本遺跡としては比較的大型の部類に入る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出された壁下にめぐっている。竪穴部の深さは、セクション断面の観察から、確認面より最大66cmを測り深い。床面は散在的に堅固な部分が認められる。（柱穴）柱穴と考えられるピット等は検出されていない。（カマド）東壁の南東隅に付設され、石組みを伴っている。燃焼部内の覆土上層から中層にかけて土師器坏・甕等がまとまって出土している。カマド埋土の上部は人為的に埋め戻されており、これら遺物は故意に埋設された可能性が高い。（出土遺物）遺物はカマド内およびその周辺部からややまとまって出土しており、緑釉陶器香炉片が出土していることは注目される。こうした土器等に混じり竪穴内北側では、礫が集積した状態で床面直上から出土しており、その礫群を除去したところその下部

からは楕円形を呈し、焼土ブロックおよび炭化物を含む黒褐色砂質土の覆土をもつ浅い掘りかたが２基検出された。礫の中には、砥石と使用されたもの（第45図40）が見受けられたり、被熱したものがみられ、カマドの袖石として使用された礫も含んでいる可能性が高い。（時期）出土土器などから、10 世紀前半代の所産と考えられる。

SI13（第11図）

（位置）第１トレンチＸ９Ｙ４・５グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）他遺構との重複関係はないが、試掘調査時のトレンチ掘削によって欠失し、さらにその大半が南側調査区外にかかっており、竪穴北側の一部を検出したに過ぎない。（形態・規模等）形態は不明。規模は南面セクション断面観察から、東西約 4.04 ｍを測る。南北方向は不明。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、上部の整地層が深く及んでおり、確認面からの深さは約６㎝を測るに過ぎない。床面は散在的に堅固な箇所が認められる。ピットが数基検出されているが、その性格は不明。（炉・カマド）火処と思われる痕跡は検出されていない。（出土遺物）特になし。（時期）不明。

SI14（第12・13図）

（位置）第１トレンチＸ９Ｙ３・４グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI15、SK35 ～ 38 と重複関係にあるが、それらとの新旧関係は定かではない。ただ SK35・36 は本遺構に伴うピットの可能性がある。本遺構は、試掘調査時のトレンチ掘削によって欠失し、さらにその大半が南側調査区外にかかっており、全体的に遺存状態は良くない。（形態・規模等）形態は隅丸方形を呈すると思われ、規模は東西方向のみ約 3.92 ｍを測る。南北方向は不明。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。上部の整地層が深く及んで、壁も部分的な検出であり、竪穴部の深さは、確認面からの深さは約 24 ㎝を測る。床面は散在的に堅固な箇所が認められる。ピット２基（SK35･36）が検出されているが、その性格は不明。（炉・カマド）火処と思われる痕跡は検出されていない。（出土遺物）出土遺物は少ない。図示できたのは、８世紀代と思われる土師器小片と古墳時代土師器小片のみである。（時期）不明。

SI15（第12・13図）

（位置）第１トレンチＸ９・10Ｙ４グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI14、SK31・33・34・37 ～40と重複関係にあるが、それらとの新旧関係で明確になっているのは SK31 のみで、SK31 が本遺構を掘り込んで構築している。その他の SK 遺構は、本遺構に伴うピットの可能性がある。本遺構も試掘調査時のトレンチ掘削によって欠失し、さらにその一部が南側調査区外にかかっており、全体的に遺存状態は良くない。（形態・規模等）形態は隅丸長方形を呈すると思われ、規模は東西方向のみ約 4.30 ｍを測る。南北方向は不明。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。上部の整地層が深く及んで壁も部分的な検出であり、竪穴部の深さは、確認面からの深さは約22㎝を測る。床面は散在的に堅固な箇所が認められる。ピット・土坑が６基（SK33・34・37 ～ 39）検出されている。本遺構に伴う柱穴や床下土坑である可能性はあるが詳細は不明。（炉・カマド）火処と思われる痕跡は検出されていない。（出土遺物）出土遺物は、古墳時代前期を中心とする小片が主体的に出土している。竪穴覆土内からは平安時代の土師器片や須恵器片がわずかに出土しており、SK 遺構内からは古墳時代前期土器片が主に出土している。（時期）古墳時代前期か。

SI16（第13図）

（位置）第２トレンチＸ９・10 Ｙ 14 グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SK50・58・66、SD19 と重複関係にある。本遺構が SK66 と SD19 の上部に構築し、SK50・58 との新旧関係は定かではない。壁面検出でその大半が東側調査区外にかかっており、竪穴西側の範囲も想定に過ぎない。（形態・規模等）形態は不明。規模は東面セクション断面観察から、南北約 5.25 ｍを測る。東西方向は不明。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは確認面からは約 36㎝を測る。ピットが２数基検出されているが、その性格は不明。（炉・カマド）火処と思われる痕跡は検出されていない。（出土遺物）特になし。（時期）不明。

SI17（第14・15図）

（位置）第２トレンチＸ８・９Ｙ 14・15 グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SD24 が、本遺構の覆土上層部分を掘り込み重複している。遺構の約 1/4 程度が西側調査区外にかかる。本遺構北側は、重機による遺構確認の段階で、やや掘削し過ぎたため、棚状施設の一部を欠失している。（形態・規模等）建物全体形態は隅丸長方形を呈する。竪穴部の形態は隅丸方形を呈する。建物全体の規模は東西は現状で 4.40 ｍ、南北も現状で 3.50 ｍを測る。竪穴部の規模は東西 3.54 ｍを測り、南北は 3.14 ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は、竪穴部東壁から南壁にかけてめぐっている。竪穴部の深さは、セクション断面の観察から、確認面より最大50㎝を測り深い。床面は散在的に堅固な部分が認められ、竪穴部中央部では浅い土坑状の掘りかたが検出されている。また、カマド前面部周辺で、焼土・炭化物範囲が確認されているが、いずれも床面上数㎝のレベルで確認されている。（柱穴・その他施設）建物跡から５基のピット等は検出されている。柱穴かどうかは不明だか、カマド南脇で検出された土坑状ピットは貯蔵穴的な性格が強い。また、本遺構周辺で検出されている SK53・54・60・71 は、埋土状況および位置等からみて、本建物跡の竪穴壁外柱穴の可能性もある。その他、棚状施設およびテラス状施設を有しており、東側棚状部の東西幅は最大 1.12 ｍを測る。

（カマド）竪穴部東壁の中央部に付設され、石組みを伴っている。煙道部はトンネル状を呈する。燃焼部の袖石はほとんど抜き取られており、抜き取りピットが検出されている。（出土遺物）遺物はカマド内および竪穴内全体、棚部から散在的に出土している。第46図４の土師器皿は、テラス部から転落したような状態を示している。また、刀子・鎌・苧引金等の鉄製品や、鉄滓の出土が比較的目立っている。（時期）出土土器などから、９世紀後半代の所産と考えられる。

SI18（第16図）

（位置）第３トレンチＸ４・５Ｙ12グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SD28・30と重複している。両SD遺構の痕跡が、本遺構のセクション断面において認められないことから、本遺構が両SD遺構を掘り込んで構築していると思われる。本遺構南東コーナー部分の一部が南側調査区外にかかる。（形態・規模等）形態は隅丸長方形を呈する。規模は東西4.84ｍ、南北3.50ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、南面セクション断面の観察から、確認面より最大70cmを測る。床面は貼床が施され、散在的に堅固な部分が認められる。カマド前面部では浅い土坑状の掘りかたが検出されている。（柱穴・その他施設）建物柱穴等と考えられる遺構は検出されていない。（カマド）東壁の南東隅寄りに付設され、石組み等は残存せず、掘りかたのみの検出されている。焼土層は顕著ではなく、燃焼部からは袖石の抜き取り痕と思われるピットが検出されている。（出土遺物）遺物はカマド内および竪穴内全体から出土している。特に南壁および西壁付近の覆土中層レベル、カマド南西部の覆土中層から下層にかけてややまとまって出土している。（時期）出土土器などから、９世紀前半代の所産と考えられる。

SI19（第17図）

（位置）第３トレンチＸ５Ｙ12グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）他遺構との重複関係は特にみられない。本遺構の大半は北側調査区外にかかっており、検出された範囲はごく僅かである。（形態・規模等）形態・規模ともに不明。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、北面セクション断面の観察から、確認面より最大58cmを測る。（炉・カマド）火処と思われる痕跡は検出されていないが、北面セクション断面において、カマド構築土と焼土層が確認できる。このことから東壁にカマドが付設されていた可能性が高い。（出土遺物）床面上のやや浮いたレベルから、土師器坏片および礫等が出土している。（時期）出土土器から、10世紀前半代の所産と考えられる。

SI20（第17図）

（位置）第３トレンチＸ２・３Ｙ11グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）他遺構との重複関係は特にみられない。本遺構の大半は西側と南側調査区外にかかっており、さらに試掘調査時のトレンチ掘削によって本遺構西側を一部欠失している。（形態・規模等）形態は隅丸方形もしくは長方形を呈すると思われ、規模はともに現状で東西1.52ｍ、南北3.88ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、西面セクション断面の観察から、確認面より最大36cmを測る。床面は概して軟弱である。（カマド）カマドは東壁ほぼ中央部分に付設され、掘りかたのみの検出である。（出土遺物）遺物は、カマド燃焼部内からの出土にほぼ限られる。底部外面に線刻をもつ土師器皿片・甕片、雁又式の鉄鏃および棒状鉄製品等が出土しており、カマド覆土１・２層中からまとまって出土している。さらに人頭大の角礫も出土している。（時期）出土土器から、10世紀代の所産と考えられる。

SI21（第17・18図）

（位置）第３トレンチＸ１・２Ｙ11・12グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI25と重複しており、本遺構がSI25を掘り込んで構築している。本遺構の約1/3程度が南側および西側調査区外にかかる。（形態・規模等）形態は隅丸長方形を呈すると思われる。規模は東西2.96ｍ、南北は現状で2.86ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、西面セクション断面の観察から、確認面より最大37cmを測る。床面は散在的に堅固な部分が認められる。（柱穴・その他施設）特に検出されていない。（カマド）東壁に付設され、袖部の石組みおよび燃焼部の一部が検出されており、その大半が調査区外にかかる。（出土遺物）遺物はカマド周辺部および竪穴内全体から散在的に出土している。竪穴覆土中層から下層にかけて土師器坏・甕をはじめ、灰釉陶器、須恵器、刀子、鉄滓が出土しており、それらに混じり礫が床面直上レベルから数点出土している。（時期）出土土器などから、10世紀半ば頃の所産と考えられる。

SI22（第18図）

（位置）第３トレンチＸ２・３Ｙ12グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI25と重複しており、本遺構がSI25に掘り込まれている。本遺構の約1/3～1/4程度が東側調査区外にかかる。（形態・規模等）形態は隅丸長方形を呈すると思われる。規模は東西が現状で2.36ｍ、南北は3.22ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、東面セクション断面の観察から、確認面より最大46cmを測る。床面は散在的に堅固な部分が認められる。炭化材および焼土と炭化物混じりの黒褐色砂質土の範囲が、竪穴中央部分にかけてみられる。（柱穴・その他施設）主に壁際に沿って、柱穴状ピットが11基検出されている。（カマド）検出されていないが、東側調査区際において、焼土化した硬化面の範囲と、カマド構築土の痕跡と思われる白色粘土の範囲が確認されている。おそらく、カマドは東壁に

付設されているものと思われる。（出土遺物）遺物は北壁および南壁壁下から散在的に出土している。土師器坏・甕片をはじめ、土錘や棒状、鉄滓、砥石等も出土している。（時期）出土土器などから、９世紀前半代の所産と考えられる。

SI23（第19・20図）

（位置）第３トレンチＸ４・５Ｙ10・11グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI24・32、SD30と重複している。本遺構がいずれの遺構を掘り込んで構築している。本遺構の南西隅付近が調査区外にかかる。（形態・規模等）形態は隅丸方形を呈すると思われる。規模は東西3.82ｍ、南北3.26ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、確認面より最大56㎝を測る。床面は貼床で、散在的に堅固な部分が認められるが、やや不明瞭。（柱穴・その他施設）特に検出されていないが、貼床下部からは、土坑・ピット状の浅い掘りかたが数基検出されている。（カマド）カマドは２基併設する。東壁の南東隅コーナー近く付設されるもの《カマド１》と、北東隅に付設されるもの《カマド２》がある。当初、両カマドは時間差を有するものと思われたが、竪穴全体の埋土の状況から、両カマドは同時併存していた可能性が高い。両カマドともに故意に破壊された状況がうかがえる。カマド１は、袖部の石組みの一部が残存しているが、カマド２は残存していない。しかしカマド掘りかたから、袖石の抜き取り痕と思われるピットが検出されているため、石組みを伴っていた可能性が高い両カマドともに、袖部は、石組みと灰黄褐色土と黒褐色土の混合土で構築されていたと思われる。燃焼部下部と煙道部にかけて、焼土化がともに顕著であり、遺物の出土状況も酷似している。（出土遺物）遺物の出土量は多い。土師器坏・皿・甕・羽釜、ロクロ整形土師器小型甕、灰釉陶器椀・壺等豊富である。遺物は、両カマド内およびその周辺部から集中的に出土している。カマド１・２からはともに土師器羽釜が出土し、カマド１の前面部からは灰釉陶器椀が伏せられた状態で出土している。さらにカマド１北側脇からは、全長約20㎝を測る、やや大振りな鉄製刀子が出土している。（時期）出土土器などから、10世紀前半代の所産と考えられる。

SI24（第19・20図）

（位置）第３トレンチＸ５Ｙ10・11グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI23・29・32と重複しており、本遺構がSI29・32を掘り込み、SI23に掘り込まれている。現代の撹乱坑が竪穴西側の一部に及んでいる他、本遺構の北側の約1/4程度が北側調査区外にかかる。（形態・規模等）形態は隅丸方形を呈すると思われる。規模は東西3.88ｍ、南北は現状で3.02ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は東壁から南壁の一部の壁下で検出されている。竪穴部の深さは、北面セクション断面の観察から、確認面より最大68㎝を測る。床面は貼床で、散在的に堅固な部分が認められる。（柱穴・その他施設）竪穴内において柱穴状ピットは検出されていないが、本遺構周辺で検出されているSK84～87・90・91は、埋土状況および位置等から考え、本建物跡の竪穴壁外柱穴の可能性がある。（カマド）焼土・炭化物・灰褐色粘質土等を覆土にもつ楕円形を呈する掘りかたが、北側調査区際において検出されている。覆土および位置的状況から、カマドの痕跡とみてよかろう。（出土遺物）遺物は撹乱部分を除いて、竪穴内のほぼ全域にわたって散在的に出土している。出土量はさほど多くはないが、土師器坏・甕片をはじめ、内面に磨痕がみられる須恵器甕片などが出土している。（時期）出土土器などから、９世紀前半代の所産と考えられる。

SI25（第17・18図）

（位置）第３トレンチＸ２Ｙ11・12グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI21と重複している。本遺構がSI21に掘り込まれており、その大半が欠失している。（形態・規模等）形態は不明。規模は東西2.90ｍ、南北は現状で0.74ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、確認面より最大16㎝を測る。床面は散在的に堅固な部分が認められる。（柱穴・その他施設）特に検出されていない。（カマド）北壁に付設されている。袖部は灰黄褐色土と石組で構築されており、天井部は破壊されている。袖部内側は焼土化が顕著であり、土師器坏および羽釜片が燃焼部覆土中層から主に出土している。（出土遺物）遺物は前述したとおりカマド内から主に出土している。（時期）出土土器などから、10世紀前半から半ば頃の所産と考えられる。

SI26（第21図）

（位置）第３トレンチＸ４・５Ｙ８・９グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI27、SK94・95、SD31と重複している。本遺構がSD31の上部に構築し、SI27、SK94・95に掘り込まれている。現代の撹乱坑が竪穴西側の一部に及んでいる他、試掘トレンチによって一部欠失し、本遺構の約1/3程度が南側調査区外にかかる。（形態・規模等）形態は隅丸長方形を呈すると思われる。規模は東西3.84ｍ、南北は現状で2.40ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、南面セクション断面の観察から、確認面より最大44㎝を測る。床面は貼床で散在的に堅固な部分が認められる。（柱穴・その他施設）貼床下部からは、土坑・ピット状の浅い掘りかたが数基検出されている。（カマド）東壁に付設され、袖部の石組みの一部が壁面にて検出されており、その大半が調査区外にかかる。（出土遺物）遺物はカマド周辺部において袖石状の礫が散在し、それらに伴って焼土範囲が確認されている。遺物は土師器坏・皿・蓋・甕・羽釜、灰釉陶器壺等が、竪穴覆土上層から中層から下層にかけて主に出土している。（時期）

出土土器などから、９世紀末～10世紀初頭頃の所産と考えられる。

SI27（第22図）

（位置）第３トレンチＸ５Ｙ９・10グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI26・28・34、SK92、SD29・31と重複している。SI34が本遺構を掘り込んでいる他は、本遺構がその他の遺構を掘り込んで構築していると思われるが、SK92とのあいだに新旧関係があるかどうかは不明である。また、現代の撹乱坑が竪穴北東側で一部及んでいる他、試掘トレンチによって1/2以上一部欠失、本遺構北側の一部が北側調査区外にかかる。（形態・規模等）形態はいびつな隅丸長方形を呈すると思われる。規模は東西4.36ｍ、南北方向は不明。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、北面セクション断面の観察から、確認面より最大64cmを測る。床面は全体的にやや不明瞭。（柱穴・その他施設）SK88・89は本遺構に伴うと思われる小ピットで、覆土には多量の焼土が混入しているが、その性格については不明。（カマド）覆土に多量の焼土ブロックと炭化物を含んだSK92とした浅い土坑状の掘りかたが、その可能性の一つとして考えられる。試掘トレンチよって床面が分断され、竪穴床面との連続性が捉えられないが、竪穴南西隅にあたるという位置的な状況からみて、本遺構のカマドであることは充分考えられる。（出土遺物）出土遺物は極めて少なく、北壁北西隅付近から土師質土器小皿片等がわずかに出土しているのみ。（時期）出土土器などから、11世紀末～12世紀初頭頃の所産と考えられる。

SI28（第23図）

（位置）第３トレンチＸ４・５Ｙ９・10グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI27、SK92、SD29と重複している。本遺構がすべての遺構に掘り込まれている。また、現代の撹乱坑が竪穴中央部分に及んでいる他、試掘トレンチによってその大半を欠失し、本遺構の約1/4程度が南側調査区外にかかる。（形態・規模等）形態は隅丸方形を呈すると思われる。規模は東西3.12ｍ、南北は現状で2.40ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、南面セクション断面の観察から、確認面より最大40cmを測る。床面は検出された範囲は狭いが、散在的に堅固な部分も認められる。（柱穴・その他施設）特に検出されていない。（カマド）東壁に付設され、その大半が調査区外にかかる。袖部は石組みと白色粘土・黒褐色土混じりの黄褐色砂質土で構築されている。（出土遺物）遺物は主にカマド内およびその周辺部において出土している。土師器坏・甕・、灰釉陶器椀等がみられる。（時期）出土土器などから、10世紀前半～半ば頃の所産と考えられる。

SI29（第19・20図）

（位置）第３トレンチＸ５Y10グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI24と重複している。本遺構がSI24に掘り込まれており、その大半が欠失している。（形態・規模等）形態・規模ともに不明。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、北面セクション断面の観察から、確認面より最大34cmを測る。床面は不明瞭。（柱穴・その他施設）検出されていない。（炉・カマド）火処については不明。（出土遺物）特になし。（時期）重複関係から、９世紀前半代以前の所産としかいえない。

SI30（第23・24図）

（位置）第３トレンチＸ４・５Ｙ７・８グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI31、SK126・132～134と重複している。本遺構がすべての遺構を掘り込んで構築している。また、現代の撹乱坑および試掘トレンチが、本遺構東側部分に及んで欠失している他、本遺構南側のほんの一部が南側調査区外にかかる。（形態・規模等）形態は隅丸方形を呈すると思われる。規模は東西2.02ｍ、南北は現状で2.72ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、南面セクション断面の観察から、確認面より最大24cmを測る。床面は貼床で散在的に堅固な部分が認められる。（柱穴・その他施設）特に検出されていない。（カマド）明確な火処は検出されていない。SK126の上面部分で調査当初、焼土の範囲が顕著に認められ、カマドと想定して調査を進めたところ、その掘りかたが土坑状を呈したことからカマドとは認定しなかった。しかしその後の検討によって、焼土はSK126覆土第１層にあたり、その断面形状が皿状を呈することから、SK126覆土第１層部分が、SI30のカマド燃焼部の掘りかたの一部である可能性が考えられる。（出土遺物）遺物はこのK126覆土第１層の焼土範囲周辺部から主に出土している。（時期）出土土器などから、10世紀前半頃の所産と考えられる。

SI31（第23・24図）

（位置）第３トレンチＸ４・５Ｙ７・８グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI30、SK126・132～134と重複している。SI30が本遺構を掘り込んで構築しており、SK126・132～134は本遺構に伴う床下土坑と考えられる。また、現代の撹乱坑および試掘トレンチが、竪穴東部分を分断中央部分に及んで欠失している。（形態・規模等）形態は隅丸長方形を呈し、規模は東西4.06ｍ、南北2.78ｍを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、確認面より最大12cmを測る。床面は貼床で散在的に堅固な部分が認められる。（柱穴・その他施設）前述のとおり、床面下からSK126・132～134とした土坑が検出されている。また遺構番号は付けなかったが、竪穴北東隅でも土坑状の掘りかたが検出されている。（カマド）東壁に付設され、掘りかたのみの検出である。焼土ブロックが各層に混入する程度で、焼土は顕著ではない。掘りかた内から、土師器甕片がわずかに出土している。（出土遺物）

遺物の出土量は少ない。カマド内出土の他、床下土坑のSK132からはやや大型の土錘が1点出土している。（時期）出土土器などから、10世紀前半頃の所産と考えられる。

SI32（第19・20図）

（位置）第3トレンチX4・5Y10・11グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI23・24と重複している。本遺構はSI23・24の下部から検出されたもので、壁の一部が残存する程度で、遺存状況は極めて悪い。（形態・規模等）形態・規模とも不明。（壁・壁溝・床面等）部分的に検出された壁から竪穴部の深さは8cmを測る。（柱穴・その他施設）本遺構に伴うと思われるピット1～3が検出されている。（カマド）明確な火処は検出されていないが、ピット1が覆土の状況、検出位置等から、本遺構のカマドの残骸ではないかと考えられる。（出土遺物）遺物は上層遺構のものと判別しにくい状況にあるが、土師器坏・甕、須恵器壺などが出土している。須恵器壺は底部破片であるが、その形状からいわゆる「壺G」の可能性が高い。（時期）出土土器などから、8世紀末～9世紀前半代の所産と考えられる。

SI33（第24図）

（位置）第3トレンチX5Y2・3グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SK102～104と重複している。いずれも本遺構覆土上部から掘り込んで構築している。また本遺構の西側と南側は、現代の撹乱坑と試掘トレンチによって欠失し、北側は調査区外にかかっており、検出された範囲はごく僅かである。（形態・規模等）形態は不明。規模は東西南北方向ともに現状で、1.88m×1.18mを測る。（壁・壁溝・床面等）壁溝は検出されていない。竪穴部の深さは、北面セクション断面の観察から、確認面より最大28cmを測る。床面は散在的に堅固な部分が認められる。（柱穴・その他施設）本遺構に伴うと思われるピット1が1基検出されている。（炉・カマド）火処と思われる痕跡は検出されていない。（出土遺物）床面上やや浮いたレベルから、ウルシが付着した土師器坏等が出土している。また、覆土上層からは馬歯の一部も出土している。（時期）出土土器から、10世紀前半～半ば頃の所産と考えられる。

SI34（第22図）

（位置）第3トレンチX5Y8・9グリッド内で検出されている。（重複・遺存状況）SI27と重複している。遺構の大半は北側調査区外にかかっており、SI27を掘り込んで構築している。本来の遺構確認面がかなり上方にあり、かつ遺構の掘り込みが浅いこと、そして現在の撹乱坑によってかなり破壊を受けていたことから、表土剥ぎ段階で、遺構の大半を欠失してしまったため、壁面のみの検出となっている。（形態・規模等）形態は不明。規模は東西方向のみ現状で2.76mを測る。（壁・壁溝・床面等）竪穴部の深さは、北面セクション断面の観察から、確認面より最大16cmを測る。（カマド）火処はおそらくカマドだと思われるが、焼土層を含む皿状の掘りかたが、北面セクション断面でで確認できる。このことから東壁側にカマドが付設されていた可能性が高い。（出土遺物）特にない。（時期）SI27との重複関係から、12世紀以降の所産と考えられる。

第1表　東出口遺跡SI（竪穴建物跡）データ一覧表

竪穴番号	挿図番号	位置(Grid)	重　複	平面形態	長軸×短軸(m) (　)＝現存値 [　]＝推定値	竪穴部深さ(m) (　)＝現存値	竪穴部面積(㎡)(カマド含む) (　)＝現存値	主軸方位	カマド・炉位置	時期	備　考
SI1	第5図	X1Y1	SD2	不　明	2.84×(0.94)	0.48	(2.37)	—	東壁	9C前	焼塩土器片出土
SI2	第5図	X1Y1	SI3、SD1	不　明	—	—	—	—	不明	不明	SD1によって大半を欠失している
SI3	第5図	X1Y1	SI2、SD1	不　明	—	—	—	—	不明	不明	SD1によって大半を欠失している
SI4	第5図	X2・3Y1	SI5、SK2～4、SD4	隅丸方形	2.82×[2.96]	0.24	(7.13)	NE92	東壁中央	9C?	SI5覆土上面の一部を掘り込んで構築
SI5	第6図	X3Y1	SI4・6	隅丸長方形	2.96×(2.16)	0.40	(6.94)	NW5	北壁	8C前	焼塩土器片出土
SI6	第7図	X3・4Y1・2	SI5	隅丸方形？	3.14×2.74	0.42	(5.69)	NW99	東壁か	10C前～半	
SI7	第8図	X4・5Y1・2	SI8	隅丸方形？	3.44　×　—	(0.46)	—	NE110	東壁南東隅寄り	10C前～半	
SI8	第8図	X4・5Y1・2	SI7	不　明	3.08×　—	0.22	—	NE110	南東隅壁	10C前～半	
SI9	第9図	X5・6Y1	SI10、SD6	不　明	—	—	—	—	東壁か	不明	SI10の上部に構築
SI10	第9図	X5・6Y1・2	SI9、SD6	隅丸方形？	3.38×3.12	0.34	(7.17)	NW79	南東隅壁	10C前～半	
SI11	第10図	X6・7Y2	SK9・10・23、SD8・12	隅丸長方形	3.52×(2.62)	0.30	(7.83)	NE5	北壁	9C前	
SI12	第11図	X8・9Y1・2	なし	隅丸方形もしくは長方形	5.02×(2.28)	(0.66)	(10.57)	NW81	南東隅壁	10C前～半	
SI13	第11図	X9Y4・5	なし	不　明	4.04×　—	(0.06)	—	NE9	不明	不明	出土遺物ほとんどなし
SI14	第12・13図	X9Y3・4	SI15、SK35・36・37・38	隅丸方形	3.92×　—	0.24	—	NE28	不明	不明	
SI15	第12・13図	X9・10Y4	SI14、SK31・33・34・37・38・39・40	隅丸長方形？	4.30×　—	0.22	—	NE33	不明	古墳時代前期？	

竪穴番号	挿図番号	位置(Grid)	重　複	平面形態	長軸×短軸(m) (　)＝現存値 [　]＝推定値	竪穴部深さ(m) (　)＝現存値	竪穴部面積(㎡)(カマド含む) (　)＝現存値	主軸方位	カマド・炉位置	時期	備　考
SI16	第13図	X9・10Y14	SK50・58・66、SD19	不　明	5.25×—	0.36	—	—	不明	不明	
SI17	第14・15図	X8・9Y14・15	SD24	隅丸長方形	竪穴部 3.54×3.14 棚状施設部幅 1.12～0.40 建物長 (4.40)×(3.50)	0.50	(8.51)	NE105	竪穴部南東壁	9C後～10C初	棚状・テラス状施設あり、竪穴壁外柱穴を伴う可能性あり
SI18	第16図	X4・5Y12	SD30	隅丸長方形	4.84×3.50	0.70	(15.14)	NE93	北壁北東隅寄り	9C前	焼塩土器片出土
SI19	第17図	X5Y12	なし	不　明	—	0.58	—	NE104	東壁か	10C	
SI20	第17図	X2・3Y11	なし	隅丸方形もしくは長方形	(3.88)×(1.52)	0.36	(3.76)	NE106	東壁	10C前～半？	
SI21	第17・18図	X1・2Y11・12	SI25	隅丸方形？	2.96×(2.86)	0.37	(6.00)	NE27	東壁	10C前～半	
SI22	第18図	X2・3Y12	SI25	隅丸長方形？	3.22×(2.36)	0.46	(7.06)	NE100	東壁か	9C前	焼塩土器片出土
SI23	第19・20図	X4・5Y10・11	SI24・32	隅丸方形？	3.82×3.26	0.56	(13.35)	NE104	北東隅壁	10C	焼塩土器片出土
SI24	第19・20図	X5Y10・11	SI23・32	隅丸方形？	3.88×(3.02)	0.68	(10.25)	NE5	北壁	9C前	竪穴壁外柱穴を伴う可能性あり
SI25	第17・18図	X2Y11・12	SI21・22	不　明	2.90×(0.74)	0.16	(1.57)	NE27	北壁	10C前～半	
SI26	第21図	X4・5Y8・9	SI27、SK94・95、SD31	隅丸長方形？	3.84×(2.40)	0.44	(7.81)	NE97	東壁	9C後～10C初	カマドは調査区壁面にて袖石のみ確認
SI27	第22図	X5Y9・10	SI26・28・34、SK92、SD29・31	隅丸長方形？	4.36×—	0.64	—	NW83	不明	11～12C	
SI28	第23図	X4・5Y9・10	SI27、SK92 SD29	隅丸方形	3.12×(2.40)	0.40	(7.77)	NE87	南東隅壁	10C	
SI29	第17・18図	X5Y10	なし	不　明	—	0.34	—	NE1	不明	9C以前	SI24によって大半を欠失しているとともに、調査区外に延びる
SI30	第23・24図	X4・5Y7・8	SI31、SK126・132～134	隅丸長方形	(2.72)×2.02	0.24	(5.24)	NW3	東壁か	10C前～半	焼塩土器片出土
SI31	第23・24図	X4・5Y7・8	SI30、SK126・133・134	隅丸長方形	4.06×2.78	0.12	(11.12)	NW94	東壁南東隅寄り	10C前～半	
SI32	第17・18図	X4・5Y10・11	SI23・24	不　明	—	(0.08)	—	NE7	東壁か	8C末～9C初	SI23・24の下部から検出、壺G片出土
SI33	第24図	X5Y2・3	SK102～104	不　明	(1.18)×(1.18)	0.28	—	NE7	不明	10C後	馬歯出土
SI34	第22図	X5Y8・9	SI27	不　明	(2.76)×—	0.16	—	—	東壁か	11～12C?	調査区壁面にて確認

第２表　東出口遺跡竪穴内ピットデーター覧表

竪穴No.＆ピットNo.	平面形態	長軸×短軸(m) (　)＝現存値	深さ(m)	竪穴No.＆ピットNo.	平面形態	長軸×短軸(m) (　)＝現存値	深さ(m)
SI10 P1	円形	0.24×0.20	0.08	SI22 P7	円形	0.18×0.16	0.07
SI12 P1	隅丸長方形	13.4×0.56	0.11	SI22 P8	円形	0.30×0.26	0.12
SI12 P2	楕円形	1.00×0.66	0.11	SI22 P9	円形	0.24×0.20	0.12
SI16 P1	円形	0.42×(0.32)	—	SI22 P10	円形	0.44×0.40	0.16
SI16 P2	円形	0.26×0.22	0.07	SI22 P11	円形	0.34×0.30	0.30
SI22 P1	円形	0.20×0.18	0.16	SI26 P1	楕円形	0.60×0.40	0.05
SI22 P2	円形	0.14×0.14	0.02	SI26 P2	円形	0.98×0.50	0.12
SI22 P3	円形	0.28×0.24	0.08	SI32 P1	楕円形	0.98×0.62	0.14
SI22 P4	円形	0.22×0.20	0.07	SI32 P2	円形	0.64×0.52	0.1
SI22 P5	円形	0.20×0.18	0.04	SI32 P3	円形？	0.58×(0.36)	0.1
SI22 P6	円形	0.14×0.12	0.03	SI33 P1	円形	0.50×0.42	0.09

第２節　掘立柱建物（ＳＢ）

５ｍ前後という道幅のトレンチ調査であることから、本遺構の検出・認定には困難を伴うだろうと予測していたが、SK 遺構として調査したピット群の中に柱穴掘り方と思われる堆積土の状況をもつピット群の規則的な配列がみられたため、掘立柱建物跡と認定したものである。

SB1（第25図）

第３トレンチＸ４・５Ｙ５・６グリッド内で検出されている。SK117・118・120・122・123・124 とした柱掘りかたから構成される側柱建物である。SK125 や現代の撹乱によって北側梁行（東西方向）の柱掘りかたの一部は欠失している。主軸方向はほぼ正方位で、推定される梁行は３間であり、桁行（南北方向）は２間分検出されているが、南側調査区外にさらに延びている。柱掘りかたの形態は、円形もしくは不正円形を呈し、規模は径50㎝程度を測り、深さは確認面より 15 ～ 35㎝前後を測る。SK122 ～ 124 の覆土断面には、幅 15㎝前後の柱痕が認められる。各柱掘りかたからの出土遺物はなく、基礎固めに関わる痕跡も認められない。所属時期については、出土遺物がなく不明である。ただ、掘りかたの掘り込み層位から、平安時代の所産とみてよかろう。

第３節　土坑・ピット（ＳＫ）

今回の調査では、発掘調査時において確認された土坑とピット類の性格判別を簡略化するため、両者すべてに対して SK №を付して調査にあたった。この中には欠番となったものもあり、SK 遺構として検出された総数は最終的に 132 基である。これら 132 基の中には、先に報告した掘立柱建物跡の柱掘りかたや、竪穴建物跡に伴う竪穴壁外柱穴やカマド掘りかた、床下土坑等にあたるものも含まれている。

ここでは、上記の性格以外の遺構だけを報告しておきたい。その他の遺構についてのデータについては一覧表（第３表）を作成したので、それを参照されたい。

SK21（第26図）

第１トレンチＸ９Ｙ２グリッド内で検出されている。北側調査区外に遺構の一部がかかっている。隅丸長方形を呈し、長軸 2.07 m、短軸 1.54 m、深さ 32㎝を測る。覆土の状況が一括埋土の状況を示し、時期詳細不明の土師質鉢底部破片や陶器類が出土している。中世～近世段階の所産であろう。

SK31（第26図）

第１トレンチＸ９Ｙ４グリッド内で検出されている。SI15 を切って構築されており、形態は長楕円形を呈し、規模は長軸 1.12 m、短軸 0.75 m、深さ 12㎝を測る。北壁から東壁の底面から壁面にかけて、焼土を主体とする褐色砂質土が顕著に堆積しており、底面も赤化している。出土遺物はなく、その性格や時期については不明であるが、何らかの焼成坑である可能性が高い。

SK41（第26図）

第１トレンチＸ９Ｙ３・４グリッド内で検出されている。SI15 を切って構築されており、本遺構北側約 1/2 程度が調査区外にかかる。形態は不正円形を呈すると思われ、規模は長軸 1.82 m、短軸は現状で 0.88 m、深さは北面セクション断面の観察から、確認面より最大 43 ㎝を測る。覆土第１層下面レベルで、人頭大の礫数個、常滑甕片、馬歯などが、ややまとまった状態で出土しており、中世段階における馬の墓壙の可能性が高い。

SK72（第33図）

第３トレンチＸ４Ｙ 12 グリッド内で検出されている。SD27 を切って構築されており、形態は長楕円形を呈し、規模は長軸 0.83 m、短軸 0.62 m、深さ 20㎝を測る。覆土上層には焼土と炭化物の混合土の範囲が認められ、北壁東寄りには焼土が充満した小ピットが耳状に突き出した状態で確認されている。出土遺物はなく、その性格や時期については不明であるが、本遺構も何らかの焼成坑である可能性が高い。

SK100（第27図）

第３トレンチＸ５Ｙ４グリッド内で検出されている。SK99・113 と重複しており、SK99 に掘り込まれ、SK113 を掘り込んで構築している。形態は方形を呈し、規模は長軸 1.19 m、短軸 1.08 m、深さ 46㎝を測る。覆土第１層中には多量の炭化材が混入し、土師質土器皿片も混入している。黄褐色土ブロックと焼土ブロックも多く含んでおり、一括埋め戻しの状況がうかがわれる。炭焼に関わる遺構であろうか。出土した土師質土器は 10 世紀末から 11 世紀前半代と考えられる。

SK113・114（第27図）

第３トレンチＸ４Ｙ４・５グリッド内で検出されている。本両遺構も炭焼に関わる遺構と考えられるものである。SK113 が SK114 を掘り込んで構築し、SK100 に掘り込まれている。SK100 と同じような形態を呈し、SK113 は長軸 1.14 m、短軸 1.03 m、深さ 45㎝を測り、SK114 は長軸 1.04 m、短軸は現状で 0.78 m、深さ 45㎝を測る。覆土は SK100 とは若干異なり、焼土ブロックはほとんど混入せず、炭化材と黄褐色土ブロックのみが顕著に混入している。出土遺物は、SK113 から 10 世紀半ば前後の土師器甕片が数点出土している。

第３表　東出口遺跡SK(土坑・ピット)データー覧表

SK No.	挿図No.	位　置 (Grid)	重　複	形　状 ( )＝推定	長　軸(m) ( )＝推定値 [ ]＝現存値	短　軸(m) ( )＝推定値 [ ]＝現存値	深　さ(m) ( )＝推定値 [ ]＝現存値	出土遺物／備　考
SK１	第29図	X2Y1	SD4	(円形)	0.55	(0.30)	0.45	
SK２	第29図	X2Y1	SI4、SD4	円形	0.45	0.45	0.17	
SK３	第29図	X2Y1	SI4	円形	0.50	0.50	0.08	
SK４	第29図	X2Y1	SI4、SD4	円形	0.60	0.60	0.21	
SK５	第７図	X4Y1	なし	楕円形	0.64	0.52	0.14	土師器甕片、須恵器片
SK６	第７図	X4Y1	なし	円形	0.38	0.34	0.06	
SK７	第26図	X4Y2	なし	円形	0.57	0.55	0.24	須恵器甕片
SK８	第26図	X4Y2	なし	円形	0.47	0.47	0.24	
SK９	第29図	X7Y2	SI11、SK10、SD12	(円形)	0.3	(0.20)	(0.07)	
SK10	第29図	X7Y2	SI1、SK9、SD12	(円形)	0.35	(0.25)	(0.06)	
SK11	第８図	X5Y2	なし	(円形)	0.46	(0.26)	0.32	
SK12	第29図	X6Y1	なし	(楕円形)	(0.50)	0.50	0.17	
SK13	第29図	X6Y1	なし	円形	0.67	0.65	0.18	
SK14	第30図	X7Y1	なし	楕円形	0.42	0.35	0.14	
SK15	第30図	X8Y2	SD10	楕円形	0.50	0.30	0.28	
SK16	第30図	X8Y2	SD11	円形	0.24	0.22	0.07	
SK17	第30図	X8Y2	なし	円形	0.24	0.22	0.04	
SK18	第26図	X8Y2	なし	円形	0.32	0.30	0.14	
SK19	第26図	X8Y2	なし	円形	0.50	0.45	0.20	
SK20	第26図	X8Y2	なし	楕円形	0.76	0.70	0.25	
SK21	第26図	X9Y2	なし	(長方形)	2.07	1.54	0.32	土師１、土師質１
SK22	第30図	X7Y2	なし	楕円形	0.50	0.40	0.27	
SK23	第30図	X7Y2	SI11	(円形)	0.50	(0.25)	0.20	
SK24	第30図	X7Y1	SD12	楕円形	0.50	(0.20)	0.30	
SK25	第30図	X8Y1	なし	円形	0.35	0.30	0.15	
SK26	第26図	X8Y1	なし	(楕円形)	0.46	(0.36)	0.34	
SK27	第26図	X9Y2	なし	楕円形	0.30	0.25	0.19	
SK28	第26図	X9Y2	なし	楕円形	1.14	0.84	0.33	土師質小皿
SK29	第30図	X8Y2	SD14	長方形	0.94	0.60	0.52	
SK30	第31図	X9Y3	なし	円形	0.40	0.38	0.20	
SK31	第26図	X9Y4	SI15、SK40	長楕円形	1.12	0.75	0.12	壁際に焼土・炭化物層堆積
SK32	第26図	X9・10 Y4	なし	(長方形)	(0.60)	0.57	0.15	覆土内に焼土ブロック混入顕著
SK33	第12・13図	X9Y4	SI15	(楕円形)	0.50	0.42	0.07	
SK34	第12・13図	X9Y4	SI15	楕円形	0.80	0.74	0.10	S字口縁甕
SK35	第12・13図	X9Y3・4	SI14	円形	0.38	0.36	0.12	
SK36	第12・13図	X9Y4	SI14	楕円形	0.64	0.54	0.11	
SK37	第12・13図	X9Y4	SI14、SK38	楕円形	0.64	0.50	0.30	
SK38	第12・13図	X9Y4	SI15、SK37・39	円形	0.60	0.60	0.18	
SK39	第12・13図	X9Y4	SI15、SK38	楕円形	0.92	0.76	0.07	古墳時代壺片
SK40	第12・13図	X9Y4	SI15、SK31	楕円形	1.42	1.08	0.13	古墳時代壺片
SK41	第26図	X9Y3・4	なし	不正円形	1.82	(0.88)	0.43	馬歯、土師器片、常滑陶器片
SK42	第31図	X9Y5	なし	円形	0.34	0.34	0.13	S字口縁甕
SK43	第31図	X9Y5	なし	楕円形	0.5	0.44	—	
SK44	第31図	X9Y5	SD15	楕円形	1.02	0.94	0.17	灰釉陶器
SK45	第32図	X9Y14	なし	円形	0.3	0.3	0.12	
SK46	第32図	X9Y14	なし	円形	0.35	0.32	0.13	
SK47	第32図	X9Y14	なし	円形	0.34	0.32	0.13	
SK48	第32図	X9Y14	なし	円形	0.44	0.4	0.08	
SK49	第32図	X9Y14	SD19	(楕円形)	0.34	(0.26)	0.14	
SK50	第13図	X9Y14	SI16	円形	0.42	0.38	0.27	
SK51	第32図	X9Y14	SK52	(円形)	0.2	0.18	0.08	
SK52	第32図	X9Y14	SK51	円形	0.24	0.22	0.06	
SK53	第14・15図	X9Y14	SK54	円形	0.36	0.32	0.05	SI17の竪穴壁外柱穴の可能性あり
SK54	第14・15図	X9Y14	SK53	円形	0.22	0.22	0.06	SI18の竪穴壁外柱穴の可能性あり
SK55	欠　番	—	—	—	—	—	—	
SK56	第32図	X9Y14	なし	円形	0.2	0.16	0.06	
SK57	第32図	X9Y14	なし	円形	0.5	0.46	0.1	
SK58	第13図	X9Y14	SI16	円形	0.3	0.26	0.07	
SK59	第32図	X9Y14	なし	楕円形	0.32	0.22	0.1	
SK60	第14・15図	X9Y14	なし	円形	0.22	0.2	0.09	SI17の竪穴壁外柱穴の可能性あり
SK61	第32図	X9Y14	なし	円形	0.26	0.26	0.12	
SK62	第32図	X9Y14	なし	円形	0.24	0.22	0.07	
SK63	第32図	X10Y14	なし	円形	0.2	0.2	0.06	
SK64	第32図	X9・10Y14	なし	楕円形	0.3	0.2	0.1	
SK65	第32図	X10Y14	SK67、SD20	楕円形	0.65	0.57	0.08	
SK66	第13図	X10Y14	SI16	(方形)	(0.68)	0.68	0.06	
SK67	第32図	X10Y14	SK65	(楕円形)	0.63	0.45	0.09	
SK68	第32図	X10Y14	なし	円形	0.28	0.25	0.05	
SK69	第33図	X5・6Y14	なし	円形	0.65	0.6	0.05	

SK No.	挿図No.	位　置 (Grid)	重　複	形　状 ( )＝推定	長　軸(m) ( )＝推定値 [ ]＝現存値	短　軸(m) ( )＝推定値 [ ]＝現存値	深　さ(m) ( )＝推定値 [ ]＝現存値	出土遺物／備　考
SK70	第33図	X5Y13	なし	楕円形	1.5	1.1	0.14	
SK71	第14・15図	X8Y15	なし	円形	0.46	0.46	0.1	SI17の竪穴壁外柱穴の可能性あり
SK72	第33・34図	X4Y12	SD27	長楕円形	0.83	0.62	0.2	覆土内に炭化物及び焼土ブロック混入顕著
SK73	第33・34図	X4Y11	なし	円形	0.3	0.25	0.22	
SK74	第33・34図	X4Y11	SD27	円形	0.42	0.38	(0.33)	須恵器片
SK75	第33・34図	X4Y12	SD27	円形	0.25	0.25	(0.24)	土師器甕片
SK76	第33・34図	X3・4Y12	SD27	円形	0.26	0.25	0.19	
SK77	第33・34図	X3Y12	SD27	円形	0.3	0.27	0.19	
SK78	第33・34図	X3Y12	SD27	円形	0.2	0.18	0.1	
SK79	第33・34図	X3Y12	SD27	円形	0.24	0.2	0.11	
SK80	第33・34図	X3Y12	SD27	円形	0.15	0.15	0.07	
SK81	第33・34図	X4Y12	なし	円形	0.3	0.3	0.22	
SK82	第33・34図	X4Y12	なし	楕円形	0.35	0.25	0.24	
SK83	第33・34図	X4Y12	SD28	円形	0.2	0.2	(0.10)	
SK84	第19図	X5Y11	なし	円形	0.26	0.22	0.1	SI24の竪穴壁外柱穴の可能性あり
SK85	第19図	X5Y11	なし	円形	0.2	0.16	0.1	SI24の竪穴壁外柱穴の可能性あり
SK86	第19図	X5Y11	SK87	(楕円形)	[0.32]	0.22	0.12	SI24の竪穴壁外柱穴の可能性あり
SK87	第19図	X5Y11	SK86	楕円形	0.32	0.26	0.12	SI24の竪穴壁外柱穴の可能性あり
SK88	第22図	X5Y9	SI27	円形	0.26	0.22	0.07	焼土ピット
SK89	第22図	X5Y9	SI27、SD31	円形	0.16	0.13	0.06	焼土ピット
SK90	第19図	X5Y10	なし	円形	0.24	0.24	0.09	SI24の竪穴壁外柱穴の可能性あり
SK91	第19図	X5Y10	なし	円形	0.26	0.26	0.05	SI24の竪穴壁外柱穴の可能性あり
SK92	第22図	X5Y9	SI27・28、SD29・31	(楕円形)	0.84	(0.64)	(0.15)	粘土塊、覆土に焼土ブロック・炭化物混入顕著、SI27のカマドの可能性あり
SK93	欠　番	—	—	—	—	—	—	
SK94	第22図	X5Y9	SI26、SD31	(楕円形)	0.4	(0.32)	0.25	土師器坏・甕片
SK95	第22図	X5Y9	SI26	(円形)	0.44	(0.28)	(0.17)	
SK96	第27図	X4Y3	SK97	楕円形	(1.23)	1.08	0.53	灰釉陶器片
SK97	第27図	X4Y3	SK96	(円形)	(0.89)	(0.33)	0.5	
SK98	第27図	X4Y2	なし	楕円形	1.02	0.9	0.12	土師器坏
SK99	第27図	X5Y4	なし	楕円形	0.9	0.81	0.15	土師器、須恵器
SK100	第27図	X5Y4	SK113	方形	1.19	(1.08)	0.46	土師質土器、焼塩土器小片、覆土内に炭化材及び焼土ブロック多量混入、炭焼遺構か
SK101	第23図	X5Y10	なし	円形	0.42	0.38	0.14	
SK102	第24図	X5Y2	SI33	(円形)	(0.48)	(0.32)	0.11	
SK103	第24図	X5Y3	SI33	円形	0.24	0.24	0.06	
SK104	第24図	X5Y3	SI33	円形	0.3	0.28	0.06	SI33覆土を掘り込んで構築
SK105	第27図	X5Y3	なし	(楕円形)	0.79	(0.50)	0.19	
SK106	第27図	X5Y3	なし	(楕円形)	0.48	(0.17)	0.2	
SK107	第27図	X5Y3	なし	円形	0.27	0.27	0.1	
SK108	第27図	X5Y3	なし	円形	0.3	0.29	0.06	
SK109	第27図	X5Y4	なし	円形	0.24	0.22	0.09	
SK110	第27図	X5Y3	なし	(長方形)	(0.53)	(0.20)	0.71	
SK111	第28図	X5Y3	SK112	(楕円形)	1.03	(0.67)	0.45	須恵器片
SK112	第28図	X5Y4	SK111	(楕円形)	0.81	(0.59)	0.14	
SK113	第27図	X4Y4	SK100・114	(方形)	1.14	1.03	0.45	土師器甕片、覆土内に炭化材及び焼土ブロック混入
SK114	第27図	X4Y4・5	SK113	(方形)	1.04	(0.78)	0.45	
SK115	第28図	X5Y4	なし	(円形)	0.25	(0.13)	0.35	
SK116	第28図	X5Y4	なし	(楕円形)	0.32	(0.16)	0.28	
SK117	第25図	X5Y5X	なし	(円形)	0.5	(0.32)	0.32	SB 1柱掘りかた
SK118	第25図	X5Y5	なし	(円形)	0.52	(0.22)	0.36	SB 1柱掘りかた
SK119	第28図	X5Y5	なし	円形	0.3	0.28	0.15	
SK120	第25図	X5Y5	なし	楕円形	0.56	0.5	0.33	焼塩土器小片、SB 1柱掘りかた、
SK121	第28図	X4Y4	なし	(円形)	1.12	(0.87)	0.14	
SK122	第25図	X4Y5	なし	円形	0.52	0.5	0.19	SB 1柱掘りかた
SK123	第25図	X4Y6	なし	円形	0.5	0.48	0.15	SB 1柱掘りかた
SK124	第25図	X5Y6	なし	円形	0.5	0.48	0.22	SB 1柱掘りかた
SK125	第25図	X5Y5	なし	(方形)	1.3	(0.96)	0.84	
SK126	第23・24図	X4・5Y7・8	SI30・31、SK132	(楕円形)	0.92	0.84	0.27	SI131の床下土坑
SK127	第35図	X4・5Y6	SD32	方形	1.12	0.76	0.58	土師器甕片
SK128	第28図	X5Y7	なし	円形	0.43	0.42	0.1	
SK129	第28図	X5Y6	SK130	(楕円形)	0.64	[0.50]	0.11	
SK130	第28図	X5Y6	SK129	(楕円形)	[0.63]	0.46	0.14	
SK131	第28図	X4・5Y6・7	なし	楕円形	0.93	0.75	0.13	
SK132	第23・24図	X5Y7	SI30・31、SK126	(楕円形)	(0.84)	(0.74)	0.24	土錘、焼塩土器小片、SI131の床下土坑
SK133	第23・24図	X5Y7	SI30・31、SK134	(楕円形)	[0.84]	0.64	0.23	SI131の床下土坑
SK134	第23・24図	X5Y7	SI30・31、SK132・133	(楕円形)	1.24	[1.12]	0.35	土師器・須恵器、SI131の床下土坑

第４節　溝（ＳＤ）

溝跡および溝状遺構とされるSD遺構は、総計32条検出されている。セクション断面観察から、本遺跡では平安時代以降の洪水に伴う砂礫層と、古墳時代以前と思われる洪水に伴う砂礫層の存在が確認されているが、その掘り込み層位から、溝状遺構の年代は大きく二時期（上層・下層）に分けることができる。

奈良・平安時代の建物遺構と同一面もしくは、それを掘り込んでいる上層検出のものは、SD １・３・４・５・９・11・13・14・15・17・19・21・24・29・30・31 ？である。奈良・平安時代の建物遺構下部、古墳時代以前と思われる層位から検出されたもの（下層）のものは、SD ２・６・７・８・10・16・18・22・23・25・26・27・32である。

上層検出における溝状遺構は、その形態や規模、検出状況等から、畑に伴う畝状遺構状的な溝や、区画等に伴うものが中心だと思われる。その一方、下層検出における溝状遺構の多くは、地形の傾斜に沿って流下する自然流路的性格をもつものがほとんどであり、当該期の地形条件を色濃く反映しているものと思われる。

出土遺物は、上層・下層検出の各遺構ともに概して少なく、単一時期の遺物が比較的まとまって出土しているのは、下層検出のSD16のみで、古墳時代前期段階の土師器高坏・壺・甕片が出土している。

第５節　遺構外出土遺物

ここでは、Ｘ９Ｙ２グリッド内において出土している銭貨について主に報告する。銭貨は計７枚出土している（第61図18～24）。その内の６枚（第61図18～20、22～24）が同グリッド内から南西から北東方向約１ｍの幅で一直線状に出土している（第35図参照）。銭名は、「天聖元寶」「治平通寶」「元豊通寶」「政和通寶」「永楽通寶」の北宋銭・明銭である。

これら銭貨が、土坑やピットに伴う可能性が考えられたため、精査をおこない遺構の確認に努めたが確認できず、遺構外出土遺物として取り扱っている。しかしながら出土レベルがほぼ同一であり、しかもそれぞれが近接して、一直線状に６枚並んで出土していることから、いわゆる「六道銭」とも捉えることもできる。本来は墓壙に埋納された銭貨ではないかと推測している。銭貨は伝世する性格をもつため、その使用された時期の詳細については不明であるが、銭貨出土地点の周辺には、SK21等の中世～近世段階に伴うと思われる土坑が数基存在している。

第６節　その他の土器

ここでは、その他の土器として、古代の製塩に関わる土器資料を取りあげた（以下、「焼塩土器」とする。第61図参照）。

山梨県内における焼塩土器資料の事例を正式に報告するのは山梨県の考古学史上、今回が初めてである。その発見の経緯については後述するが、まず、土器資料の特徴を述べておきたい。

①砂粒を多く含む土師質土器。②細片状のものがほとんど。③文様はなく、口縁部の内外面に若干のハケメ状調整はみられるものの、内外面調整はほとんどみられない。④外面に粘土紐接合痕を残していない手づくね状。⑤二次焼成を受け、器面が赤化もしはは灰色化し、荒れたりしているものもみられる。

これら五点が大きな特徴であり、山梨県内の在地産土師器などとは明らかに異なる、異質な土器である。

今回、すべての出土土器資料から、抽出・掲載できた資料数は計25点である。いずれも細片ばかりで全形が把握できないが、長胴丸底の器形になろうか。器厚は２～３㎜ほどで概して薄手であり、手づくね成形。口縁部の形態は、内外に屈曲・湾曲・直立するものなどさまざまでそのは内外面に横位・斜位ハケメ痕跡を残すものがある。大方は指頭調整やナデ調整のみ。土器胎土には砂粒を多く含み、あきらかに地元土器の様相とは異なっている。色調は明黄褐色や浅黄橙色等を呈する。

出土遺構は、SI １・５・22・23・30、SK100・120・132、SD27であり、８世紀前半から10世紀代にわたる竪穴建物跡の覆土内からの出土である。遺構外出土資料もこれら遺構が存在する周辺から出土している。

第４表　東出口遺跡出土土器観察表

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
SI１	第36図	1	土師器	甕	(17.8)頸部径・(23.6)最大胴径・—	頸部～胴部	ハケメ・ナデ	ハケメ・ナデ・指頭痕	赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	カマド出土、摩滅やや顕著
SI４	第36図	1	土師器	坏	— ・(6.0)・ —	体部～底部	ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ・暗文	明赤褐色	密(白・黒・赤色粒子)	内面黒色化、摩滅やや顕著
SI４	第36図	2	須恵質	擂鉢	— ・(14.0)・ —	胴部～底部	ナデ、底部ナデ	ナデ	灰白色	密(白・黒色粒子)	8本一単位の沈線が胴部～底部内面にかけてみられる、外面スス状ヨゴレやや顕著
SI５	第36図	1	土師器	皿か	(12.6)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	橙色	やや粗(赤・白・黒色粒子、金色雲母多、砂粒)	口唇部内面やや変色、外面に工具痕
SI５	第36図	2	土師器	坏	— ・(7.0)・ —	体部～底部	ロクロナデ、底部回転糸切り	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒色粒子)	内外面とも摩滅顕著
SI５	第36図	3	須恵器	坏	(12.2)・ — ・ —	口縁～底部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰色	密(白・黒色粒子)	内外面とも摩滅あまりみられず
SI５	第36図	4	土師器	甕	(20.6)・ — ・ —	口縁～胴部	口頸部ハケ状工具によるナデ、胴部ナデ	口頸部ハケ状工具によるナデ、胴部ナデ	橙色	粗(黒・白・赤色粒子、金色雲母多)	内外面とも摩滅やや顕著
SI５	第37図	5	土師器	甕	— ・(7.0)・ —	胴部～底部	ナデ、底部木葉痕	ナデ	橙色	やや粗(白・赤・黒色粒子)	内面の摩滅顕著
SI５	第37図	6	土師器	甕	— ・(8.6)・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ、指頭痕	明赤褐色	やや粗(黒・白・赤色粒子、金色雲母)	破片一部カマド出土、内面の摩滅やや顕著
SI５	第37図	7	灰釉陶器	壺	(23.0)・ — ・ —	口縁部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	密(白・黒色粒子)	内外面とも摩滅やや顕著
SI５	第37図	8	灰釉陶器	壺	— ・ — ・ —	肩部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	密(黒・白色粒子)	外面スス状ヨゴレ顕著
SI６	第37図	1	土師器	坏	12.6 ・ 3.8 ・ 3.9	ほぼ完形	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	明赤褐色	やや粗(赤・白・黒色粒子)	胎土はマーブル状、内外面とも摩滅顕著
SI６	第37図	2	土師器	坏	(11.8)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(白・黒・赤色粒子)	内外面とも摩滅あまりみられず
SI６	第37図	3	土師器	坏	(14.4)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ、黒色処理、ミガキ	橙色	密(赤・黒色粒子)	内面黒色化、摩滅やや顕著
SI６	第37図	4	土師器	坏	— ・(5.0)・ —	体部～底部	ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内外面とも摩滅やや顕著
SI６	第37図	5	土師器	坏	— ・ 5.6 ・ —	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	やや粗(赤・白・黒色粒子)	胎土はマーブル状、内外面とも摩滅顕著で内面はアバタ状に荒れている
SI６	第37図	6	須恵器	坏	(12.8)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰色	密(白・黒色粒子)	内面の摩滅顕著
SI６	第37図	7	須恵器	坏	— ・(7.4)・ —	底部	ロクロナデ、底部回転糸切り	ロクロナデ	灰色	密(白・黒色粒子、砂粒)	内外面に火襷痕
SI６	第37図	8	灰釉陶器	椀	(12.6)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	黄灰色	やや粗(白・黒色粒子)	内外面とも摩滅やや顕著
SI６	第37図	9	灰釉陶器	皿か	(16.86)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	黄灰色	密(白・黒色粒子)	内外面とも摩滅あまりみられず
SI６	第37図	10	灰釉陶器	椀か	— ・(6.6)・ —	体部～高台部	ロクロナデ、底部ロクロナデ、付高台	ロクロナデ	灰白色	密(白・黒色粒子)	外面の摩滅やや顕著
SI６	第37図	11	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ	ナデ、指頭痕	にぶい褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面とも摩滅顕著
SI６	第37図	12	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ、当て具痕	灰白色	密(黒・白色粒子)	内外面とも摩滅やや顕著
SI７	第37図	1	土師器	坏	(11.6)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	にぶい黄褐色	密(赤・白色粒子)	内面油煙付着顕著、外面もスス状ヨゴレ顕著
SI７	第37図	2	土師器	坏	(12.8)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	口唇部内面の一部に油煙状ヨゴレ、体部内面に線刻あり
SI７	第37図	3	土師器	皿	(13.4)・(5.6)・ 2.5	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	明赤褐色	密(白・黒・赤色粒子)	口唇部内面に油煙付着、外面スス状ヨゴレ顕著
SI７	第37図	4	土師器	皿	(13.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒色粒子)	内外面とも摩滅顕著
SI７	第37図	5	土師器	坏	— ・(4.4)・ —	体部～底部	ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	にぶい橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内面ｳﾙｼ状付着物顕著
SI７	第38図	6	土師器	坏	— ・ 4.4 ・ —	体部～底部	ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内面の摩滅やや顕著
SI７	第38図	7	土師器	皿か	— ・(5.4)・ —	体部～底部	ロクロナデ、底部回転糸切り	ロクロナデ	橙色	密(赤・白・黒色粒子、雲母)	内外面摩滅やや顕著、二次焼成をうけた痕跡あり
SI７	第38図	8	土師器	甕	(26.2)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ	明赤褐色	やや粗(白・赤・黒色粒子、金色雲母)	内面ヨゴレ顕著
SI７	第38図	9	土師器	甕	(27.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ	明赤褐色	やや粗(黒・白・赤色粒子)	内面ヨゴレ顕著
SI７	第38図	10	土師器	甕	(27.0)・ — ・ —	口縁～胴部	回転ナデ、ハケメ	ハケメ	赤褐色	密(白・赤・黒色粒子、金色雲母)	内外面とも摩滅はほとんどみられないが、内面のヨゴレは顕著
SI７	第38図	11	土師器	甕	(27.8)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ	赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母、砂粒)	内外面の摩滅顕著
SI７	第38図	12	土師器	甕	(29.0)・ — ・ —	口縁～胴部	回転ナデ、ハケメ	ナデ、ハケメ	明赤褐色	やや粗(黒・白・赤色粒子、金色雲母)	内面摩滅・ヨゴレ顕著

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
SI7	第38図	13	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ナデ、ハケメ	ナデ、ハケメ	明赤褐色	やや粗(黒・白・赤色粒子、金色雲母)	内面の摩滅顕著
SI7	第38図	14	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ	ハケメ	褐色	密(白・黒色粒子、金色雲母)	外面の摩滅やや顕著
SI7	第39図	15	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ	ハケメ	明赤褐色	やや粗(黒・白・赤色粒子)	外面の摩滅やや顕著
SI7	第39図	16	土師器	小型甕	(13.6)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母、砂粒)	内面の摩滅やや顕著
SI7	第39図	17	土師器	羽釜	(24.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ナデ、ハケメ	明赤褐色	やや密(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅はあまりみられず
SI7	第39図	18	土師器	羽釜	(30.0)最大鍔径・ — ・ —	鍔部	ナデ	ナデ、ハケメ	橙色	やや密(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内面の摩滅やや顕著
SI7	第39図	19	土師器	置きカマド	— ・ — ・ —	口縁部	ナデ、ハケメ	ハケメ	明赤褐色	やや粗(黒・白色粒子、金色雲母)	
SI7	第39図	20	須恵器	置きカマド	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ	ハケメ	明赤褐色	粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母、小礫)	空気孔あり、内外面の摩滅・ヨゴレやや顕著
SI7	第39図	21	須恵器	置きカマド	— ・ — ・ —	炊き口部	ナデ、ハケメ	ハケメ	明赤褐色	やや粗(白・黒色粒子、金色雲母)	内外面とも摩滅やや顕著
SI7	第39図	22	須恵器	壺	— ・最大胴径(23.0)・ —	胴部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	やや粗(白・黒色粒子)	外面に自然釉
SI7	第39図	23	須恵器	壺	— ・ — ・ —	肩部	タタキ	ナデ	黄灰色	密(白・黒色粒子)	内外面とも摩滅やや顕著
SI7	第39図	24	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ	外：灰赤色 内：灰白色	密(黒・白色粒子)	内面摩滅やや顕著
SI7	第40図	25	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ、当て具痕	灰色	密(白・黒色粒子)	内外面とも摩滅やや顕著
SI8	第40図	1	土師器	坏か	— ・ (5.0)・ —	体部～底部	ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	やや粗(白・赤・黒色粒子)	カマド出土、内外面摩滅やや顕著
SI8	第40図	2	土師器	坏	— ・ (4.0)・ —	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	にぶい橙色	密(白・赤・黒色粒子)	カマド出土、内面黒色化
SI8	第40図	3	土師器	坏	— ・ (5.0)・ —	体部～底部	ロクロナデ、底部回転糸切り、線刻	ロクロナデ	浅黄橙色	密(黒・赤色粒子)	内外面とも摩滅顕著
SI8	第40図	4	土師器	甕	— ・ 9.4 ・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ、指頭痕	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	内外面の荒れ・摩滅顕著、底部外面木葉痕の他種子状・枝状圧痕あり
SI8	第40図	5	土師器	甕	— ・ 9.0 ・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ナデ、ハケメ	橙色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母・小礫)	内外面の荒れ・摩滅やや顕著、底部外面木葉痕の他、種子状・植物繊維状圧痕あり
SI8	第40図	6	土師器	小型甕	(11.6)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ、指頭痕	明赤褐色	やや粗(黒・白・赤色粒子、雲母・小礫)	カマド出土、内外面の摩滅やや顕著、内面全体が黒変
SI8	第40図	7	土師器	小型甕	(15.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ、指頭痕	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母・小礫)	内面摩滅・ヨゴレやや顕著
SI8	第40図	8	土師器	小型甕	(16.4)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ	明赤褐色	密(白・黒色粒子、金色雲母、砂粒)	外面の摩滅やや顕著
SI8	第40図	9	土師器	置きカマド	— ・ — ・ —	底部	ハケメ	ナデ、ハケメ	明赤褐色	やや粗(黒・白色粒子、金色雲母、小石)	内外面とも摩滅やや顕著
SI10	第41図	1	土師器	坏	(16.2)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	明赤褐色	やや粗(赤・白・黒色粒子)	カマド出土、内外面とも摩滅やや顕著、一部破片二次焼成をうけ変色
SI10	第41図	2	土師器	皿	12.8 ・ 4.0 ・ 2.75	ほぼ完形	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り	ロクロナデ	橙色	密(白・赤・黒色粒子、金色雲母)	カマド出土、内外面の摩滅はあまり顕著ではないが、スス状付着物は顕著
SI10	第41図	3	土師器	甕	(30.6)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ナデ、ハケメ、指頭痕	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	カマド出土、胴部下半外面の摩滅やや顕著
SI10	第41図	4	土師器	甕	(31.0)・(29.4)最大胴径・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ナデ、ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	カマド出土、外面摩滅やや顕著、4・5・6番は同一個体の可能性大
SI10	第41図	5	土師器	甕	— ・(28.2)最大胴径・ —	胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母、小石)	カマド出土、外面摩滅やや顕著
SI10	第41図	6	土師器	甕	— ・(10.0)・ —	胴部～底部	ナデ、ハケメ	ハケメ	赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	カマド出土、外面の摩滅顕著
SI10	第41図	7	土師器	小型甕	— ・ 7.6 ・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ、底部ナデ	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母、小礫、小石)	カマド出土、外面摩滅やや顕著、底部内面黒変顕著
SI11	第42図	1	土師器	高台坏	— ・ (6.0)・ —	体部～高台部	ロクロナデ、暗文状ミガキ、底部静止糸切り、回転ヘラケズリ、付高台	ナデ	橙色	密(白・赤・黒色粒子、雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI11	第42図	2	土師器	甕	(23.5)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ、指頭痕	赤褐色	やや粗(黒・白・赤色粒子、金色雲母)	カマド出土、内面スス付着顕著

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
SI11	第42図	3	土師器	甕	(27.2)・ — ・ —	口縁～胴部	ロクロナデ、ハケメ	ハケメ	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	カマド出土、二次焼成をうけ全体的にもろい
SI11	第42図	4	土師器	甕	— ・ 9.0 ・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ、ナデ、指頭痕	明赤褐色	やや粗(黒・白・赤色粒子、金色雲母多)	カマド出土、内外面摩滅やや顕著、底部外面種子状圧痕あり
SI11	第42図	5	土師器	甕	— ・(17.8)最大胴径・ —	肩部～胴部	ロクロナデ	ロクロナデ	外:橙色 内：にぶい黄褐色	やや粗(白色粒子多・赤・黒色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI11	第42図	6	土師器	甕	— ・(17.8)最大胴径・ —	胴部	ロクロナデ	ロクロナデ	外：浅黄橙色 内：灰黄褐色	やや粗(白色粒子多・赤・黒色粒子)	カマド出土、内面の摩滅顕著
SI11	第42図	7	土師器	甕	— ・(17.9)最大胴径・ —	胴部	ロクロナデ	ロクロナデ	外：浅黄橙色 内：灰黄褐色	粗(白色粒子多・赤・黒色粒子)	カマド出土、内面の摩滅顕著
SI11	第42図	8	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ、ナデ	ナデ	灰白色	密(白・黒色粒子)	内外面の摩滅・ヨゴレやや顕著
SI11	第42図	9	古墳か	ﾐﾆﾁｭｱ鉢	(7.2)・ — ・ —	—	ナデ、ケズリ	ナデ	明赤褐色	密(白・赤・黒色粒子)	外面の摩滅やや顕著
SI11	第42図	10	古墳	S字口縁甕	(13.4)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ、ナデ	橙色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母、小礫)	内外面の摩滅顕著
SI12	第43図	1	土師器	坏	12.4 ・ 3.8 ・ 4.15	ほぼ完形	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	明赤褐色	やや密(赤・黒・白色粒子)	内外面スス状ヨゴレ顕著
SI12	第43図	2	土師器	坏	(12.8)・ (5.0)・ 4.0	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	浅黄橙色	密(赤・黒色粒子)	内外面の摩滅・ヨゴレみられず
SI12	第43図	3	土師器	坏	(13.0)・ (4.2)・ 3.8	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内面の摩滅やや顕著
SI12	第43図	4	土師器	坏	(13.0)・ 4.6 ・ 4.2	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	やや粗(赤・白・黒色粒子)	内外面の摩滅・ヨゴレ顕著
SI12	第43図	5	土師器	坏	14.0 ・ 6.0 ・ 4.5	ほぼ完形	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	カメキ状ロクロナデ	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内面二次的に黒色化、外面摩滅・ヨゴレやや顕著
SI12	第43図	6	土師器	坏	(14.0)・ 6.2 ・4.15	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	明赤褐色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面の摩滅はあまりみられず
SI12	第43図	7	土師器	坏	14.0 ・ 5.0 ・4.55	ほぼ完形	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	「く」字状に内外面にかけてスス付着、摩滅痕は顕著でない
SI12	第43図	8	土師器	坏	(12.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	浅黄橙色	やや粗(赤・黒色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI12	第43図	9	土師器	坏	(12.8)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	二次焼成をうけ内外面とも部分的に変色
SI12	第43図	10	土師器	坏	(13.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	明赤褐色	密(赤・黒・白色粒子)	二次焼成をうけ内外面ともヨゴレ・変色やや顕著
SI12	第43図	11	土師器	坏	(14.7)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内面黒色化するが二次的か
SI12	第43図	12	土師器	皿	(12.8)・ (4.4)・1.85	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	明赤褐色	密(赤・白・黒色粒子)	内外面の摩滅顕著
SI12	第43図	13	土師器	皿	12.2 ・ 6.2 ・2.25	ほぼ完形	ロクロナデ	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面とも摩滅やや顕著
SI12	第43図	14	土師器	皿	12.8 ・ 5.8 ・ 2.7	ほぼ完形	ロクロナデ、底部回転糸切り	—	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面の摩滅顕著、体部上半外面スス状ヨゴレ顕著
SI12	第43図	15	土師器	皿	— ・ (5.0)・ —	体部～底部	ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒色粒子)	内外面の摩滅顕著
SI12	第43図	16	灰釉陶器	椀	(14.0)・ 6.2 ・ 3.7	口縁～高台部	ロクロナデ、底部回転ヘラケズリ、付高台	ロクロナデ	灰白色	密(白・黒色粒子)	内面に重焼痕あり、つくりは全体にやや粗雑、内外面の釉は刷毛塗
SI12	第43図	17	灰釉陶器	皿	12.6 ・ 6.0 ・2.75	ほぼ完形	ロクロナデ、底部回転糸切り、回転ナデ、付高台	ロクロナデ	灰白色	密(白・黒色粒子)	内外面の摩滅あまりみられず、釉は刷毛塗
SI12	第43図	18	緑釉陶器	香炉蓋	(9.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	オリーブ灰色	密(白・黒色粒子)	内面やや変色する、外面陰刻文あり
SI12	第43図	19	緑釉陶器	香炉身	— ・ — ・ —	脚部	ロクロナデ、底部ロクロナデ	回転ヘラケズリ	オリーブ灰色	密(白・黒色粒子)	内面やや変色する
SI12	第43図	20	土師器	小型甕	(14.0)・ 7.4 ・12.5	口縁～底部	ロクロナデ、ハケメ、底部木葉痕	ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	破片一部カマド出土、内面スス付着顕著
SI12	第44図	21	土師器	小型甕	(14.4)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(赤・白・黒色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅・荒れ顕著
SI12	第44図	22	土師器	小型甕	(15.2)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅・荒れ顕著
SI12	第44図	23	土師器	甕	— ・ 8.0 ・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ、底部指ナデ	明褐色	粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面とも摩滅顕著、底部外面種子状圧痕もあり
SI12	第44図	24	土師器	甕	— ・ 8.4 ・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕、ヘラ書	ハケメ、底部ナデ	明赤褐色	やや粗(赤・黒・白色粒子、金色雲母)	底部外面ヘラ書「＋」あり、種子状圧痕もあり
SI12	第44図	25	土師器	甕	— ・ — ・ —	口縁部	ハケメ	ハケメ	明赤褐色	粗(白・黒・赤色粒子、小礫)	内外面の摩滅顕著

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
SI12	第44図	26	土師器	置きカマド	— ・(34.0)・ —	底部	ハケメ	ハケメ、指頭痕	橙色	密(白・黒・赤色粒子、雲母、小礫)	内外面の摩滅あまり顕著ではない
SI12	第44図	27	須恵器	甕	(34.2)・ — ・ —	口縁～胴部	ロクロナデ		灰色	密(白・黒・赤色粒子、小礫)	口唇部内面に細い欠けみられる、内外面の摩滅はほとんどみられず
SI12	第44図	28	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ナデ、タタキ	ナデ	外：灰色 内：赤灰色	密(白色粒子)	外面の摩滅やや顕著、内面一部剥落
SI12	第44図	29	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部～底部	タタキ	ナデ、ハケメ	灰色	密(白・黒色粒子、小礫)	底部先端摩滅顕著、底部内面黒ずみヨゴレ顕著
SI12	第44図	30	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ、ハケメ	外：灰色 内：褐灰色	密(白・黒色粒子、雲母)	外面の摩滅やや顕著、内面一部剥離
SI12	第44図	31	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ、ハケメ	外：褐灰色 内：にぶい赤褐色	密(白・黒・赤色粒子)	外面の摩滅やや顕著
SI12	第45図	32	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ、ハケメ	外：灰色 内：赤灰色	密(白・黒色粒子)	外面の摩滅やや顕著
SI12	第45図	33	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ、ハケメ	外：灰色 内：褐灰色	密(白・黒色粒子、小礫)	外面の摩滅やや顕著
SI12	第45図	34	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ、ハケメ	外：黄灰～灰色 内：褐灰色	密(白・赤色粒子少)	外面の摩滅やや顕著
SI12	第45図	35	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ	外：灰褐色 内：灰黄色	やや粗(白・黒色粒子、小礫少)	外面の摩滅・ヨゴレやや顕著
SI12	第45図	36	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ、ハケメ	褐灰色	密(白・赤・黒色粒子)	カマド出土、外面の摩滅やや顕著
SI12	第45図	37	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ	外：灰褐色 内：灰黄色	やや粗(白・黒色粒子、小礫少)	内外面の摩滅あまりみられず
SI12	第45図	38	灰釉陶器	壺	— ・(13.0)・ —	胴部～高台部	ロクロナデ、底部回転ヘラケズリ、付高台	ロクロナデ	灰白色	密(白・黒・赤色粒子)	高台部外縁部の摩滅やや顕著
SI12	第45図	39	古墳	壺	— ・ — ・ —	肩部	ナデ	ナデ、ハケメ	明赤褐色	粗(白・赤・黒色粒子、小礫)	内外面の摩滅やや顕著
SI14	第46図	1	土師器	椀	— ・ — ・ —	体部	ナデ、ヘラケズリ、ミガキ	ナデ、ミガキ	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI14	第46図	2	土師器	直口壺	(16.2)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ、ミガキか	ハケメ、ナデ	明赤褐色	密(白・黒・赤色粒子)	内外面の摩滅顕著
SI14	第46図	3	土師器	壺か	— ・(10.0)・ —	胴部～底部	ナデ	—	明赤褐色	粗(白・黒・赤色粒子)	内外面の摩滅非常に顕著
SI15	第46図	1	土師器	坏	— ・ 5.0 ・ —	体部～底部	ロクロナデ、底部回転糸切りか	ロクロナデ	浅黄橙色	粗(白・黒・赤色粒子)	内外面の摩滅顕著
SI15	第46図	2	土師器	壺	(15.6)・ — ・ —	口辺部	口唇部に刻目、ハケメ、ナデ	ナデ	橙色	密(白・黒・赤色粒子)	内外面の摩滅顕著
SI15	第46図	3	古墳か	甕	— ・(10.0)・ —	胴部～底部	ナデ、底部木葉痕	ナデ	にぶい橙色	粗(白・赤・黒色粒子、雲母)	内外面の摩滅顕著
SI15	第46図	4	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ	灰色	やや粗(白・黒色粒子)	土器融着痕あり
SI17	第46図	1	土師器	坏	11.6 ・ 4.6 ・ 4.1	ほぼ完形	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	やや粗(赤・白・黒色粒子)	内外面摩滅やや顕著
SI17	第46図	2	土師器	坏	(13.2)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	
SI17	第46図	3	土師器	坏	(11.7)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・白・黒色粒子、雲母)	内外面摩滅やや顕著、内面にスス状付着物
SI17	第46図	4	土師器	皿	13.2 ・ 5.6 ・ 2.4	ほぼ完形	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ、暗文	にぶい黄橙色	密(赤・白・黒色粒子、金色雲母)	内外面摩滅やや顕著、つくりやや粗雑、内面に同心円状暗文
SI17	第46図	5	土師器	皿	13.2 ・ 5.6 ・2.45	ほぼ完形	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ、暗文	明赤褐色	密(赤・白・黒色粒子、金色雲母)	内外面摩滅やや顕著、つくりやや粗雑
SI17	第46図	6	土師器	皿	— ・ (6.0)・ —	体部～底部	ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ、暗文	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	
SI17	第46図	7	土師器	皿	— ・ — ・ —	体部	ヘラケズリ、線刻	ロクロナデ、暗文	橙色	密(赤・白色粒子)	内外面とも摩滅顕著、体外線刻
SI17	第46図	8	土師器	坏	— ・ (5.0)・ —	体部～底部	ヘラケズリ、底部回転糸切り、線刻	ロクロナデ、暗文	橙色	密(白・赤・黒色粒子)	内外面とも摩滅顕著、内面一部二次的に黒色化
SI17	第46図	9	土師器	甕	(34.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ、ナデ、指頭痕	明赤褐色	粗(黒・白・赤色粒子、金色雲母、小礫)	内外面とも摩滅やや顕著
SI17	第47図	10	土師器	小型甕	(14.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ、ナデ	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内面の摩滅顕著
SI17	第47図	11	土師器	小型甕	(17.6)・ — ・ —	口縁～胴部	ロクロナデ、ハケメ	ハケメ	明赤褐色	やや粗(黒・白・赤色粒子、金色雲母)	外面の摩滅やや顕著
SI17	第47図	12	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ、ケズリ	灰色	密(白・黒色粒子)	内外面とも摩滅やや顕著

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
SI18	第47図	1	土師器	坏	11.0・ 4.6・4.15	ほぼ完形	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ、線刻	ロクロナデ、暗文	黄橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内外面摩滅やや顕著、二次焼成をうけ器面変色
SI18	第47図	2	土師器	坏	(13.0)・ 6.2・4.25	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ、暗文	にぶい黄橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内外面摩滅やや顕著、口唇部にスス状付着物
SI18	第47図	3	土師器	坏	(10.0)・ —・—	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ、暗文か	橙色	密(赤・黒色粒子)	内外面の摩滅顕著
SI18	第47図	4	土師器	坏	(12.0)・ —・—	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ、暗文	橙色	密(赤・白・黒色粒子、雲母)	内外面の摩滅顕著
SI18	第47図	5	土師器	高台坏	—・ 7.4・—	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転ヘラケズリ、ヘラケズリ、削り出し高台	ロクロナデ、暗文	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内外面の摩滅顕著
SI18	第47図	6	土師器	皿	(14.4)・ —・—	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ、暗文	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	口唇部内外面にスス状付着物
SI18	第47図	7	土師器	皿	(15.0)・(6.6)・2.95	口縁～底部	ロクロナデ、回転ヘラケズリ、底部回転ヘラケズリ、線刻	ロクロナデ、暗文	明赤褐色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面スス状ヨゴレ顕著
SI18	第47図	8	須恵器	坏	—・(8.0)・—	体部～底部	ロクロナデ、底部回転ヘラケズリ	ロクロナデ	灰色	やや密(白・黒・赤色粒子)	内外面に幅広の火襷痕
SI18	第47図	9	土師器	甕	(26.0)・—・—	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ	にぶい橙色	密(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内面摩滅やや顕著
SI18	第48図	10	土師器	甕	(23.6)・—・—	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ、ナデ、指頭痕	橙色	やや粗(黒・白・赤色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅顕著、外面スス付着顕著
SI18	第48図	11	土師器	甕	(25.4)・—・—	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ、ナデ	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI18	第48図	12	土師器	甕	(26.3)・—・—	口縁～胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ、ナデ、指頭痕	明赤褐色	密(黒・白・赤色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅やや顕著、ていねいなつくり
SI18	第48図	13	土師器	甕	—・—・—	胴部	ナデ、ハケメ	ハケメ、指頭痕	赤褐色	密(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内面の摩滅顕著、11と同一個体か
SI18	第48図	14	土師器	甕	—・(7.0)・—	胴部～底部	ナデ、ハケメ、底部ナデ	ハケメ、ナデ	赤褐色	粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面とも摩滅顕著
SI18	第48図	15	土師器	甕	—・(7.0)・—	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ、指頭痕	赤褐色	やや粗(白・黒色粒子、金色雲母)	内外面とも摩滅やや顕著
SI18	第48図	16	土師器	甕	—・(9.0)・—	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内面摩滅やや顕著
SI18	第48図	17	須恵器	甕	—・—・—	頸部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	密(白・黒色粒子・石英)	
SI18	第48図	18	須恵器	甕	—・—・—	胴部	タタキ	ヘラケズリ、ナデ	灰白色	密(白色粒子)	外面摩滅やや顕著
SI18	第48図	19	須恵器	甕	—・—・—	胴部	ナデ	—	灰色	密(白・黒色粒子)	外面摩滅やや顕著
SI19	第48図	1	土師器	坏	(12.5)・(3.4)・4.2	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	やや粗(赤・白・黒色粒子)	内外面とも摩滅顕著で、スス状ヨゴレも顕著
SI19	第48図	2	土師器	坏	—・(4.2)・—	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り	ロクロナデ	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内面の摩滅やや顕著
SI20	第49図	1	土師器	皿	—・(4.2)・—	体部～底部	ヘラケズリ、底部ヘラケズリ、線刻	ロクロナデ、暗文	にぶい橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI20	第49図	2	土師器	甕	—・—・—	胴部	ハケメ	ナデ、ハケメ	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI21	第49図	1	土師器	坏	(12.6)・ 4.4・4.0	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子)	内外面スス状ヨゴレ・摩滅顕著
SI21	第49図	2	土師器	坏	(14.7)・(7.0)・4.8	口縁～底部	ロクロナデ、底部回転糸切り	ロクロナデ	浅黄橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面の摩滅非常に顕著
SI21	第49図	3	土師器	坏	(12.0)・ —・—	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	橙色	やや粗(白・黒・赤色粒子)	内外面の摩滅顕著、口縁部一部片口状を呈する
SI21	第49図	4	土師器	坏	(13.6)・ —・—	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	褐色	粗(白・赤・黒色粒子)	内外面の荒れ・摩滅顕著
SI21	第49図	5	土師器	坏	(13.6)・ —・—	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	浅黄橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内外表面の摩滅非常に顕著
SI21	第49図	6	土師器	坏	—・(6.0)・—	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリか、底部回転糸切りか	ロクロナデ	浅黄橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面の摩滅顕著
SI21	第49図	7	灰釉陶器	椀か	—・ 7.0・—	体部～高台部	ロクロナデ、底部回転糸切り、ナデ、付高台	ロクロナデ	灰白色	密(黒・白色粒子)	底部外面磨り面みられうすく黒ずむ
SI21	第49図	8	土師器	甕	(25.0)・ —・—	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ、指頭痕	にぶい橙色	やや粗(赤・白・黒色粒子、金色雲母、小礫)	内外面の摩滅顕著
SI21	第49図	9	土師器	甕	(27.0)・ —・—	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子)	外面の摩滅やや顕著

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
SI21	第49図	10	土師器	甕	(27.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ	褐色	やや粗(白・赤・黒色粒子、雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI21	第49図	11	土師器	甕	(28.4)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ、指頭痕	橙色	やや粗(白・赤・黒色粒子、雲母、3～7mm程の小礫を含む)	内外面の摩滅やや顕著
SI21	第49図	12	土師器	甕	(29.4)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ	明赤褐色	密(白・赤・黒色粒子、雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI21	第49図	13	土師器	甕	— ・ (8.0)・ —	胴部～底部	ハケメ、ナデ、底部木葉痕	ハケメ、ナデ	橙色	密(白・赤・黒色粒子、雲母)	内外面の摩滅顕著
SI21	第49図	14	土師器	甕	— ・ (7.0)・ —	胴部～底部	ハケメ、底部ナデ	ナデ	にぶい赤褐色	密(白・赤・黒色粒子、雲母)	内外面の摩滅顕著
SI21	第49図	15	土師器	甕	— ・ (8.0)・ —	胴部～底部	ハケメ、ナデ底部木葉痕	ハケメ	橙色	やや粗(白・赤・黒色粒子、雲母、小礫)	内外面の摩滅顕著
SI21	第49図	16	土師器	小型甕	(9.8)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ、指頭痕	明赤褐色	やや粗(白・赤・黒色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅顕著
SI21	第50図	17	土師器	羽釜	(25.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI21	第50図	18	須恵器	甕	— ・ — ・ —	肩部	タタキ、ナデ	ナデ	外：灰白色 内：黄灰色	密(白・黒色粒子、雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI21	第50図	19	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ	灰白色	密(黒・白色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI21	第50図	20	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ、ナデ	ハケメ、ナデ	灰色	密(白・黒・赤色粒子、小礫)	内外面の摩滅やや顕著
SI21	第50図	21	灰釉陶器	壺	— ・ — ・ —	胴部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	密(黒・白色粒子)	内外面に釉がたれている
SI21	第50図	22	灰釉陶器	壺	— ・ (9.0)・ —	胴部～高台部	回転ヘラケズリ、底部ロクロナデ、付高台	ロクロナデ	灰白色	密(黒・白色粒子)	外面全体やや黒ずむ
SI22	第50図	1	土師器	坏	(10.8)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内外面の摩滅顕著
SI22	第50図	2	土師器	坏	(13.6)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内外面の摩滅非常に顕著
SI22	第50図	3	土師器	甕	(25.6)・ — ・ —	口縁～頸部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	明赤褐色	やや粗(黒・白色粒子、金色雲母多)	内外面の摩滅顕著
SI22	第50図	4	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ	ハケメ、ナデ、指頭痕	明褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅顕著
SI22	第50図	5	土師器	甕	— ・ (7.0)・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ	明褐色	密(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅顕著
SI22	第50図	6	土師器	甕	— ・ (8.0)・ —	胴部～底部	ナデ、底部木葉痕か	ナデ	明赤褐色	やや粗(赤・黒・白色粒子多、金色雲母)	内外面の摩滅顕著
SI22	第50図	7	須恵器	甕か壺	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ	灰色	密(白・黒色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI22	第50図	8	須恵器	甕か壺	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ヘラナデ	灰白色	密(黒・白色粒子)	外面の摩滅顕著
SI22	第50図	9	須恵器	甕か壺	— ・ — ・ —	胴部	タタキ、ナデ	—	灰白色	密(黒・白色粒子)	外面の摩滅顕著
SI23	第51図	1	土師器	坏	(12.0)・ (3.6)・ 3.1	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り	ロクロナデ	橙色	やや粗(赤・白・黒色粒子)	内外面の摩滅やや顕著、やや厚ぼったいつくり
SI23	第51図	2	土師器	坏	12.2 ・ 3.8 ・3.65	ほぼ完形	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	外面の摩滅はややみられるが、内面はあまりみられず
SI23	第51図	3	土師器	坏	(13.4)・ 4.8 ・4.95	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ケズリ	ロクロナデ	黄橙色	密	内外面の摩滅非常に顕著
SI23	第51図	4	土師器	坏	(14.0)・ (6.0)・ 3.9	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り	ロクロナデ	にぶい橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI23	第51図	5	土師器	坏	15.0 ・ 5.0 ・ 4.6	ほぼ完形	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	浅黄橙色	やや粗(白・赤・黒色粒子)	内外面とも二次焼成をうけ変色・摩滅顕著
SI23	第51図	6	土師器	皿	(12.0)・ (3.2)・ 2.6	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ケズリ	ロクロナデ	明赤褐色	やや粗(赤・黒・白色粒子多)	内外面の摩滅顕著
SI23	第51図	7	土師器	坏	(14.2)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	浅黄橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内面黒色化、内外面の摩滅顕著
SI23	第51図	8	土師器	高台坏	(16.8)・ (8.0)・4.95	口縁～高台部	ロクロナデ、ヘラケズリ、ケズリ、底部ナデ、付高台	ロクロナデ、ミガキ	明褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	内面黒色化、外面も口縁部から約2cmの幅で帯状に黒色化、内外面の摩滅やや顕著
SI23	第51図	9	土師器	坏	— ・ (4.4)・ —	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI23	第51図	10	土師器	坏	— ・ 5.4 ・ —	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り	ロクロナデ	浅黄橙色	密(赤・黒色粒子)	内外面の摩滅顕著

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
SI23	第51図	11	灰釉陶器	椀	(15.4)・ 7.6 ・ 5.7	口縁～高台部	ロクロナデ、回転ヘラケズリ、底部回転ナデ、付高台	ロクロナデ	灰白色	粗(白・黒色粒子、3mm前後の小礫多く含む)	つくりは雑、内外面とも摩滅はあまりみられないがヨゴレ顕著、底部内面には二次的に使用されたと思われる磨痕範囲がみられる
SI23	第51図	12	灰釉陶器	椀	(13.8)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	密(黒・白色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI23	第51図	13	灰釉陶器	椀	(14.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	やや粗(1～3mm程の白色粒子・黒色粒子)	二次焼成をうけたためか、内外面の荒れ顕著
SI23	第51図	14	灰釉陶器	皿	(15.5)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	密(黒・白色粒子)	カマド出土、内外面の摩滅やや顕著
SI23	第51図	15	灰釉陶器	椀か	(15.8)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	密(白・黒色粒子)	内外面の摩滅あまりみられず
SI23	第51図	16	灰釉陶器	椀	(16.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	灰白色	やや粗(白色粒子多、黒色粒子)	つくりは雑、二次焼成をうけ内外面やや硬化
SI23	第51図	17	灰釉陶器	椀	(17.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	密(白・黒色粒子)	カマド出土、外面の摩滅顕著
SI23	第51図	18	灰釉陶器	椀	(17.2)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	やや粗(白・黒色粒子)	二次焼成をうけ内外面やや荒れている
SI23	第51図	19	土師器	甕	(26.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	明赤褐色	やや粗(白・黒色粒子、雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI23	第51図	20	土師器	甕	(29.6)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ	橙色	密(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面のススの付着はわずかにみられるが、摩滅痕は顕著ではない
SI23	第51図	21	土師器	甕	(31.2)・ — ・ —	口縁部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母、小礫やや多)	内外面の摩滅やや顕著
SI23	第51図	22	土師器	小型甕	(12.4)・(7.3)・13.35	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部静止糸切り	ロクロナデ	にぶい橙色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	カマド出土
SI23	第52図	23	土師器	羽釜	22.0 ・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ	橙色	密(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	二次焼成をうけるが、摩滅はあまり顕著ではない
SI23	第52図	24	土師器	羽釜	(19.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ	赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅顕著
SI23	第52図	25	土師器	羽釜	(22.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI23	第52図	26	土師器	羽釜	(23.2)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ	明赤褐色	密(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	二次焼成をうけ内外面とも摩滅非常に顕著
SI23	第52図	27	土師器	羽釜	(23.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母、小礫やや多)	カマド出土、内面のスス付着顕著だが、内外面の摩滅はあまりみられず
SI23	第52図	28	土師器	羽釜	(21.8)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ	明赤褐色	やや密(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	二次焼成を強くうけ、摩滅も顕著
SI23	第52図	29	土師器	甕	— ・(26.3)最大胴径・—	胴部	ハケメ	ハケメ	明赤褐色	密(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	カマド出土、内外面の摩滅やや顕著、20番と同一個体か
SI23	第52図	30	土師器	甕	— ・(8.0)・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ	灰褐色	やや粗(白・黒色粒子、雲母、4mm以下の小礫を含む)	内外面の摩滅非常に顕著、特に内面はオコゲ状付着物により黒色化
SI23	第52図	31	土師器	羽釜か	— ・10.0 ・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ	明赤褐色	やや密(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	外面の摩滅はやや顕著だが、内面はあまりみられない、底部外面木葉痕の他、種子状圧痕顕著
SI23	第53図	32	土師器	置きカマド	— ・ — ・ —	底部	ハケメ	ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	内外面の摩滅顕著
SI23	第53図	33	須恵器	甕	— ・ — ・ —	肩部	タタキ、ナデ	当て具痕	明赤褐色	やや粗(白・赤・黒色粒子、2mm程の白い小礫を含む)	内外面とも摩滅顕著
SI23	第53図	34	須恵器	壺	— ・(21.0)最大胴径・ —	胴部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰色	密(白・黒色粒子、3mm程の小礫を含む)	内外面の摩滅やや顕著
SI23	第53図	35	灰釉陶器	長頸壺	(6.0)頸部径・ — ・ —	頸部～肩部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	やや粗(黒・白色粒子、4～6mm程の小礫を含む)	内外面ともにあまり摩滅はみられず
SI23	第53図	36	灰釉陶器	壺	— ・ — ・ —	胴部	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	灰白色	密(黒・白色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI24	第53図	1	土師器	坏	(11.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ、暗文	外：明赤褐色 内：橙色	密(赤色粒子)	内外面の摩滅やや顕著、内外面部分的に二次的に黒色化
SI24	第53図	2	土師器	坏	(12.4)・(7.6)・3.5	口縁～底部	—	ロクロナデ、ミガキ	外：にぶい黄橙色 内：黒色	密(赤色粒子、雲母)	内外面の摩滅顕著、内面黒色化、わずかにミガキ残る
SI24	第53図	3	土師器	蓋	(16.2)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ、暗文	明赤褐色	密(赤色粒子)	内外面スス状ヨゴレやや顕著
SI24	第53図	4	土師器	蓋	(16.8)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	明赤褐色	密(赤色粒子、雲母少)	内外面スス状ヨゴレやや顕著
SI24	第53図	5	土師器	甕	23.5 ・ — ・ —	口縁～頸部	ロクロナデ、ハケメ	ハケメ	赤褐色	密(白・黒色粒子、金色雲母多)	内外面の摩滅顕著

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
SI24	第53図	6	土師器	甕	(24.5)・ — ・ —	口縁部	ナデ	ハケメ、ナデ	外：赤褐色 内：橙色～明赤褐色	やや粗(白・黒色粒子、雲母多)	内外面の摩滅やや顕著
SI24	第53図	7	土師器	甕	(22.8)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	にぶい褐色	やや粗(白色粒子多、黒色粒子、金色雲母多)	内外面の摩滅顕著
SI24	第53図	8	土師器	甕	(25.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒色粒子、金色雲母)	
SI24	第53図	9	土師器	甕	— ・(8.0)・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ	明赤褐色	粗(白・黒色粒子、雲母多)	内外面の摩滅顕著
SI24	第53図	10	土師器	甕	— ・(8.0)・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕か	ハケメ、ナデ	にぶい褐色	やや粗(白・黒色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅顕著
SI24	第53図	11	土師器	甕	— ・(7.0)・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒色粒子、金色雲母多)	内外面の摩滅顕著
SI24	第54図	12	須恵器	壷	— ・ 8.5・ —	胴部～底部	ロクロナデ，回転ヘラケズリ、底部回転糸切り、ロクロナデ	ロクロナデ	外：灰～灰黄色 内：灰黄色	密(黒色粒子少)	底部外面墨痕状ヨゴレやや顕著、ただし磨痕は認められない
SI24	第54図	13	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ	外：黒褐色 内：灰色	密(黒色粒子)	内面磨痕認められ二次転用されている
SI24	第54図	14	須恵器	壺か	— ・ — ・ —	胴部	タタキ、自然釉	ナデ	灰色	密(白・黒色粒子)	内外面敲打痕らしき痕跡顕著
SI25	第54図	1	土師器	坏	(16.0)・(4.8)・5.0	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	明赤褐色	粗(白色粒子多・赤・黒色粒子)	つくりは雑、二次焼成をうけ内外面の荒れ非常に顕著
SI25	第54図	2	土師器	坏	(13.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	明赤褐色	やや粗(白色粒子多・赤・黒色粒子、雲母)	二次焼成をうけ内外面の摩滅顕著
SI25	第54図	3	土師器	坏	(14.8)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	浅黄橙色	密(黒・赤・白色粒子)	内外面の摩滅非常に顕著
SI25	第54図	4	土師器	坏	— ・(6.0)・ —	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	浅黄橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面の摩滅非常に顕著
SI25	第54図	5	土師器	羽釜	(17.6)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	橙色	密(赤・黒・白色粒子、雲母)	二次焼成はうけるが、内外面の摩滅はあまりみられず
SI25	第54図	6	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ	ハケメ	明赤褐色	密(黒・白・赤色粒子、金色雲母)	内外面とも強く被熱している
SI26	第54図	1	土師器	坏	— ・(5.0)・ —	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(白・黒・赤色粒子、雲母)	内外面ウルシ状ヨゴレ顕著、外面二次焼成をうけたためか器面やや荒れる、底部内面磨耗顕著
SI26	第54図	2	土師器	皿	— ・(5.2)・ —	体部～底部	ロクロナデ、底部回転ヘラケズリ	ロクロナデ、暗文	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	二次焼成をうけ内外面の変色・荒れやや顕著
SI26	第54図	3	土師器	蓋	(15.6)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	橙色	密(赤色粒子多・白・黒色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI26	第55図	4	土師器	甕	(29.0)・ — ・ —	口縁～頸部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	明赤褐色	やや粗(白色粒子多・黒・赤色粒子、金色雲母多)	内外面の摩滅やや顕著
SI26	第55図	5	土師器	甕	— ・(29.2)最大胴径・ —	胴部	ハケメ、指頭痕	ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(白色粒子多・黒・赤色粒子、雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI26	第55図	6	土師器	羽釜	(18.8)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ	橙色	やや粗(白色粒子多、黒・赤色粒子、雲母多)	内外面の摩滅やや顕著
SI26	第55図	7	土師器	甕	— ・(10.0)・ —	胴部～底部	ハケメ、ナデ、底部木葉痕	ハケメ、指頭痕	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI26	第55図	8	古墳	甑	— ・ — ・ —	把手部	—	—	浅黄橙色	密(白・黒色粒子)	摩滅非常に顕著
SI26	第55図	9	灰釉陶器	壺	— ・ — ・ —	肩部～胴部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	密(黒・白色粒子)	内外面の摩滅あまりみられず
SI27	第55図	1	土師器	皿	(8.0)・(4.8)・2.45	口縁～底部	ロクロナデ、底部回転糸切り	ロクロナデ	明赤褐色	密(白・黒・赤色粒子、金色雲母多)	甕の胎土にてつくられる、二次焼成をうけているが摩滅痕等は顕著でない
SI28	第55図	1	土師器	坏	(14.0)・(4.4)・4.35	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	灰黄褐色	密(赤・白・黒色粒子)	カマド出土、内外面スス状ヨゴレおよび器面の荒れ顕著
SI28	第55図	2	土師器	坏	(13.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	浅黄橙色	密(黒・赤色粒子)	内外面の摩滅顕著
SI28	第55図	3	灰釉陶器	椀	— ・ 6.0・ —	口縁～高台部	ロクロナデ、底部回転糸切り、回転ナデ、付高台	ロクロナデ	灰白色	密(白・黒色粒子)	つくりはやや粗雑
SI28	第55図	4	灰釉陶器	椀	— ・ — ・ —	高台部	ロクロナデ、底部ロクロナデ、付高台	ロクロナデ	灰白色	やや粗(白色粒子多、黒色粒子、2～3mmの白色の礫を含む)	内面磨痕非常に顕著、内外面ヨゴレ顕著
SI28	第55図	5	土師器	甕	(21.6)・ — ・ —	口縁～頸部	ハケメ、ナデ	ハケメ	褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	外面の摩滅顕著

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
SI28	第55図	6	土師器	甕	(28.2)・ — ・ —	口縁～頸部	ハケメ、ナデ	ハケメ	明赤褐色	やや粗(黒・白・赤色粒子、雲母)	内外面の摩滅顕著
SI28	第55図	7	土師器	甕	— ・ (7.0)・ —	胴部～底部	ハケメ、ナデ、底部木葉痕	くし状工具による ハケメ	にぶい赤褐色	粗(白・黒色粒子、雲母)	
SI28	第55図	8	土師器	甕	— ・ (6.2)・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	内外面の摩滅顕著
SI28	第55図	9	土師器	甕	— ・ 9.0 ・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ、ナデ	明赤褐色	やや粗(白色粒子多、 黒・赤色粒子、 金色雲母多、小礫)	二次焼成をうけ内外面の変色顕著、 底部外面木葉痕の他種子状圧痕も顕著
SI28	第55図	10	土師器	甕	— ・ (7.0)・ —	胴部～底部	ナデ、指頭痕、底部木葉痕	ハケメ、ナデ	橙色	粗(白・黒色粒子)	内外面の摩滅非常に顕著
SI30	第56図	1	土師器	坏	(14.0)・ (5.0)・(3.8)	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、 底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	浅黄橙色	密(赤・黒・白色粒子)	二次焼成をうけ内外面変色、 内面器面は一部剥落
SI30	第56図	2	土師器	坏	(12.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	明赤褐色	密(黒・赤・白色粒子)	カマド出土、内外面の摩滅やや顕著
SI30	第56図	3	土師器	皿か	(13.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	にぶい橙色	密(赤・黒・白色粒子)	二次焼成をうけ内外面変色、摩滅も顕著
SI30	第56図	4	土師器	皿か	(13.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ, ヘラケズリ	ロクロナデ	にぶい褐色	密(黒・赤・白色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SI30	第56図	5	土師器	坏	(16.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ, ヘラケズリ	ロクロナデ	浅黄橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内面黒色化、内外面の摩滅やや顕著
SI30	第56図	6	土師器	高台坏	— ・ (8.0)・ —	坏部～坏底部	ロクロナデ, ヘラケズリ、 底部貼付高台、ヘラケズリ	ロクロナデ、暗文 、ミガキ、 底部ミガキ	橙色	密(黒・赤・白色粒子)	内面二次的に黒色化、スス状ヨゴレ顕著
SI30	第56図	7	土師器	壺	(28.0)・ — ・ —	口縁部	ナデ	ハケメ、ナデ	明赤褐色	粗(黒・白・赤色粒子、 雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI31	第56図	1	土師器	坏	(14.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	橙色	やや粗(白色粒子多、 赤・黒色粒子)	カマド出土、二次焼成をうけ内外面変色・ 摩滅顕著
SI31	第56図	2	土師器	甕	(30.0)・ — ・ —	口縁～頸部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	にぶい赤褐色	やや粗(白色粒子多、 黒・赤色粒子、金色雲母)	カマド出土、内外面の摩滅やや顕著
SI31	第56図	3	土師器	甕	— ・(12.0)・ —	胴部～底部	ナデ、底部木葉痕	ハケメ、ナデ	橙色	粗(白・黒・赤色粒子)	内外面の摩滅顕著
SI31	第56図	4	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ	ハケメ	にぶい黄褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、 金色雲母)	カマド出土、内外面の摩滅やや顕著
SI32	第56図	1	土師器	坏	— ・ (5.4)・ —	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、 底部回転糸切り、ヘラケズリ 、ミガキ	ロクロナデ、暗文 、底部ロクロナデ 、暗文	にぶい橙色	密(黒・白・赤色粒子、 石英)	内外面スス状ヨゴレ顕著
SI32	第56図	2	土師器	甕	(24.0)・ — ・ —	口縁～頸部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	にぶい赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、 金色雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SI32	第56図	3	土師器	甕	— ・ (7.2)・ —	胴部～底部	ハケメ、ナデ、底部木葉痕	ハケメ、ナデ	明赤褐色	やや密(白・黒・赤色粒子、 金色雲母)	内外面の摩滅顕著
SI32	第56図	4	須恵器	壺	— ・ 3.7 ・ —	胴部～底部	ロクロナデ、底部回転糸切り 、外面にも自然釉	ロクロナデ	褐灰色	やや粗(黒・白色粒子、 1～2mm大の小礫やや多く含む)	外面摩滅やや顕著、胴部外面に ヘラ状工具痕あり
SI33	第56図	1	土師器	坏	12.0 ・ 8.4 ・ 4.2	ほぼ完形	ロクロナデ、底部回転糸切り	ロクロナデ	外：赤褐色 内：明赤褐色	粗(赤・白色粒子、小礫)	内面ウルシ状付着物非常に顕著、外面は二次焼成をうけ荒れ・変色顕著(灯明具)
SI33	第56図	2	土師器	坏	— ・ 5.6 ・ —	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、 底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	外：にぶい橙色 内：黒色	密(赤色粒子多、 白色粒子)	内面二次的に黒色化、外面スス状ヨゴレ やや顕著、摩滅はあまりみられない
SI33	第56図	3	古墳	壺	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ、ヘラケズリ	ナデ、ミガキ	外：橙色 内：明赤褐色	密(赤・白色粒子やや多)	内外面の摩滅やや顕著
SK 5	第57図	1	土師器	鉢	(42.0)・ — ・ —	口縁～頸部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	にぶい褐色	やや粗(白色粒子多、 赤色粒子、金色雲母多、小礫)	内外面の摩滅やや顕著
SK 5	第57図	2	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ	褐灰色	密(黒・白色粒子)	内外面の摩滅顕著
SK 7	第57図	1	須恵器	甕	— ・ — ・ —	肩部	タタキ	青海破門波紋状 当具痕	灰白色	密(白・黒色粒子)	内外面の摩滅・ヨゴレやや顕著
SK21	第57図	1	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ	ナデ	橙色	やや粗(白色粒子多、 赤・黒色粒子、 4mm前後の小礫)	内外面の摩滅やや顕著
SK21	第57図	2	土師質	鉢	— ・(29.0)・ —	体部～底部	ナデ、底部ナデ	—	外：橙色 内：褐灰色	やや粗(2mm前後白色粒子、 2mm前後黒色粒子、 1～5mm赤色粒子)	内面の摩滅非常に顕著
SK28	第57図	1	土師質	皿	(11.0)・ (8.0)・(2.0)	口縁～底部	ロクロナデ、底部回転糸切り	ナデ	明褐色	密(白・赤・黒色粒子)	内外面の摩滅顕著

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
SK34	第57図	1	古墳	S字口縁甕	(15.0)・ — ・ —	口縁～頸部	ハケメ、ナデ	ナデ	橙色	粗(白・赤・黒色粒子、3㎜前後の小礫)	内外面の摩滅非常に顕著
SK39	第57図	1	古墳	壺	(22.0)・ — ・ —	口縁部	ナデ	ナデ	橙色	やや粗(白・赤・黒色粒子、小礫)	内外面の摩滅非常に顕著
SK39	第57図	2	古墳	壺	(13.0)・ — ・ —	口縁～口辺部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	橙色	密(赤・白・黒色粒子)	内外面の摩滅非常に顕著
SK40	第57図	1	土師器	壺	(21.0)・ — ・ —	口縁～口辺部	ナデ、刻目	ナデ	橙色	密(白・赤・黒色粒子、雲母)	内外面の摩滅非常に顕著
SK40	第57図	2	古墳	壺	(13.0)・ — ・ —	口縁～口辺部	ナデ	ナデ	橙色	密(白・赤・黒色粒子、雲母、小礫)	内外面の摩滅非常に顕著
SK41	第57図	1	土師器	坏	(12.0)・ — ・ —	体部～底部	底部ヘラケズリ、ミガキ	ロクロナデ、暗文	橙色	密(赤・黒・白色粒子、石英)	内外面の摩滅顕著
SK41	第57図	2	常滑陶器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	外：にぶい赤色 内：にぶい黄橙色 断面：灰白色	密(白・黒色粒子、小礫)	
SK42	第57図	1	古墳	S字口縁甕	(18.0)・ — ・ —	口縁～口辺部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	橙色	やや粗(白色粒子多、赤・黒色粒子、雲母)	内外面の摩滅非常に顕著
SK44	第57図	1	灰釉陶器	壺	— ・ — ・ —	肩部	ロクロナデ	ロクロナデ	灰白色	密(白・黒色粒子)	内外面ヨゴレやや顕著
SK74	第57図	1	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ヘラナデ	外：橙色 内：暗灰黄色	密(白・赤・黒色粒子、雲母、4㎜前後の小礫)	内外面の摩滅顕著
SK75	第58図	1	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ	ハケメ	橙色	密(白色粒子多、金色雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SK94	第58図	1	土師器	坏	(12.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・白色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SK94	第58図	2	土師器	甕	(30.0)・ — ・ —	口縁～頸部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	明赤褐色	やや粗(白色粒子多、赤色粒子、金色雲母)	内外面の摩滅やや顕著
SK96	第58図	1	灰釉陶器	壺	— ・(12.6)・ —	胴部	ロクロナデ、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	灰白色	密(白色粒子)	
SK98	第58図	1	土師器	坏	(12.0)・ (5.2)・(3.4)	口縁～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	やや粗(白色粒子多、赤色粒子、小礫)	二次焼成をうけ内外面の荒れ・ヨゴレ顕著
SK99	第58図	1	土師器	坏	— ・ (5.0)・ —	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ、暗文	橙色	密(黒・赤・白色粒子)	内外面の摩滅顕著
SK99	第58図	2	土師器	甕	— ・ (9.0)・ —	体部～底部	ナデ、底部木葉痕	ナデ	橙色	粗(白・黒・赤色粒子、雲母、小礫)	内外面の摩滅顕著
SK99	第58図	3	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ナデ	黄灰色	密(白・黒色粒子、小礫)	内外面の摩滅やや顕著
SK100	第58図	1	土師質	皿	(12.0)・ (6.0)・(2.8)	口縁～底部	ロクロナデ、底部回転糸切り	ロクロナデ	にぶい橙色	やや粗(赤色粒子多、白色粒子、雲母)	内外面の摩滅あまりみられないが、スス状ヨゴレ顕著
SK100	第58図	2	土師質	皿	(14.0)・ (7.0)・(2.6)	口縁～底部	ロクロナデ、底部回転糸切り	ロクロナデ	にぶい橙色	密(赤色粒子多、白色粒子、雲母)	外面の摩滅・スス状ヨゴレやや顕著
SK111	第58図	1	須恵器	甕	— ・ — ・ —	胴部	タタキ	ハケメ、ナデ	にぶい赤褐色	密(白色粒子多、雲母)	二次焼成をうけ内外面の摩滅顕著、内面器面剥離
SK113	第58図	1	土師器	甕	(34.0)・ — ・ —	口縁～胴部	ハケメ、ナデ	ハケメ、ナデ	赤褐色	やや粗(白色粒子多、金色雲母多、雲母、小礫)	内外面の摩滅やや顕著
SK127	第58図	1	土師器	甕	— ・ (8.0)・ —	胴部～底部	ハケメ、底部木葉痕	ハケメ	赤褐色	やや粗(白色粒子、金色雲母)	二次焼成をうけ外面摩滅顕著
SK134	第59図	1	土師器	皿	— ・ (2.5)・ —	体部～底部	ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(黒・赤・白色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SK134	第59図	2	須恵器	甕	— ・ — ・ —	肩部	タタキ、自然釉	ヘラナデ	褐灰色	密(白・黒・赤色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SK134	第59図	3	土師器	甕	— ・(10.0)・ —	胴部～底部	ナデ、木葉痕、底部木葉痕	ハケメ、ナデ	にぶい橙色	粗(白・赤・黒色粒子、雲母、小礫)	内外面の摩滅やや顕著、胴部下端にも木葉痕あり
SD 4	第59図	1	土師器	坏	— ・ (5.0)・ —	底部	ヘラケズリ、底部ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SD 4	第59図	2	土師器	皿	(12.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ、暗文	浅黄橙色	密(黒・赤色粒子)	外面強く二次焼成をうけ赤褐色化、内面口縁部端を中心にスス状ヨゴレ顕著
SD 4	第59図	3	土師器	皿	(13.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面の摩滅顕著
SD12	第59図	1	古墳	台付甕	— ・ (5.4)・ —	胴部～台部	ハケメ	胴部ナデ、台部ハケメ	浅黄橙色	粗(白・黒・赤色粒子、雲母、小礫、6㎜前後の小石)	二次焼成をうけ、摩滅非常に顕著
SD15	第59図	1	土師器	羽釜	— ・ — ・ —	鍔部	ナデ、鍔は把手状	ナデ	橙色	密(白・赤色粒子、金色雲母)	二次焼成をうけ、内面摩滅顕著
SD16	第59図	1	土師器	高坏	— ・(16.2)・ —	脚部	ハケメ、ナデ、脚部外面の縁に刻目	ハケメ、ナデ	橙色	やや粗(白・黒・赤色粒子)	二次焼成をうけ内面の荒れ特に顕著

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
SD16	第59図	2	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ、ナデ、ヘラケズリ	ハケメ、ナデ	明赤褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、2～3mmの小礫を多く含む)	二次焼成をうけ内外面とも摩滅顕著
SD16	第59図	3	古墳	壺	— ・ — ・ —	胴部	底部ナデ	—	にぶい橙色	やや粗(白・黒・赤色粒子、3mm前後の小礫を含む)	4と同一個体、二次焼成をうけ内外面スス付着・摩滅顕著
SD16	第59図	4	古墳	壺	— ・(10.0)・ —	胴部～底部	ナデ、底部ナデ	ハケメ、ナデ	灰白色	粗(黒・白・赤色粒子、雲母、5mm前後の小礫)	二次焼成をうけ内外面摩滅顕著
SD17	第59図	1	弥生～古墳	小型壺	(9.2)・ — ・ —	口縁～胴部	クシ状工具によるハケメ、ナデ	ナデ	にぶい橙色	粗(黒・白・赤色粒子、雲母、小礫)	二次焼成をうけ外面の荒れ・摩滅非常に顕著
SD23	第59図	1	弥生～古墳	壺	— ・ — ・ —	胴部	ミガキ、赤彩	ナデ	橙色	密(黒・白・赤色粒子、小礫)	外面に赤彩あり
SD27	第59図	1	土師器	坏	(12.0)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	にぶい橙色	密(赤・黒色粒子)	内外面スス状ヨゴレ顕著
SD29	第60図	1	土師質	柱状高台坏か	— ・(11.0)・ —	高台部	—	—	にぶい橙色	密(黒・白色粒子)	内外面の摩滅非常に顕著
SD29	第60図	2	須恵器	甕	(34.0)・ — ・ —	口縁～頸部	ロクロナデ、ハケメ	ロクロナデ	浅黄橙色	密(赤・黒・白色粒子)	焼成は生焼状態であり軟質、内外面の摩滅はやや顕著
SD29	第60図	3	灰釉陶器	壺	— ・ — ・ —	胴部	ロクロナデ	ロクロナデ	褐灰色	密(白・黒色粒子)	外面灰色がかっている
SD31	第60図	1	土師器	坏	(13.0)・(6.0)・(3.6)	口縁～底部	ヘラケズリ、ナデ	ロクロナデ、暗文	橙色	密(赤・黒・白色粒子)	内外面の摩滅やや顕著
SD32	第60図	1	土師質	鍋	— ・(30.0)・ —	胴部	ヘラケズリ、ナデ	ナデ	にぶい褐色	やや粗(白色粒子多、石英)	外面スス付着顕著
遺構外	第60図	1	弥生	甕か	— ・ — ・ —	胴部	口縁部に刻目、斜位・横位沈線文	ナデ	明褐色	やや粗(白・黒・赤色粒子、金色雲母、小礫)	二次焼成をうけ内外面の摩滅やや顕著 X3Y11
遺構外	第60図	2	弥生	壺か	— ・ — ・ —	肩部	クシ歯状工具による波状文、クシ歯状工具による横位沈線文	ナデ	にぶい橙色	密(白・赤色粒子)	内面の摩滅顕著 X5Y13
遺構外	第60図	3	古墳	坏	(10.0)・ — ・ —	口縁～体部	ヘラケズリ、ミガキ	ミガキ	にぶい黄橙色	密(赤・黒・白色粒子)	外面の摩滅顕著 TI表採
遺構外	第60図	4	土師器	坏	— ・(10.0)・ —	体部～底部	横位ヘラケズリ、ミガキ、底部ヘラケズリ、ミガキ	ミガキ	橙色	密(赤・黒色粒子)	内外面の摩滅やや顕著 TI-12
遺構外	第60図	5	土師器	坏	(10.0)・ — ・ —	底部	ロクロナデ、ヘラケズリ	ロクロナデ	黄橙色	密(赤・白色粒子)	内外面の摩滅顕著 T-3 カクラン7
遺構外	第60図	6	土師器	皿	— ・(5.0)・ —	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切り、ヘラケズリ	ロクロナデ	橙色	密(黒・赤・白色粒子)	底外に線刻あり、内外面の摩滅顕著 X3Y1
遺構外	第60図	7	土師器	坏	— ・(5.0)・ —	体部～底部	ロクロナデ、ヘラケズリ、底部回転糸切りか	ロクロナデ	黄色	密(赤・黒色粒子)	内外面の摩滅非常に顕著 T-3 表採
遺構外	第60図	8	須恵器	坏	(12.4)・ — ・ —	口縁～体部	ロクロナデ	ロクロナデ	黄灰色	密(白色粒子多、黒色粒子)	内外面の摩滅あまりみられず、火襷痕顕著 TI-7
遺構外	第60図	9	須恵器	坏か	— ・ — ・ —	底部	底部回転糸切り、回転ヘラケズリ	ロクロナデ	灰色	密(黒・白色粒子)	内面磨れた痕跡あり TI-49
遺構外	第60図	10	灰釉陶器	段皿か	— ・(6.0)・1.9	体部～高台部	ロクロナデ、回転ヘラケズリ、底部ロクロナデ、付高台	ロクロナデ	灰白色	密(黒・白・赤色粒子)	底部内面磨れた痕跡あり TI-27
遺構外	第60図	11	弥生	甕	— ・(10.0)・ —	体部～底部	ナデ、底部ｱﾝﾍﾟﾗ痕	ナデ	灰白色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	二次焼成を強くうけ、内外面の摩滅非常に顕著 TI-1
遺構外	第60図	12	土師器	甕	(28.0)・ — ・ —	口縁～頸部	ハケメ、ナデ	ハケメ	暗褐色	密(白・赤・黒色粒子、雲母)	外面の摩滅やや顕著 T3 表採
遺構外	第60図	13	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ハケメ	ハケメ	橙色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母、小礫)	二次焼成をうけ内外面とも摩滅顕著、内面スス付着顕著 TI－33
遺構外	第60図	14	土師器	甕	— ・ — ・ —	胴部	ロクロナデ	ロクロナデ	外：橙色 内：浅黄橙色	粗(白・赤・黒色粒子、小礫)	外面二次焼成を強くうけ、内面スス付着顕著 T1(第1トレンチ)出土(取上No.39)
その他の土器	第61図	1	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	口縁部	ナデ	ハケメ、ナデ	浅黄橙色	粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	二次的被熱は顕著でない SI22出土(取上No.25)
その他の土器	第61図	2	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	口縁部	—	—	橙色	密(白・黒・赤色粒子)	口縁部、二次的被熱は顕著でない SI23出土
その他の土器	第61図	3	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	口縁部	—	—	浅黄橙色	やや粗(白・赤・黒色粒子、雲母)	口縁部、摩滅顕著、二次的被熱は顕著でない SI30出土
その他の土器	第61図	4	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	口縁部	横位のハケメ痕跡	斜位のハケメ	明黄褐色	やや密(黒・赤・白色粒子)	口縁部、二次的被熱は顕著でない X5Y9グリッド内出土
その他の土器	第61図	5	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	口縁部	—	—	浅黄橙色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	口縁端部欠け、二次的被熱は顕著でない SI24出土
その他の土器	第61図	6	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	ナデ	—	浅黄橙色	やや粗(赤・白色粒子、小礫)	二次的被熱は顕著でない SI1出土

出土地点	図版	番号	種別	器種	口径・底径・器高(cm) ( )=復元値、[ ]=現存値	部位・形態	整形・施文技法(外)	調整技法(内)	色調(外・内)	胎土	備考
その他の土器	第61図	7	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	ナデ	横位ハケメ	浅黄橙色	やや粗(白・黒色粒子、2～3mmの赤色粒子)	口縁端部欠け、二次的被熱は顕著でない SI5出土(取上No.9)
その他の土器	第61図	8	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	—	—	浅黄色	粗(赤・白・黒色粒子)	二次的被熱は顕著でない SI5出土(取上No.23)
その他の土器	第61図	9	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	ナデ	—	浅黄橙色	やや粗(赤・黒色粒子、雲母)	二次的被熱は顕著でない SI18出土
その他の土器	第61図	10	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	ナデ	—	浅黄色	密(赤・黒色粒子)	二次的被熱は顕著でない SI18出土
その他の土器	第61図	11	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	指頭痕	ナデ	橙色	密(白・赤・黒色粒子、雲母)	二次的被熱は顕著でない SI22出土
その他の土器	第61図	12	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	ナデか	—	にぶい黄橙色	やや粗(白・黒・赤色粒子、雲母)	二次的被熱は顕著でない SI23出土
その他の土器	第61図	13	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	—	—	浅黄橙色	密(黒・赤・白色粒子、雲母)	二次的被熱は顕著でない SI23出土
その他の土器	第61図	14	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	ナデ	—	にぶい黄橙色	密(赤色粒子、白・黒色粒子)	二次的被熱は顕著でない SI23出土
その他の土器	第61図	15	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	—	—	にぶい黄橙色	粗(白・黒色粒子、1～4mmの赤色粒子)	二次的被熱は顕著でない SI23出土
その他の土器	第61図	16	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	ナデ	ナデ	外：灰白色 内：浅黄橙色	やや粗(白・赤・黒色粒子、雲母)	二次的被熱は顕著でない SI30出土
その他の土器	第61図	17	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	—	ナデ	浅黄橙色	やや粗(赤・黒・白色粒子)	摩滅顕著、二次的被熱は顕著でない SK100出土
その他の土器	第61図	18	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	—	—	にぶい黄橙色	密(赤・黒色粒子、小礫)	摩滅やや顕著、二次的被熱は顕著でない SK120出土
その他の土器	第61図	19	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	指頭痕	—	浅黄色	やや密(赤・黒・白色粒子)	二次的被熱は顕著でない SK132出土
その他の土器	第61図	20	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	指頭痕	ナデ	橙色	粗(白・赤・黒色粒子、4mm前後の小礫を含む)	指頭痕顕著、二次的被熱は顕著でない SD27出土
その他の土器	第61図	21	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	—	—	浅黄橙色	やや密(赤・白・黒色粒子、雲母)	二次的被熱は顕著でない X3Y1グリッド内出土
その他の土器	第61図	22	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	—	—	浅黄橙色	粗(黒・白・赤色粒子)	二次的被熱は顕著でない X4Y1グリッド内出土
その他の土器	第61図	23	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	—	—	浅黄橙色	密(赤・黒・白色粒子)	摩滅顕著、二次的被熱は顕著でない T1(第1トレンチ)出土(取上No.21)
その他の土器	第61図	24	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	—	—	浅黄橙色	密(赤・黒色粒子)	摩滅顕著、二次的被熱は顕著でない T1(第1トレンチ)出土(取上No.21)
その他の土器	第61図	25	土師質	製塩(焼塩)土器か	— ・ — ・ —	胴部	—	—	灰白色	やや密(赤・白・黒色粒子)	底部に近い破片か、外面灰色にやや変色(二次焼成のためか) X3Y1グリッド内出土

第５表　東出口遺跡出土土製品観察表

出土地点	図版	番号	分類	法量(cm) ※( )は推定値・現存値				成形及び調整技法(内・裏)	成形及び調整技法(外・表)	胎土	焼成	色調	備考
				口径・長	底径・幅	器高・厚	重さ(g)						
SI22	第50図	14	土錘	4.1	1.15	0.5	5	—	ヘラケズリ、ナデ	密(白・黒・赤色粒子、雲母)	良	橙色	
SK92	第58図	1	粘土塊	4.2	2.6	—	24	—	—	密(黒・白色粒子)	不良	浅黄橙色	摩滅顕著
SK92	第58図	2	粘土塊	5.0	2.6	—	23	—	—	密(黒色粒子、小礫)	不良	にぶい黄橙色	摩滅顕著
SK132	第58図	1	土錘	6.5	1.9	0.5	21	—	ヘラケズリ	密(白・黒色粒子、石英)	良	灰黄褐色	孔に擦痕等はみられない
遺構外	第60図	15	粘土塊	3.3	1.2	—	8	—	—	やや密(黒・赤・白色粒子、小礫)	不良	浅黄橙色	摩滅顕著、形状は不定形 X3Y1グリッド出土
遺構外	第60図	16	粘土塊	3.3	1.8	—	11	—	—	やや密(黒・白色粒子)	不良	浅黄橙色	摩滅顕著、形状は不定形 X3Y1グリッド出土
遺構外	第60図	17	粘土塊	2.9	2.3	—	11	—	—	やや密(黒・赤・白色粒子)	不良	浅黄橙色	摩滅顕著、形状は不定形 X3Y1グリッド出土

第６表　東出口遺跡出土石製品観察表

出土地点	図版	番号	分　類	長さ･幅･厚さ(cm)	重さ(g)	石　材	備　　考
SI12	第45図	40	砥石	23.0･15.9･13.4	7,020	砂岩	磨面を中心にうすく スス状付着物みられる
SI17	第47図	24	丸石	3.1･ 5.0･ 4.5	80.5	輝石安山岩	
SI22	第50図	13	砥石	7.4･ 3.4･ 1.8	87	砂質ホルンフェルス	擦痕は顕著ではない
SI24	第54図	15	ムシロ編み石器	9.5･ 4.3･ 3.9	196	緑色凝灰岩	

第７表　東出口遺跡出土金属製品観察表

出土地点	図版	番号	分類	法量(cm) ※( )＝推定値又は現存値				材質	備　考
				長	幅	厚	重量(g)		
SI17	第47図	13	刀子	13.0	2.8	1.0	—	鉄	
SI17	第47図	14	刀子	4.1	1.8	1.1	—	鉄	
SI17	第47図	15	刀子	2.7	2.0	1.2	—	鉄	
SI17	第47図	16	刀子	2.9	2.3	0.9	—	鉄	
SI17	第47図	17	鎌か	6.6	2.7	1.5	—	鉄	
SI17	第47図	18	苧引鉄	6.5	2.7	2.8	—	鉄	
SI17	第47図	19	棒状	3.6	2.0	1.8	—	鉄	腐食著しい
SI17	第47図	20	棒状	2.1	1.1	1.2	—	鉄	
SI17	第47図	21	鉄滓	3.0	2.2	2.4	9	鉄	
SI17	第47図	22	鉄滓か	3.5	3.5	2.5	26	鉄	
SI17	第47図	23	椀形鉄滓	7.5	4.5	2.7	93	鉄	
SI20	第49図	3	雁股鏃	8.2	3.7	刃先 0.2 身 2.1	—	鉄	刃先が一部かけている
SI20	第49図	4	棒状	8.3	1.2	1.4	—	鉄	
SI21	第50図	23	刀子	2.9	1.3	0.9	4	鉄	
SI21	第50図	24	刀子	1.9	1.2	0.6	1	鉄	
SI21	第50図	25	刀子	4.6	2.0	8.0	9	鉄	
SI21	第50図	26	鉄滓	3.5	2.9	2.7	23	鉄	
SI22	第50図	10	棒状	3.1	1.0	1.1	4	鉄	
SI22	第50図	11	棒状	6.5	1.6	1.3	13	鉄	
SI22	第50図	12	鉄滓	3.9	3.7	2.6	39	鉄	小礫が融着する
SI23	第53図	37	刀子	20.2	2.6	1.7	65	鉄	
遺構外	第61図	18	銭貨	2.42	2.36	0.12	2.6	銅	「天聖元寶」北宋1023年 篆書 TI42
遺構外	第61図	19	銭貨	2.41	2.4	0.17	3.1	銅	「治平通寶」北宋1064年 TI47
遺構外	第61図	20	銭貨	2.48	2.44	0.09	2.16	銅	「元豊通寶」北宋1078年 TI43
遺構外	第61図	21	銭貨	2.33	2.33	0.11	2.7	銅	「元祐通寶」北宋1093年 1トレンチ東西ライン一括
遺構外	第61図	22	銭貨	2.27	2.28	0.1	2.37	銅	「政和通寶」北宋1111年 TI45
遺構外	第61図	23	銭貨	2.47	2.45	0.1	2.21	銅	「永楽通寶」　明1408年 TI44
遺構外	第61図	24	銭貨	2.19	—	0.13	1.33	銅	(判読不可) TI46

第Ⅳ章　総　括

今回の発掘調査で検出された遺構は、竪穴建物跡34軒、土坑・ピット132基、溝状遺構・自然流路32条である。検出されたピットと土坑の中には、掘立柱建物跡が1棟（SB 1）と、平安時代末頃の炭焼遺構（SK100・103・104）と考えられる遺構も含まれている。

竪穴建物跡は、ある一定の間隔をおきながら存在しているが、検出箇所によって竪穴どうしの重複はなく単独で存在する箇所と、2～3軒程度の重複関係をもって存在する箇所がみられる。竪穴建物跡の時期は、出土土器の年代から、古墳時代前期初頭、8世紀前半代（奈良時代）、8世紀末～9世紀初頭、9世紀前半代・9世紀末～10世紀初頭・10世紀前半代～半ば、11世紀末～12世紀初頭の平安時代前期から末までのものに大別できる。(1)

確認・検出された34軒のうち、2軒が古墳時代前期初頭のものと思われ、詳細時期不明のもの4軒、残り28軒は、奈良時代から平安時代にかけて属する竪穴建物跡だと思われる。こうした竪穴建物跡の時期分布からみて、竪穴建物跡どうしの重複は、同一時期の建て替えによる重複ではなく、ある一定の期間をおいた後に、再び同じ場所に建て替えているケースが多い。事実報告と重複する部分もあるが、各時期における状況を、以下に総括してみたい。

第1節　古墳時代以前の遺構と遺物

古墳時代以前では、弥生時代中期および後期の土器片が遺構外から出土しているが、明確な遺構は確認されていない。古墳前期初頭に属すると思われる遺構としては、SI14･15号竪穴建物跡があげられる。X9Y3・4グリッド内に位置し、一辺4m前後を測り、方形プランを基調とした竪穴建物跡と思われる。新旧関係は不明。遺物は主に同竪穴内で確認されているSK34～40から出土しており、これらは同竪穴の床下施設の一部だと思われる。床面と思われる堅固な箇所が認められたが、明確な炉跡や柱穴は確認できなかった。

溝状遺構ではSD16号溝状遺構がある。X9Y3グリッド内に位置し、東西幅2.2mを測り、底面から当該期の土師器甕片や性格不明の炭化材が出土している。

第2節　奈良時代の遺構と遺物

8世紀前半代（奈良時代）の竪穴建物跡としては、SI5号竪穴建物跡があげられる。X3Y1グリッド内に位置し、一辺約3mを測る方形を基調とする竪穴建物跡である。遺物は竪穴覆土からは土師器の細片が中心に出土しているが、その量は多くない。カマドは北壁のやや東寄りに設置されており、燃焼部内からは土師器甕の一括資料が出土している。

第3節　平安時代の遺構と遺物

8世紀末～9世紀初頭の竪穴建物跡としてはSI32があり、SI23とSI24の下部で検出されている。出土遺物として須恵器製壺、いわゆる壺Gが出土している。この壺Gの用途については、仏具説、堅魚（カツオ）の煎汁容器説、兵士の水筒説などがあるが、近年では仏具説がやや有力となっている。仮に仏具だとすれば、国分寺造営以降の早い段階に、仏教信仰が当該地に及んでいたことを示す有力な資料となろう。

9世紀前半代の竪穴建物跡としては、SI 1・11・18・22・24号竪穴建物跡があげられる。カマドは東壁もしくは北壁に付設されており、その半分以上が調査区域外に及んでいる。カマドの前面では土坑状の床下施設が確認されている。遺物の出土量は比較的多いが、カマドの周辺部から竪穴西側部分に集中する傾向がみられた。当該期の典型的な土師器甕や土師器坏、須恵器片などが出土している。

9世紀末～10世紀初頭の竪穴建物跡としては、SI17・26号竪穴建物跡があげられる。SI17号竪穴建物跡は、X8・9Y14・15グリッド内に位置し、確認された建物長は、東西軸4.40m、南北軸3.50mを測り長方形を呈する。本竪穴建物跡にはカマドの両脇および南壁側に棚状施設もしくはテラス状施設と思われる張り出し部を形成していることが特徴的である。これらは一体的に捉えて「棚状施設」と呼んでも良かろう。本遺構北側および西側部分は、表土剥ぎの際に遺構確認面を削平しすぎたことや、調査区外に遺構が延びていることから、棚状施設が四方全体に存在したかどうかは不明ではあるが、その可能性は十分に考えられる。カマドは東壁のほぼ中央に付設され、煙道部が長いことが特徴的で、棚状施設の関係であろう。煙道上部は黄褐色粘質土で覆われ、トンネル状に遺存していた。煙出部の先端は、張り出し部の外側まで延びており、煙は屋外に排出されてるようになっていたと思われる。また、本遺構で検出されているSK53・54・60・71のピット群は、本遺構の竪穴壁外柱穴である可能性もある。

本竪穴建物跡からは、刀子と思われる鉄製品や鉄滓がややまとまって出土している。小鍛冶関連遺構や他の遺物の存在も想定されたが、鍛冶炉やフイゴの羽口などは検出できなかった。

10世紀前半代～半ばの竪穴建物跡は、本遺跡の中で最も多い。SI 6・7・8・10・12・20・21・25・30・31・

33号竪穴建物跡があげられる。特にSI23号竪穴建物跡は、X５・６Y10・11グリッド内に位置し、９世紀前半代に属すると思われるSI24号、および８世紀末頃に属すると思われるSI32号と重複している。南北軸3.3ｍ、東西軸3.8ｍを測り、北東および南東コーナーにカマドが付設されており、カマドのつくり替えがおこなわれていた可能性もあるが、カマド遺構の埋土状況や、遺物の出土状況から同時併存していた可能性は高い。南東コーナー部のカマド前面には、羽釜の大型破片や、灰釉陶器椀などの煮炊具や什器類の土器が多数出土し、鉄製刀子も出土している。

SI30号竪穴建物跡は、X４・５Y７・８グリッドに位置し、９世紀前半代に属すると思われるSI30号竪穴建物跡と重複している。東西軸2.0ｍ、南北軸現長2.8ｍの小型のもので、調査範囲内ではカマドは検出されなかった。調査区トレンチ南面のセクションでは、カマドの痕跡を示す土壌堆積層が確認されたことから、調査区域外に存在する可能性が高い。竪穴の中央部は特によく踏み固められていた。その下部には、SI31号竪穴建物跡に伴うであろうと思われる床下土坑が検出されているが、その覆土上部は黄褐色土ブロックを混入した暗褐色土の貼床を施している。

11世紀末～12世紀初頭段階の平安時代末頃の遺構として、SI27・34号竪穴建物跡、SK100号土坑等があげられる。SK100号土坑は、X５Y４グリッド内に位置し、SK99号土坑と重複している。東西1.0ｍ、南北1.2ｍ、確認面からの深さは45㎝を測る。本遺構の覆土は黄褐色土ブロックを主体とする暗褐色土であり、その上層部からは多量の炭化材と焼土塊とともに土師器皿が出土している。また中層から下層にかけても、わずかながら炭化物と焼土塊の混入がみられた。その性格は定かではないが、現段階では、旧八田村の立石下遺跡で検出されているような炭焼遺構ではないかと考えている。

第４節　中世段階以降の遺構と遺物

中世段階以降の遺構としては、遺構としては捉えられなかったが、X９Y２グリッドでは、銭貨が６枚出土している。「元豊通寶」（北宋・初鋳1078年）「永楽通寶」（明・初鋳1408年）などの文字がみられ、いずれも中国銭である。南北方向に約１ｍの幅で、同一レベルからの出土であり、その出土状況から本来は土坑状の掘り込みが存在していた可能性が強い。またSK41号土坑からは常滑陶器片とともに馬歯の一部が出土している。

第５節　焼塩土器について

平成20年（2008）２月に開催された山梨県考古学協会主催「塩の考古学―ゆく塩、くる塩、古代の塩とその流通を考える―」という研究会の開催が、山梨県内ではじめて製塩にかかわる土器を確認することができた大きなきっかけとなった。

山梨県では、当研究会開催段階では、明確な土器製塩に関わる資料は見出されていなかった。関東周辺における塩に関わる考古学的研究も、その生産が縄文時代後期からはじまったとされているものの、後代における考古資料が乏しく、塩の生産や流通、消費にかかる実態は必ずしも明らかになっていないのが現状で、関東地方全体における塩研究も、停滞状況にあったと言っても過言ではない。

しかし近年、栃木県という内陸地域で製塩土器が確認され、隣接する茨城県や福島県などから持ち込まれていた状況が指摘され、内陸地域においても製塩土器が存在することが判明したことを契機に、現段階の関東地方における製塩土器のあり方を確認し、そこから導き出される塩の生産・消費・流通の問題状況を考えることが、当研究会の大きな趣旨であった。研究会の討論の席上、土器製塩研究の先進地域である東海地方や関西地方の研究者の方々から、“これが「製塩土器」である”と認定する際の視点を得た。それはまず第一に、地元産の土器ではない土器を抽出することであった。こうした視点を県内考古学関係者に提示したところ、東出口遺跡から南東方向に２～300ｍに位置する向第１遺跡に、地元産の土器に混じって、製塩土器として捉えられそうな異質な土器群がみられるという報告を得た（遺跡の位置については第３図を参照）。

向第１遺跡は、滝沢川沿いにのびる広域農道建設に伴って、平成12年（2000）に発掘調査された遺跡で、８世紀前半代の竪穴建物跡１軒と、平安時代の溝状遺構が数条検出されている。単独存在する８世紀前半代の竪穴建物跡（SI01）から、地元産の土師器坏・甕や須恵器坏に混じって、一見、縄文土器にも見える薄手の土器片群が、プライマリーな竪穴覆土層位から出土し、竪穴内一括出土資料として報告書内に報告されていた。向第１遺跡の調査と報告を担当された現南アルプス市教育委員会（当時、若草町教育委員会）の田中大輔氏が、当研究会での指摘を受けて、ずっと異質だと感じていたこの土器群に注目し、再度検討をおこなった結果、当研究会で示された製塩土器（焼塩土器）の特徴と極めて類似していることが判明した。この向第１遺跡出土資料をもとに、同様な土器群を近在の遺跡にも混在していないかを精査したところ、同時期の遺構が検出されている東出口遺跡をはじめ、南アルプス市域で同じ年次に発掘調査された野牛島・西ノ久保遺跡で、製塩土器（焼塩土器）と思われる異質な土器資料群が抽出できたのである。

甲斐国は海から離れているため、直接の塩生産には関わっていないことは容易想像できる。今回抽出された土器は、粗塩生産用の煎熬容器ではなく、粗塩を焼き直し

固形塩を製作する焼塩土器と考えられることから、ここでは「製塩土器」とは呼称せず、「焼塩土器」と呼称している。「焼塩土器」という視点がなければ、細片かつ異質な土器のため、奈良・平安時代とは異なる時期のものとして、今回の報告からはずしてしてしまいそうな資料でもあった。

第6節　まとめ

今回の発掘調査で判明したことは、東出口遺跡は弥生時代から古墳時代、そして奈良・平安時代から中世以降まで連綿と続く遺跡であり、遺跡の範囲は今回の開発予定地範囲外まで、さらに広がる可能性が高いということである。特に、竪穴建物跡どうしの重複のあり方などから、奈良・平安時代においては断続的に大規模な集落が営まれていた可能性が極めて高い。調査区内の土層観察においても、洪水常習河川である滝沢川が近接しながらも、小規模な洪水痕跡は認められるものの、大規模な洪水災害の痕跡は平安時代以降認められず、こうした大規模洪水災害に見舞われなかったことも大きな要因の一つと考えられる。推定される集落規模、存続期間、出土遺物などからみて、これまで近隣で発掘調査された当該期の集落遺跡の中にあって本遺跡は、峡西地域において屈指の大規模集落遺跡と言える。今回の発掘調査の成果は、古代甲斐国の峡西地域社会のあり方を解明していく上で貴重なデータを提供したと言えよう。

現在、峡西地域とよばれている当該地域は、奈良・平安時代においては『和名類聚抄』にみえる巨麻郡大井郷（こまぐんおおいのごう）域にあたると考えられている。50戸で編成された里（郷）は、複数のムラ（村）、いくつもの集落から構成されていた。郷の中には郷名を付したような中心的なムラの他、それ以外の主なムラと小さなムラがあったと推察される。これを東出口遺跡および周辺遺跡とあわせて考えてみると、市之瀬台地近辺の旧櫛形町鋳物師屋遺跡が、東出口遺跡の近隣遺跡では最も大規模な集落遺跡であり、旧白根町の百々遺跡、旧八田村の野牛島・西ノ久保遺跡等、近年、大規模集落遺跡の発見が相次いでいる地域である。しかもこれら遺跡は、単に集落遺跡としての様相だけではなく、馬匹生産や土器生産というさまざまな手工業生産に携わる工人集落的な様相が顕著にみられ、古代巨麻郡の当該地域は、古代基幹産業エリアとして注目すべき地域である。

こうしたエリアからの焼塩土器の発見は、8世紀前半代における「塩」の流通ルートやその流通形態、甲斐国内における使用目的を考えるうえで貴重な情報をもたらしたと言ってよかろう。当該地域は駿河と甲斐そして信濃を結ぶ水陸交通路の結節点にあたり交通の要衝を占めている。富士川からさらに滝沢川等の中小河川も利用すれば、当該エリア内を縦横無尽に往来できる。このような地理的特性から、当該エリアで発見された「塩」は富士川ルートの水上交通路を利用されてもたらされたことは容易に想像できる。これまで山梨県内への「塩」をはじめとする海産物の流通は、近世段階の「富士川水運」が有名であり、曳船によっておこなわれていた。しかし今回の古代の焼塩土器の発見は、その「富士川水運」の起源が、少なくとも当段階までさかのぼる可能性が出てきたと言っても過言ではない。そして今後、各遺跡出土資料の胎土分析をおこなえば、土器の地域性とともに、その搬入元も判明する可能性があろう。

さて、「塩」は、稲と同様に、官給品や労働に対する財源として使用されることもあり、その他の用途としては、工業用、祭祀用、食用などといった用途が考えられる。土器の容器に入ったまま「粗塩」の状態で、生産地から当該地にもたらされ、当該地域で「固形塩」に再加工されたものもあれば、「粗塩」状態のまま、工業用や食用に消費・使用されたものもあったであろう。さらにここから甲斐国内の他地域へ流通されたものもあったかもしれない。焼塩土器といった製塩に関わる土器は、極めて確認しにくい遺物の一つであり、発掘担当者の意識・認識がなければ抽出されにくい。山梨県内でも、製塩土器に対する認識や問題意識が高まれば、その分布時期や分布域の変動なども、今後明らかにされる可能性は十分にある。

以上、今回の発掘調査成果は、この報告書が刊行された段階ではまだ断片的な資料の一つに過ぎない。しかし、当該地域の全体像をつなぐ資料がまた一つ増えたと考えることもできる。この発掘調査がおこなえたのも、発掘調査の実施にあたって多大なるご理解とご協力を賜った株式会社パナホーム山梨、発掘調査から整理段階にわたりご指導、ご助言、ご協力をいただた南アルプス市教育委員会。そして実際に現地での発掘調査に携わっていただいた発掘スタッフの皆さんと、資料整理に従事していただた整理スタッフの皆さんのご協力の賜物である。心から感謝申し上げたい。

【註】

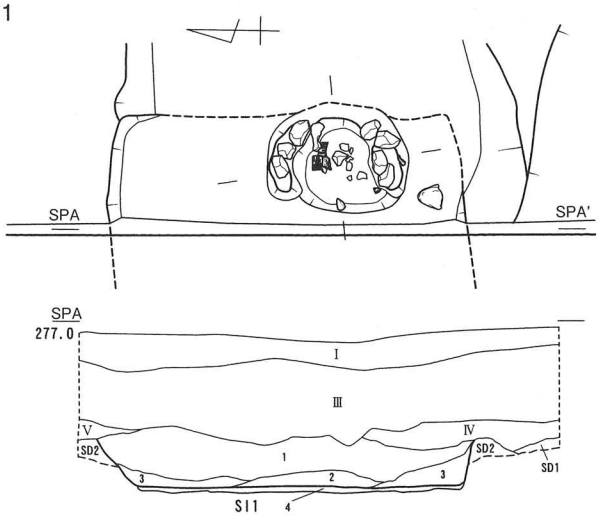
(1) 奈良・平安時代の出土土器の年代観については、次の文献を参考にしている。
櫛原功一　1992「第5節　宮ノ前遺跡における奈良・平安時代の土器・陶器」『宮ノ前遺跡―韮崎市立北東小学校建設に伴う発掘調査報告書―本文編』韮崎市遺跡調査会ほか

【参考文献】

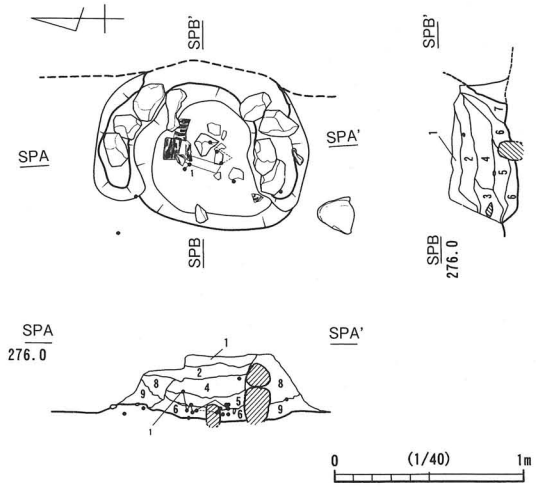
岩本正二　1983「7～9世紀の土器製塩」『文化財論叢』奈良国立文化財研究所創立30周年記念論文集刊行会
岸本雅敏　1992「律令制下の塩生産」『考古学研究』39-2　考古学研究会
櫛形町教育委員会　1994『鋳物師屋遺跡』櫛形町文化財調査報告№12
斎藤秀樹　2006「峡西地域における奈良･平安時代の集落変遷」『山梨県考古学協会誌』第16号　山梨県考古学協会

斎藤秀樹　2007「野牛島・西ノ久保遺跡」『山梨考古』第103号　山梨県考古学協会
津野　仁　2008「栃木県と周辺の古代製塩土器」『塩の考古学―ゆく塩、くる塩、古代の塩とその流通を考える―』山梨県考古学協会
南アルプス市教育委員会　2006『山梨県南アルプス市平成17年度埋蔵文化財試掘調査報告書』南アルプス市埋蔵文化財調査報告書第11集
森　泰通　1997「東海地方における消費地出土の製塩土器―特に固形塩の問題をめぐって―」『シンポジウム製塩土器の諸問題―古代における塩の生産と流通―』塩の会シンポジウム実行委員会
山梨県教育委員会他　2001『立石下遺跡』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第189集
山梨県教育委員会他　2002『百々遺跡１』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第201集
山梨県教育委員会他　2004『百々遺跡２・４』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第212集
山梨県教育委員会他　2004『百々遺跡３・５』山梨県埋蔵文化財センター調査報告第213集
若草町教育委員会他　2002『向第１遺跡』若草町埋蔵文化財調査報告書第３集

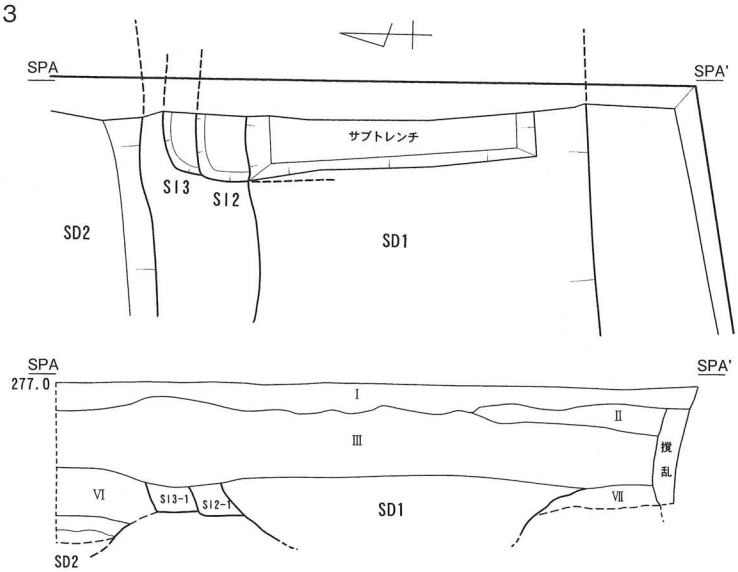
SI1



SI1 カマド



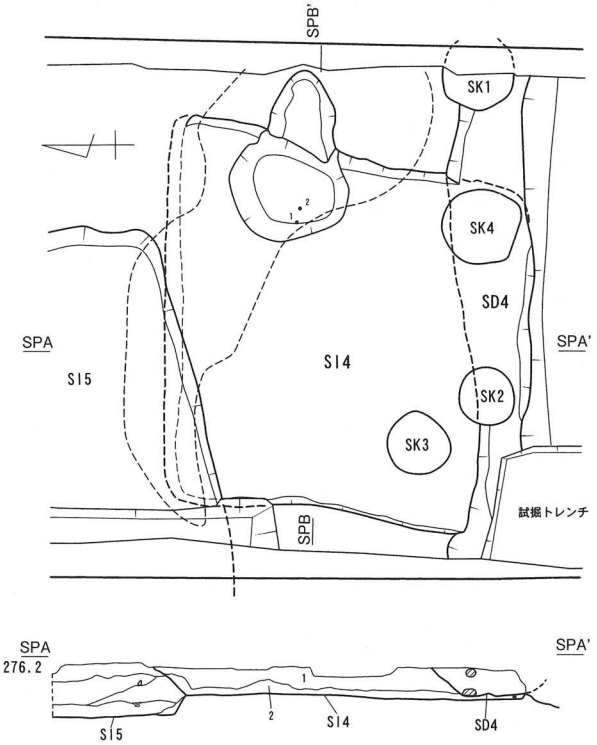
SI2・3

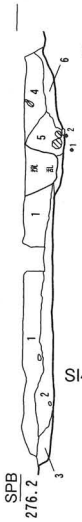


SI1　土層説明
- Ⅰ　表土
- Ⅲ　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫やや多く含む
- Ⅳ　黒褐色砂質土（10YR2/2）ややシルト質
- Ⅴ　砂礫
- 1　黒褐色砂質土（10YR2/3）小礫多量
- 2　褐色粘質土（10YR4/6）やや砂質　焼土粒、炭化物粒含む
- 3　暗褐色砂質土（10YR3/3）ややシルト質　礫やや多く含む、炭化物粒含む
- 4　灰黄褐色粘質土（10YR4/2）シルト質　炭化物粒、黄褐色粘質土ブロック含む

SI1　カマド土層説明
- 1　黒褐色砂質土（10YR3/1）シルト質　小礫多く含む）
- 2　褐灰色砂質土（7.5YR4/1）シルト質　焼土ブロック含む
- 3　灰褐色砂質土（7.5YR4/2）シルト質　黄褐色粘質土ブロック多含む
- 4　灰褐色砂質土（7.5YR4/2）シルト質　黄褐色粘質土ブロック多含む、焼土小ブロック含む
- 5　灰褐色砂質土(5YR4/2)シルト質　黄褐色粘質土ブロック多含む、焼土小ブロック含む
- 6　灰褐色砂質土（5YR4/2）シルト質　焼土ブロック多量含む
- 7　灰黄褐色砂質土（10YR5/2）シルト質　小礫少含む
- 8　にぶい黄褐色砂質土（10YR5/3）シルト質　焼土ブロックやや多く含む
- 9　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）シルト質　焼土ブロックやや多く含む

SI4





SI2・3　土層説明
- Ⅰ　表土
- Ⅱ　旧表土
- Ⅲ　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫やや多く含む
- Ⅵ　砂礫
- Ⅶ　黒褐色砂礫土（10YR2/2）小礫多

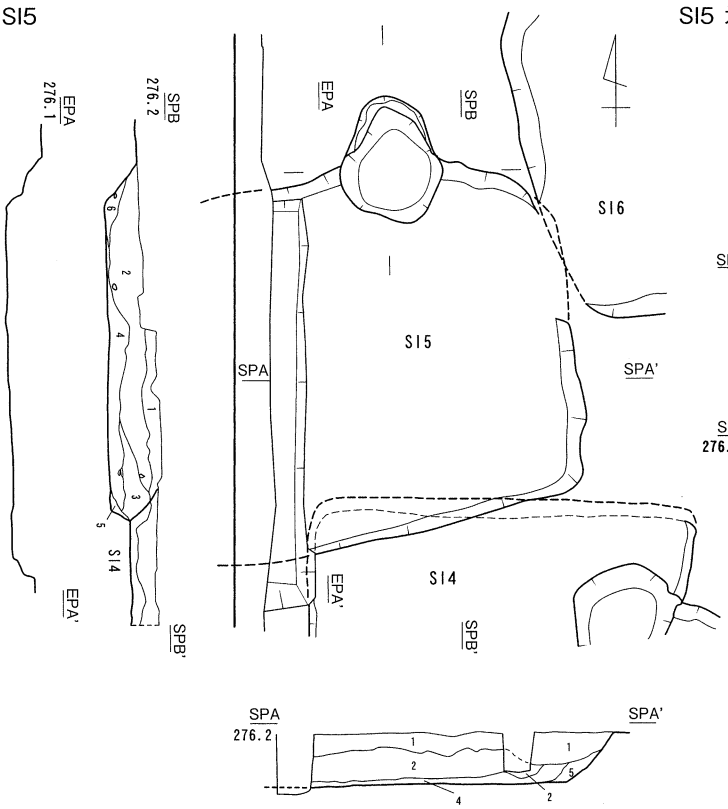
〈SI2〉
- 1　黒褐色砂質土（10YR3/1）ややシルト質　小礫やや多く含む、炭化物粒含む

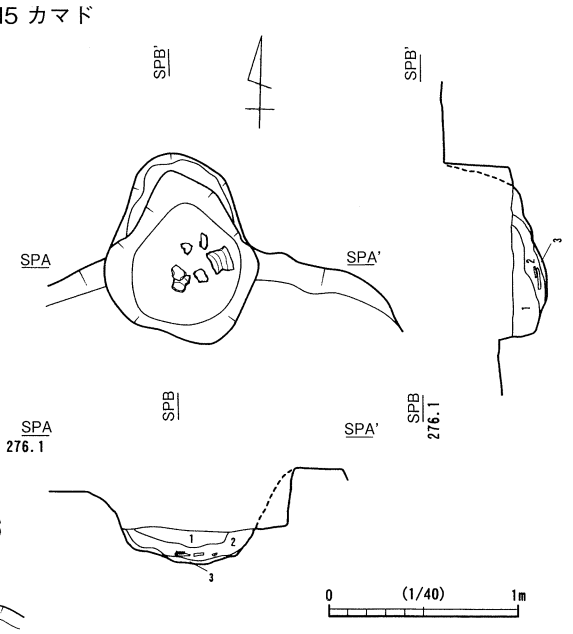
〈SI3〉
- 1　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）ややシルト質　小礫やや多く含む、炭化物粒含む

SI4　土層説明
- 1　黒褐色砂質土（10YR3/1）シルト質　小礫やや多く含む
- 2　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）シルト質　黒褐色砂質土ブロック含む、小礫少含む
- 3　黒褐色砂質土（10YR2/3）シルト質　黒褐色砂質土ブロック含む、小礫少含む
- 4　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫多、焼土ブロック含む
- 5　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　小礫多含む
- 6　黒褐色砂質土（10YR2/2）シルト質　小礫含む、焼土ブロック・炭化物含む

0　(1/60)　2m

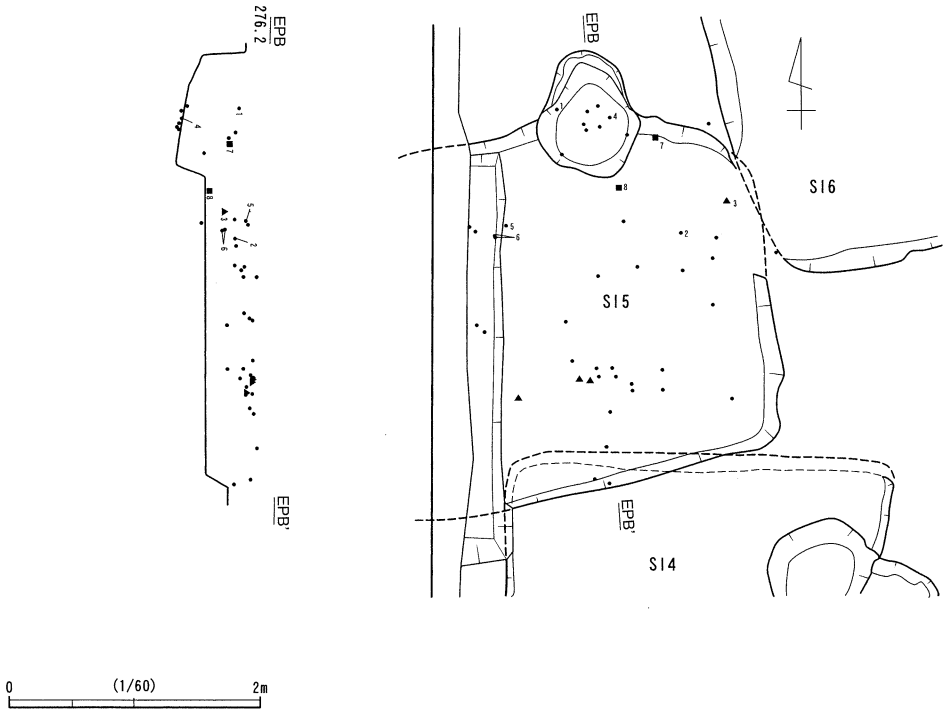
第５図　SI1 ～４号竪穴建物跡





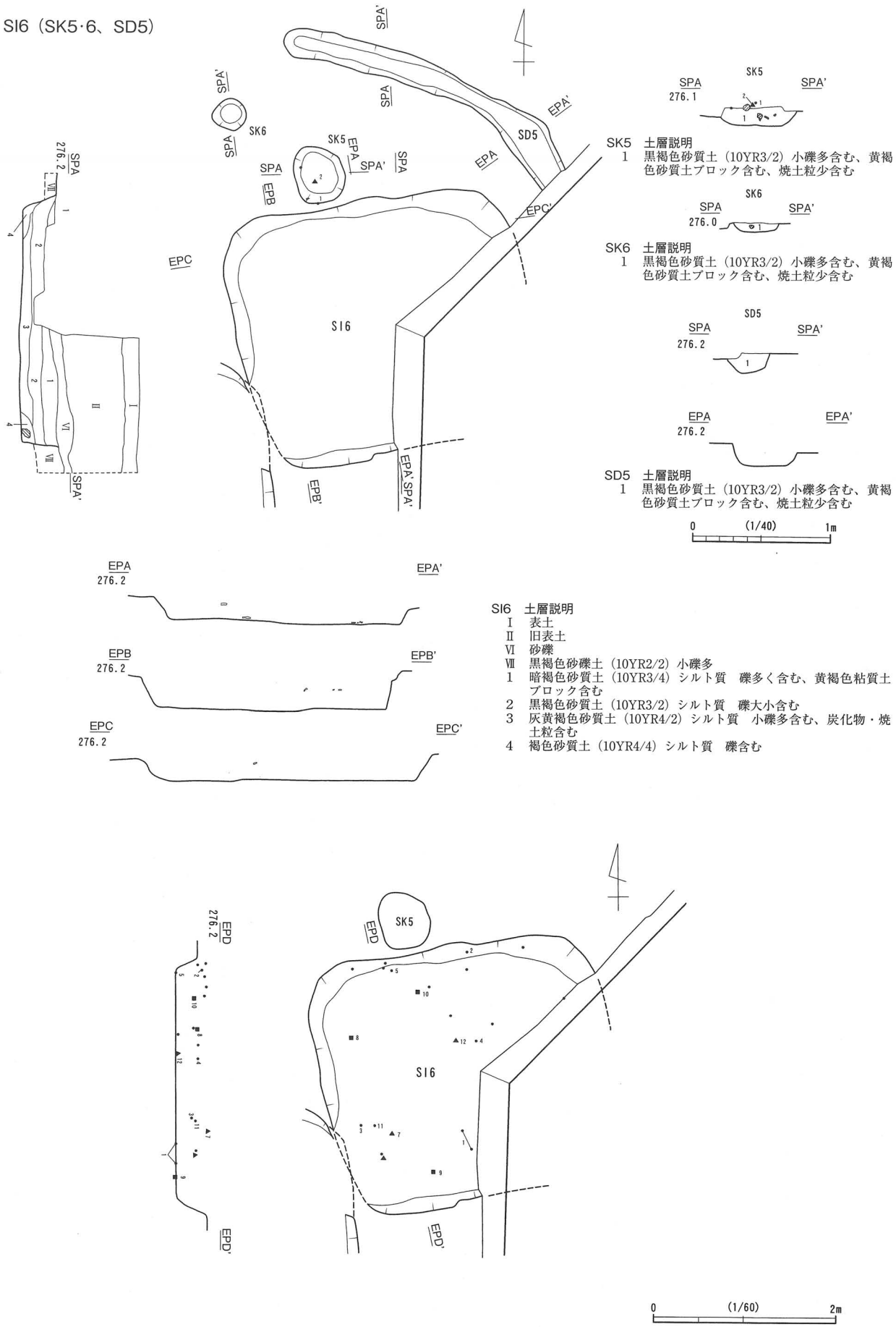
SI5 カマド土層説明
1 灰黄褐色砂質土（10YR4/2）シルト質　0.5～2cm 大の礫含む、焼土小ブロック・炭化物含む
2 灰黄褐色砂質土（10YR4/2）シルト質　焼土主体
3 にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）1cm大の礫含む、焼土粒多含む

SI5 土層説明
1 黒褐色砂質土（10YR3/1）シルト質　小礫多含む、焼土ブロック含む
2 黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　黄褐色砂質土ブロック含む、焼土粒・炭化物粒・小礫含む
3 暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト質　黄褐色砂質土ブロック含む、焼土粒・炭化物粒・小礫含む
4 黒褐色砂質土（10YR2/2）シルト質　黄褐色砂質土ブロック含む、焼土粒・炭化物粒・小礫含む
5 にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）シルト質　黄褐色砂質土ブロック含む、焼土粒・炭化物粒・小礫含む
6 灰黄褐色砂質土（10YR4/2）シルト質

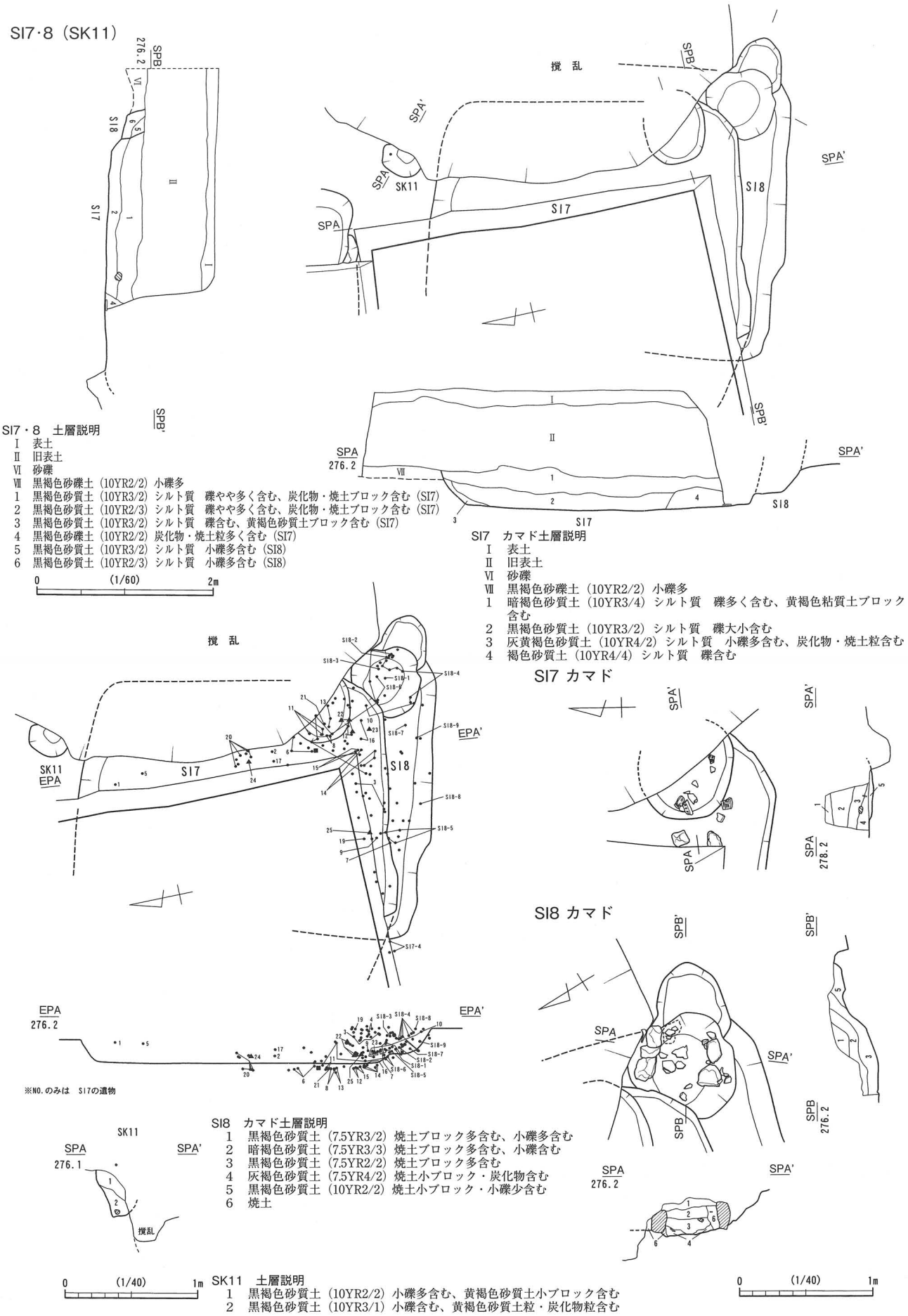


第6図　SI5 号竪穴建物跡

SI6（SK5･6、SD5）

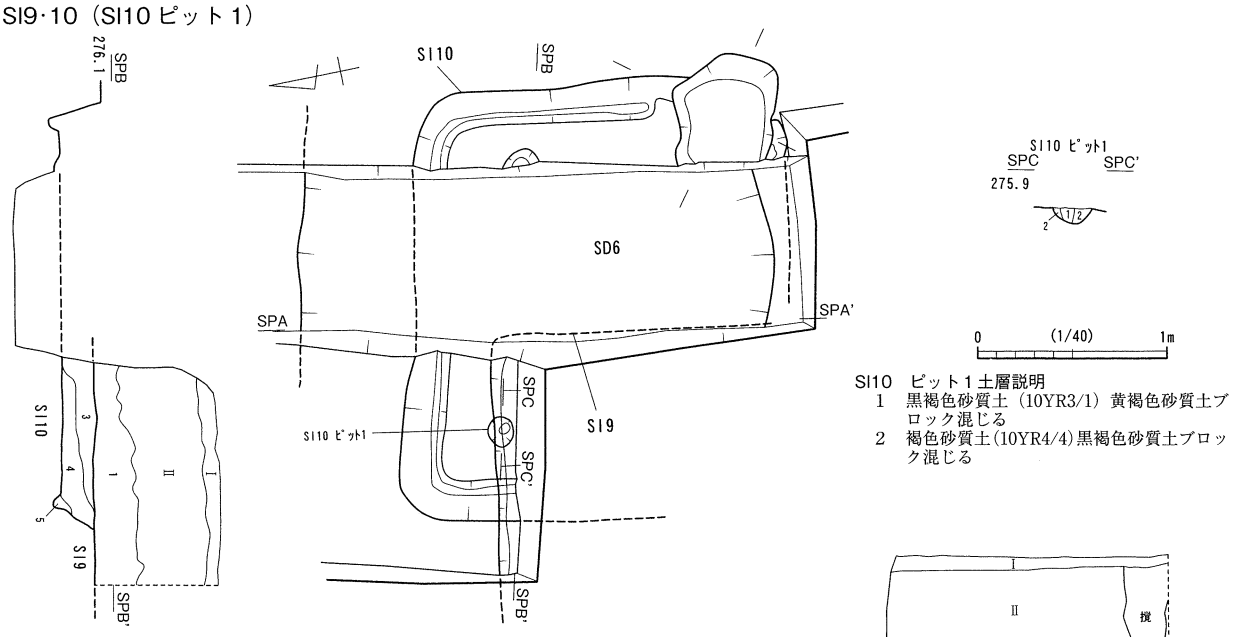


第７図　SI6 号竪穴建物跡、SK5・6、SD5



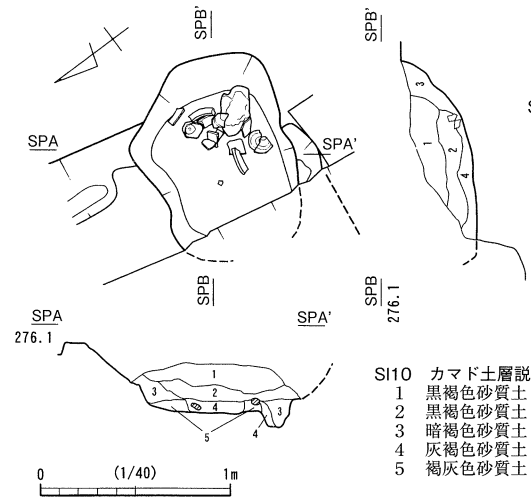
第８図　SI7・８号竪穴建物跡、SK11

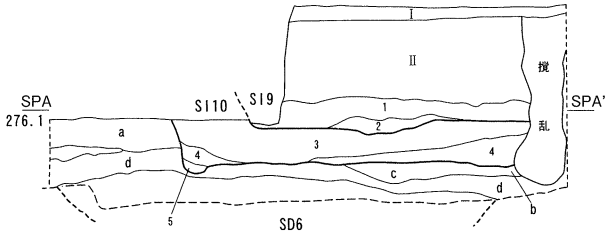
SI9·10（SI10 ピット1）



SI10　ピット1土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/1）黄褐色砂質土ブロック混じる
2　褐色砂質土(10YR4/4)黒褐色砂質土ブロック混じる

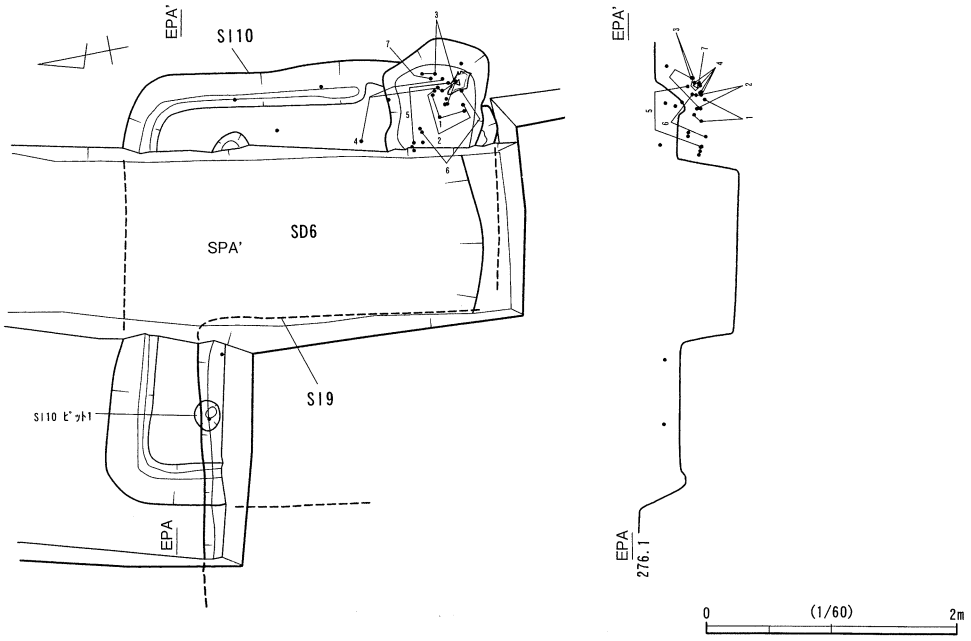
SI10 カマド





SI9・10　土層説明
Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
a　黒褐色砂質土（10YR3/1）シルト質　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む
b　褐色砂質シルト（10YR4/6）シルト質　黒褐色砂質土混じる
c　砂礫　1～3大の小～中の礫
d　黄褐色砂質シルト
1　黒褐色砂質土（7.5YR3/1）シルト質　小礫少含む（SI9）
2　黒褐色砂質土（7.5YR3/2）シルト質　焼土ブロック多・炭化物含む（SI9）
3　黒褐色砂質土（10YR2/2）シルト質　小礫多含む、炭化物粒含む（SI10）
4　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　小礫多含む、炭化物粒含む、焼土粒含む（SI10）
5　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　小礫・黄褐色砂質土ブロック含む　（SI10）

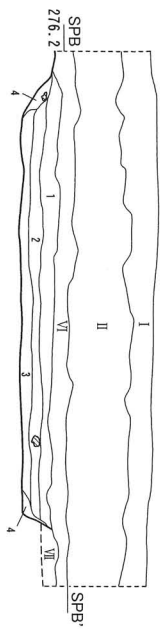
SI10　カマド土層説明
1　黒褐色砂質土（7.5YR3/2）小礫多含む　焼土小ブロック多含む
2　黒褐色砂質土（7.5YR2/2）小礫少含む焼土小ブロック・炭化物含む
3　暗褐色砂質土（7.5YR3/3）焼土ブロック多含む
4　灰褐色砂質土（7.5YR4/2）シルト質　焼土小ブロック・炭化物多含む
5　褐灰色砂質土（7.5YR4/1）シルト質　焼土小ブロック・炭化物多含む

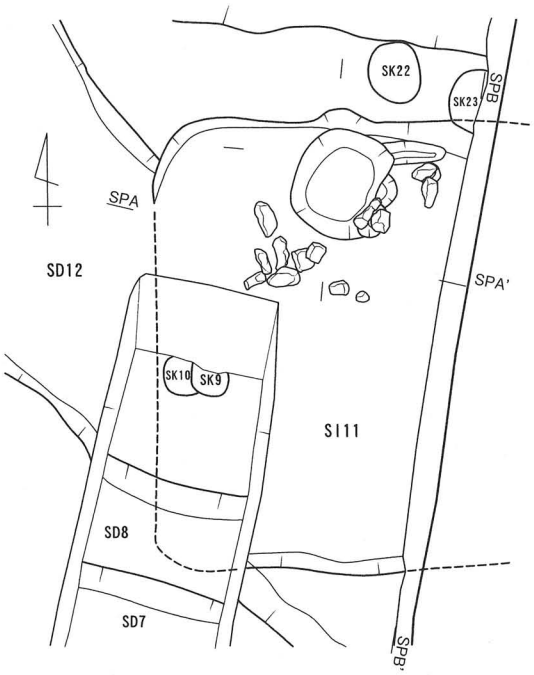


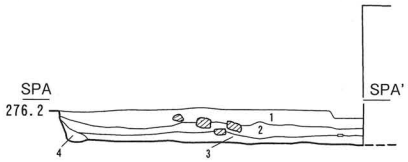
第9図　SI9・10号竪穴建物跡

SI11

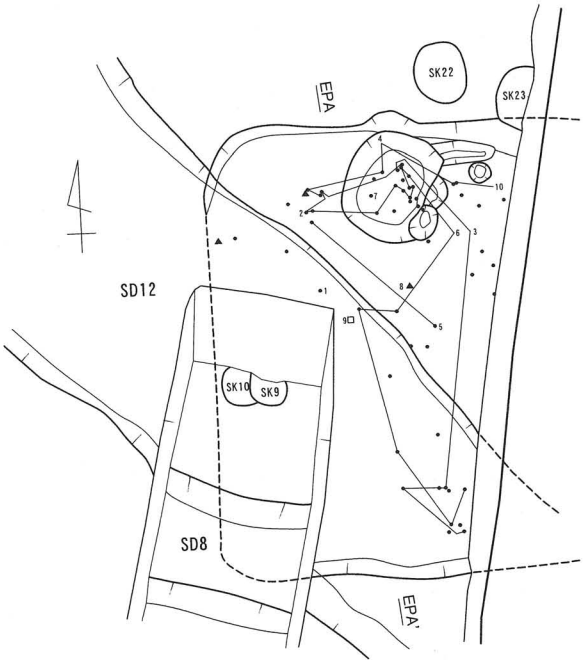
SI11　土層説明
Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
Ⅵ　砂礫
Ⅶ　黒褐色砂礫土（10YR2/2）小礫多
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）シルト質砂礫多く含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/2）シルト質砂礫やや多く含む
3　暗褐色砂質土（10YR3/4）シルト質小礫含む、炭化物・焼土ブロック含む
4　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト質小礫含む、炭化物粒含む

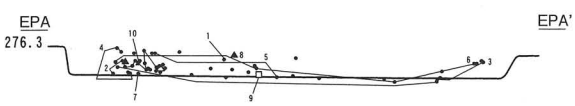


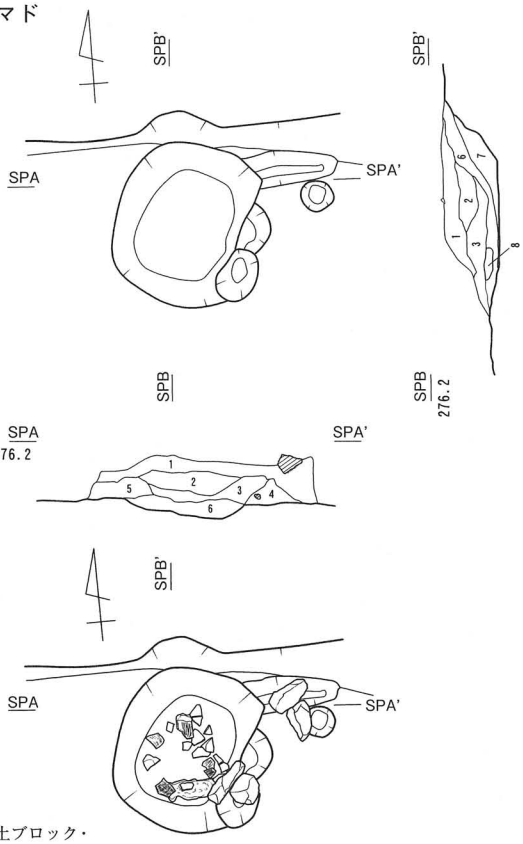




SI11 カマド





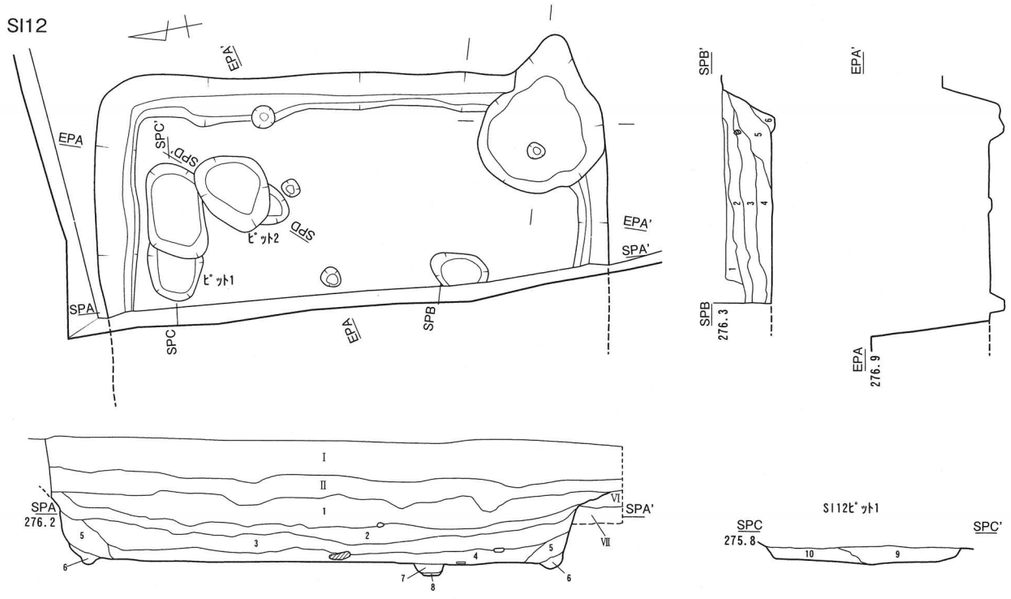


SI11　カマド土層説明
1　黒褐色砂質土（7.5YR3/2）砂礫多含む、焼土ブロック・炭化物含む
2　灰褐色砂質土（7.5YR4/2）焼土多含む
3　褐灰色砂質土（7.5YR4/1）焼土ブロック含む
4　黒褐色砂質土（7.5YR3/1）褐灰色砂質土ブロック含む、焼土粒含む
5　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）シルト質
6　灰褐色砂質土（7.5YR4/2）焼土小ブロック含む
7　灰褐色砂質土（10YR5/2）シルト質
8　焼土

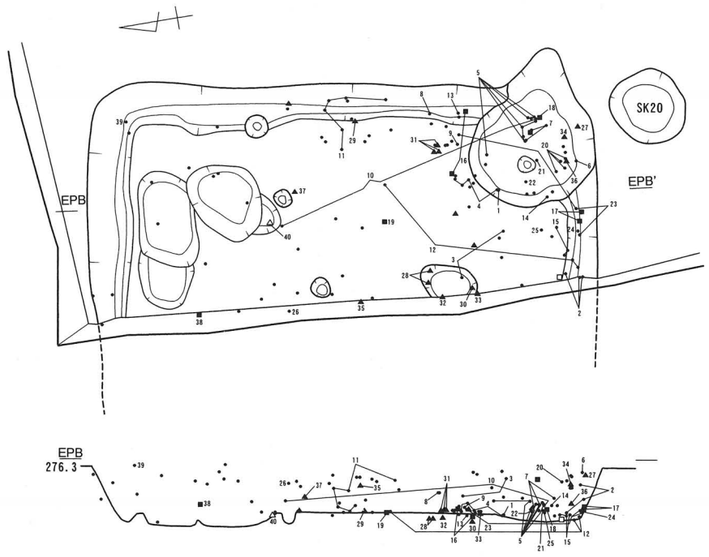
0　(1/60)　2m

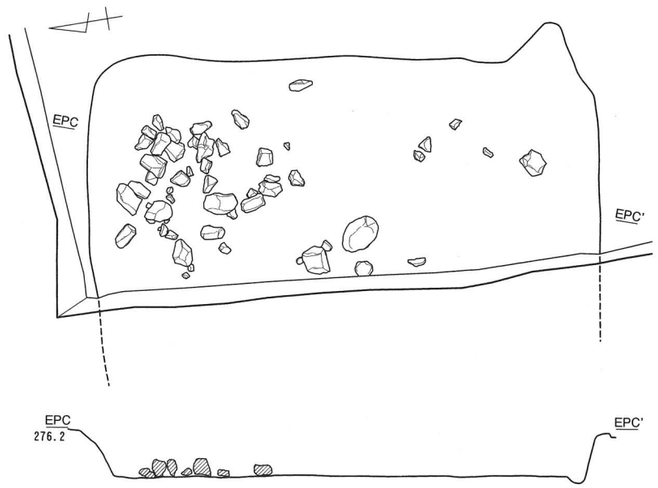
0　(1/40)　1m

第10図　SI11号竪穴建物跡

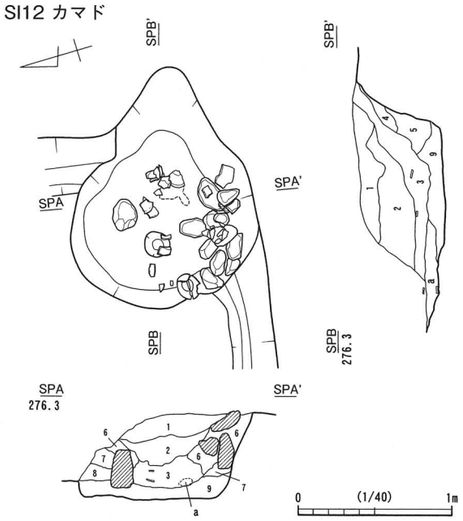


SI12（ピット１・２含む）土層説明
Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
Ⅵ　砂礫
Ⅶ　黒褐色砂礫土（10YR2/2）小礫多
1　黄褐色砂質土（10YR5/6）
2　暗褐色砂質土（10YR3/4）砂礫多混じる、炭化物粒含む
3　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫多混じる、炭化物粒含む焼土粒含む
4　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫混じる、炭化物・焼土粒含む
5　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫・黄褐色砂質土ブロック混じる
6　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）小礫・焼土小ブロック・炭化物含む
7　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）シルト質　焼土ブロック・炭化物多含む
8　褐色砂質土（10YR4/4）シルト質　焼土小ブロック含む
9　黒褐色砂質土（10YR3/1）炭化物・焼土小ブロック含む（SI12 ピット１・２）
10　黒褐色砂質土（10YR2/2）炭化物含む（SI12 ピット１・２）



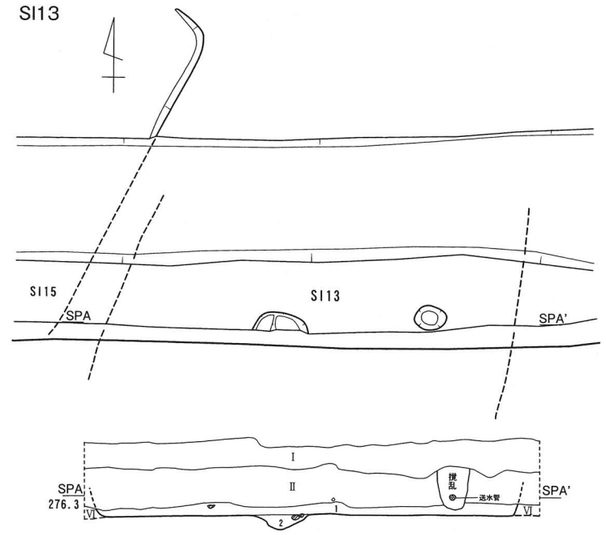


SI12 カマド



SI12 カマド　土層説明
a　焼土
1　黒褐色砂質土（7.5YR2/2）小礫多　焼土小ブロック・炭化物含む
2　褐灰色砂質土（7.5YR4/1）小礫　焼土小ブロック・炭化物含む
3　灰褐色砂質土（5YR4/2）小礫　焼土ブロック多・炭化物含む
4　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）
5　黒褐色砂質土（10YR3/2）
6　褐灰色砂質土（7.5YR4/1）焼土小ブロック多く含む
7　褐色砂質土（10YR4/4）シルト質　焼土ブロック多く含む
8　褐色砂質土（10YR4/4）シルト質
9　暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2）

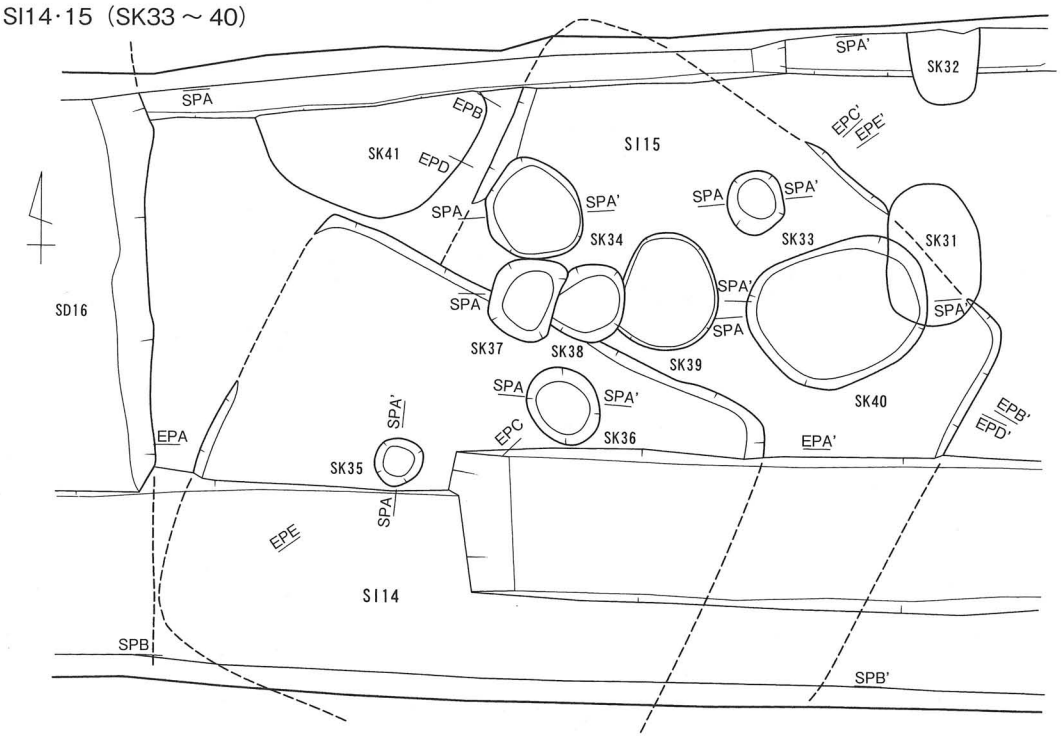
SI13

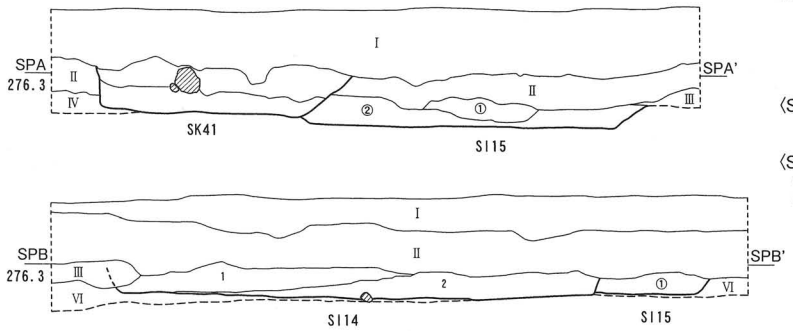


SI13　土層説明
Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
Ⅵ　砂礫
1　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）シルト質　炭化物粒・焼土粒含む
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）シルト質　炭化物粒・焼土粒含む

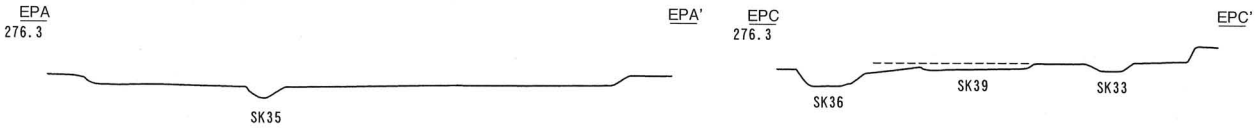
第11図　SI12・13 号竪穴建物跡

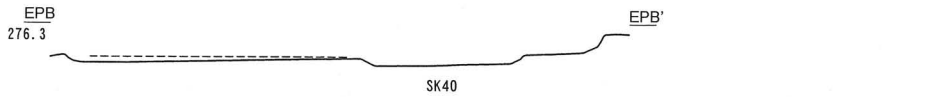
SI14・15（SK33～40）





SI14・15　土層説明
Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
Ⅲ　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫やや多く含む
Ⅳ　黒褐色砂質土（10YR2/2）ややシルト質
Ⅵ　砂礫
〈SI14〉
1　黒褐色砂質土（10YR3/1）礫やや多含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/2）礫やや多含む　焼土粒含む
〈SI15〉
①　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫混じる
②　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）砂礫



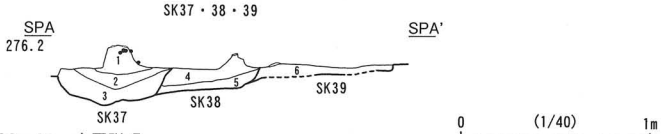


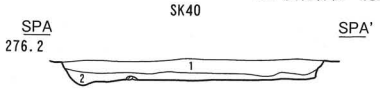
SK33　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む、炭化物粒・焼土粒含む

SK34　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む、炭化物粒・焼土粒含む

SK35　土層説明
1　黒褐色砂質土(10YR3/2)砂礫含む、炭化物粒・焼土粒含む

SK36　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む、炭化物粒・焼土粒含む



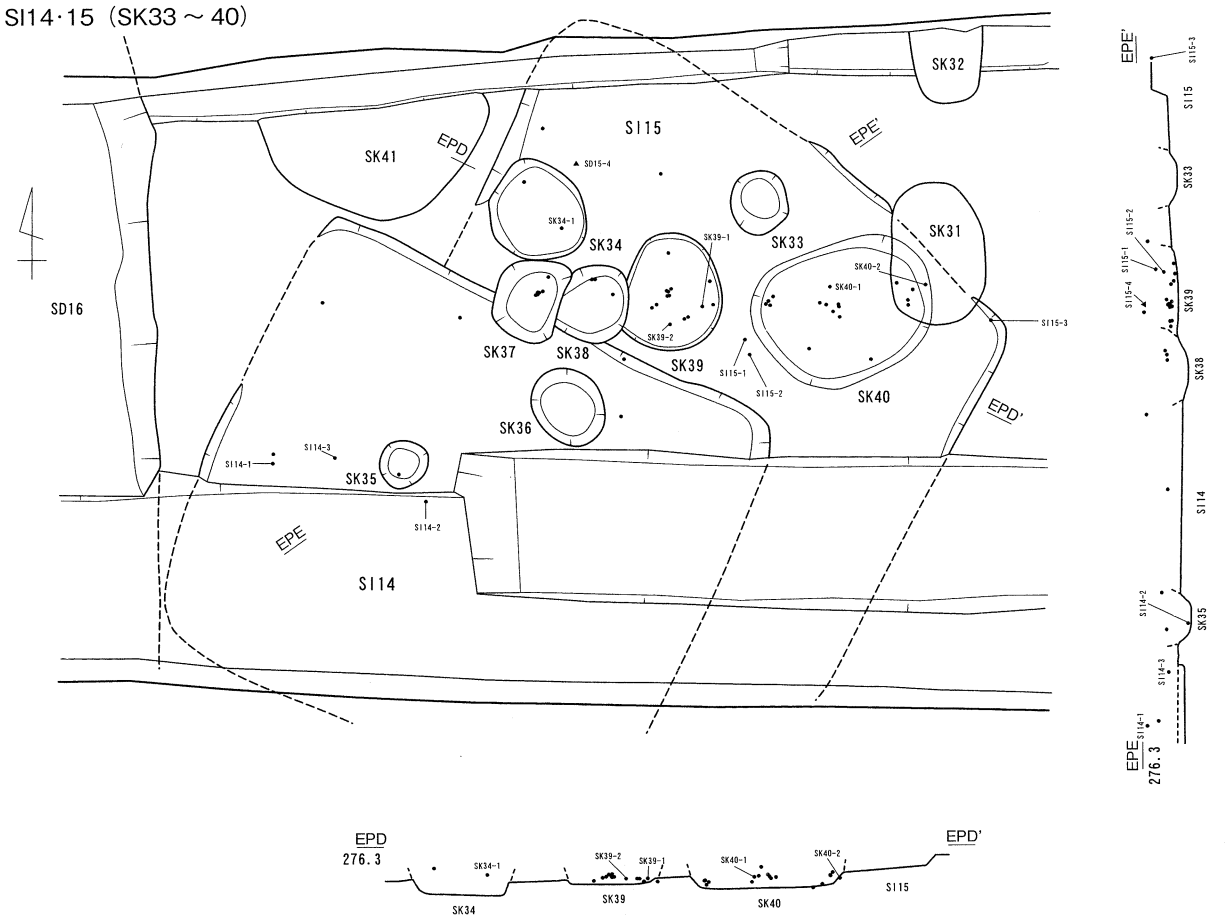


SK37・38・39　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/1）砂礫含む、炭化物粒・焼土粒含む（SK37）
2　黒褐色砂質土（10YR2/2）焼土小ブロック含む、炭化物粒・焼土粒含む（SK37）
3　黒褐色砂質土（10YR3/2）焼土粒含む　（SK37）
4　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む、焼土粒・炭化物粒含む（SK38）
5　暗褐色砂質土（10YR3/3）焼土粒・炭化物粒含む（SK38）
6　黒褐色砂質土（10YR3/2）焼土粒・炭化物粒含む（SK39）

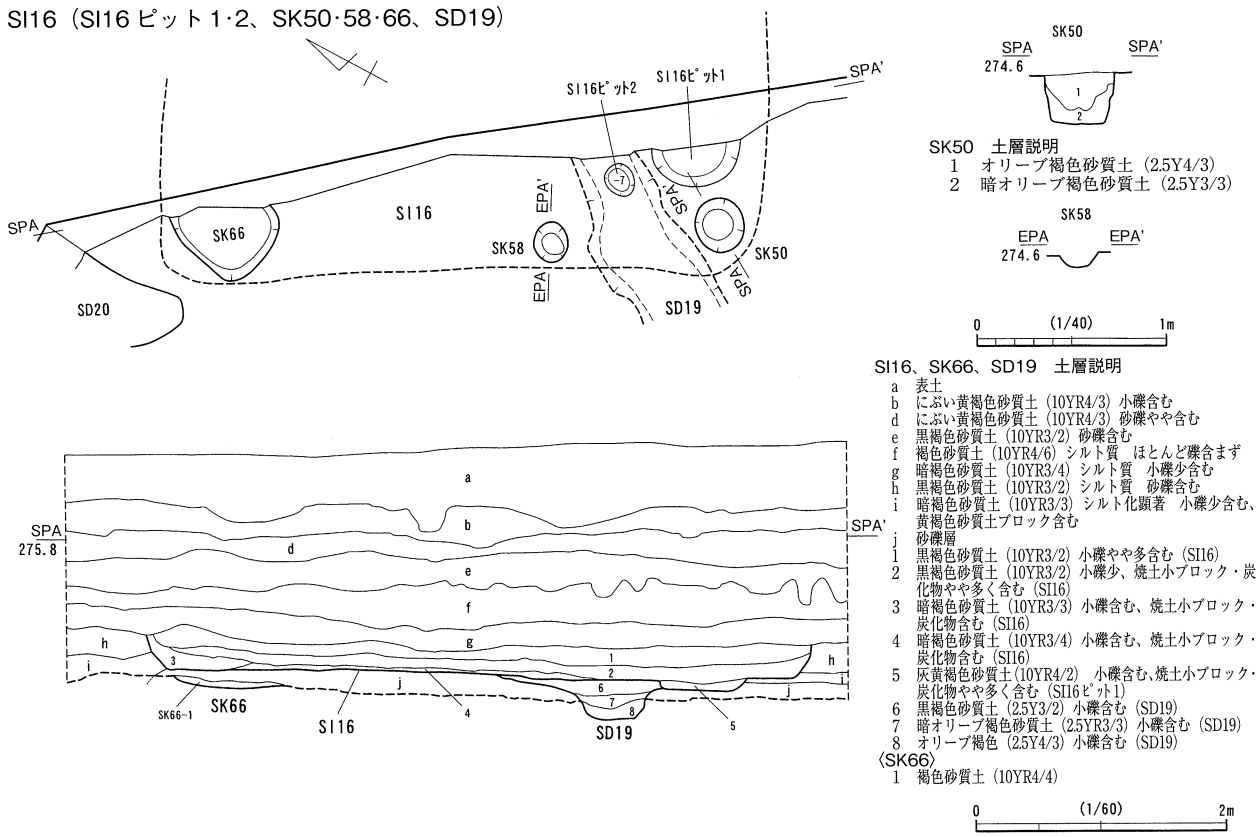
SK40　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）焼土小ブロック含む、炭化物粒・焼土粒含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）焼土粒含む

第12図　SI14・15号竪穴建物跡、SK33～40

SI14·15（SK33～40）

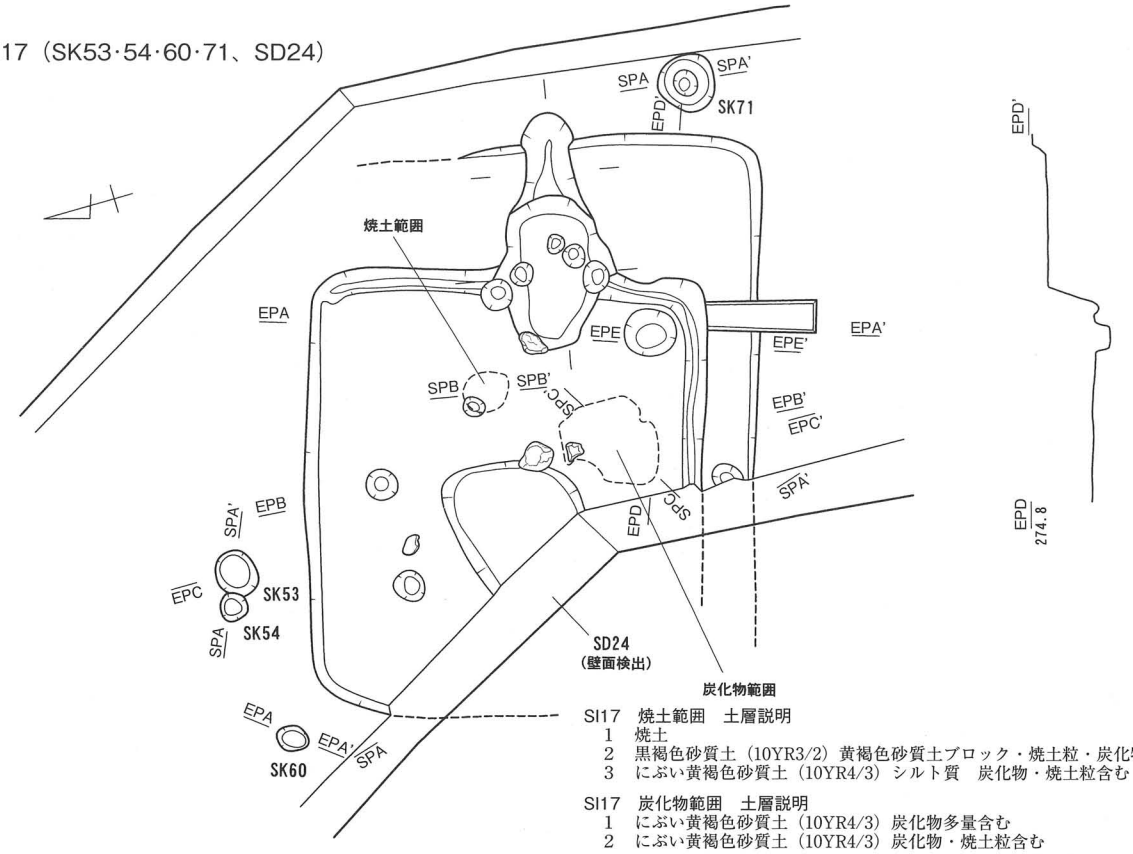


SI16（SI16ピット1·2、SK50·58·66、SD19）



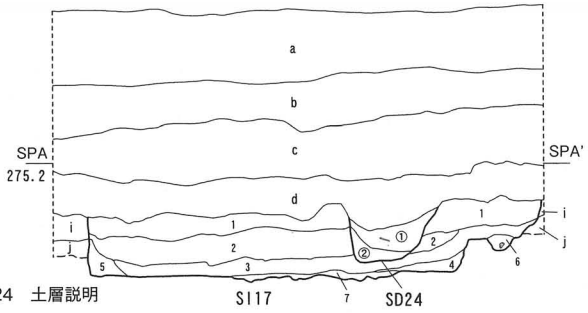
第13図　SI14～16号竪穴建物跡、SK33～44・50・58・66、SD19

SI17（SK53·54·60·71、SD24）

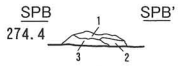


SI17　焼土範囲　土層説明
1　焼土
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色砂質土ブロック・焼土粒・炭化物含む
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）シルト質　炭化物・焼土粒含む

SI17　炭化物範囲　土層説明
1　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）炭化物多量含む
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）炭化物・焼土粒含む



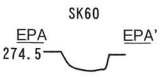
焼土範囲



炭化物範囲

SK53・54

SK60



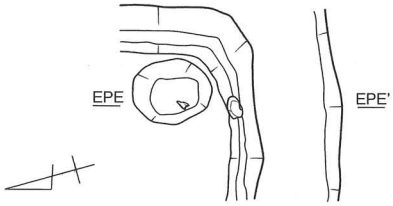
SK53・54　土層説明
1　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）（SK53）
1'オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）（SK54）

SK71

0　(1/40)　1m

SK71　土層説明
1　暗褐色砂質土（10YR3/3）焼土粒・炭化物含む
2　褐色砂質土（10YR4/6）黒褐色砂質土混じる
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）焼土粒・炭化物含む

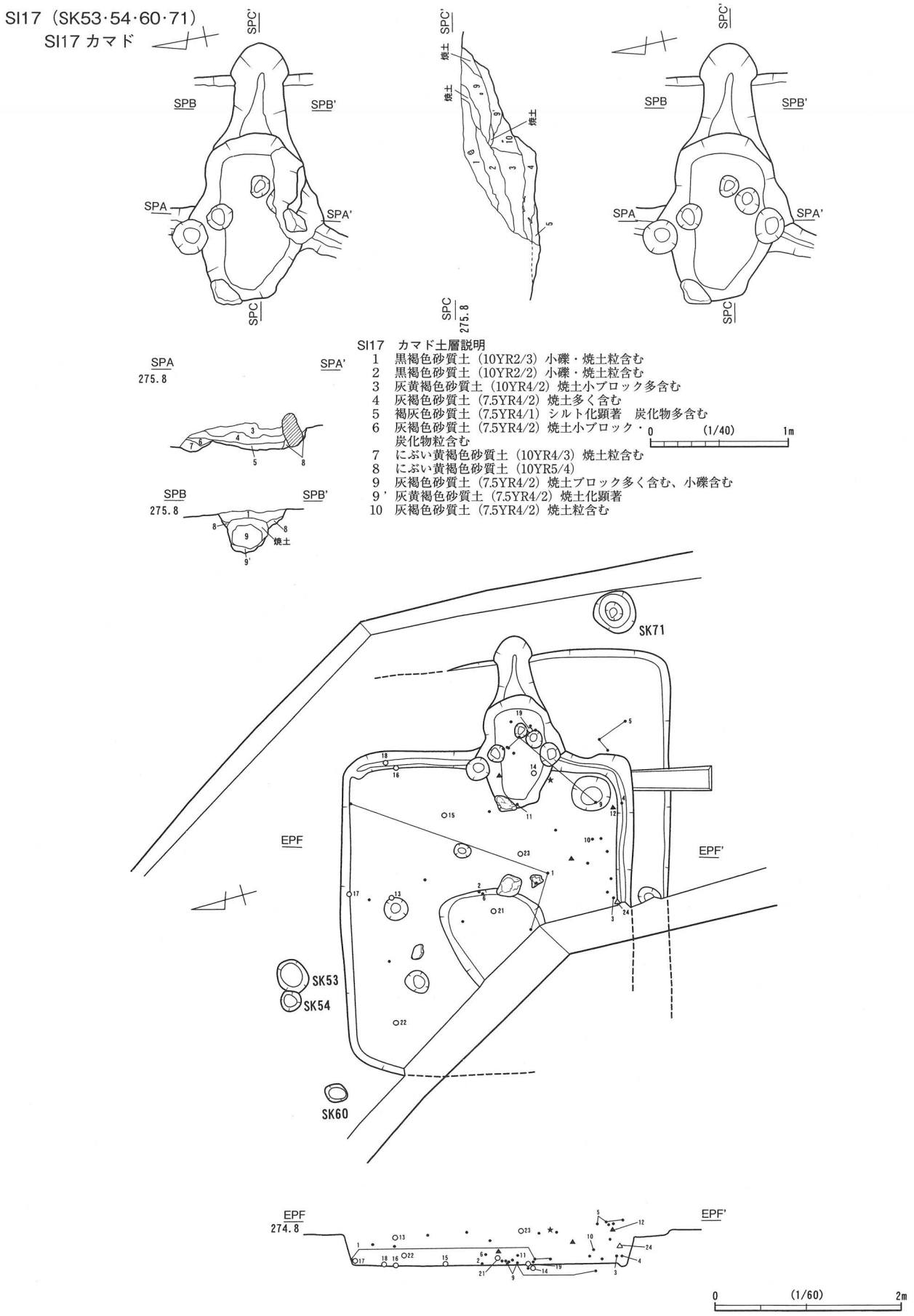
SI17、SD24　土層説明
a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや多く含む
i　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト化顕著　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む
j　砂礫層
1　黒褐色砂質土（10YR2/3）小礫・礫多く含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色砂質土ブロック・炭化物・焼土粒・小礫・礫含む
3　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色砂質土ブロック・炭化物・焼土粒・小礫含む
4　褐色砂質土（10YR4/6）黄褐色砂質土ブロック含む
5　褐色砂質土（10YR4/4）黄褐色砂質土ブロック多含む
6　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）炭化物含む
7　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）
〈SD24〉
①　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色砂質土ブロック・小礫多含む、炭化物含む
②　褐色砂質土（10YR4/4）黄褐色砂質土ブロック・小礫多含む



遺物出土微細図

0　(1/40)　1m

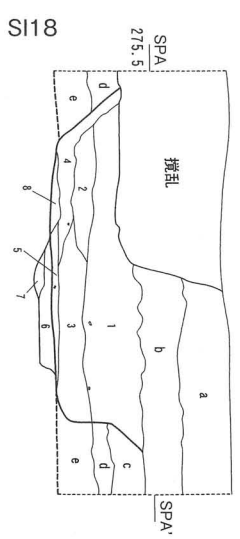
第14図　SI17号竪穴建物跡、SK53・54・60・71、SD24



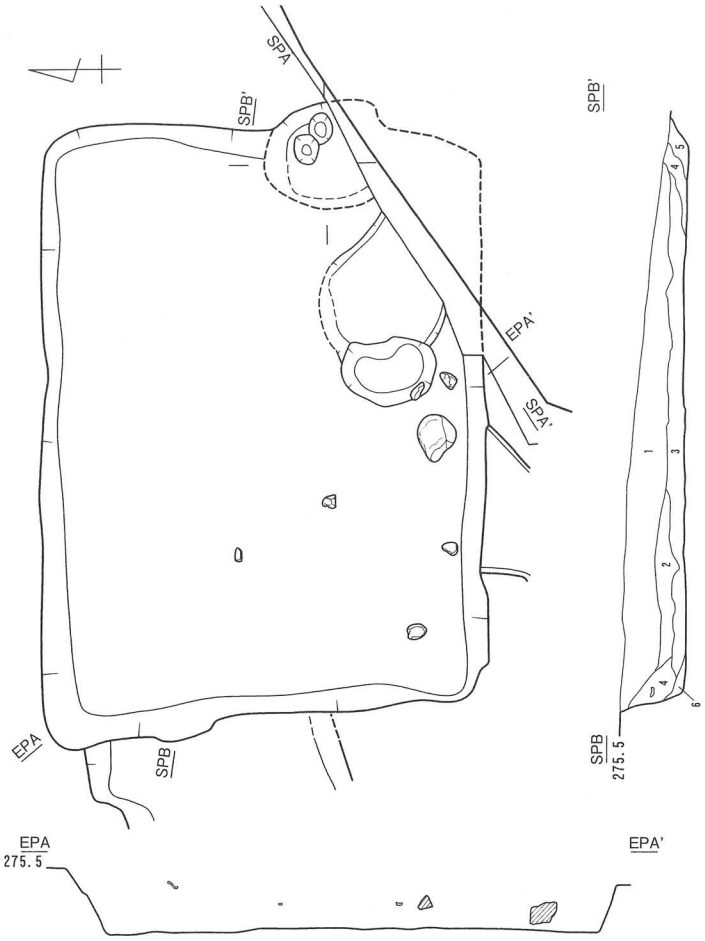
SI17　カマド土層説明

1　黒褐色砂質土（10YR2/3）小礫・焼土粒含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/2）小礫・焼土粒含む
3　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）焼土小ブロック多含む
4　灰褐色砂質土（7.5YR4/2）焼土多く含む
5　褐灰色砂質土（7.5YR4/1）シルト化顕著　炭化物多含む
6　灰褐色砂質土（7.5YR4/2）焼土小ブロック・炭化物粒含む
7　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）焼土粒含む
8　にぶい黄褐色砂質土（10YR5/4）
9　灰褐色砂質土（7.5YR4/2）焼土ブロック多く含む、小礫含む
9'　灰黄褐色砂質土（7.5YR4/2）焼土化顕著
10　灰褐色砂質土（7.5YR4/2）焼土粒含む

第15図　SI17号竪穴建物跡、SK53・54・60・71

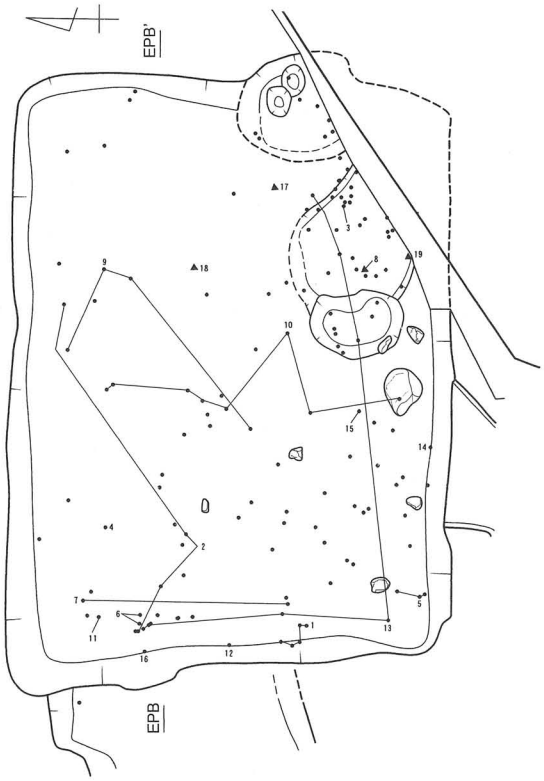


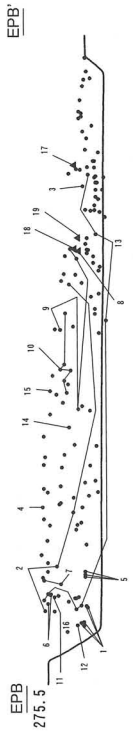
SI18　南壁　土層説明
- a　表土
- b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
- c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
- d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや含む
- e　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
- 1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫多く含む
- 2　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫多く含む、焼土小ブロック含む
- 3　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫やや多く含む、炭化物・焼土粒多く含む
- 4　焼土
- 5　黒褐色砂質土（7.5YR3/2）焼土ブロック・灰黄褐色粘土ブロック・炭化物含む
- 6　灰褐色砂質シルト（7.5YR4/2）焼土ブロック・灰黄褐色粘土ブロック・炭化物含む
- 7　灰黄褐色砂質シルト（10YR4/2）
- 8　褐色砂質土（10YR4/4）



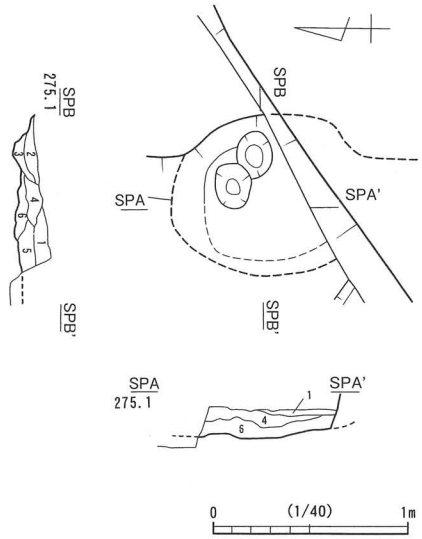
SI18　土層説明
- 1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫多く含む
- 2　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む、焼土小ブロック含む
- 3　暗褐色砂質土（10YR3/3）しまり非常につよい　黄褐色土ブロック含む
- 4　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック含む
- 5　褐色砂質土（10YR4/6）黄褐色土ブロック含む
- 6　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多含む

0　(1/60)　2m





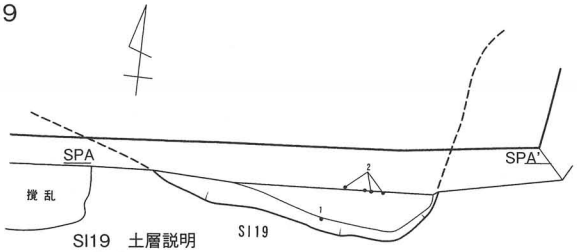
SI18 カマド

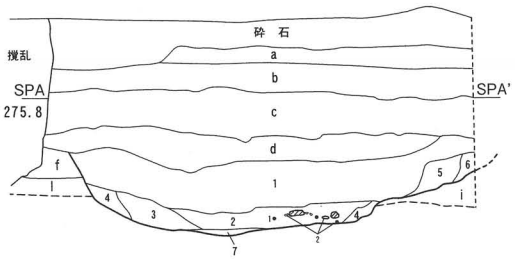


SI18　カマド土層説明
- 1　黒褐色砂質土（7.5YR3/2）焼土ブロック・炭化物多含む
- 2　暗赤褐色砂質シルト（5YR3/2）焼土ブロック多含む、灰黄褐色粘土ブロック含む
- 3　暗赤褐色砂質シルト（5YR3/3）焼土ブロック多含む、灰黄褐色粘土ブロック含む
- 4　焼土
- 5　黒褐色砂質土（10YR3/2）焼土粒・炭化物多含む
- 6　褐色砂質土（10YR4/4）

第16図　SI18号竪穴建物跡

SI19

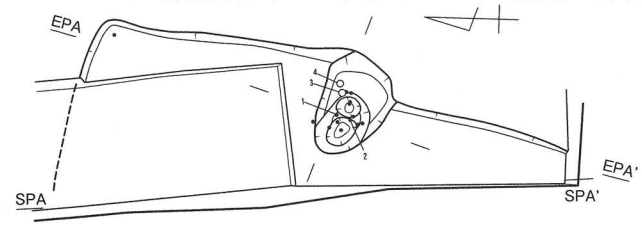


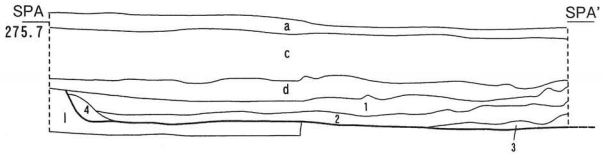


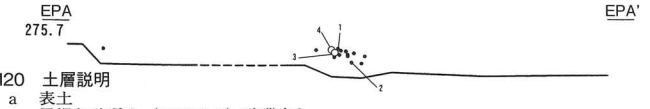
SI19　土層説明

砕石
a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや含む
f　褐色砂質土（10YR4/6）シルト質　ほとんど礫含まず
i　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト化顕著、小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む
l　オリーブ褐色砂質土（2.5Y3/3）小礫多く含む
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む　焼土粒・炭化物含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/4）焼土小ブロック・炭化物含む
3　褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック・炭化物粒含む
4　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック・炭化物粒含む
5　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック、カマドの袖部か
6　褐色砂質土（10YR4/6）焼土化、カマドの袖部か
7　暗褐色砂質土（10YR3/4）焼土小ブロック・炭化物含む（床下土坑）

SI20



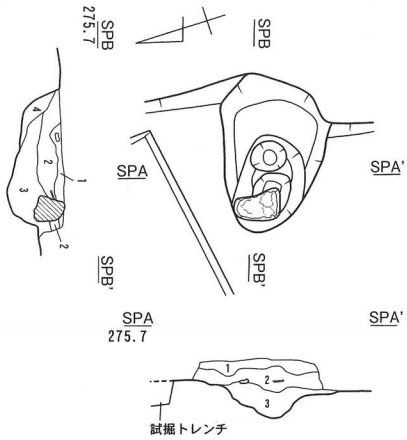




SI20　土層説明

a　表土
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや含む
l　オリーブ褐色砂質土（2.5Y3/3）小礫多く含む
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫少含む、黄褐色土ブロック・焼土粒含む
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック・炭化物粒含む
3　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック・炭化物粒含む
4　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック・炭化物粒含む

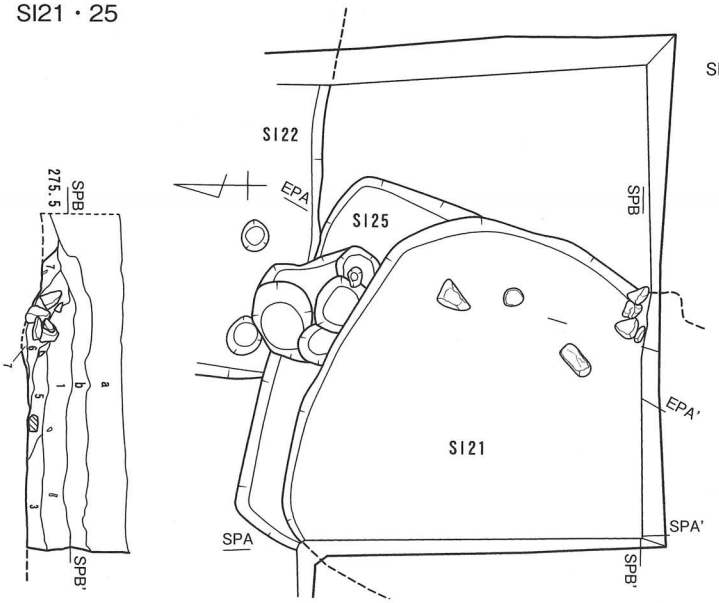
SI20 カマド

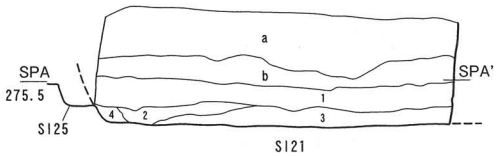


SI20　カマド土層説明

1　黒褐色砂質土（10YR2/2）焼土ブロック炭化物多含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）焼土小ブロック・黄褐色ブロック含む
3　暗褐色砂質土（10YR3/4）焼土粒子・黄褐色ブロック含む
4　褐色砂質土（10YR4/4）炭化物粒・黄褐色ブロック含む

SI21・25

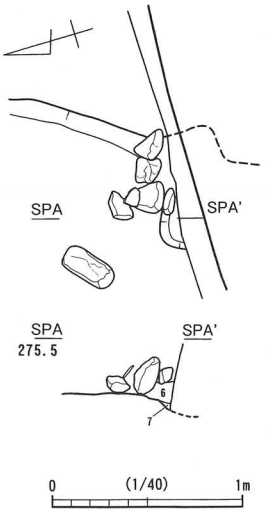


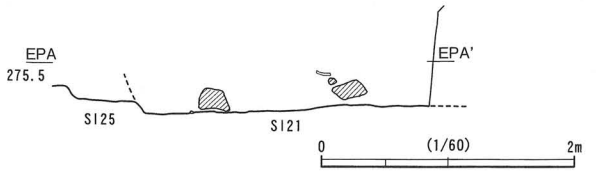


SI21 カマド

SI21・SI21　カマド土層説明

a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫多く含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）砂礫含む
3　暗褐色砂質土（10YR3/4）砂礫含む、焼土小ブロック含む（SI21）
4　暗褐色砂質土（10YR3/4）砂礫多含む
5　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）焼土小ブロック・黄褐色土ブロック・炭化物含む
6　灰黄褐色砂質土（10YR4/3）焼土ブロック・黄褐色土ブロック多含む（SI21 カマド）
7　褐色砂質土（10YR4/4）炭化物・焼土小ブロック含む（SI21 カマド）





第17図　SI19～21・25号竪穴建物跡

SI21・25

SI25 カマド

SI25 カマド土層説明
1 暗褐色砂質土（10YR2/4）小礫多く含む、焼土粒多含む
2 暗褐色粘質土（10YR2/4）焼土小ブロック・黄褐色土ブロック含む
3 暗褐色粘質土（7.5YR3/4）焼土小ブロック・黄褐色土ブロック含む
4 灰褐色砂質土（7.5YR4/2）焼土粒・黄褐色土ブロック含む
5 黒褐色砂質土（2.5Y3/2）黄褐色土粒多含む、焼土粒含む
6 暗灰黄褐色砂質土（2.5Y4/2）焼土粒含む
7 焼土
8 灰黄褐色砂質土（10YR4/2）小礫・黄褐色土ブロック多含む、焼土小ブロック含む
9 にぶい黄褐色粘質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック・焼土小ブロック含む
10 黒褐色粘質土（2.5Y3/2）黄褐色土ブロック含む

SI25 カマド掘りかた

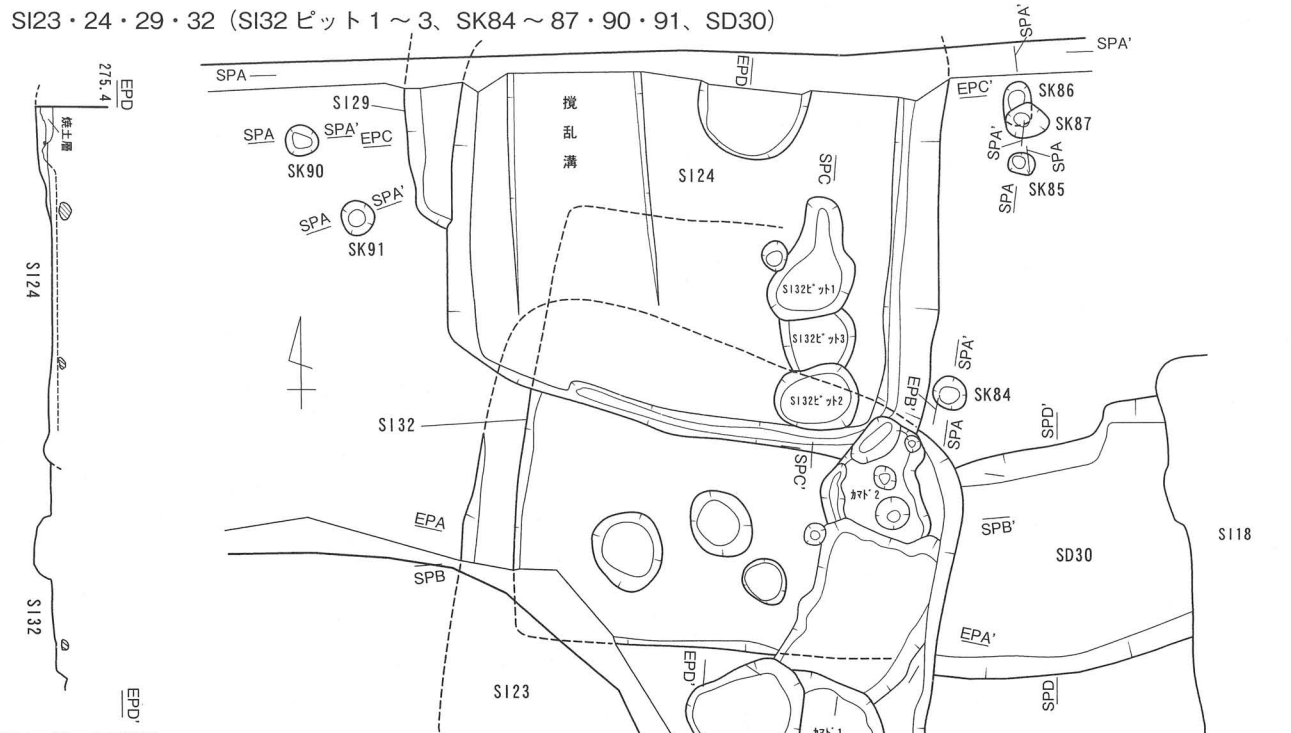
※NO.のみは SI21の遺物

SI22（SI22 ピット1～11）

SI22 土層説明
a 表土
b にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
c 黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
e 黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
e' にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫ほとんど含まない
1 黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫主体、焼土小ブロック炭化物含む
2 灰黄褐色砂質土（10YR5/2）白色粘土・焼土ブロック多含む、炭化物含む
3 暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック・焼土小ブロック含む
4 にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多含む
5 暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック多含む
6 黒褐色砂質土（10YR2/2）黄褐色土ブロック多含む
7 焼土硬化面

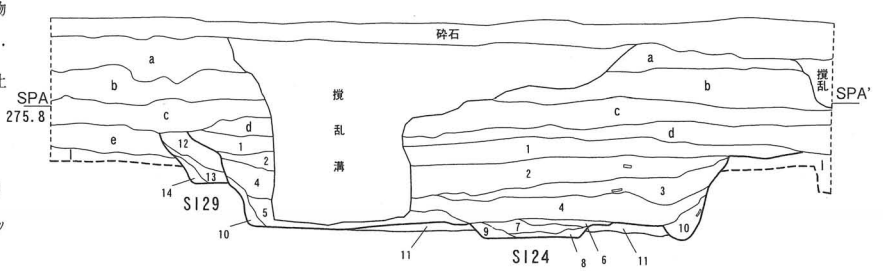
第18図 SI21・22・25号竪穴建物跡

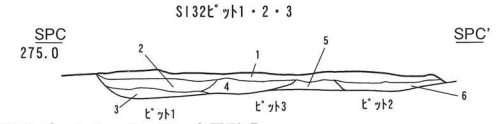
SI23・24・29・32（SI32ピット1～3、SK84～87・90・91、SD30）



SI24・29　土層説明

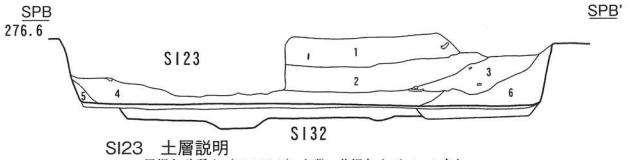
砕石
- a　表土
- b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
- c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
- d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや多く含む
- e　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
- 1　オリーブ褐色砂質土（2.5Y3/3）小礫多く含む
- 1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫中心（SI24）
- 2　黒褐色砂質土（10YR3/3）砂礫1層より少ない、焼土粒・炭化物粒含む（SI24）
- 3　暗褐色砂質土（10YR3/3）砂礫・黄褐色土ブロック含む、焼土粒・炭化物粒含む（SI24）
- 4　暗褐色砂質土（10YR3/4）砂礫少含む、黄褐色土ブロック・焼土小ブロック含む（SI24）
- 5　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）（SI24）
- 6　炭化物層（SI24）
- 7　焼土・炭化物　灰褐色粘質土（7.5YR4/2）（SI24）
- 8　黒褐色砂質土（2.5Y3.2）焼土粒・黄褐色土ブロック含む（SI24）
- 9　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多含む（SI24）
- 10　褐色砂質土（10YR4/4）（SI24）
- 11　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）しまりつよい　黄褐色土ブロック含む（SI24）
- 12　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫含む（SI29）
- 13　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む（SI29）
- 14　暗褐色砂質土（10YR3/4）（SI29）





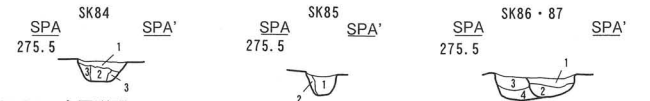
SI32ピット1・2・3　土層説明

1　褐色砂質土（10YR4/4）黄褐色土ブロック・灰黄色粘土ブロック・焼土小ブロック含む（SI24の貼床）（ピット1）
2　暗灰黄褐色砂質土（2.5YR4/2）灰黄色粘土ブロック・焼土ブロック多量含む（ピット1）
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多含む、焼土粒含む（ピット1）
4　暗オリーブ褐色砂質土（2.5YR3/3）黄褐色土ブロック多含む、焼土粒含む（ピット1）
5　オリーブ褐色砂質土（2.5YR4/4）黄褐色土ブロック多含む、焼土粒少含む（ピット2）
6　黒褐色砂質土（2.5YR3/2）黄褐色土ブロック多含む、焼土粒・炭化物粒含む（ピット3）



SI23　土層説明

1　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫・黄褐色土ブロック含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫やや含む、黄褐色土ブロック含む、炭化物・焼土小ブロック少含む
3　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック・炭化物・焼土ブロックやや多く含む
4　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック多含む、焼土小ブロック・炭化物含む
5　褐色砂質土（10YR4/6）黄褐色土ブロック多含む
6　褐色粘質土（10YR4/4）やや砂質　黄褐色土ブロック多含む、炭化物・焼土粒含む



SD84　土層説明

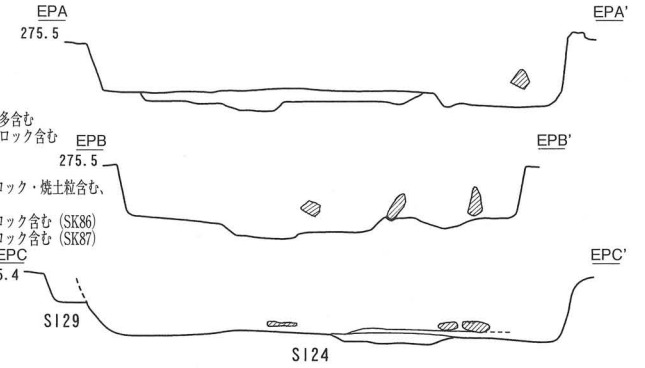
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）黄褐色土ブロック・焼土粒子含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック多含む
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック含む

SD85　土層説明

1　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック多含む
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック含む

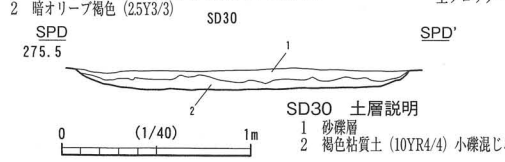
SD86・87　土層説明

1　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック・焼土粒含む、炭化物含む（SK86）
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック含む（SK86）
3　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック含む（SK87）
4　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック・焼土粒含む（SK87）



SD90　土層説明

1　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/4）黄褐色土ブロック含む
2　暗オリーブ褐色（2.5Y3/3）

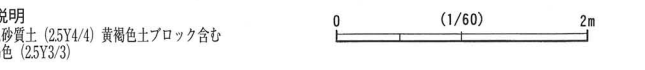


SD30　土層説明

1　砂礫層
2　褐色粘質土（10YR4/4）小礫混じる

SD91　土層説明

1　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/4）黄褐色土ブロック含む
2　暗オリーブ褐色（2.5Y3/3）



第19図　SI23・24・29・32号竪穴建物跡、SK84～87・90・91、SD30

SI23・24・29・32

SI23 カマド１

SI23 カマド２

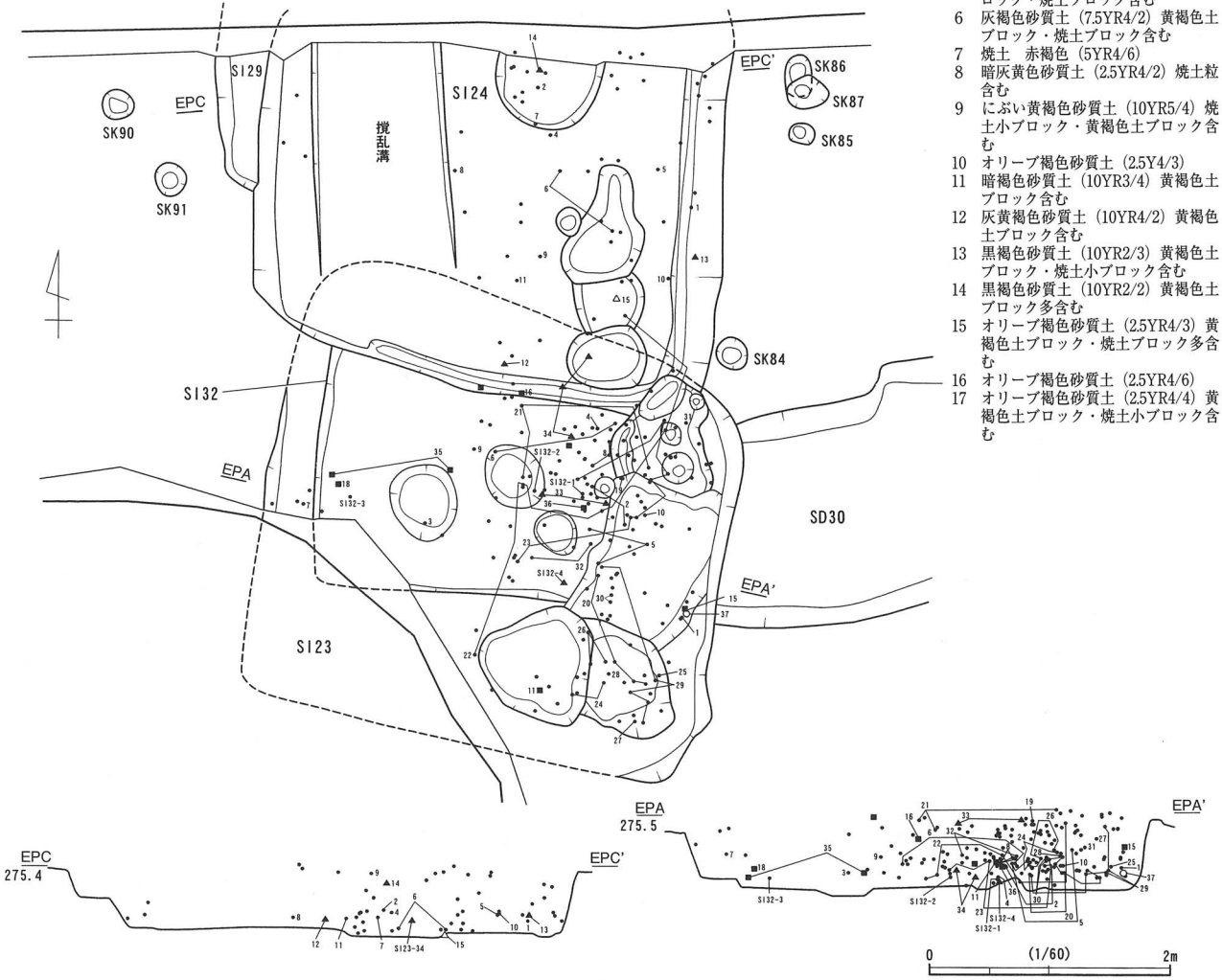
SI23　カマド１土層説明

1　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック・焼土ブロック含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）焼土多量含む、黄褐色土ブロック含む
3　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック多く含む、焼土小ブロック炭化物含む
4　にぶい黄褐色粘質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多く含む、焼土小ブロック含む
5　褐灰色砂質土（10YR4/1）焼土主体
6　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）焼土小ブロック含む
7　オリーブ褐色粘質土（2.5Y4/3）焼土化する
8　オリーブ褐色粘質土（2.5Y4/4）黄褐色土ブロック・焼土粒多含む
9　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）黄褐色土ブロック多く含む
10　暗灰黄色粘質土（2.5YR4/2）黄褐色土ブロック含む
11　オリーブ褐色砂質シルト（2.5YR4/4）
12　黒褐色砂質土（2.5YR3/2）黄褐色土ブロック・焼土粒含む
13　暗灰黄色砂質土（2.5YR4/2）黄褐色土ブロック多く含む、焼土粒含む

0　(1/40)　1m

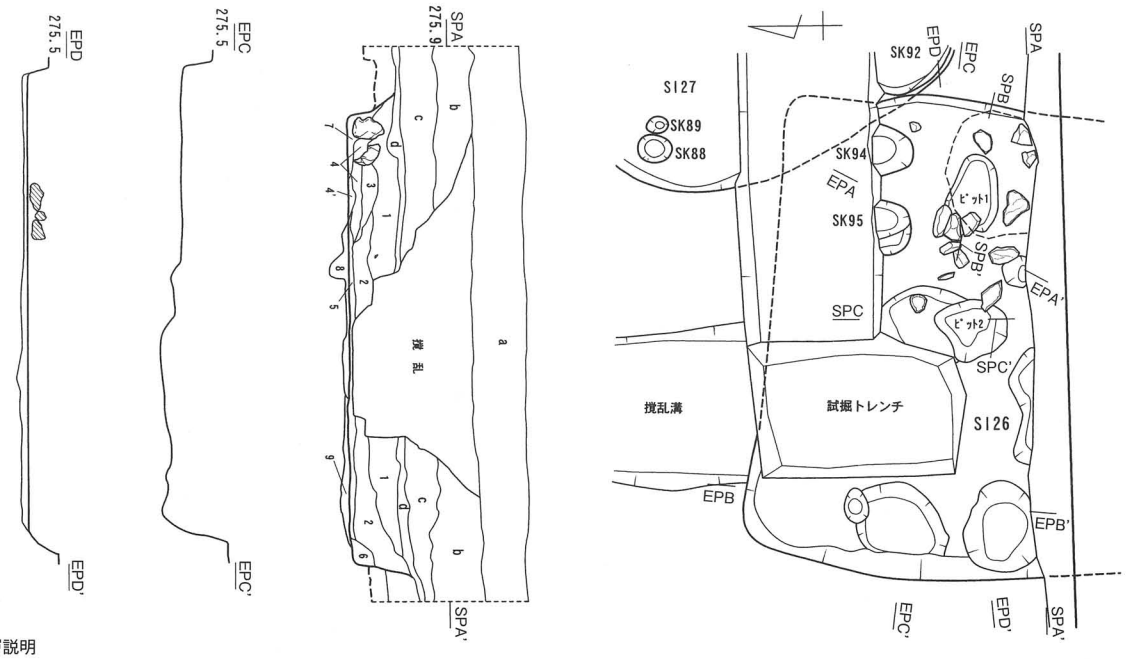
SI23　カマド２土層説明

1　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫含む、焼土ブロック含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック・焼土ブロック含む
3　褐灰色砂質土（7.5YR4/1）黄褐色土ブロック・焼土ブロック含む
4　暗褐色砂質土（7.5YR3/3）黄褐色土ブロック・焼土ブロック含む
5　褐色砂質土（7.5YR4/3）黄褐色土ブロック・焼土ブロック含む
6　灰褐色砂質土（7.5YR4/2）黄褐色土ブロック・焼土ブロック含む
7　焼土　赤褐色（5YR4/6）
8　暗灰黄色砂質土（2.5YR4/2）焼土粒含む
9　にぶい黄褐色砂質土（10YR5/4）焼土小ブロック・黄褐色土ブロック含む
10　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）
11　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック含む
12　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック含む
13　黒褐色砂質土（10YR2/3）黄褐色土ブロック・焼土小ブロック含む
14　黒褐色砂質土（10YR2/2）黄褐色土ブロック多含む
15　オリーブ褐色砂質土（2.5YR4/3）黄褐色土ブロック・焼土ブロック多含む
16　オリーブ褐色砂質土（2.5YR4/6）
17　オリーブ褐色砂質土（2.5YR4/4）黄褐色土ブロック・焼土小ブロック含む

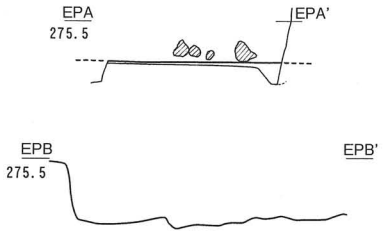


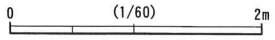
第20図　SI23・24・29・32号竪穴建物跡

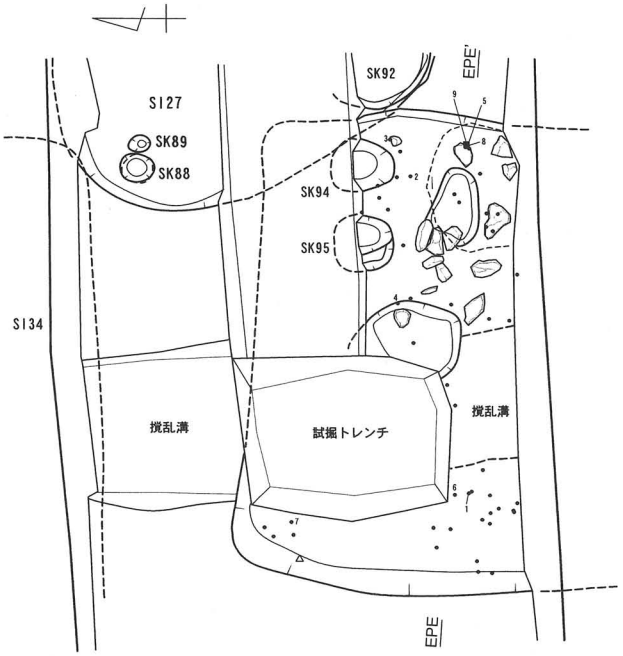
SI26（SI26 ピット１・２）

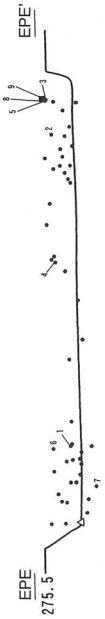


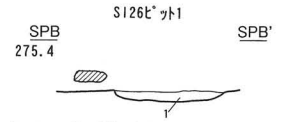
SI26　土層説明
- a　表土
- b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
- c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
- d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや含む
- 1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫多含む
- 2　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫含む、焼土小ブロック・炭化物少含む
- 3　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫含む、焼土小ブロック・炭化物少含む
- 4　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）焼土小ブロック・炭化物多く含む
- 4'炭化物主体
- 5　褐色砂質土（10YR4/4）炭化物粒・焼土粒・黄褐色土ブロック含む
- 6　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多く含む
- 7　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック含む
- 8　暗褐色砂質土（7.5YR3/3）黄褐色土ブロック多く含む、炭化物・焼土ブロック含む（床下ピット覆土）
- 9　暗褐色砂質土（7.5YR3/4）黄褐色土ブロック多含む、炭化物・焼土ブロック含む（床下ピット覆土）



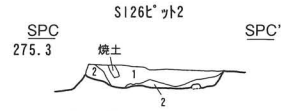




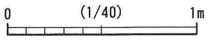




SI26　ピット１土層説明
- 1　黒褐色砂質土（7.5YR2/2）焼土ブロック・黄褐色土ブロック多含む

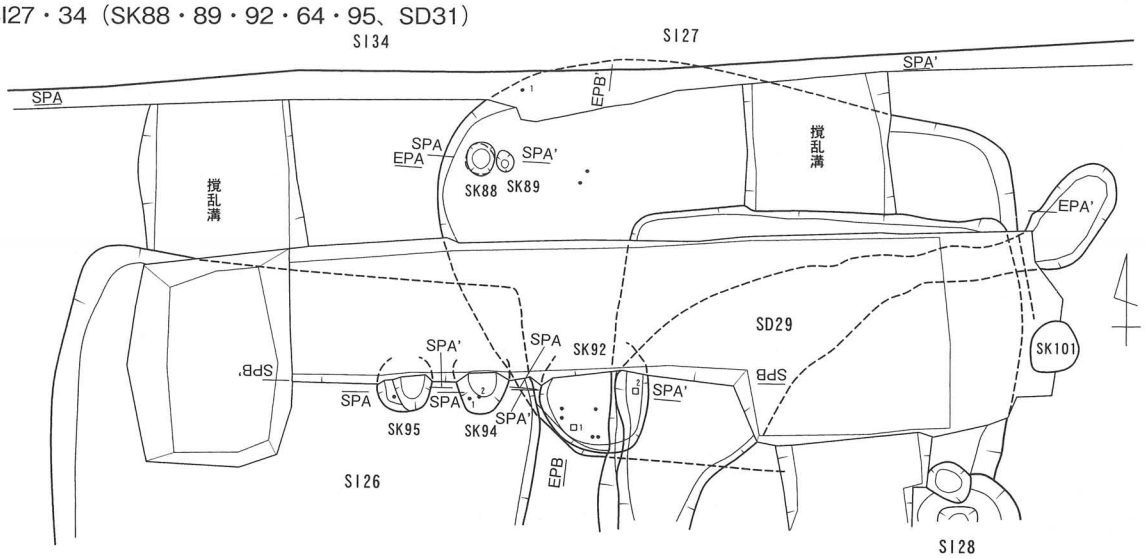


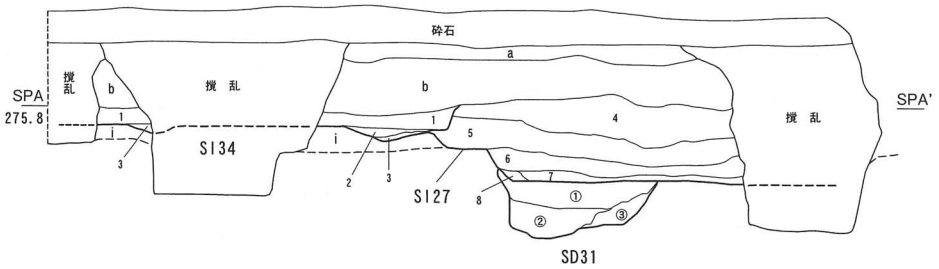
SI26　ピット２土層説明
- 1　黒褐色砂質土（7.5YR2/3）焼土ブロック・黄褐色土ブロック多含む
- 2　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）黒褐色土混じり

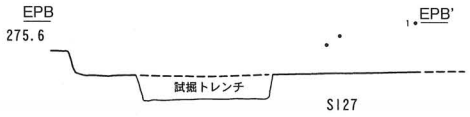


第21図　SI26号竪穴建物跡

SI27・34（SK88・89・92・64・95、SD31）







SI27・34、SD31　土層説明

碎石

a　表土

b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む

i　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト化顕著　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む

1　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫少量含む、黄褐色土ブロック含む（SI34）

2　黒褐色砂質土（2.5YR3/2）炭化物層（SI34）

3　焼土層　（SI34）

4　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫含む、黄褐色土ブロック含む（SI27）

5　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫含む、砂礫主体（SI27）

6　暗褐色砂質土（10YR3/3）砂礫多含む、炭化物含む（SI27）

7　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫含む　焼土粒子含む（SI27）

8　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）（SI27）

〈SD31〉

①　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫やや多く含む

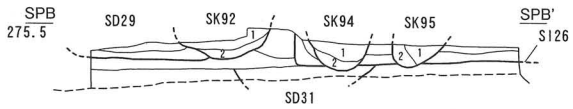
②　暗褐色砂質土（10YR3/3）炭化物・小礫含む

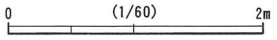
③　黒褐色砂質土（2.5YR3/2）黒褐色土ブロック含む

SK92　土層説明

1　暗褐色砂質土（10YR3/4）黒褐色土・黄褐色土ブロック・炭化物・焼土ブロック多く含む

2　褐色砂質土（10YR4/4）黄褐色土ブロック・焼土粒・炭化物粒含む

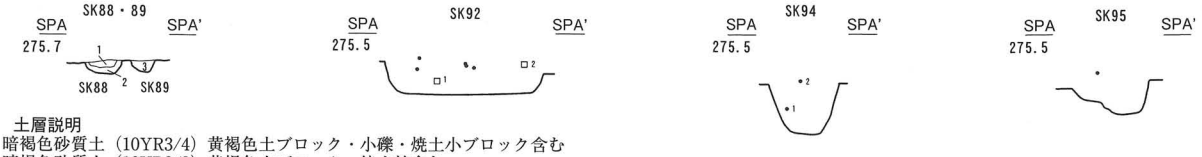




SK94　土層説明

1　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック・小礫・焼土小ブロック含む

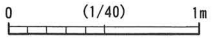
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック・焼土粒含む



SK95　土層説明

1　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック・小礫・焼土小ブロック含む

2　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック・焼土粒含む



SK88・89　土層説明

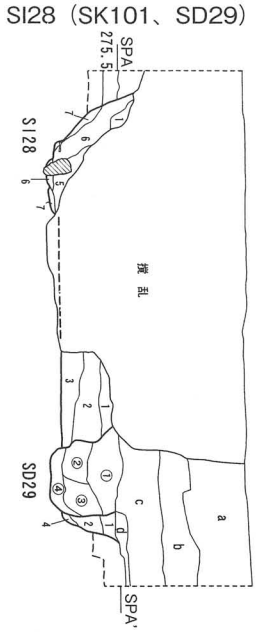
1　焼土（5YR3/6）（SK88）

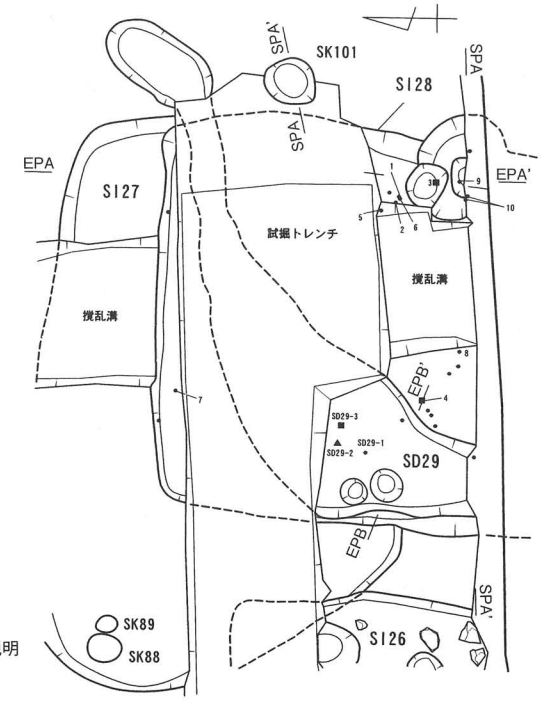
2　灰褐色砂質土（7.5Y4/2）焼土小ブロック含む（SK88）

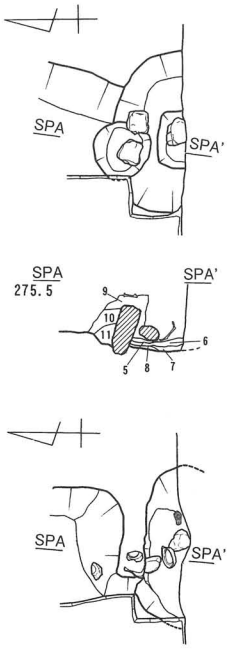
3　灰褐色砂質土（7.5Y4/2）焼土小ブロック多含む（SK89）

第22図　SI27・34号竪穴建物跡、SK88・89・92・94・95、SD31

SI28（SK101、SD29）



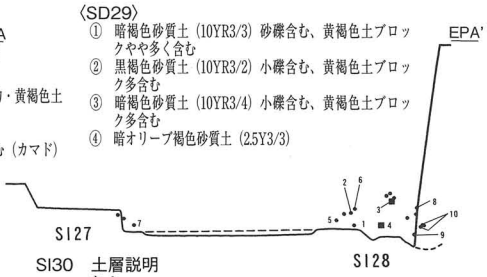




SI28（SI 28 カマド含む）、SD29　土層説明

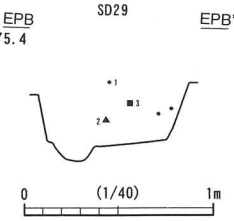
a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや含む
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫・焼土小ブロック・黄褐色土ブロック含む（SI28）
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫・焼土小ブロック・炭化物・黄褐色土ブロック含む（SI28）
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫・焼土小ブロック・炭化物・黄褐色土ブロック含む（SI28）
4　褐色砂質土（10YR4/4）黄褐色土ブロック含む（SI28）
5　暗褐色砂質土（7.5YR3/3）焼土ブロック・黄褐色土ブロック含む（カマド）
6　暗赤褐色砂質土（5YR3/4）焼土主体（カマド）
7　灰褐色砂質土（5YR4/2）焼土含む（カマド）
8　褐色砂質土（10YR4/6）（カマド）
9　黄褐色砂質土（2.5Y5/3）白色粘土・黒褐色土混じる（カマド）
10　黄褐色砂質土（2.5Y5/6）白色粘土・黒褐色土混じる（カマド）
11　暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2）黄褐色土ブロック混じる（カマド）

〈SD29〉
①　暗褐色砂質土（10YR3/3）砂礫含む、黄褐色土ブロックやや多く含む
②　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫含む、黄褐色土ブロック多含む
③　暗褐色砂質土（10YR3/4）小礫含む、黄褐色土ブロック多含む
④　暗オリーブ褐色砂質土（2.5Y3/3）



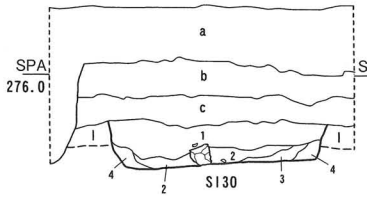
SK101
SPA
275.4
SPA'

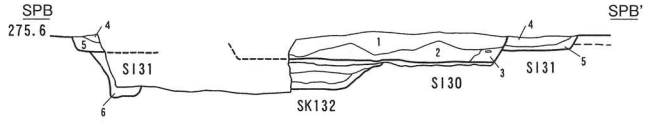
SK101　土層説明
1　褐色粘質土（10YR4/4）砂礫多含む

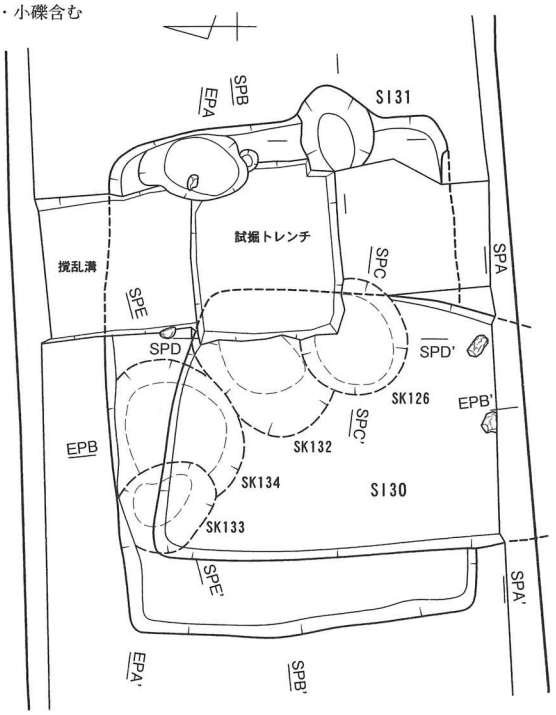


SI30　土層説明
a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
l　オリーブ褐色砂質土（2.5Y3/3）小礫多く含む
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）焼土小ブロック多含む、小礫含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/4）焼土小ブロック・黄褐色土ブロック・小礫含む
3　暗褐色砂質土（10YR3/3）焼土粒・小礫含む
4　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック含む

SI30・31（SK126・132～134）





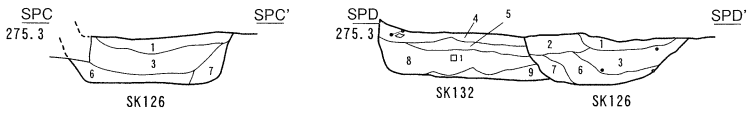


SI30・31　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫主体、焼土小ブロック・黄褐色土ブロック含む（SI30）
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫少含む、焼土小ブロック・炭化物やや多く含む（SI30）
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫少含む、黄褐色土ブロック含む、焼土小ブロック含む（SI30）
4　暗褐色砂質土（10YR3/4）砂礫含む、黄褐色土ブロック含む（SI31）
5　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む、焼土粒・黄褐色土ブロック含む（SI31）
6　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）小礫・焼土ブロック含む（SI31）

0　(1/60)　2m

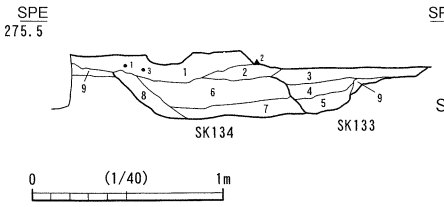
第23図　SI28・30・31号竪穴建物跡、SK101・126・132～134、SD29

SI30・31（SK126・132～134）

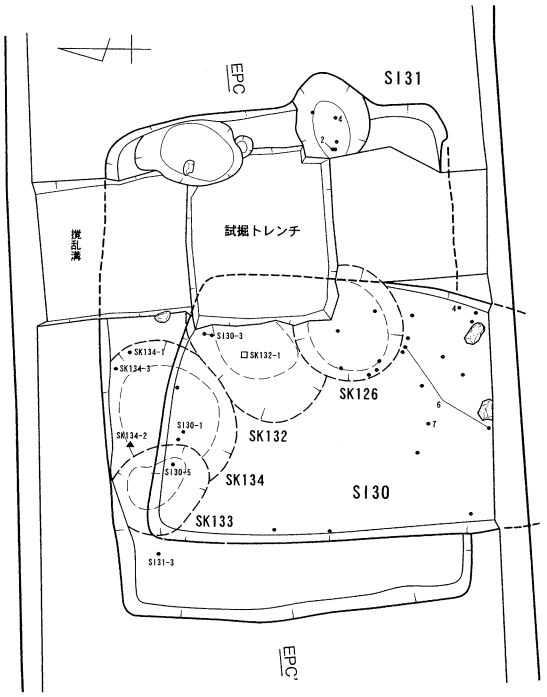


5　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック多含む、小礫含む（SK132）
6　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック含む（SK126）
7　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック多含む、焼土小ブロック含む（SK126）
8　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック多・2～3㎝大の小礫やや多く含む（SK132）
9　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多含む、焼土ブロック含む（SK132）

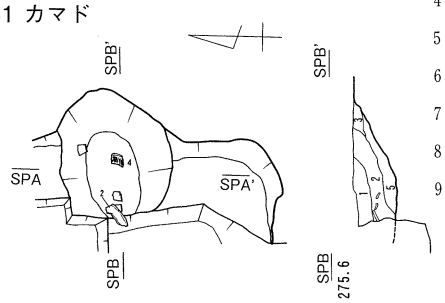
SK126・132　土層説明
1　灰黄褐色砂質土（10YR5/2）焼土ブロック多含む（SK126）
2　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック多含む（SK126）
3　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック・焼土ブロック多含む（SK126）
4　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色砂質土ブロック・焼土ブロック含む（SK132）

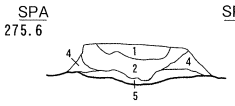


SK133・134　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫多含む、焼土ブロック多・炭化物含む（貼床）
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック多含む、炭化物粒含む（貼床）
3　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫・黄褐色土ブロック・焼土ブロック含む、炭化物粒含む（貼床）
4　暗褐色砂質土（10YR3/4）小礫、黄褐色土ブロック・焼土粒含む
5　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫、黄褐色土ブロック・焼土ブロック含む
6　黒褐色砂質土（10YR2/3）小礫・黄褐色土ブロック含む
7　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック多含む
8　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック多含む
9　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/6）黒褐色土ブロック含む

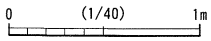


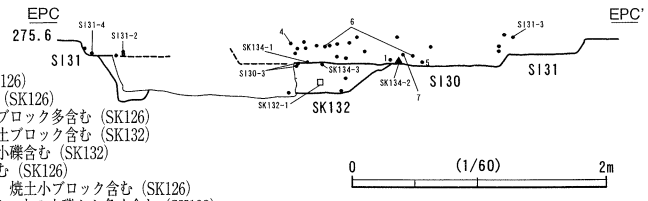
SI31 カマド



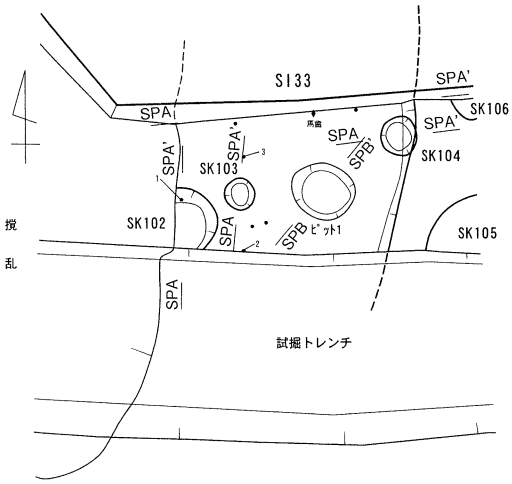


SI31　カマド土層説明
1　灰黄褐色砂質土（10YR5/2）焼土ブロック多含む（SK126）
2　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック多含む（SK126）
3　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック・焼土ブロック多含む（SK126）
4　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色砂質土ブロック・焼土ブロック含む（SK132）
5　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック多含む、小礫含む（SK132）
6　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック含む（SK126）
7　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック多含む、焼土小ブロック含む（SK126）
8　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック多・2～3㎝大の小礫やや多く含む（SK132）
9　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多含む、焼土ブロック含む（SK132）

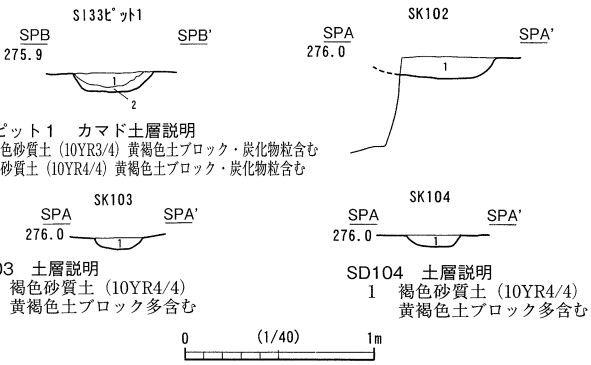




SI33（SI33 ピット1、SK102～104）



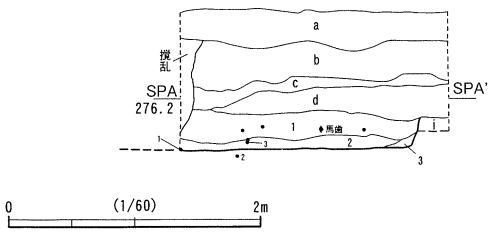
SK102　土層説明
1　暗褐色砂質土（10YR3/4）
黄褐色土ブロック多含む



SI33　ピット1　カマド土層説明
1　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック・炭化物粒含む
2　褐色砂質土（10YR4/4）黄褐色土ブロック・炭化物粒含む

SK103　土層説明
1　褐色砂質土（10YR4/4）
黄褐色土ブロック多含む

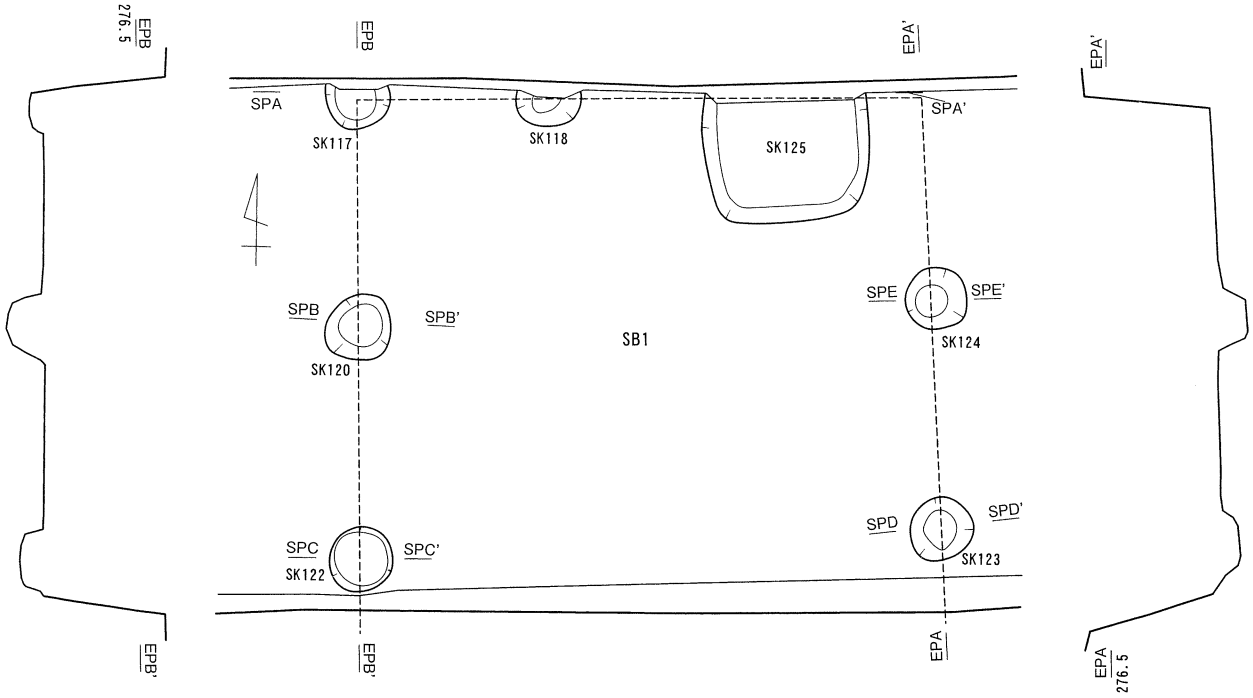
SD104　土層説明
1　褐色砂質土（10YR4/4）
黄褐色土ブロック多含む

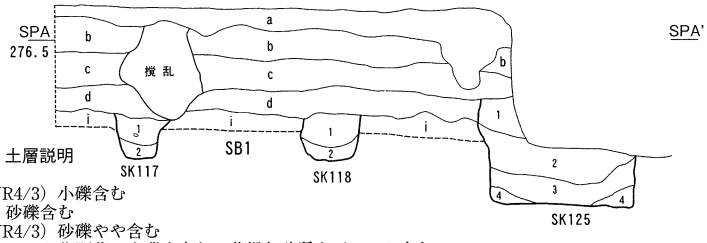


SI33　土層説明
a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや多く含む
i　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト化顕著　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）小礫・炭化物粒・黄褐色土ブロック含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫・炭化物粒・黄褐色土ブロック・焼土粒含む
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫・黄褐色土ブロック含む

第24図　SI30・31・33号竪穴建物跡、SK102～104・126・132～134

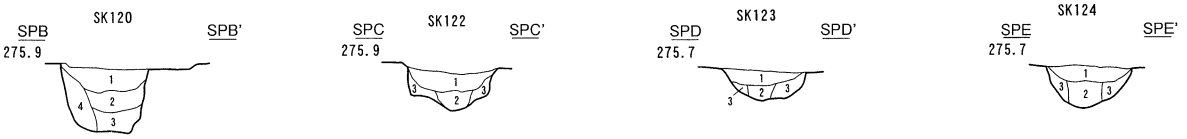
SB1（SK117・118・120・122～125）





SB1（SK117・118）、SK125　土層説明
　a　表土
　b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
　c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
　d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや含む
　i　暗褐色砂質土（10YR3/4）シルト化顕著　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む
〈SK117〉（SB 1柱掘りかた）
　1　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫多含む、焼土小ブロック・炭化物含む
　2　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫やや含む、炭化物含む
〈SK118〉（SB 1柱掘りかた）
　1　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫多含む、焼土小ブロック・炭化物含む
　2　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫やや含む、炭化物含む
〈SK125〉
　1　褐色砂質土（10YR4/4）砂礫含む、黄褐色土ブロック多含む
　2　褐色砂質土（10YR4/4）小礫少含む、黄褐色土ブロック多含む
　3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む、黄褐色土ブロック多含む
　4　褐色砂質土（10YR4/6）黄褐色土ブロック多含む

0　(1/60)　2m



SK120　（SB 1柱掘りかた）　土層説明
　1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫少含む、黄褐色土ブロック・焼土小ブロック含む
　2　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック・炭化物粒含む
　3　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック含む
　4　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック含む

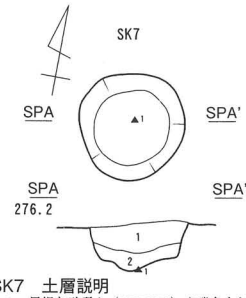
0　(1/40)　1m

SK122　（SB 1柱掘りかた）　土層説明
　1　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック・焼土粒・炭化物粒含む
　2　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック・焼土粒・炭化物粒含む
　3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック・焼土粒・炭化物粒含む

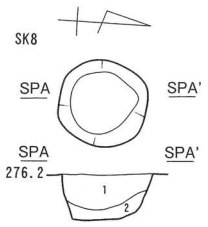
SK123　（SB 1柱掘りかた）　土層説明
　1　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック・焼土粒・炭化物粒含む
　2　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック・焼土粒・炭化物粒含む
　3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック・焼土粒・炭化物粒含む

SK124　（SB 1柱掘りかた）　土層説明
　1　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック・焼土粒・炭化物粒含む
　2　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック・焼土粒・炭化物粒含む
　3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック・焼土粒・炭化物粒含む

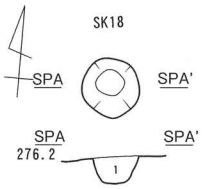
第25図　SB1号掘立柱建物跡、SK117・118・120・122～125



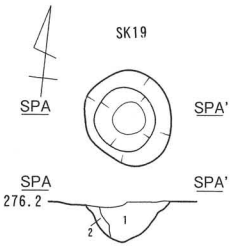
SK7　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫多含む、黄褐色砂質土ブロック含む、焼土粒少含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/3）黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒含む



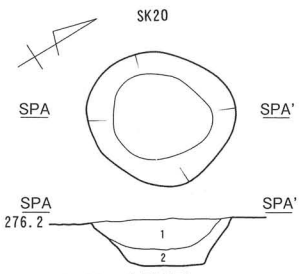
SK8　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫多含む、黄褐色砂質土ブロック含む、焼土粒少含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/3）黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒含む



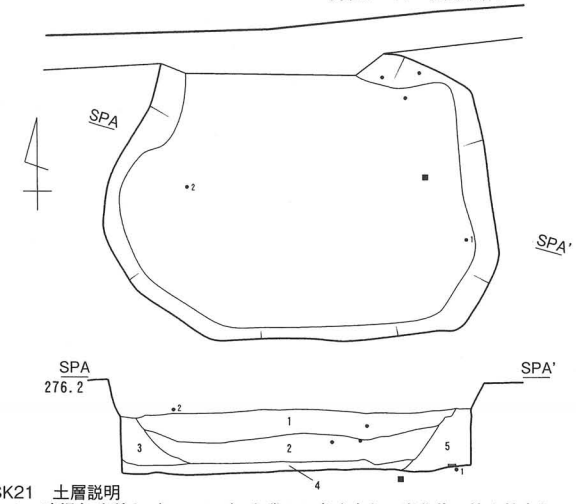
SK18　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）小礫やや多く含む



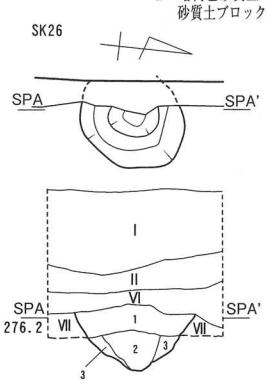
SK19　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）小礫少含む、炭化物粒・焼土粒少含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色砂質土ブロック・焼土粒含む



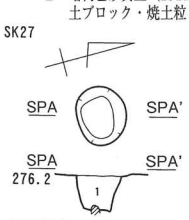
SK20　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）小礫少含む、焼土粒・炭化物粒含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色砂質土ブロック・焼土粒・炭化物粒含む



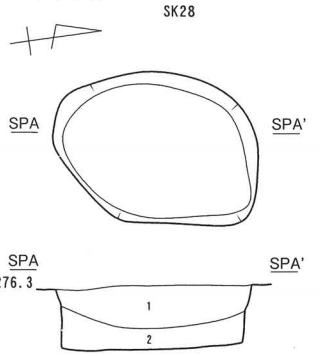
SK21　土層説明
1　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫やや多く含む、炭化物・焼土粒含む
2　褐色砂質土（10YR4/4）小礫やや多く含む、炭化物・焼土粒含む
3　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）小礫やや多く含む、炭化物粒含む
4　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫やや含む、炭化物含む
5　暗褐色砂質土（10YR3/4）小礫含む、炭化物含む



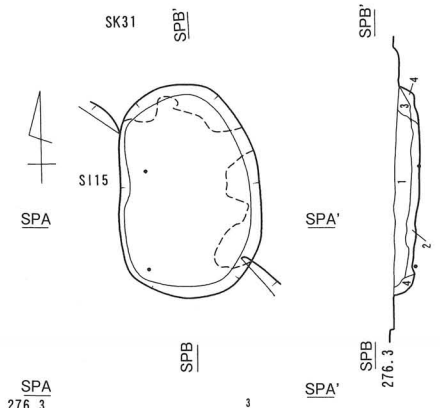
SK26　土層説明
Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
Ⅵ　砂礫
Ⅶ　黒褐色砂礫土（10YR2/2）小礫多
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　炭化物粒含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　小礫含む、黄褐色砂質土ブロック・炭化物含む
3　暗褐色砂質土（10YR3/4）シルト質　小礫やや含む、黄褐色砂質土ブロック含む



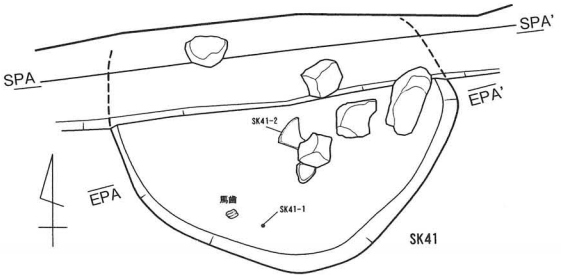
SK27　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質小礫含む、黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒含む

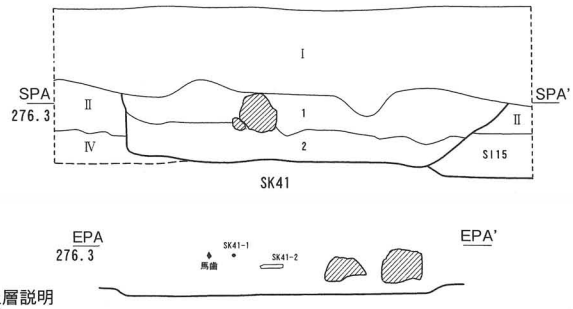


SK28　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）小礫やや多
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色砂質土ブロック・炭化物含む

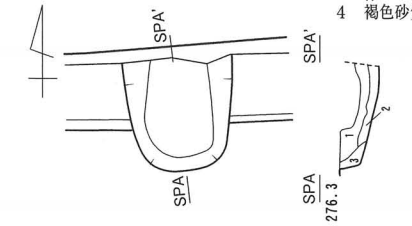


SK31　土層説明
1　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）シルト質　小礫少・炭化物含む
2　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）シルト質　炭化物・焼土粒含む
3　褐色砂質土（7.5YR4/3）焼土主体
4　褐色砂質土（10YR4/6）焼土粒・





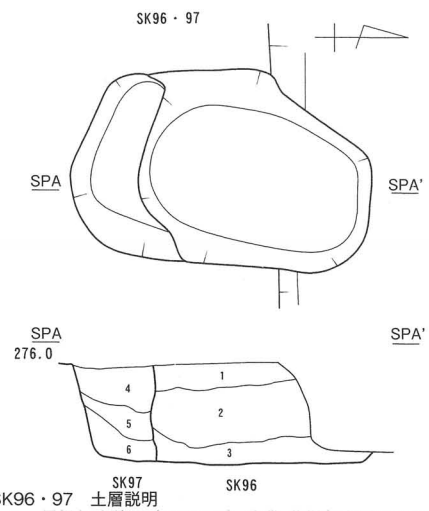
SK41　土層説明
Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
Ⅳ　黒褐色砂質土（10YR2/2）ややシルト質
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色砂質土ブロック含む、炭化物含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/2）砂礫混じり、炭化物含む



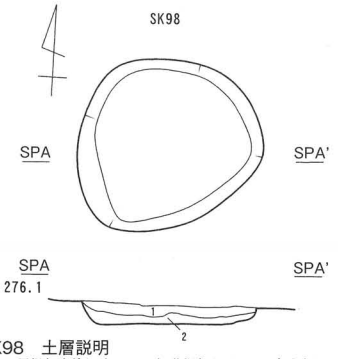
SK32　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）ややシルト質　焼土ブロック多含む、黄褐色砂質土ブロック含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）ややシルト質　焼土粒含む、黄褐色土ブロック含む
3　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）ややシルト質　焼土粒少含む

0　(1/40)　1m

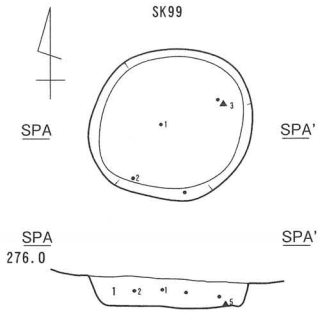
第26図　SK7・8・18～21・26～28・31・32・41



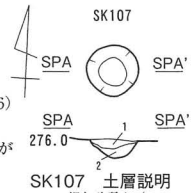
SK96・97　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫・黄褐色土ブロック多量含む（SK96）
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫多量含む（SK96）
3　暗褐色粘質土（10YR3/3）小礫含む（SK96）
4　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック多量含む、砂礫含むが1層より少、焼土粒含む（SK97）
5　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫多含む（SK97）
6　暗褐色粘質土（10YR3/4）小礫含む（SK97）



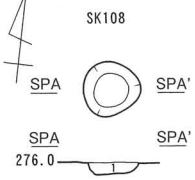
SK98　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック多く含む
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多く含む



SK99　土層説明
1　黒褐色砂質土(10YR3/2)黄褐色土ブロック多く含む、炭化物含む

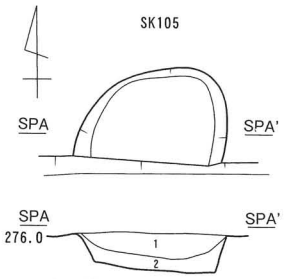


SK107　土層説明
1　褐色砂質土（10YR4/4）黄褐色土ブロック多含む
2　灰黄褐色粘質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック含む

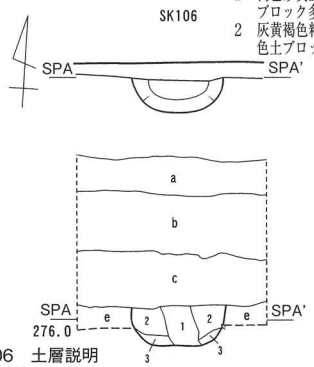


SK108　土層説明
1　褐色砂質土（10YR4/4）黄褐色土ブロック多含む

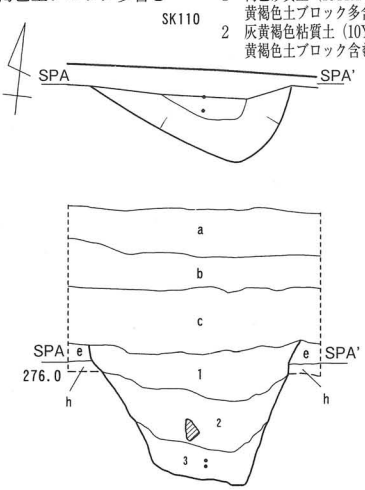
SK109　土層説明
1　褐色砂質土（10YR4/4）黄褐色土ブロック多含む
2　灰黄褐色粘質土（10YR4/2）黄褐色土ブロック含む



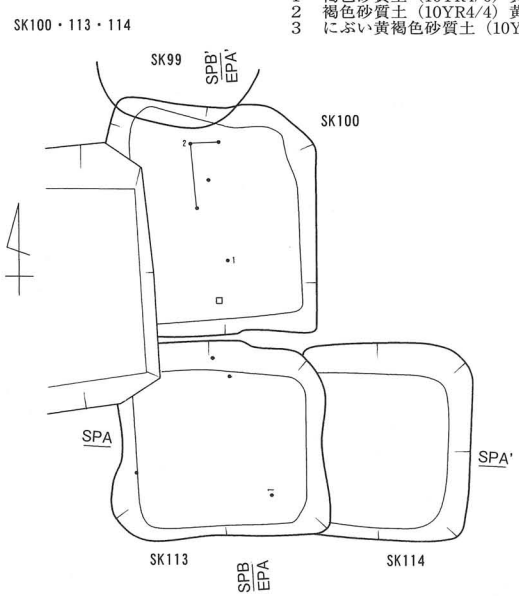
SK105　土層説明
1　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック・小礫多含む
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック・小礫多含む

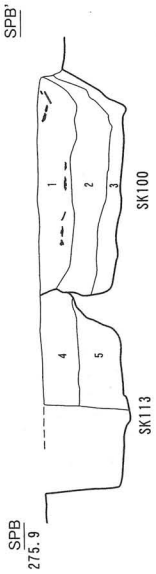


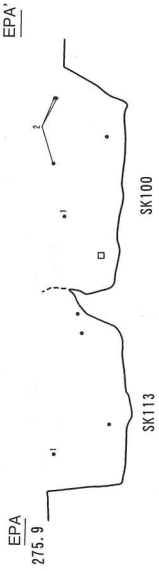
SK106　土層説明
a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
e　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
1　褐色砂質土（10YR4/6）黄褐色土ブロック多・炭化物・焼土粒含む
2　褐色砂質土（10YR4/4）黄褐色土ブロック多・炭化物・焼土粒含む
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック・焼土粒含む

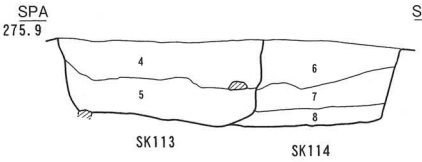


SK110　土層説明
a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
e　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
h　黒褐色粘質土（10YR3/2）シルト質　砂礫含む
1　暗褐色砂質土（10YR3/4）小礫含む、黄褐色土ブロック少・焼土小ブロック含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）粘質やや強い、焼土小ブロック少・黄褐色土ブロック・小礫含む
3　にぶい黄褐色粘質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多含む





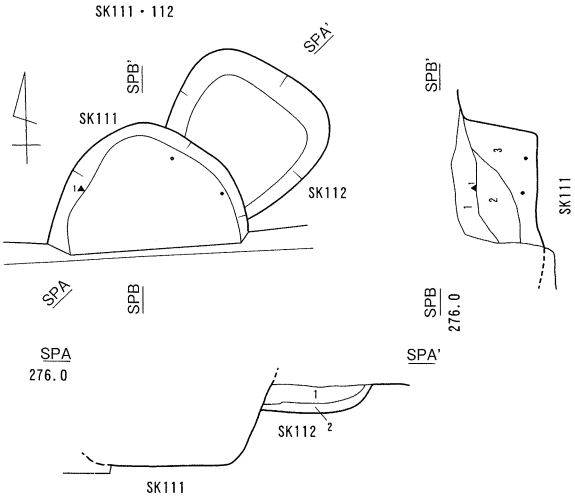




SK100・113・114　土層説明
1　暗褐色粘質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック非常に多く含む、炭化材多量含む、焼土ブロック含む（SK100）
2　褐色粘質土（10YR4/4）黄褐色土ブロック多含む、炭化材・焼土ブロック少含む（SK100）
3　にぶい黄褐色粘質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多含む、炭化物含む（SK100）
4　褐色粘質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック多く含む、炭化物含む（SK113）
5　にぶい黄褐色粘質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック多含む、炭化物含む（SK113）
6　暗褐色粘質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック多く含む、小礫含む、粘土小ブロック少含む（SK114）
7　暗褐色粘質土（10YR3/4）礫多く含む、黄褐色土ブロック含む（SK114）
8　褐色砂質土（10YR4/6）小礫多く含む（SK114）

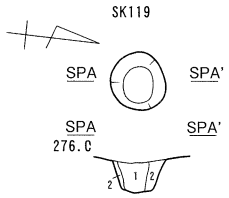
0　(1/40)　1m

第27図　SK96～100・105～110・113・114

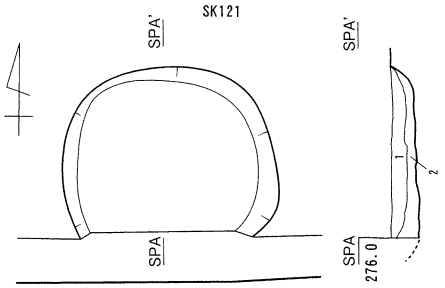


SK111　土層説明
1　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック多含む、礫多（SK111）
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫やや多、黄褐色土ブロック含む（SK111）
3　暗褐色砂質土（10YR2/3）粘質あり　黄褐色土ブロック多含む（SK111）

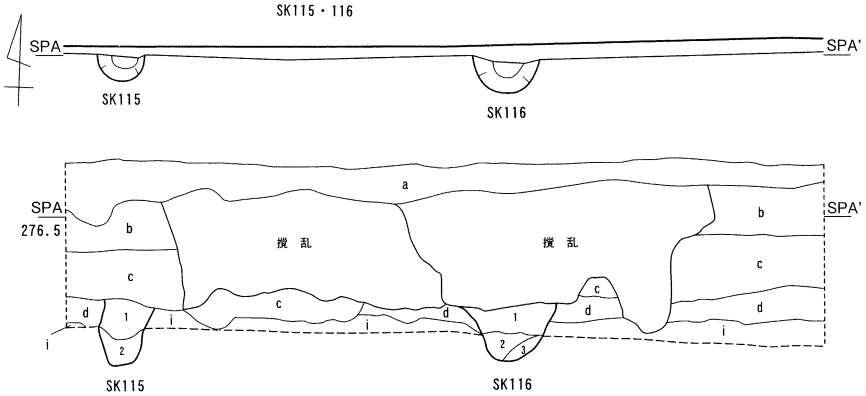
SK112　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）黄褐色土ブロック含む（SK112）
2　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック含む（SK112）



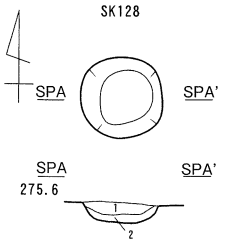
SK119　土層説明
1　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色土ブロック含む
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色土ブロック含む



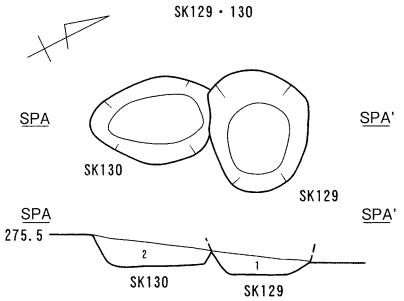
SK121　土層説明
1　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック多含む
2　褐色砂質土（10YR4/4）黄褐色土ブロック・焼土粒含む



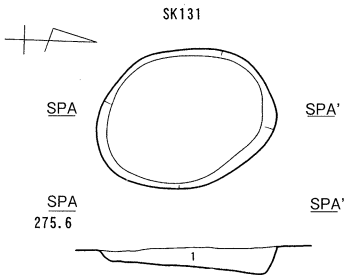
SD115・116　土層説明
a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや含む
i　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト化顕著　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む
〈SK115〉
1　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック多含む、焼土粒子含む
2　褐色砂質土（10YR4/4）
〈SK116〉
1　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫多含む、焼土小ブロック・炭化物含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫やや含む、炭化物含む
3　黒褐色砂質土（10YR3/2）黄褐色土ブロック含む



SK128　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）焼土粒・炭化物含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫・黄褐色土ブロック含む



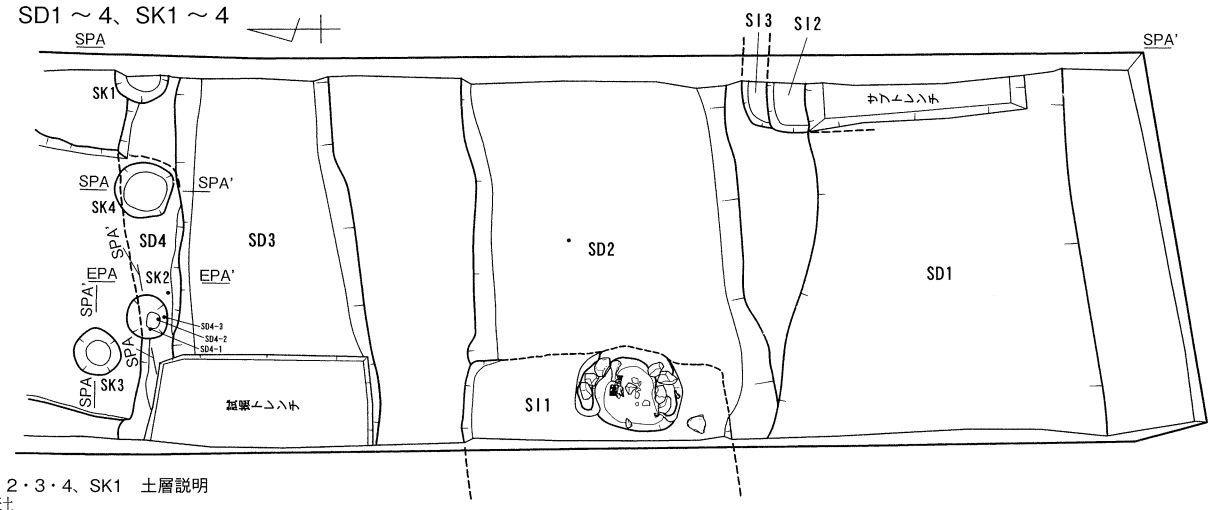
SK129・130　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫やや多い、黄褐色土ブロック含む（SK129）
2　黒褐色砂質土（10YR3/3）小礫・黄褐色土ブロック含む（SK130）



SK131　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）小礫多・黄褐色土ブロック含む

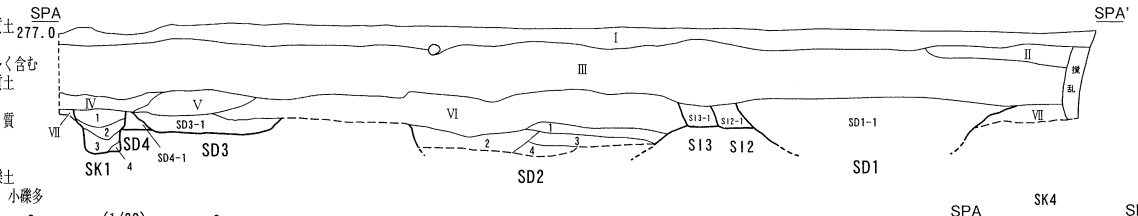
第28図　SK111・112・115・116・119・121・128～131

SD1～4、SK1～4



SD1・2・3・4、SK1　土層説明

Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
Ⅲ　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫やや多く含む
Ⅳ　黒褐色砂質土（10YR2/2）ややシルト質
Ⅴ　砂礫
Ⅵ　砂礫
Ⅶ　黒褐色砂礫土（10YR2/2）小礫多



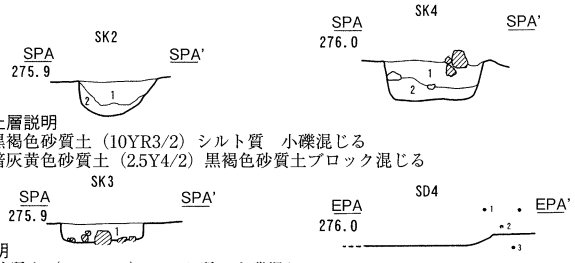
〈SD1〉
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）礫多

〈SD2〉
1　黒褐色砂質土（10YR3/1）小礫混じる
2　中砂　小礫混じる
3　粗砂　小礫多く混じる
4　中砂

〈SD3〉
1　オリーブ褐色（2.5Y4/6）中砂

〈SD4〉
1　黒褐色砂質土（10YR3/1）シルト質　拳大礫、小礫多含む

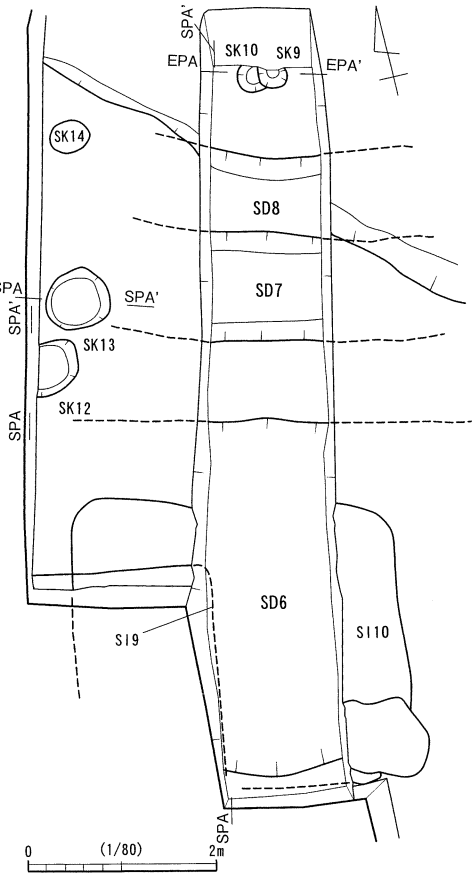
〈SK1〉
1　黒褐色砂質土（10YR3/1）シルト質　黄褐色土ブロック含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　小礫混じる
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黒褐色砂質土ブロック含む
4　褐色砂質土（10YR4/6）黄褐色砂質土ブロック含む

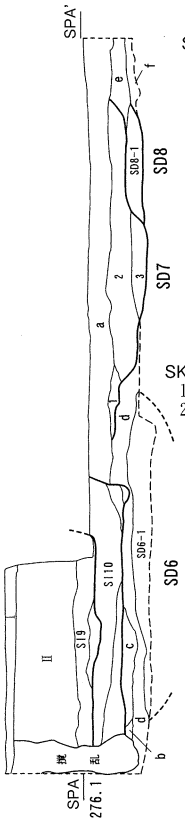


SK2　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　小礫混じる
2　暗灰黄色砂質土（2.5Y4/2）黒褐色砂質土ブロック混じる

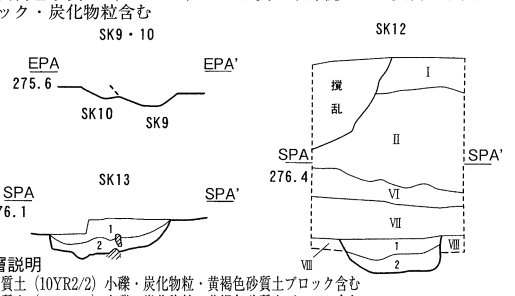
SK3　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/1）シルト質　小礫混じる

SD6～8、SK9・10・12・13





SK4　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　小礫混じる、黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒含む
2　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）シルト質　小礫混じる、黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒含む



SK13　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）小礫・炭化物粒・黄褐色砂質土ブロック含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫・炭化物粒・黄褐色砂質土ブロック含む

SK12　土層説明
Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
Ⅵ　砂礫
Ⅶ　黒褐色砂礫土（10YR2/2）小礫多
Ⅷ　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）
1　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト質　黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒含む
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）シルト質　黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒含む

SD6・7・8　土層説明
Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
a　黒褐色砂質土（10YR3/1）シルト質　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む
b　褐色砂質シルト（10YR4/6）シルト質　黒褐色砂質土混じる
c　砂礫　1～3cm大の小～中の礫
d　黄褐色砂質シルト
e　砂礫　1～5cm大の礫中心
f　砂礫　1～5cm大の礫中心

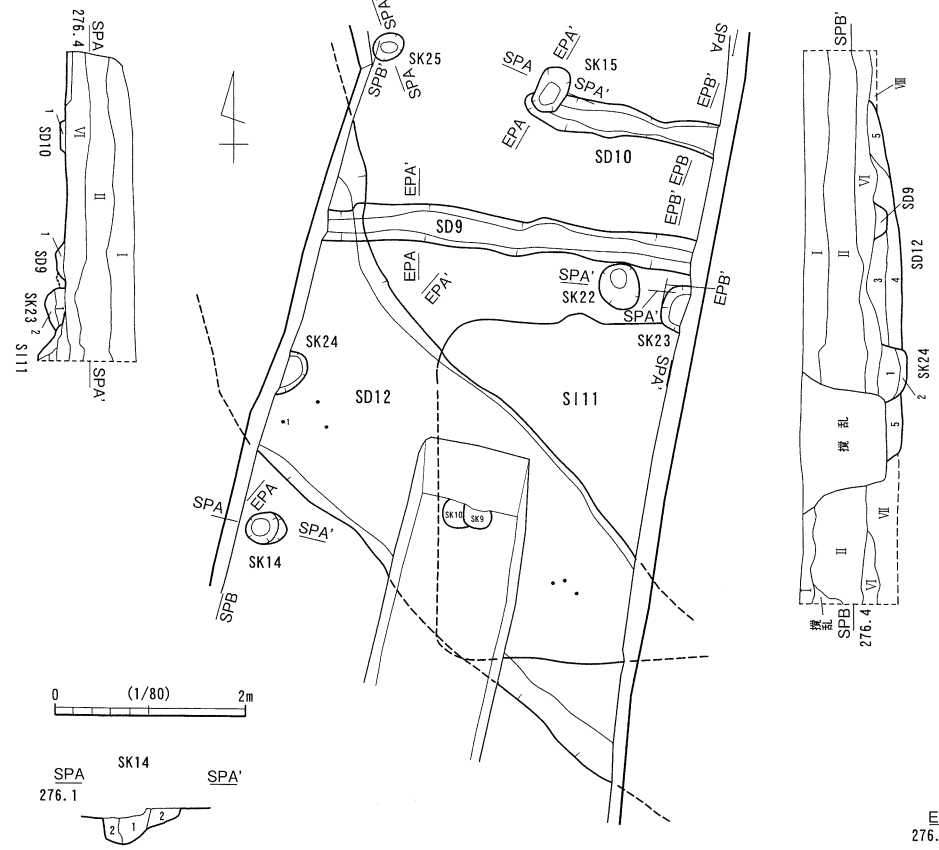
〈SD6〉
1　砂礫　1～5cm大礫中心

〈SD7〉
1　褐色砂質シルト（10YR4/6）シルト質　黒褐色砂質土混じる
2　砂礫　拳大の礫中心
3　砂礫　1～3cm大の礫中心

〈SD8〉
1　砂礫　3～5cm大の礫中心

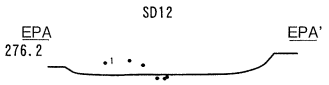
第29図　SD1～4・6～8、SK1～4・9・10・12・13

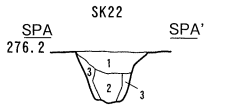
SD9・10・12、SK14・15・22～25



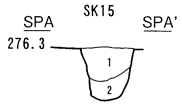
SD9・10・12、SK23・24　土層説明
Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
Ⅵ　砂礫
Ⅶ　黒褐色砂質土（10YR2/2）小礫多含む
Ⅷ　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）
〈SK23〉
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫・黄褐色砂質土ブロック含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色砂質土多ブロック含む
〈SD9〉
1　砂礫　黒褐色砂礫（10YR3/1）
〈SD10〉
1　黄褐色砂質土（2.5Y5/3）
〈SK24・SD12〉
1　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色砂質土ブロック含む（SK24）
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色砂質土ブロック含む（SK24）
3　暗褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色砂質土・小礫やや含む（SD12）
4　黒褐色砂質土（10YR2/3）黄褐色砂質土ブロック・小礫含む（SD12）
5　褐色砂質土（10YR4/4）小礫少含む、炭化物粒含む（SD12）

SK14　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）黄褐色土ブロック混じる、炭化物粒含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色土ブロック混じる、炭化物粒含む

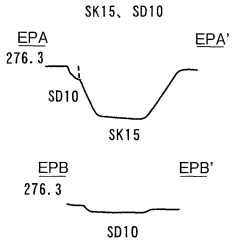


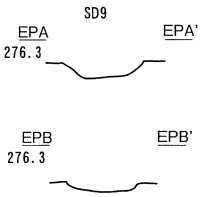


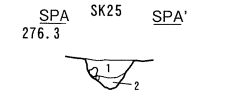
SK22　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫・黄褐色砂質土ブロック含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色砂質土多ブロック含む



SK15　土層説明
1　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/3）小礫・炭化物粒・焼土粒含む



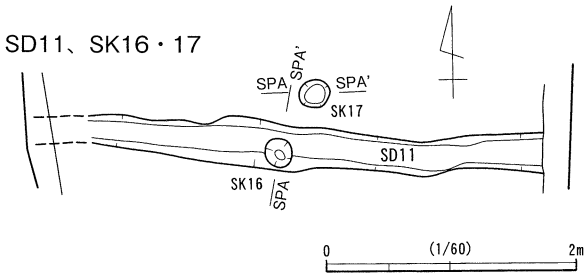


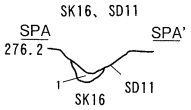


SK25　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）小礫・黄褐色砂質土ブロック含む
2　黒褐色砂質土（10YR3/3）黄褐色砂質土多ブロック含む

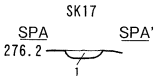
0 (1/40) 1m

SD11、SK16・17





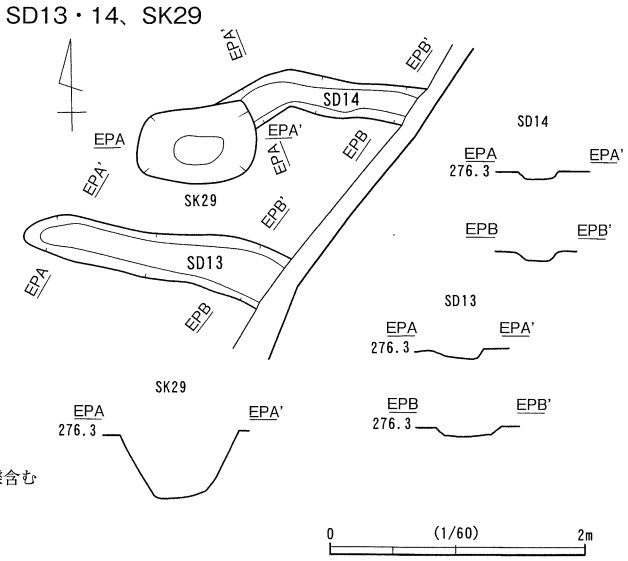
SK16　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）小礫含む



SK17　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/2）小礫含む

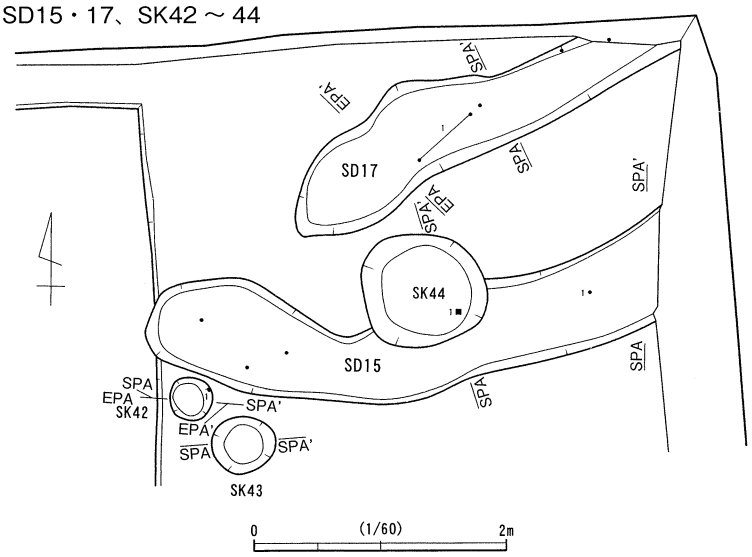
0 (1/40) 1m

SD13・14、SK29



第30図　SD9～14、SK14～17・22～25・29

SD15・17、SK42～44



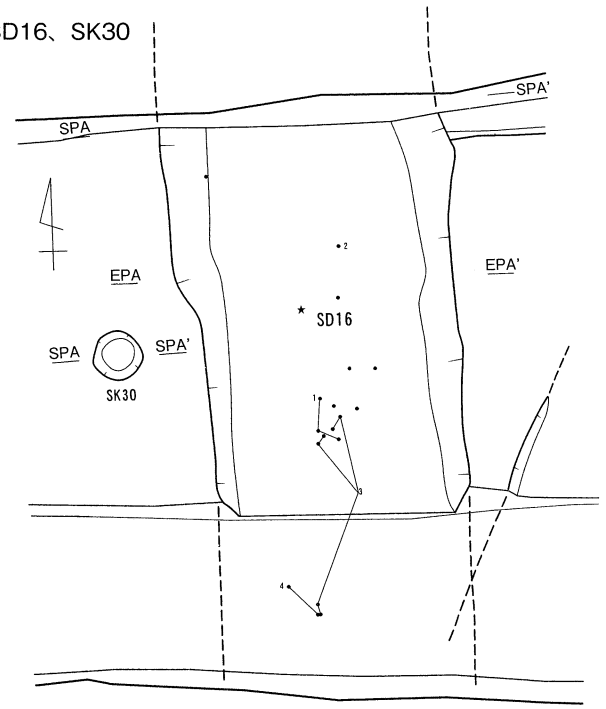
SK42　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒含む、礫少量含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/2）シルト質　黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒含む、礫少量含む
3　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト質　黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒含む、礫少量含む

SK43　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒・礫少量含む
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）シルト質　炭化物粒・礫少量含む

SK44・SD15　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　黄褐色砂質土ブロック・礫含む（SK44）
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト質　黄褐色砂質土ブロック・礫含む（SK44）
3　暗褐色砂質土（10YR3/4）シルト質　黄褐色砂質土ブロック・炭化物粒含む（SK44）
4　黒褐色砂質土（10YR2/2）礫含む（SD15）

SD17　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　黄褐色砂質土小ブロック含む、炭化物粒含む
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）シルト質小礫多く含む

SD16、SK30

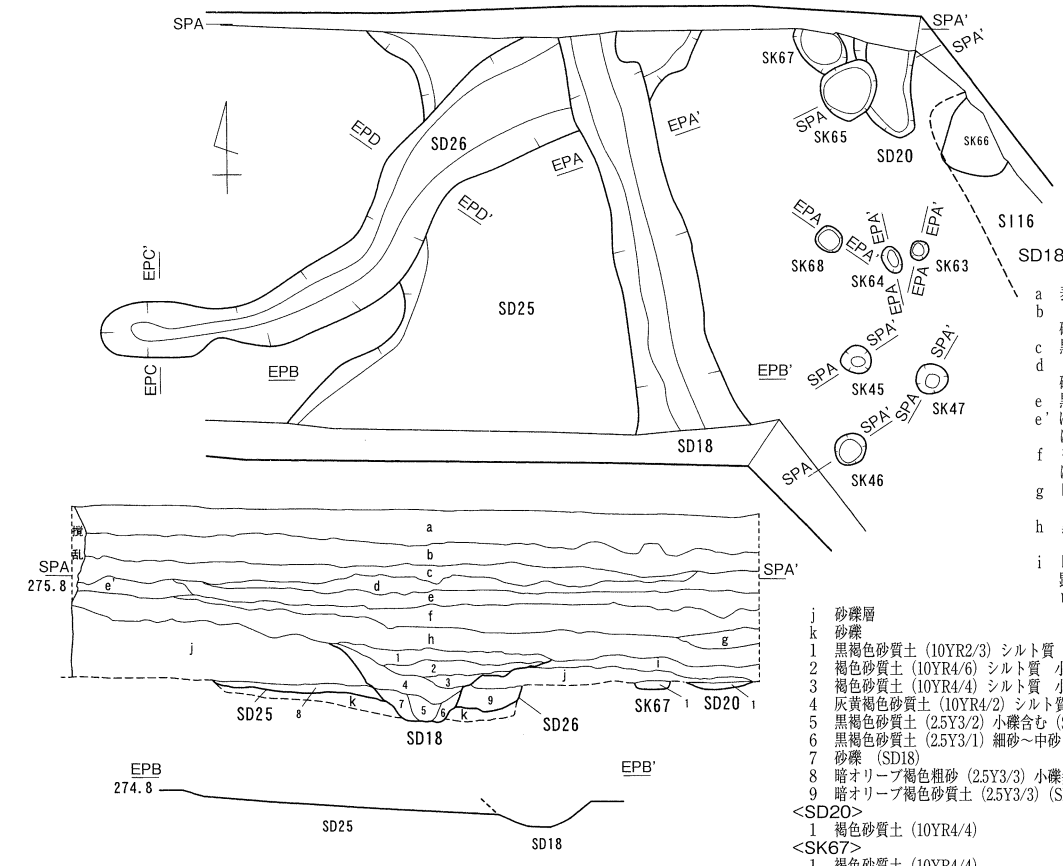


SD16　土層説明
Ⅰ　表土
Ⅱ　旧表土
Ⅲ　暗褐色砂質土（10YR3/3）小礫やや多く含む
Ⅳ　黒褐色砂質土（10YR2/2）ややシルト質
1　黒褐色砂質土（10YR3/2）
2　黒褐色砂質土（10YR2/2）砂礫混じり
3　褐色砂質土（10YR4/4）砂礫含む

SD30　土層説明
1　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）
2　暗褐色砂質土（10YR3/4）シルト質　炭化物・小礫少含む

第31図　SD15・17、SK30・42～44

SD18・20・25・26、SK45～47・63～65・67・68

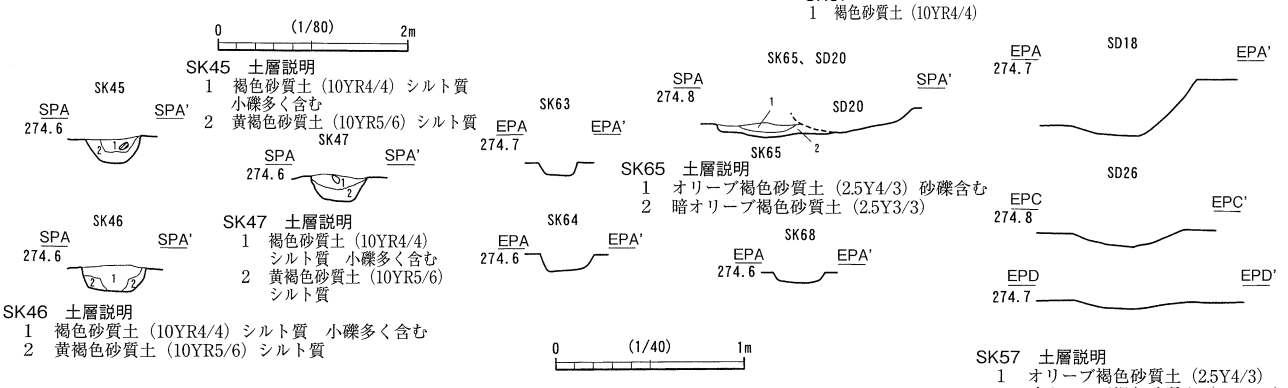


SD18・20・25・26、SK67　土層説明

a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや含む
e　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
e'　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫ほとんど含まない
f　褐色砂質土（10YR4/6）シルト質ほとんど礫含まず
g　暗褐色砂質土（10YR3/4）シルト質小礫少含む
h　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質砂礫含む
i　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト化顕著　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む
j　砂礫層
k　砂礫
1　黒褐色砂質土（10YR2/3）シルト質　炭化物粒・焼土粒・小礫含む（SD18）
2　褐色砂質土（10YR4/6）シルト質　小礫少含む（SD18）
3　褐色砂質土（10YR4/4）シルト質　小礫少含む（SD18）
4　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）シルト質　小礫少含む（SD18）
5　黒褐色砂質土（2.5Y3/2）小礫含む（SD18）
6　黒褐色砂質土（2.5Y3/1）細砂～中砂（SD18）
7　砂礫（SD18）
8　暗オリーブ褐色粗砂（2.5Y3/3）小礫多く含む（SD25）
9　暗オリーブ褐色砂質土（2.5Y3/3）（SD26）

<SD20>
1　褐色砂質土（10YR4/4）

<SK67>
1　褐色砂質土（10YR4/4）



SK45　土層説明
1　褐色砂質土（10YR4/4）シルト質小礫多く含む
2　黄褐色砂質土（10YR5/6）シルト質

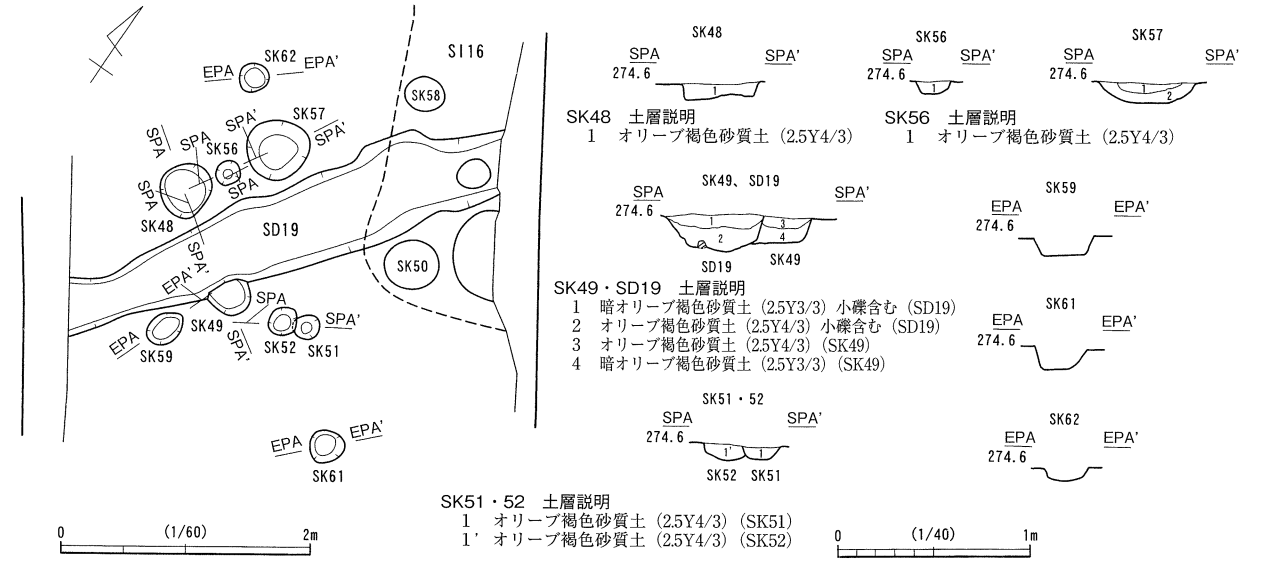
SK47　土層説明
1　褐色砂質土（10YR4/4）シルト質　小礫多く含む
2　黄褐色砂質土（10YR5/6）シルト質

SK46　土層説明
1　褐色砂質土（10YR4/4）シルト質　小礫多く含む
2　黄褐色砂質土（10YR5/6）シルト質

SK65　土層説明
1　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）砂礫含む
2　暗オリーブ褐色砂質土（2.5Y3/3）

SK57　土層説明
1　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）
2　暗オリーブ褐色砂質土（2.5Y3/3）

SD19、SK48・49・51・52・56・57・59・61・62



SK48　土層説明
1　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）

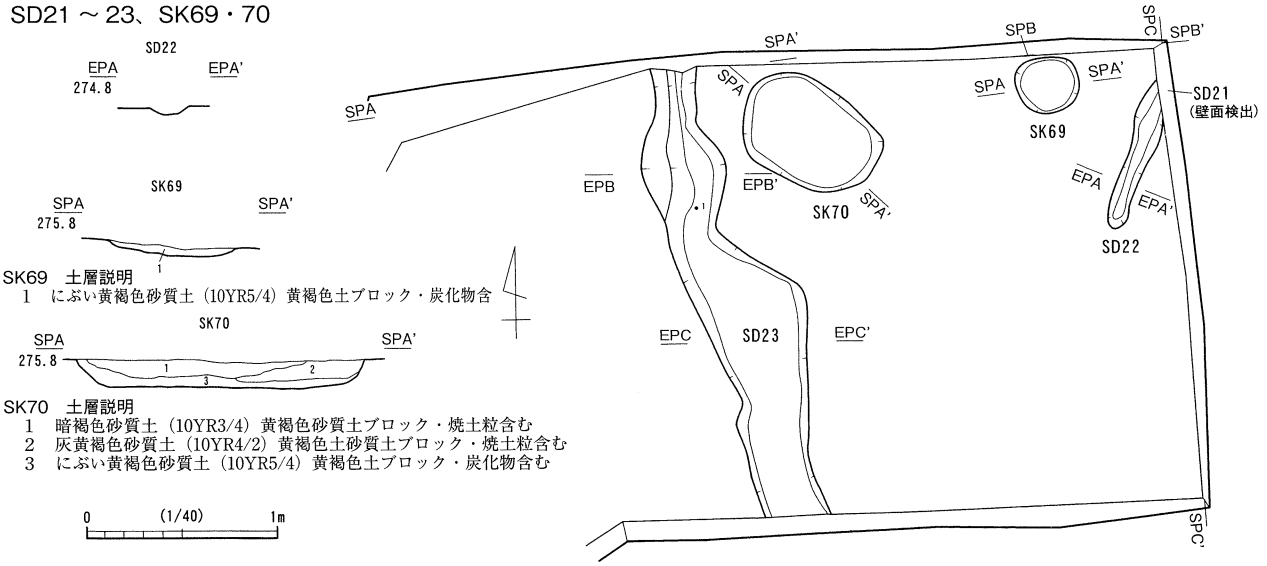
SK56　土層説明
1　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）

SK49・SD19　土層説明
1　暗オリーブ褐色砂質土（2.5Y3/3）小礫含む（SD19）
2　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）小礫含む（SD19）
3　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）（SK49）
4　暗オリーブ褐色砂質土（2.5Y3/3）（SK49）

SK51・52　土層説明
1　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）（SK51）
1'　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）（SK52）

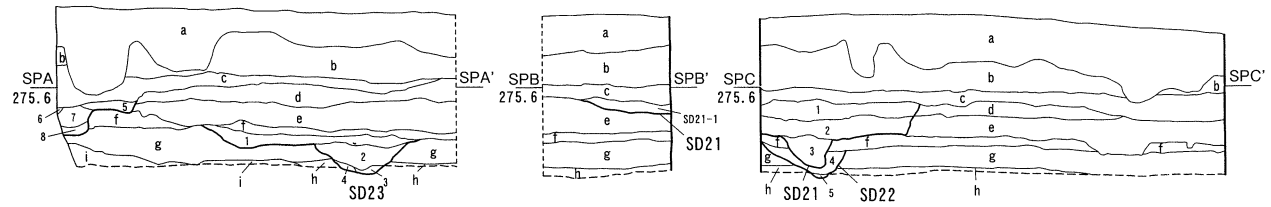
第32図　SD18～20・25・26、SK45～49・51・52・56・57・59・61～65・67・68

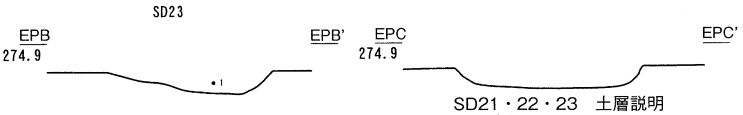
SD21 ～ 23、SK69・70



SK69　土層説明
1　にぶい黄褐色砂質土（10YR5/4）黄褐色土ブロック・炭化物含

SK70　土層説明
1　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色砂質土ブロック・焼土粒含む
2　灰黄褐色砂質土（10YR4/2）黄褐色土砂質土ブロック・焼土粒含む
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR5/4）黄褐色土ブロック・炭化物含む





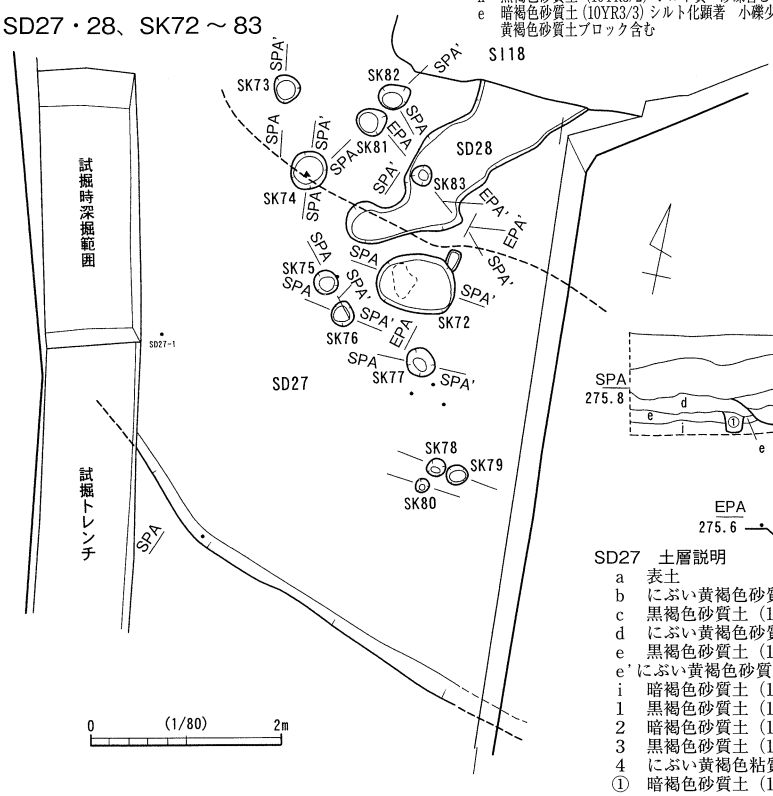
SD21・22・23　土層説明
a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫含む
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや含む
e　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
f　褐色砂質土（10YR4/6）シルト質　ほとんど礫含まず
g　暗褐色砂質土（10YR3/4）シルト質　小礫少含む
h　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　砂礫含む
e　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト化顕著　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む

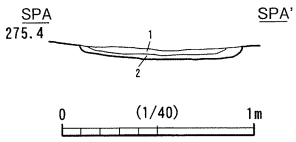
0　(1/80)　2m

1　暗褐色砂質土（10YR3/3）砂礫やや多含む（SD21）
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）砂礫1層より少ない（SD21）
3　暗褐色砂質土（10YR3/4）砂礫含む、土器小片含む（SD21）
4　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色砂質土ブロック・炭化物含む（SD22）
5　にぶい黄褐色砂質土（10YR5/4）（SD22）

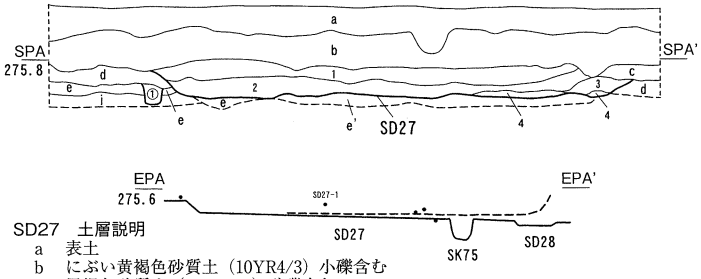
〈SD23〉
1　黒褐色砂質シルト（10YR3/2）小礫やや含む、土器片含む（SD23）
2　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）黄褐色砂質土ブロック・炭化物・焼土粒含む（SD23）
3　暗褐色砂質土（10YR3/4）黄褐色砂質土ブロック・炭化物含む（SD23）
4　にぶい黄褐色砂質土（10YR5/4）（SD23）
5　褐色砂質土（10YR4/4）小礫多含む、焼土小ブロック含む（SI19覆土か）
6　褐色砂質土（7.5YR4/3）焼土多含む、小礫含む（SI１９か）
7　暗褐色砂質土（7.5YR3/3）小礫多含む、焼土粒多含む（SI19覆土か）
8　暗褐色砂質土（7.5YR3/3）小礫含む、焼土小ブロック多含む（SI19覆土か）

SD27・28、SK72 ～ 83



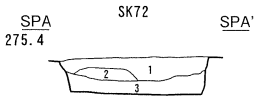


SD28　土層説明
1　暗灰黄色シルト（2.5Y4/2）砂礫多含む
2　暗灰黄色シルト（2.5Y4/2）砂礫多含む

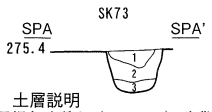


SD27　土層説明
a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）小礫含む
c　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
d　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫やや含む
e　黒褐色砂質土（10YR3/2）砂礫含む
e'にぶい黄褐色砂質土（10YR4/3）砂礫ほとんど含まない
i　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト化顕著　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む
1　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫多く含む
2　暗褐色砂質土（10YR3/3）砂礫やや多く含む、焼土小ブロック・炭化物含む
3　黒褐色砂質土（10YR2/2）砂礫少含む
4　にぶい黄褐色粘質土（10YR4/3）砂礫多含む
①　暗褐色砂質土（10YR3/3）焼土粒・黄褐色土ブロック含む（SK №なし）

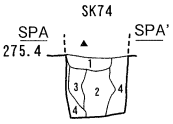
第33図　SD21 ～ 23・27・28、SK69・70・72 ～ 83



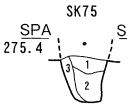
SK72　土層説明
1　暗褐色砂質シルト（10YR3/3）焼土小ブロック・炭化物多含む
2　暗褐色砂質シルト（10YR3/3）焼土小ブロック・炭化物混入の非常に顕著
3　にぶい黄褐色砂質シルト（10YR4/3）焼土粒含む



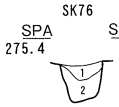
SK73　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫多含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫少含む
3　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質



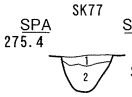
SK74　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫多含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫少含む
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/2）やや砂礫含む、黄褐色土ブロック含む
4　褐色砂質土（10YR4/4）



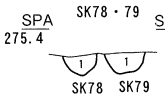
SK75　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫多含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫少含む
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/2）やや砂礫含む、黄褐色土ブロック含む



SK76　土層説明
1　黒褐色シルト（10YR2/2）黄褐色土ブロック含む、やや砂礫含む
2　黒褐色シルト（10YR3/2）黄褐色土ブロック含む、やや砂礫含む

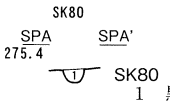


SK77　土層説明
1　黒褐色シルト（10YR2/2）黄褐色土ブロック含む、やや砂礫含む
2　黒褐色シルト（10YR3/2）黄褐色土ブロック含む、やや砂礫含む

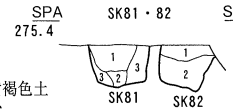


SK78　土層説明
1　黒褐色シルト（10YR2/2）黄褐色土ブロック含む、やや砂礫含む

SK79　土層説明
1　黒褐色シルト（10YR2/2）黄褐色土ブロック含む、やや砂礫含む

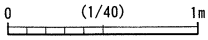


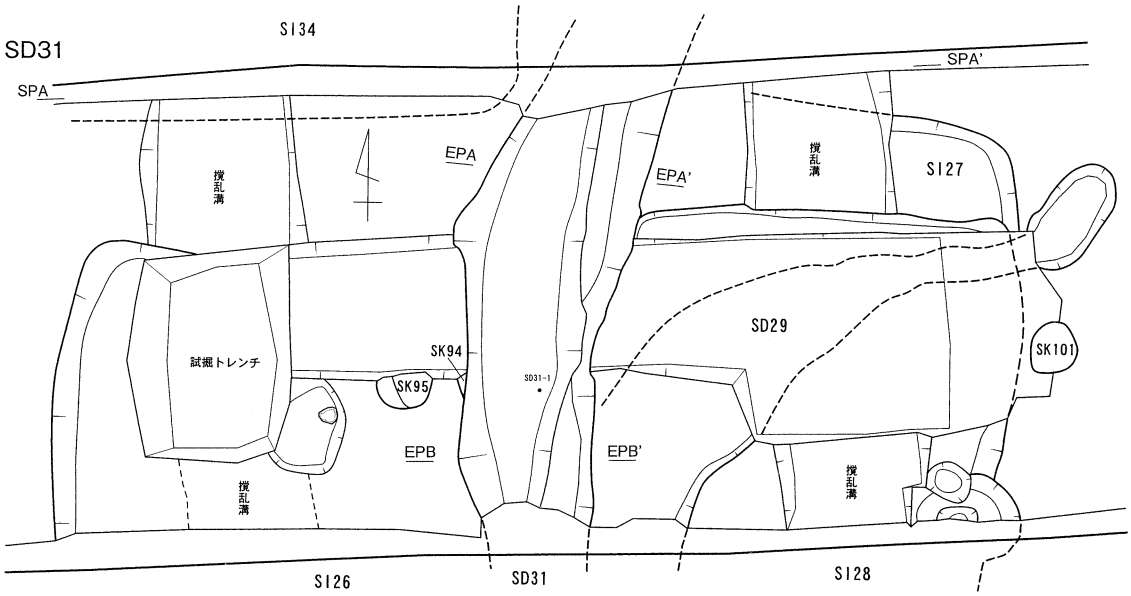
SK80　土層説明
1　黒褐色シルト（10YR2/2）黄褐色土ブロック含む、やや砂礫含む

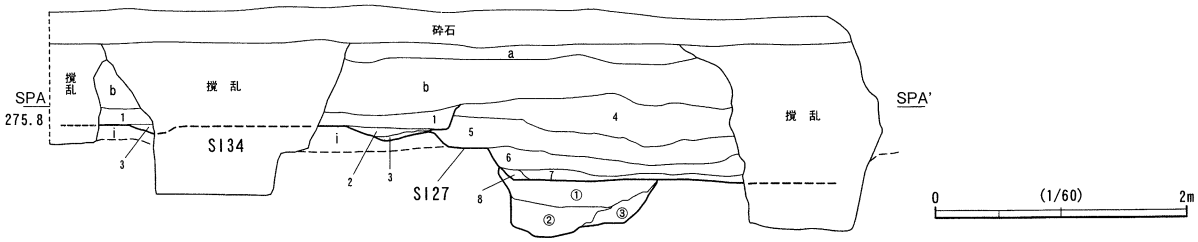


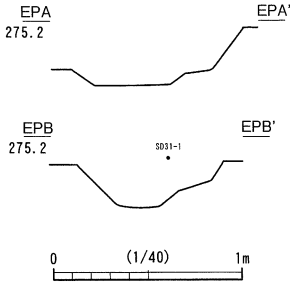
SK81　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫多含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫少
3　にぶい黄褐色砂質土（10YR4/2）やや砂礫含む、黄褐色土ブロック含む

SK82　土層説明
1　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫多含む
2　黒褐色砂質土（10YR2/3）砂礫少含む









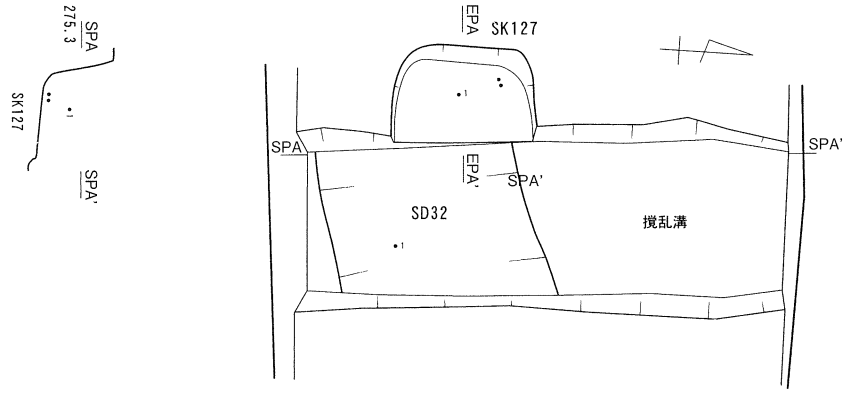
SI27・34・SD31　土層説明　SD31

砕石
a　表土
b　にぶい黄褐色砂質土(10YR4/3)小礫含む
i　暗褐色砂質土(10YR3/3)シルト化顕著　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む
1　黒褐色砂質土(10YR3/2)小礫少量含む、黄褐色土ブロック(SI34)
2　黒褐色砂質土(2.5YR3/2)炭化物層(SI34)
3　焼土層　(SI34)
4　黒褐色砂質土(10YR3/2)小礫含む、黄褐色土ブロック含む(SI27)
5　黒褐色砂質土(10YR3/2)小礫含む、砂礫主体(SI27)
6　暗褐色砂質土(10YR3/3)砂礫多含む、炭化物含む(SI27)
7　にぶい黄褐色砂質土(10YR4/3)砂礫含む、焼土粒子含む(SI27)
8　灰黄褐色砂質土(10YR4/2)(SI27)

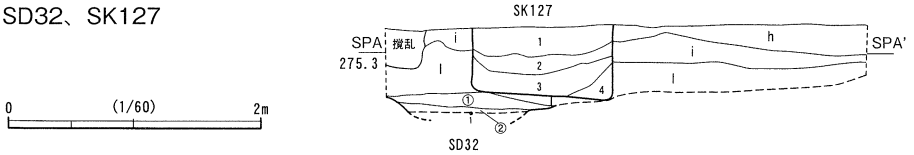
〈SD31〉
①　黒褐色砂質土(10YR3/2)小礫やや多く含む
②　暗褐色砂質土(10YR3/3)炭化物・小礫含む
③　黒褐色砂質土(2.5YR3/2)黒褐色土ブロック含む

第34図　SD31、SK72～83

SD32、SK127



SD32、SK127



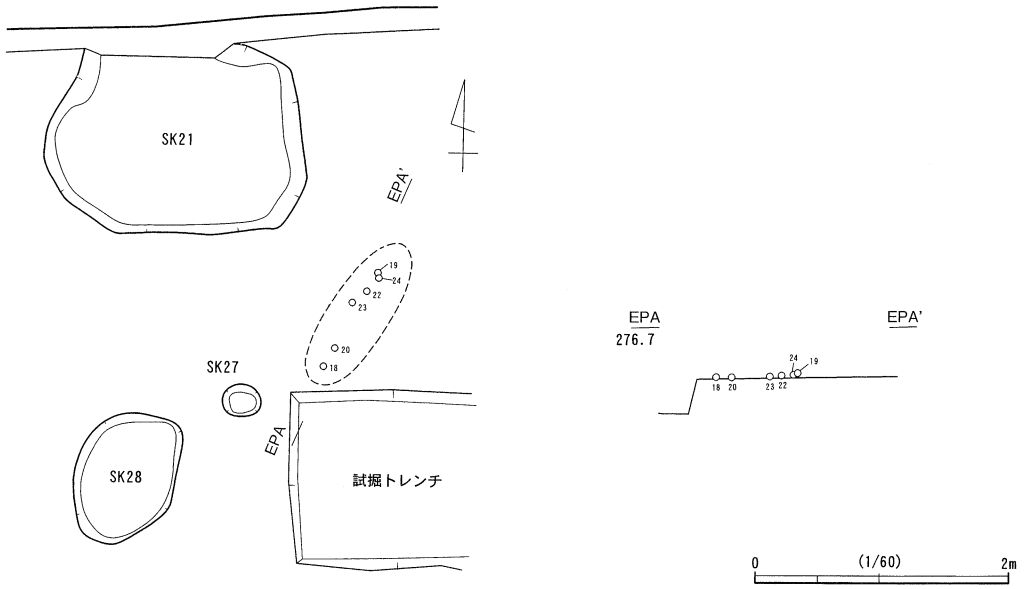
SD32、SK127　土層説明

h　黒褐色砂質土（10YR3/2）シルト質　砂礫含む
i　暗褐色砂質土（10YR3/3）シルト化顕著　小礫少含む、黄褐色砂質土ブロック含む
l　オリーブ褐色砂質土（2.5Y3/3）小礫多く含む
①　黒褐色砂礫層（2.5Y3/2）（SD32）
②　黒褐色細砂（2.5Y3/2）（SD32）

〈SK127〉

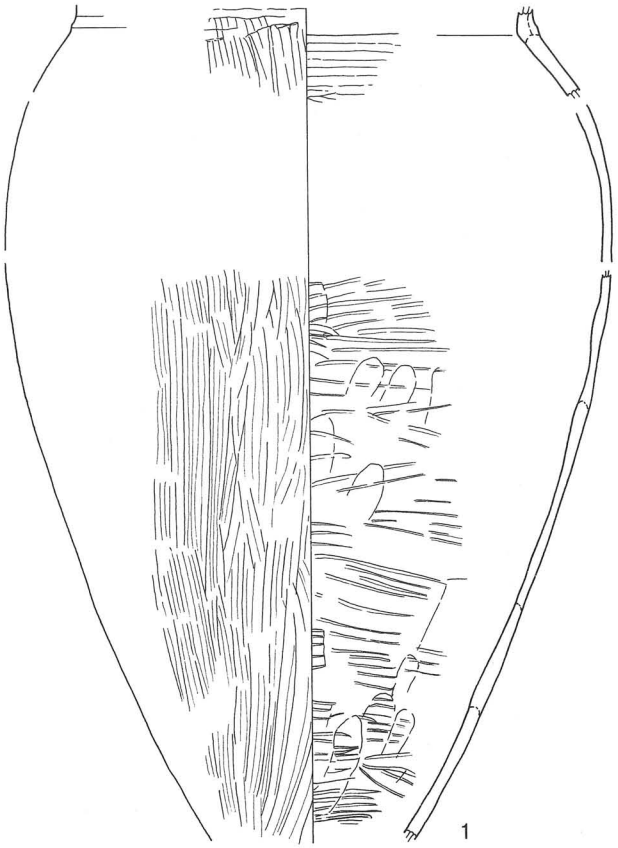
1　黄褐色砂質土（10YR5/6）黄褐色土ブロック・小礫多含む
2　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/4）黄褐色土ブロック・小礫多含む
3　オリーブ褐色砂質土（2.5Y4/3）黄褐色土ブロック・小礫多含む
4　黄褐色砂質土（2.5Y5/3）黄褐色土ブロック・小礫多含む

銭貨出土状況

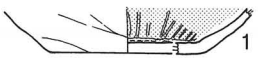


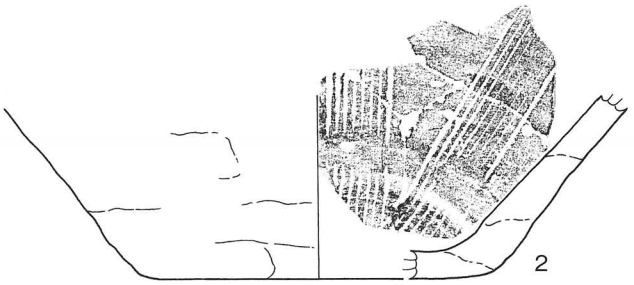
第35図　SD32、SK127、銭貨出土状況

SI1

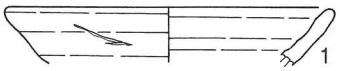


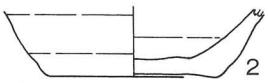
SI4

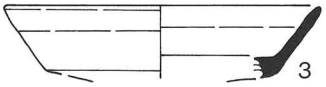


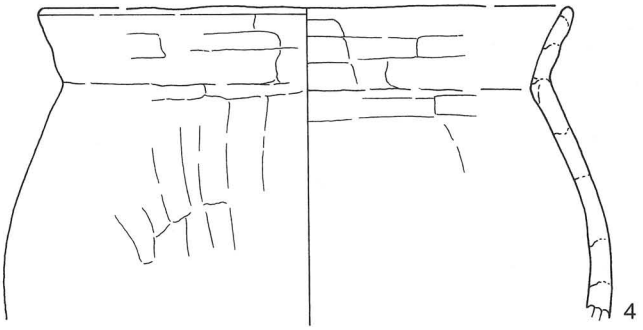


SI5

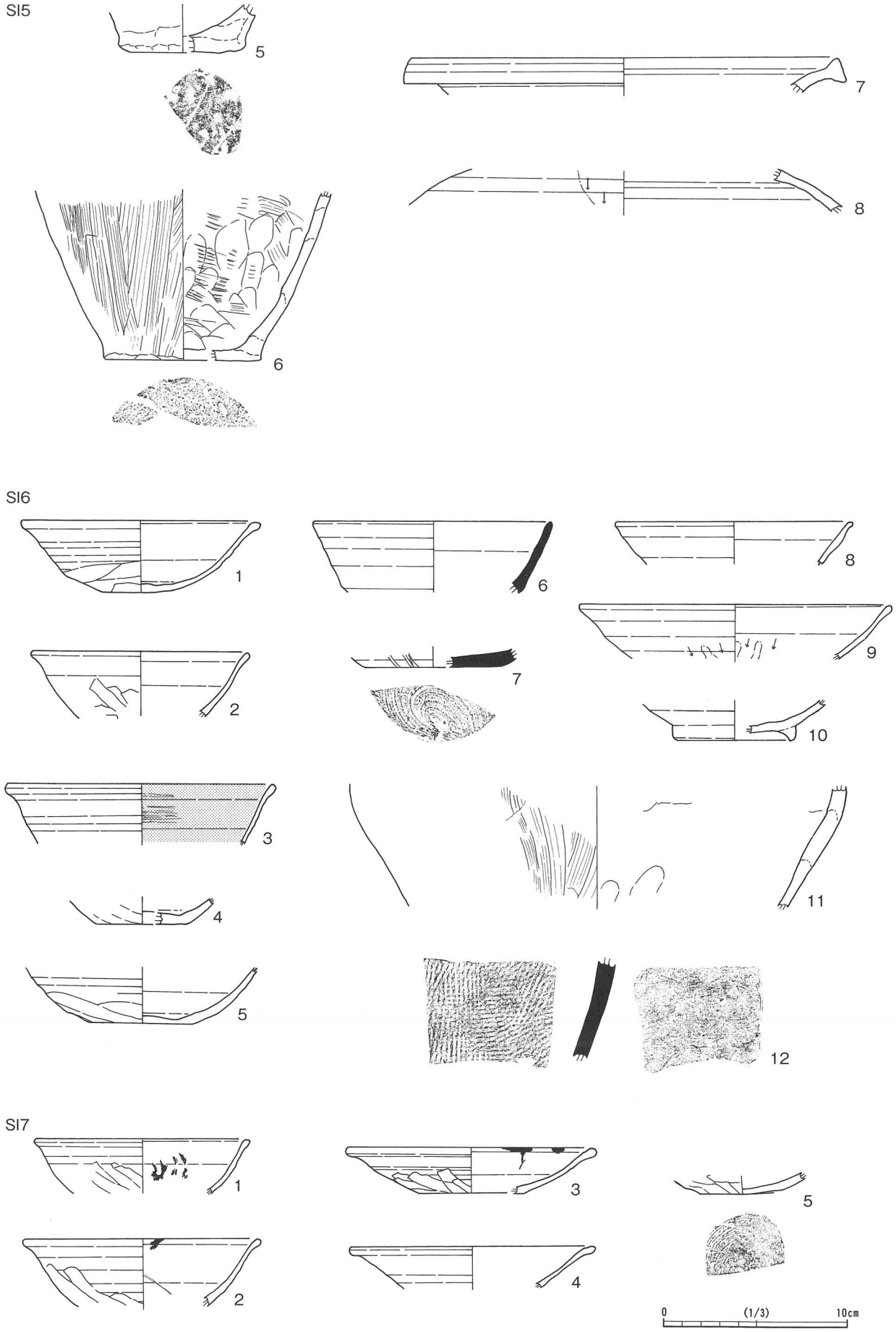




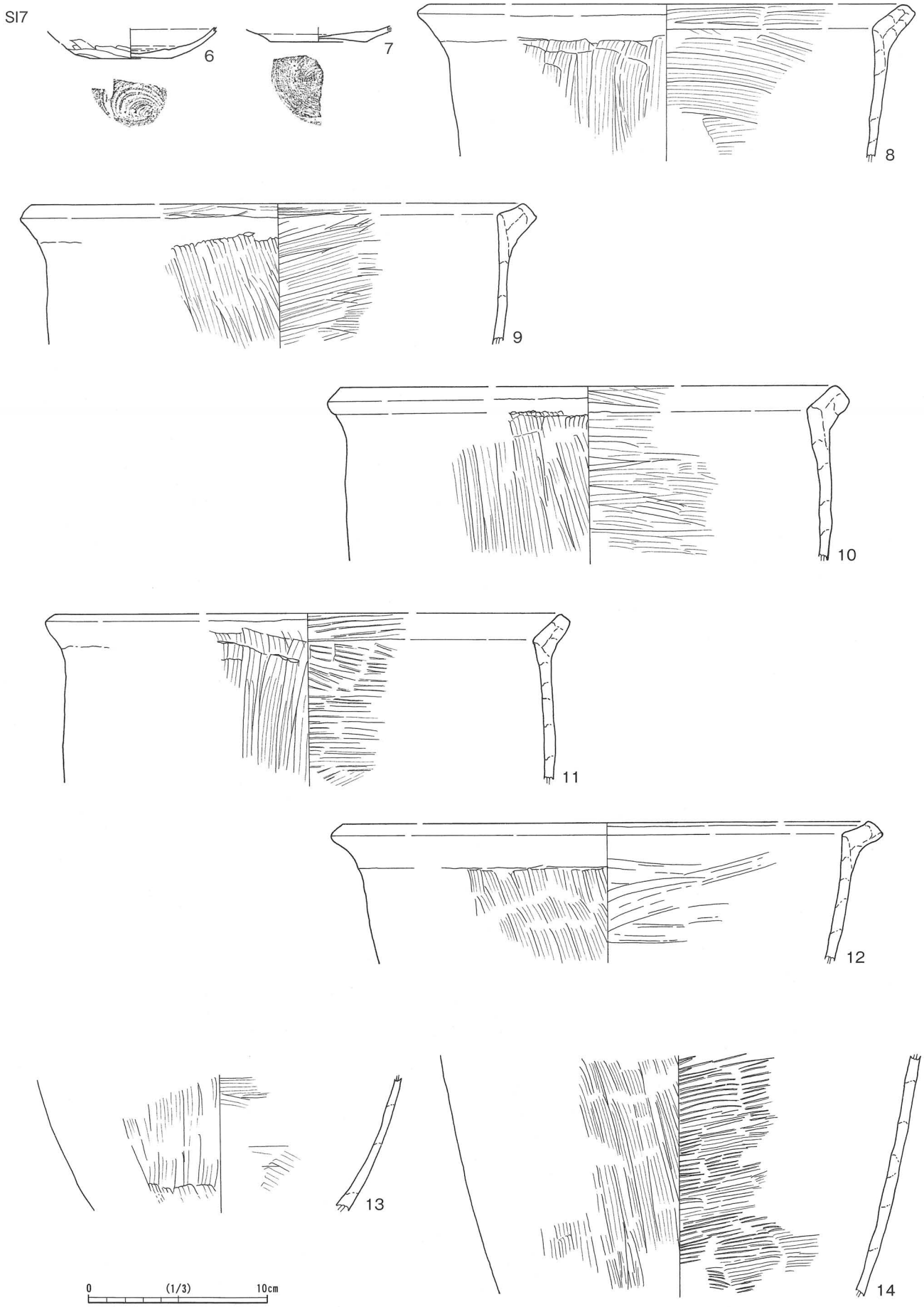




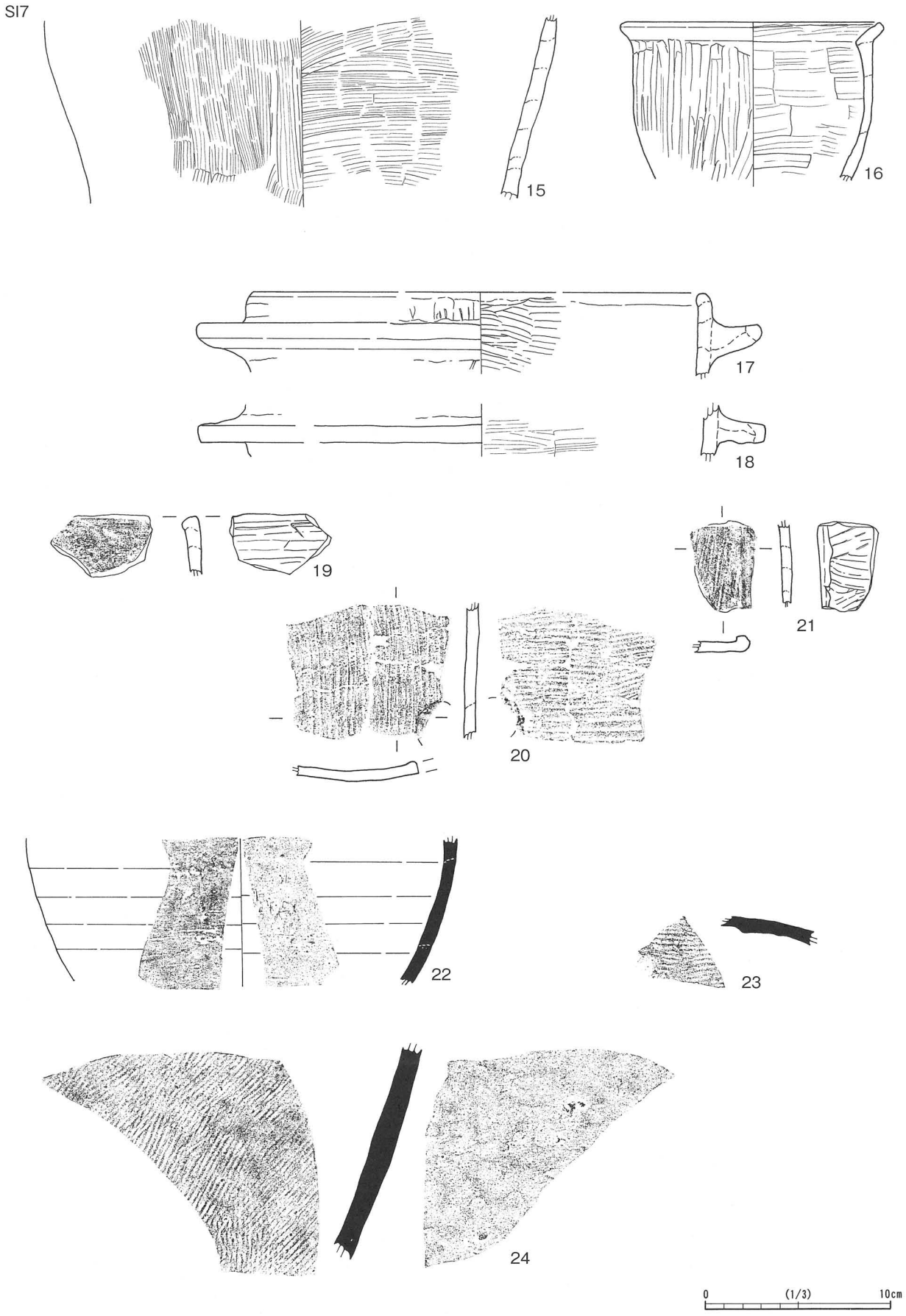
第36図　SI1 ～ 5(1)出土遺物



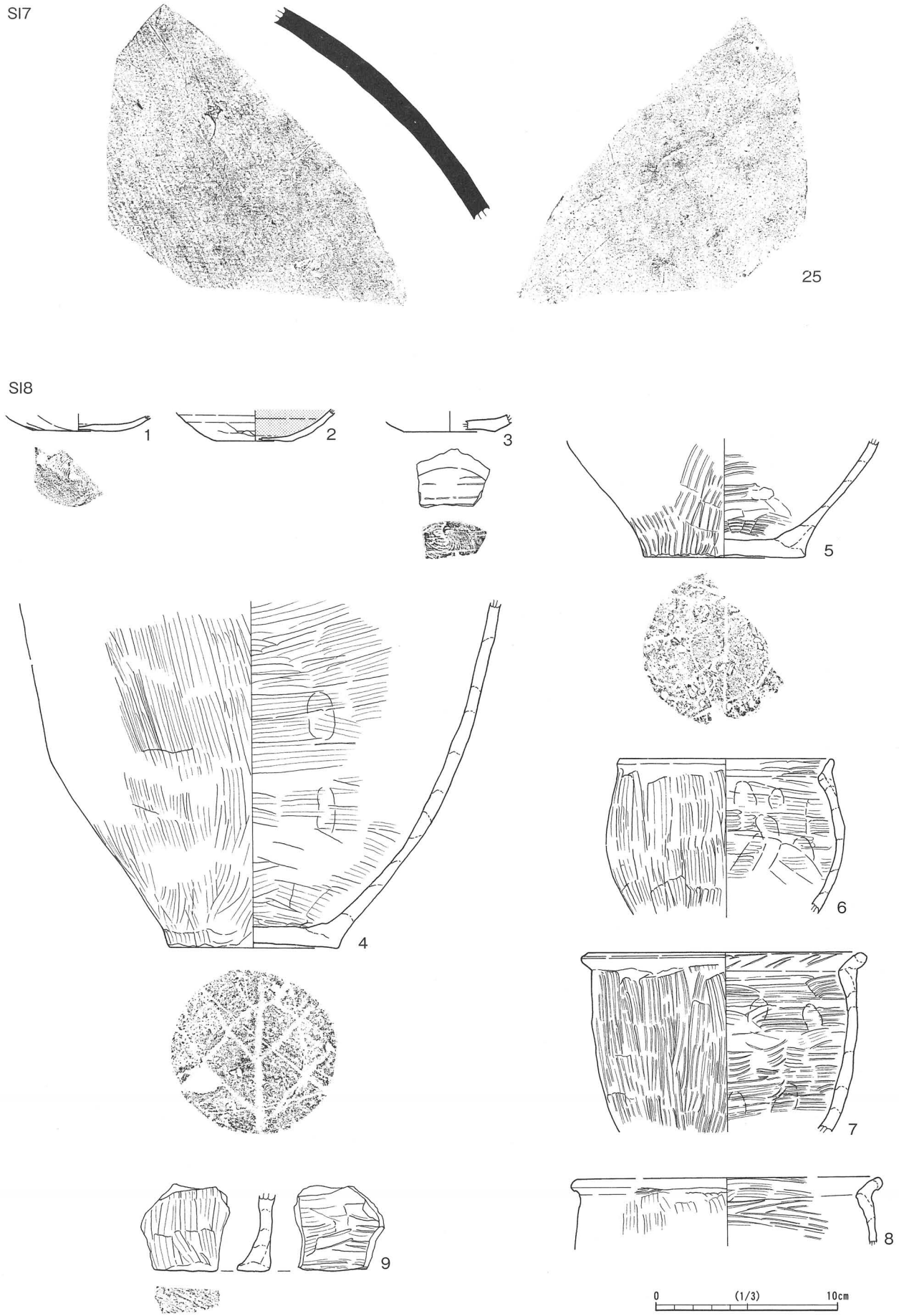
第37図　SI5(2)～7(1)出土遺物



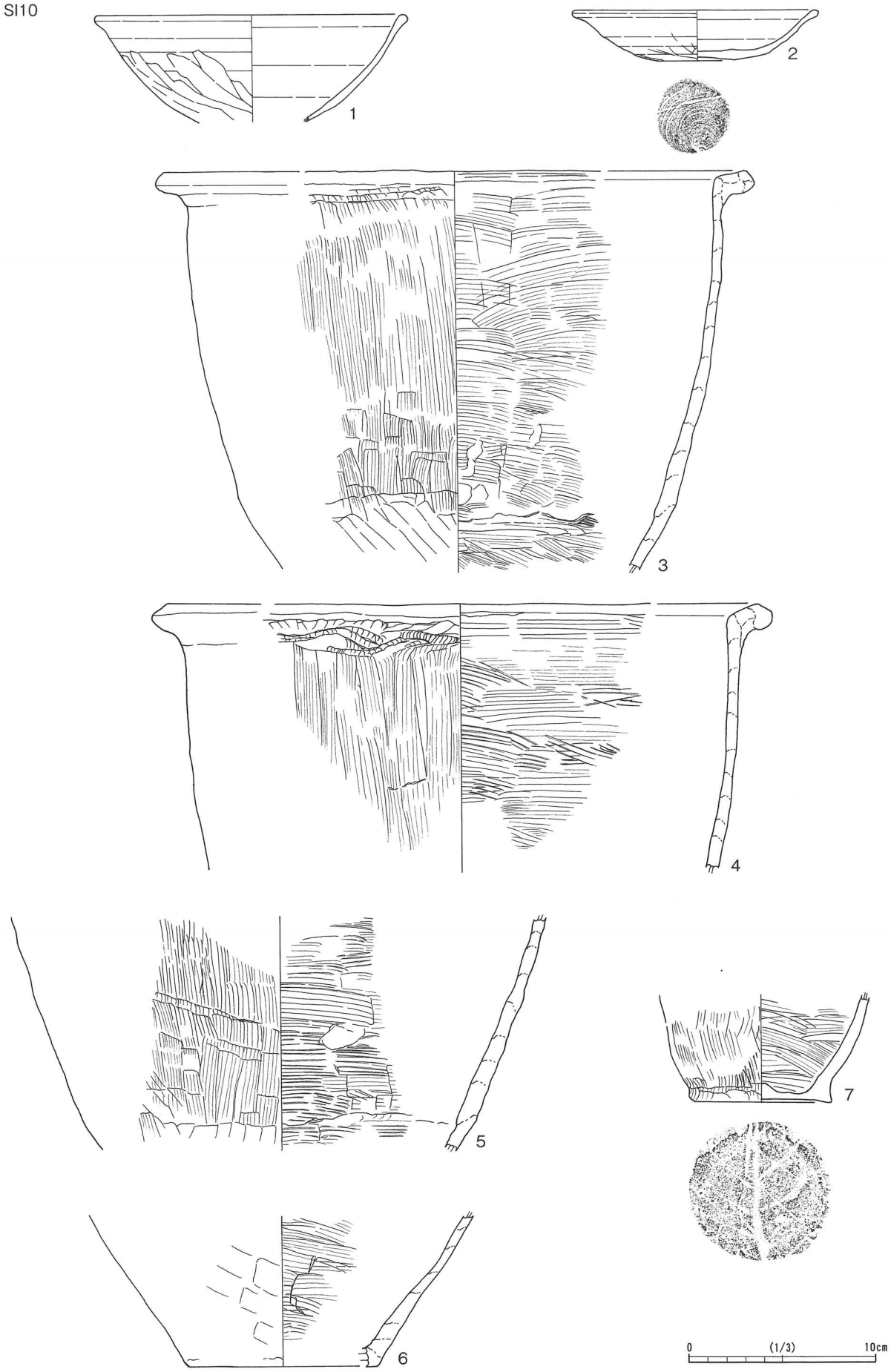
第38図　SI7(2)出土遺物



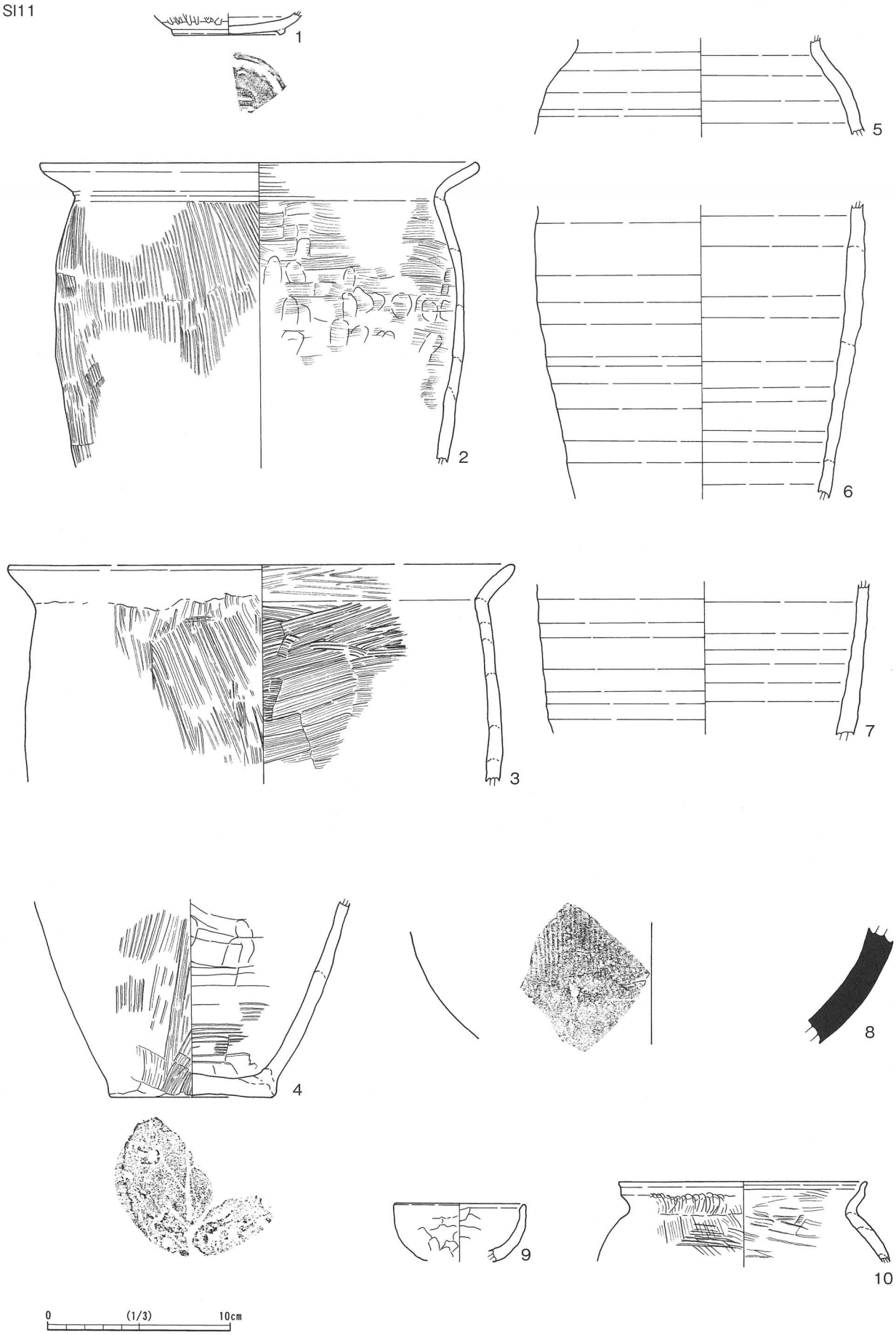
第39図　SI7(3)出土遺物



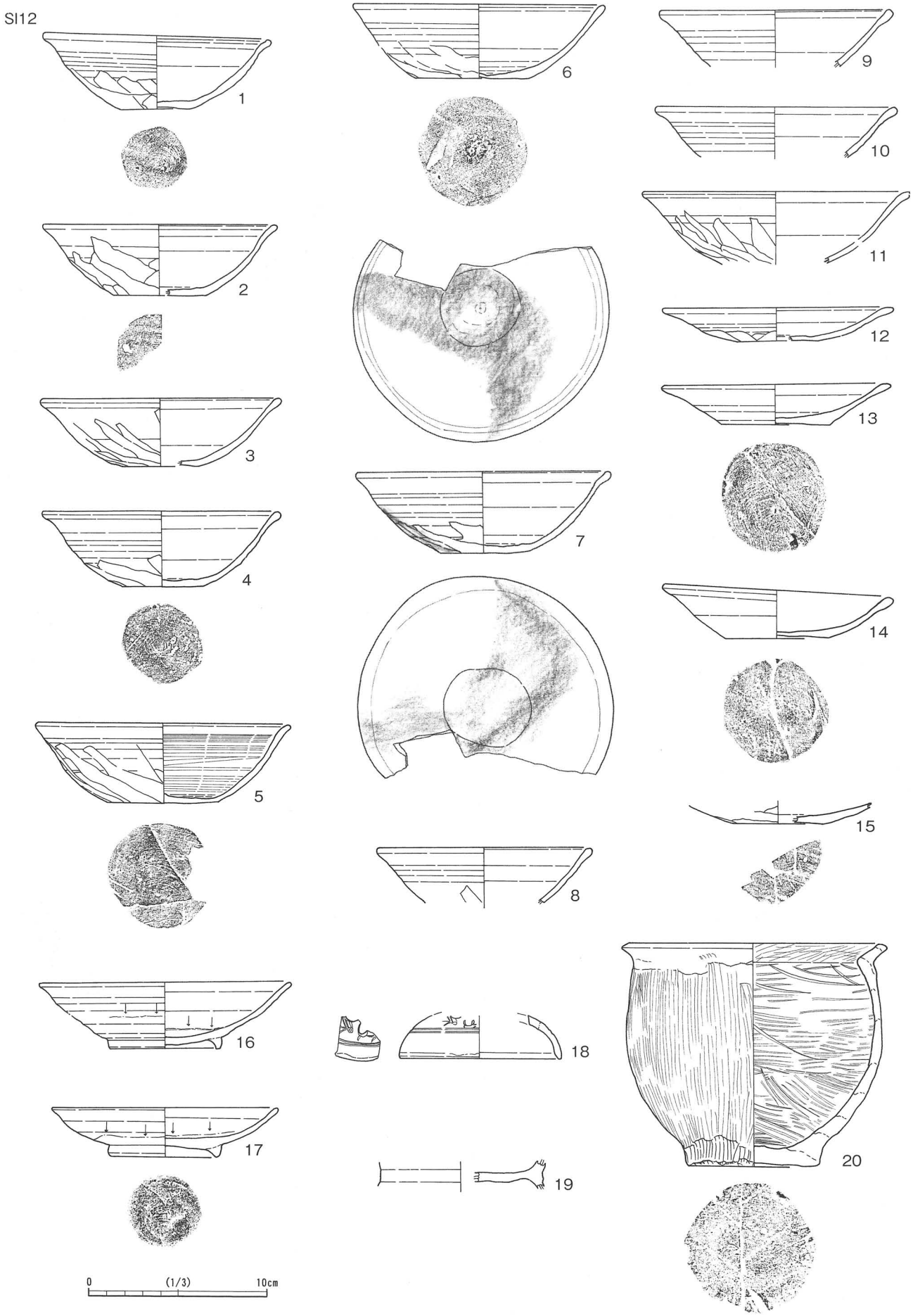
第40図　SI7(4)・8出土遺物



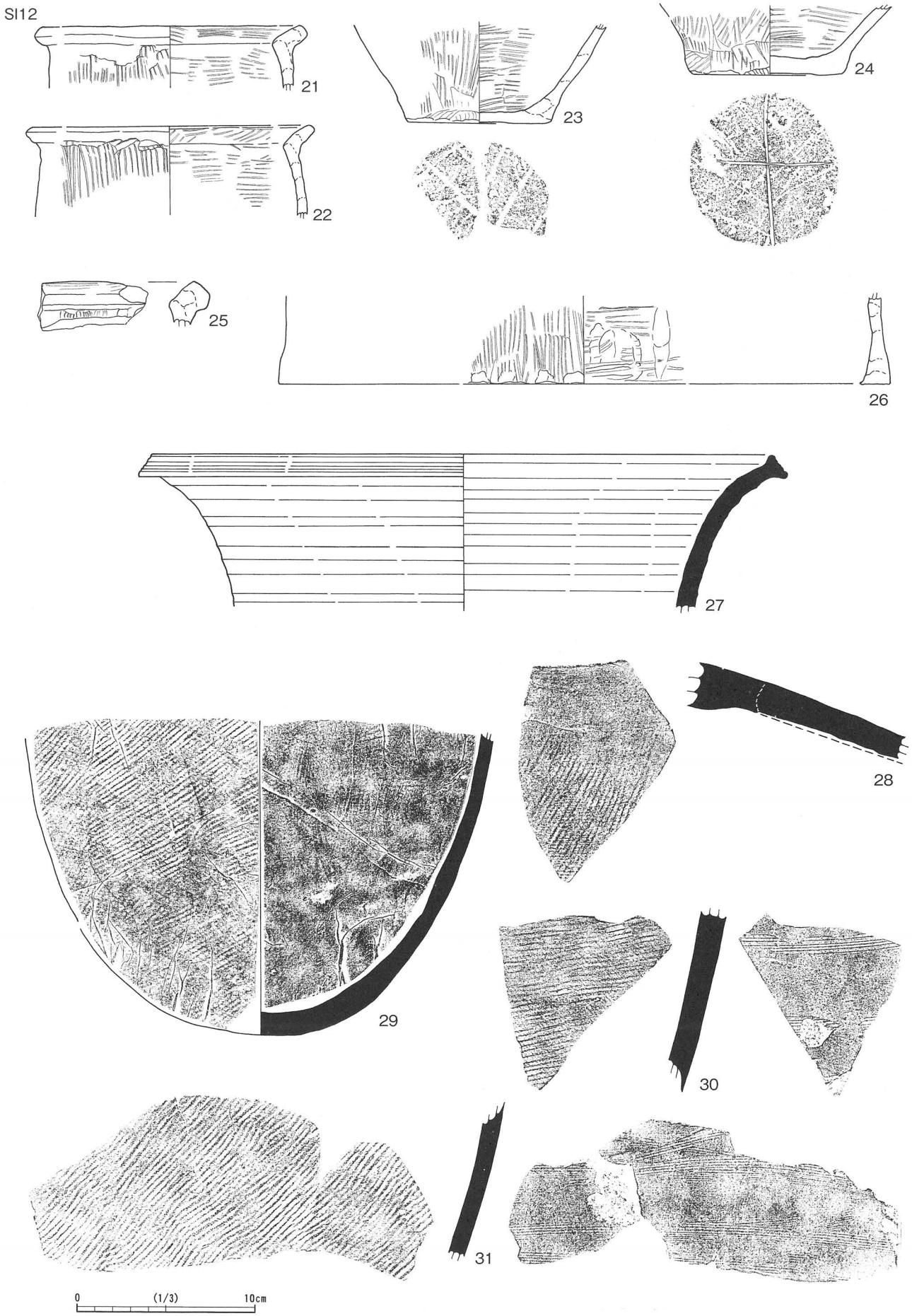
第41図　SI10出土遺物



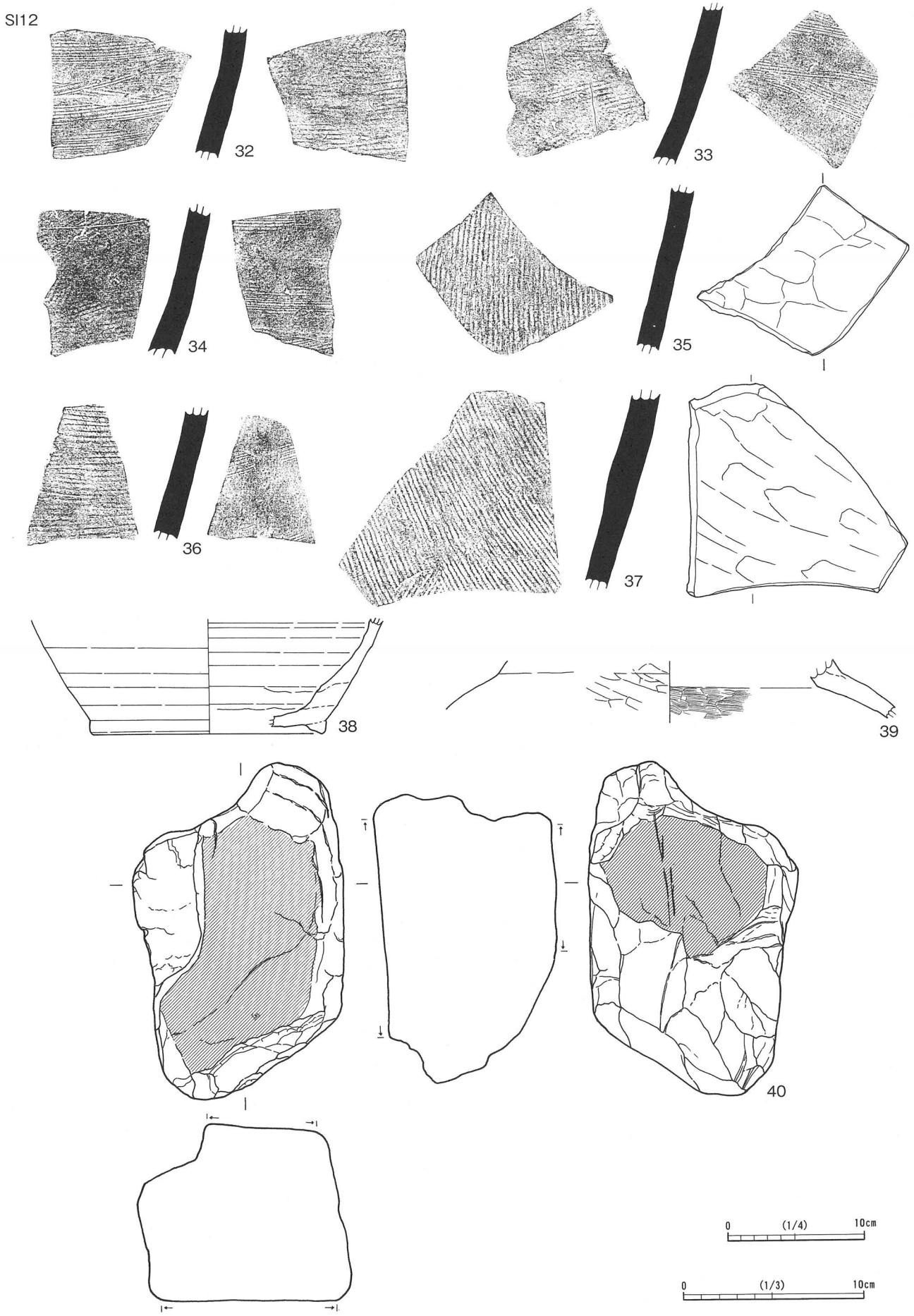
第42図　SI11出土遺物



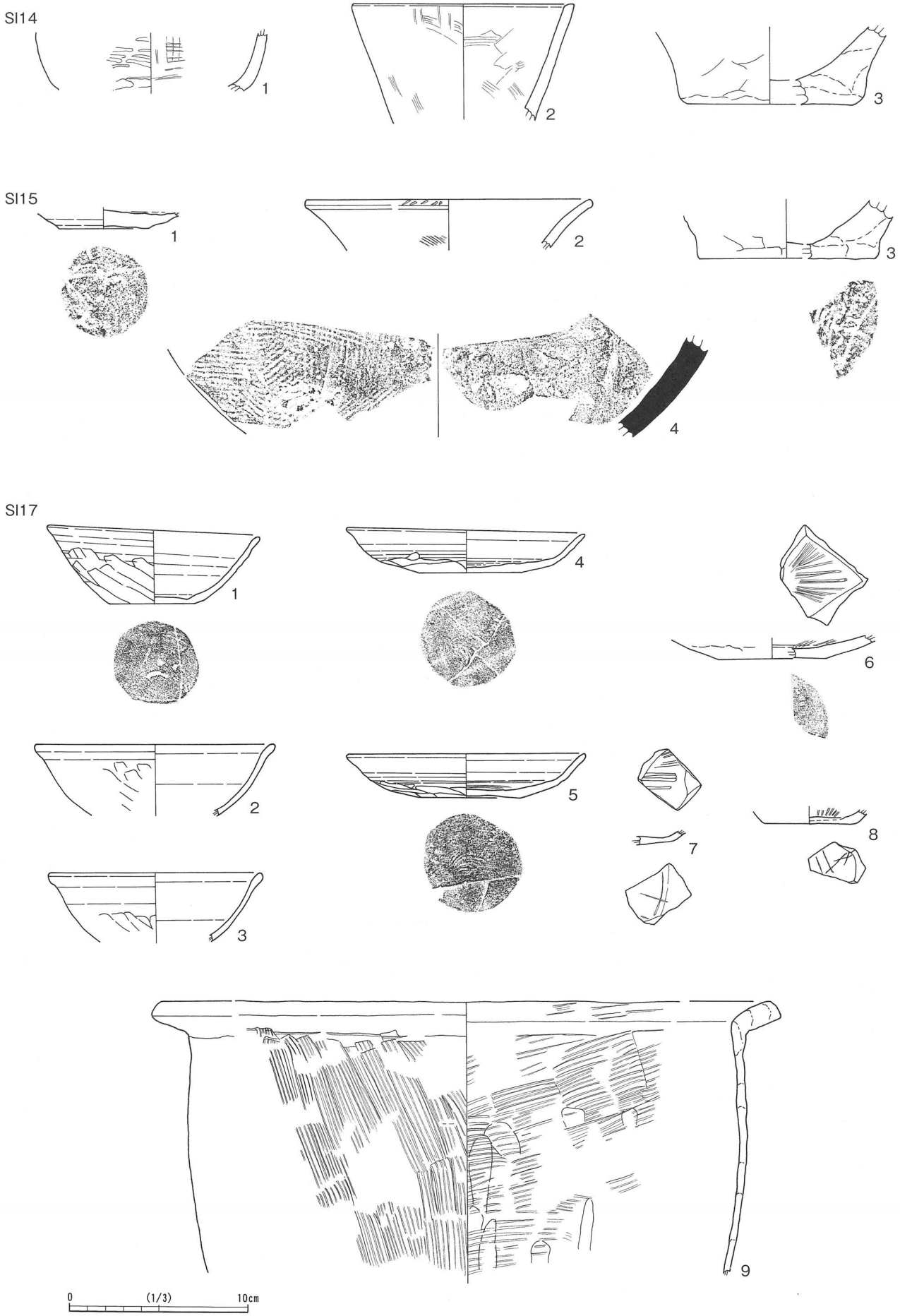
第43図　SI12(1)出土遺物



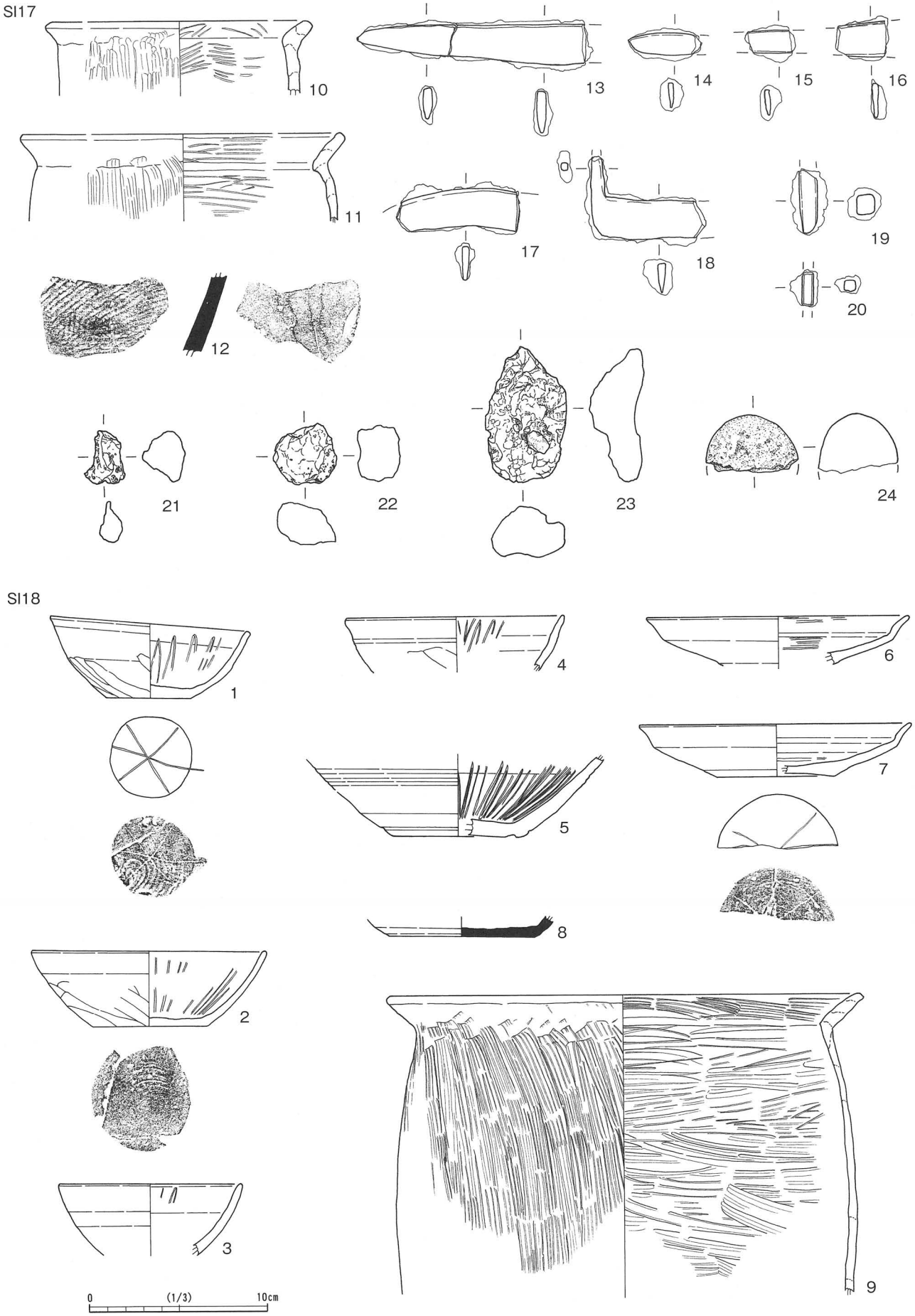
第44図　SI12(2)出土遺物



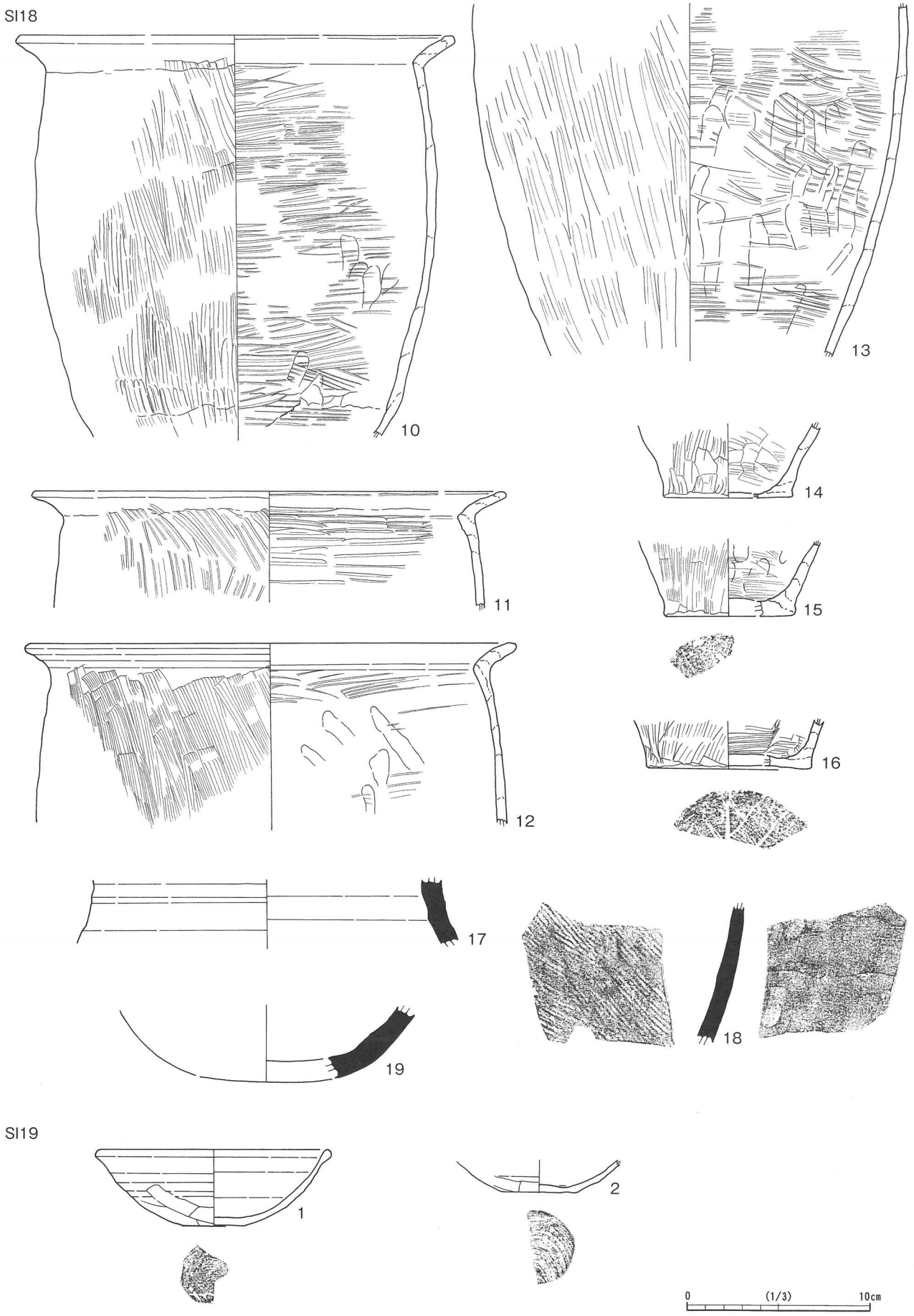
第45図　SI12(3)出土遺物



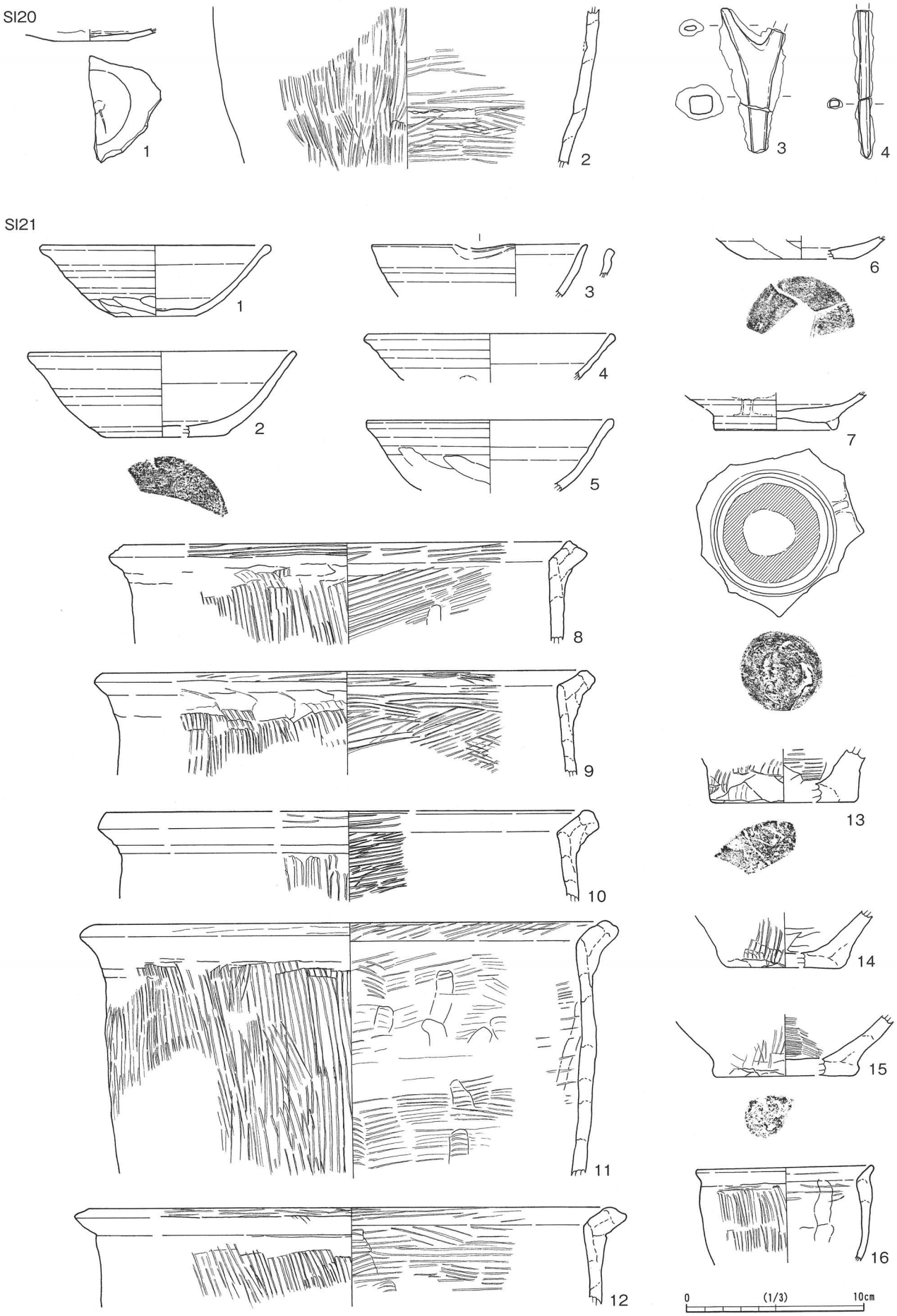
第46図　SI14・15・17(1)出土遺物



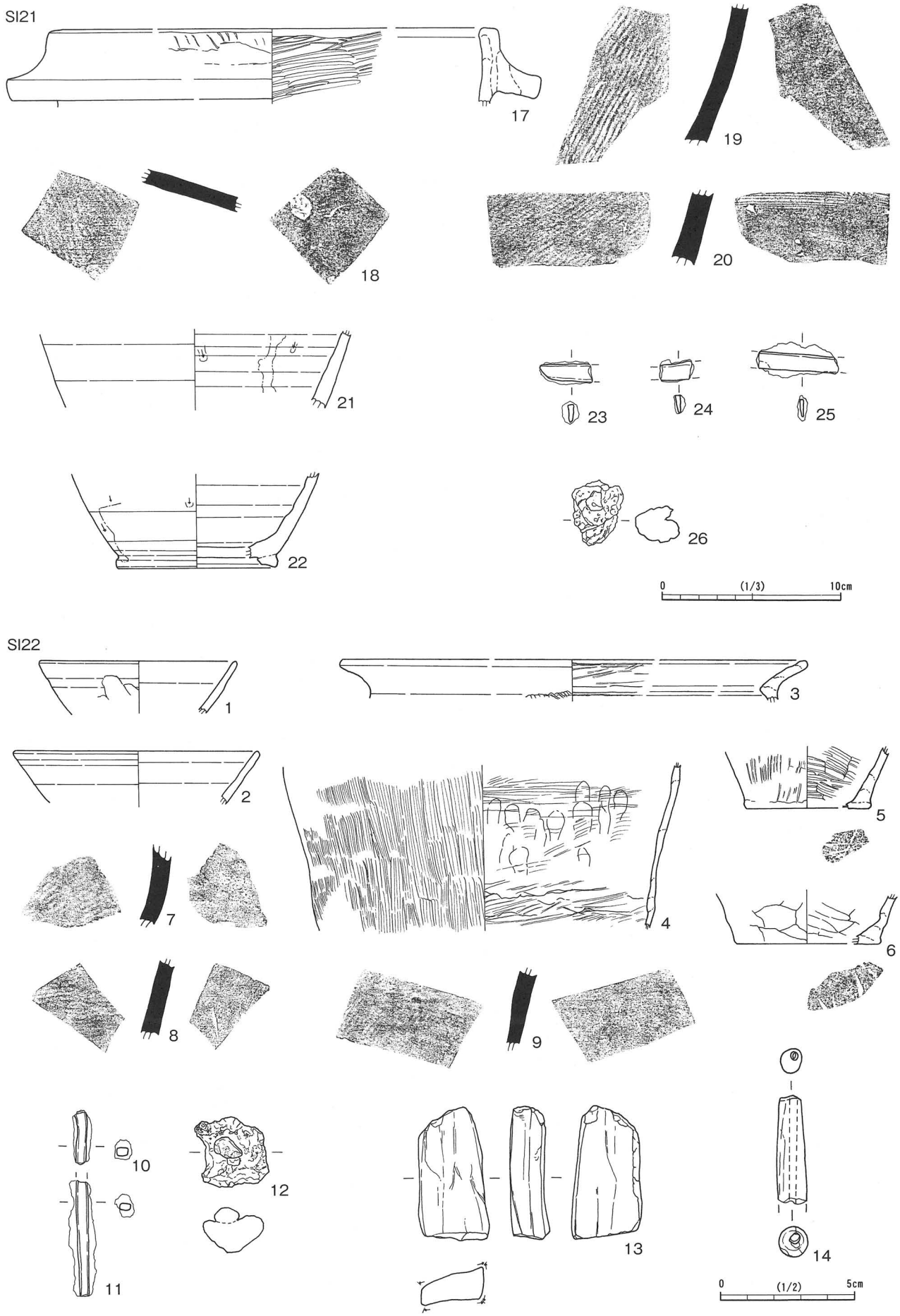
第47図　SI17(2)・18(1)出土遺物



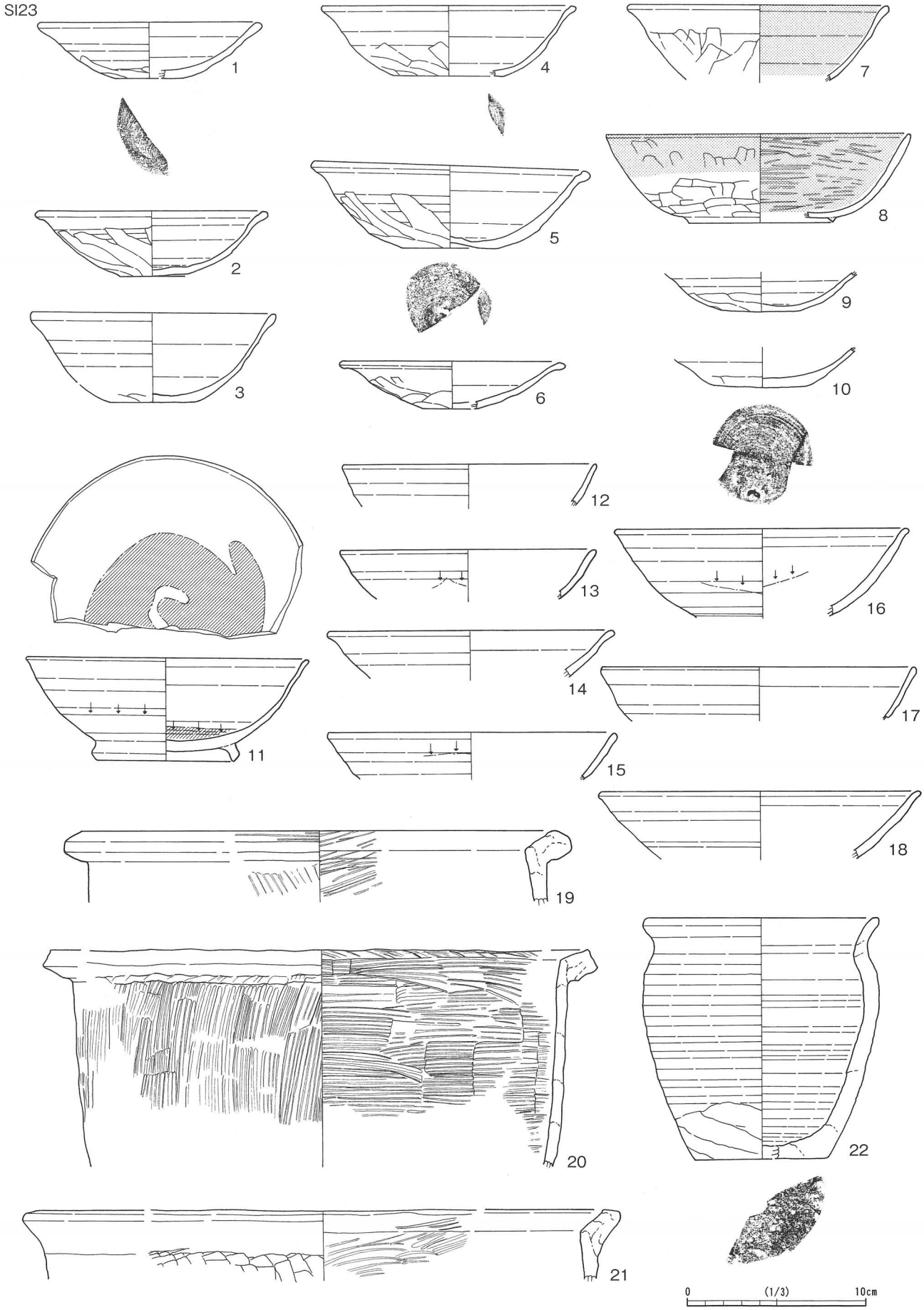
第48図　SI18(2)・19出土遺物



第49図　SI20・21(1)出土遺物

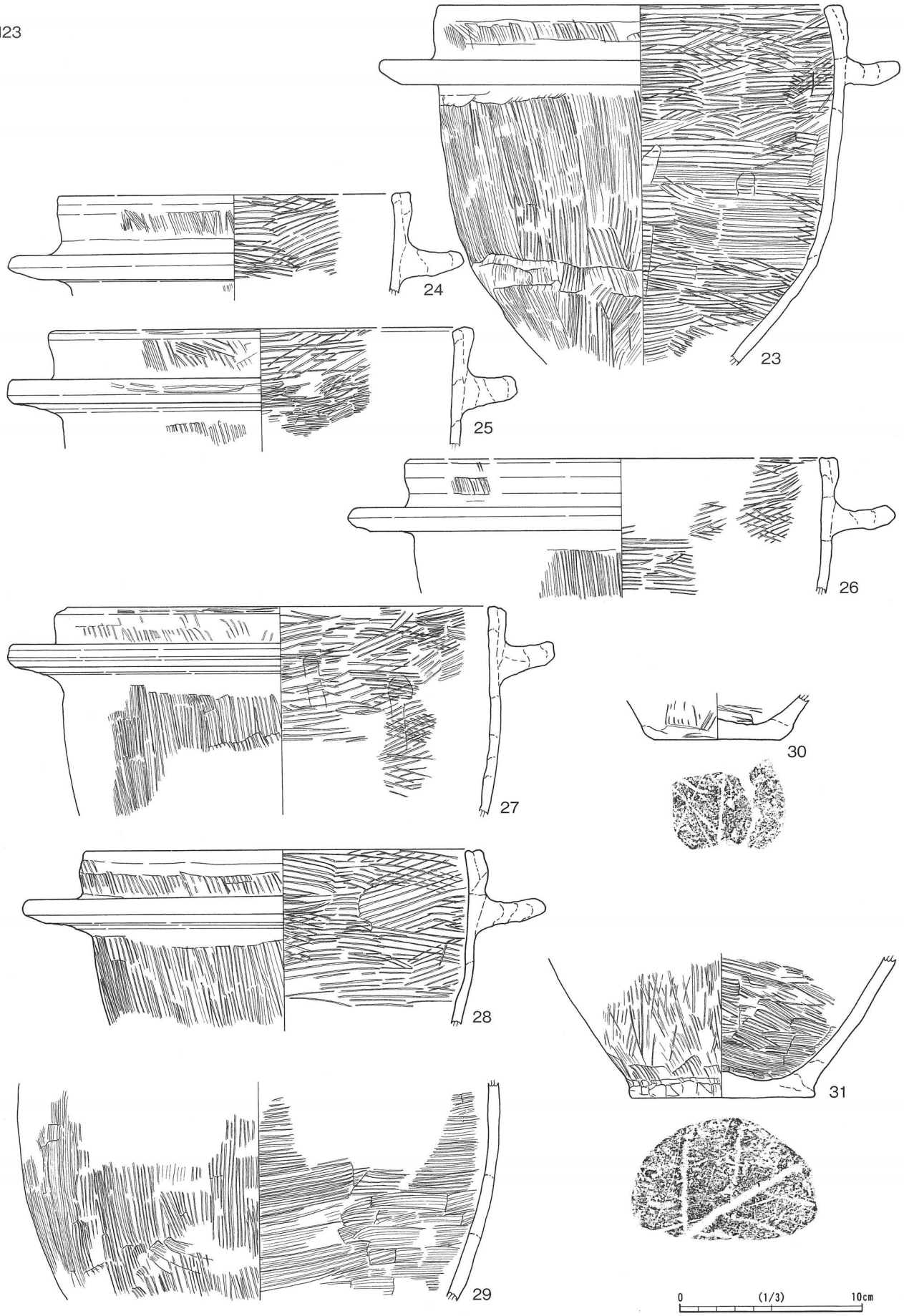


第50図　SI21(2)・22出土遺物

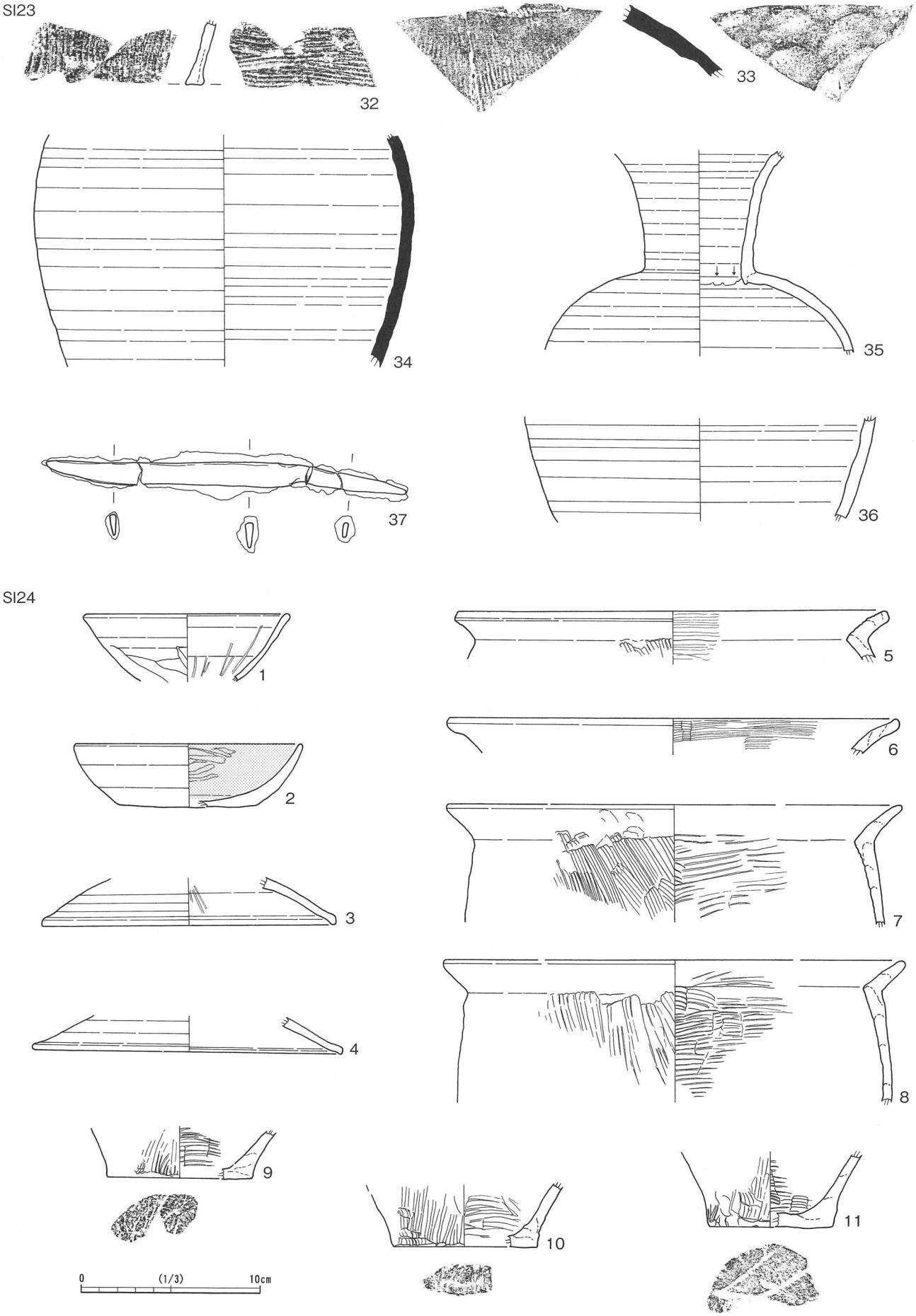


第51図　SI23(1)出土遺物

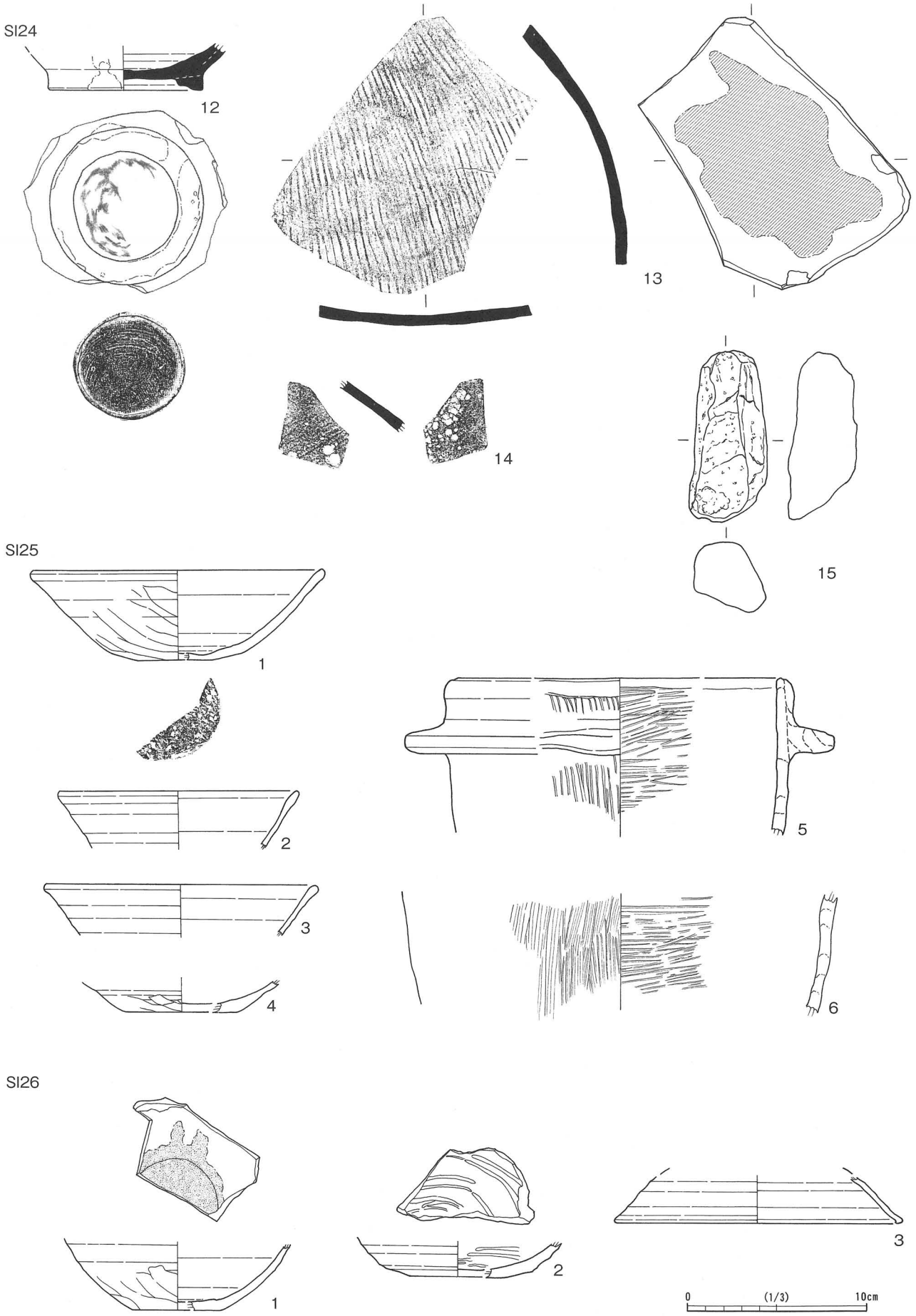
SI23



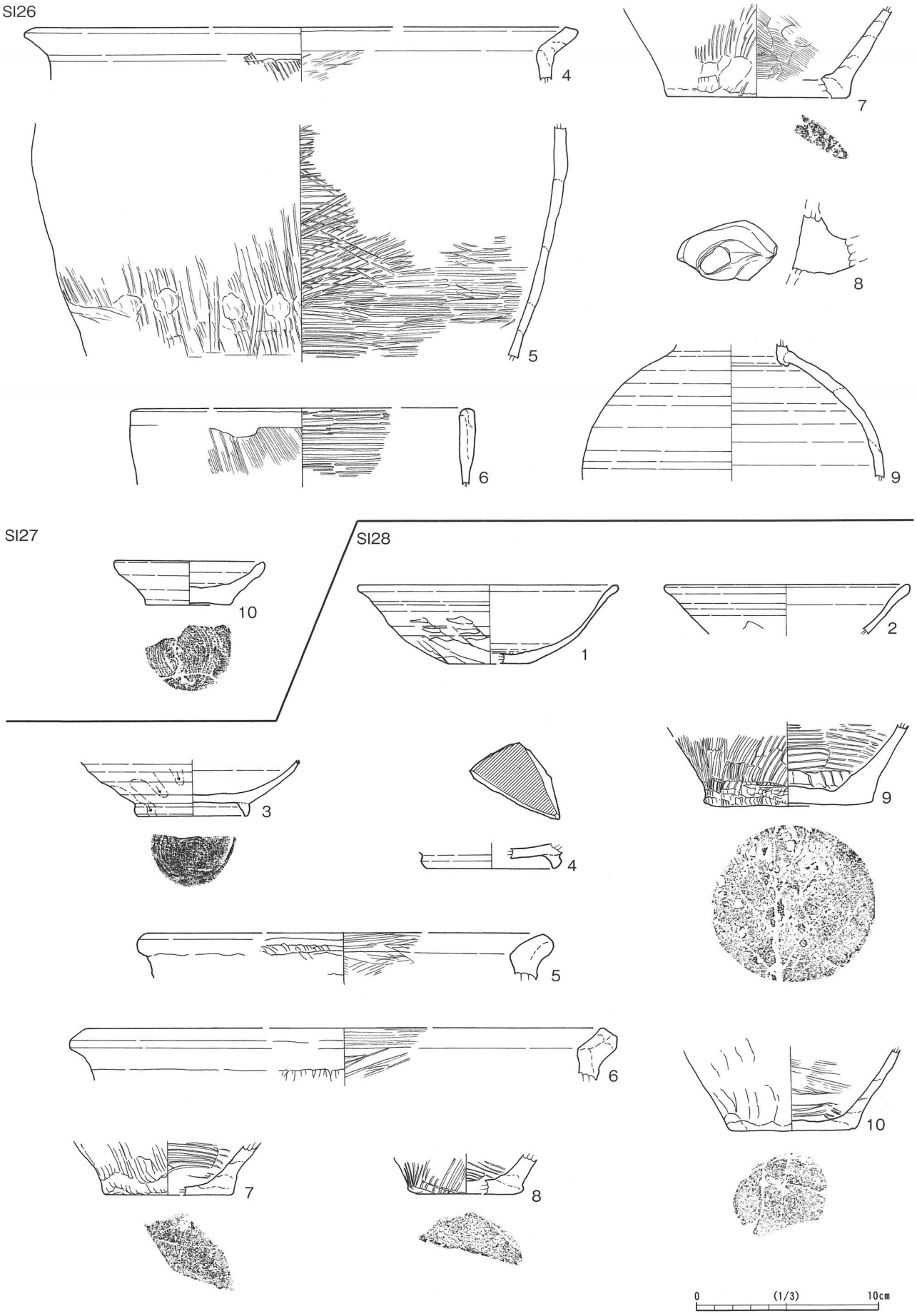
第52図　SI23(2)出土遺物



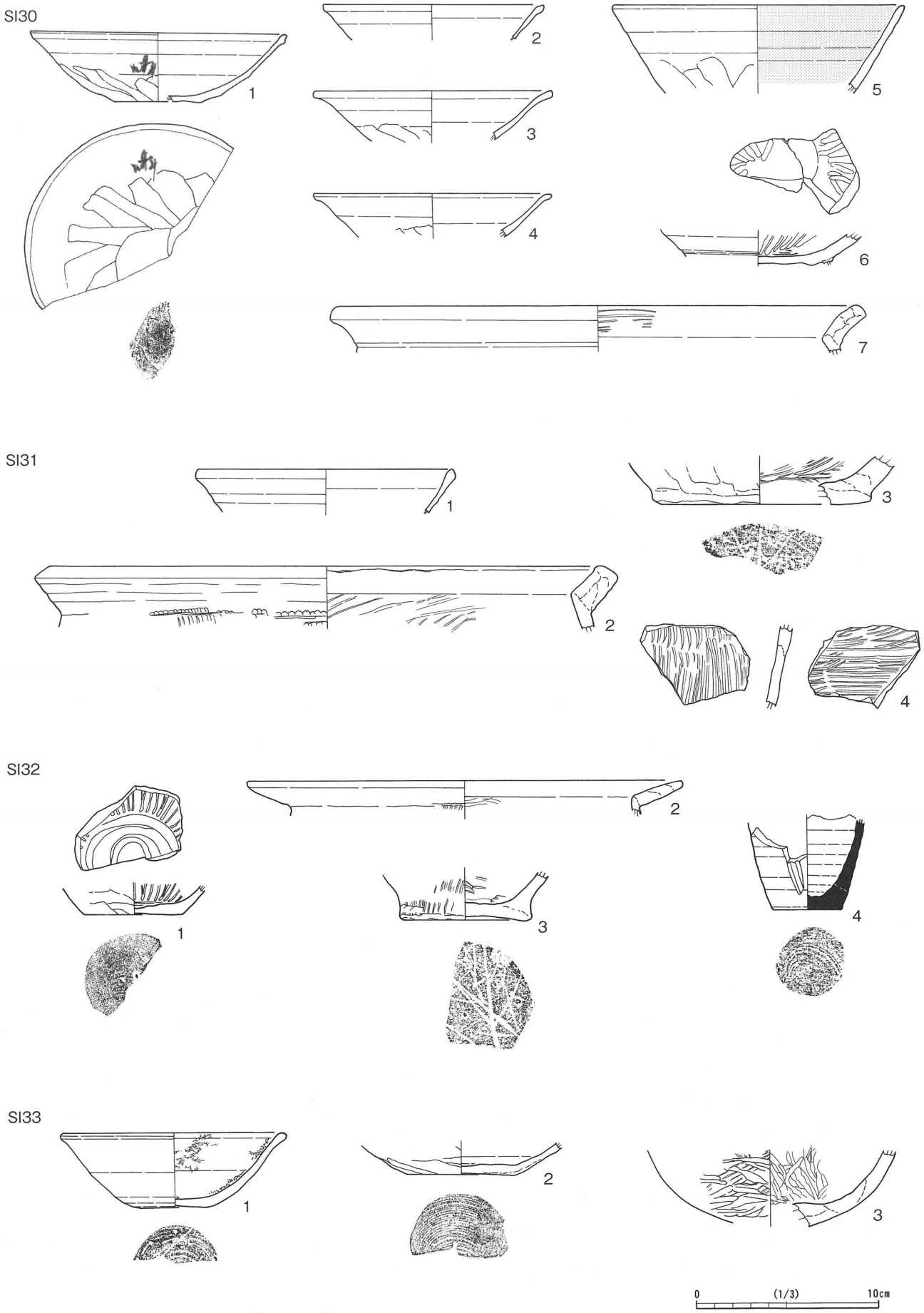
第53図　SI23(3)・24(1)出土遺物



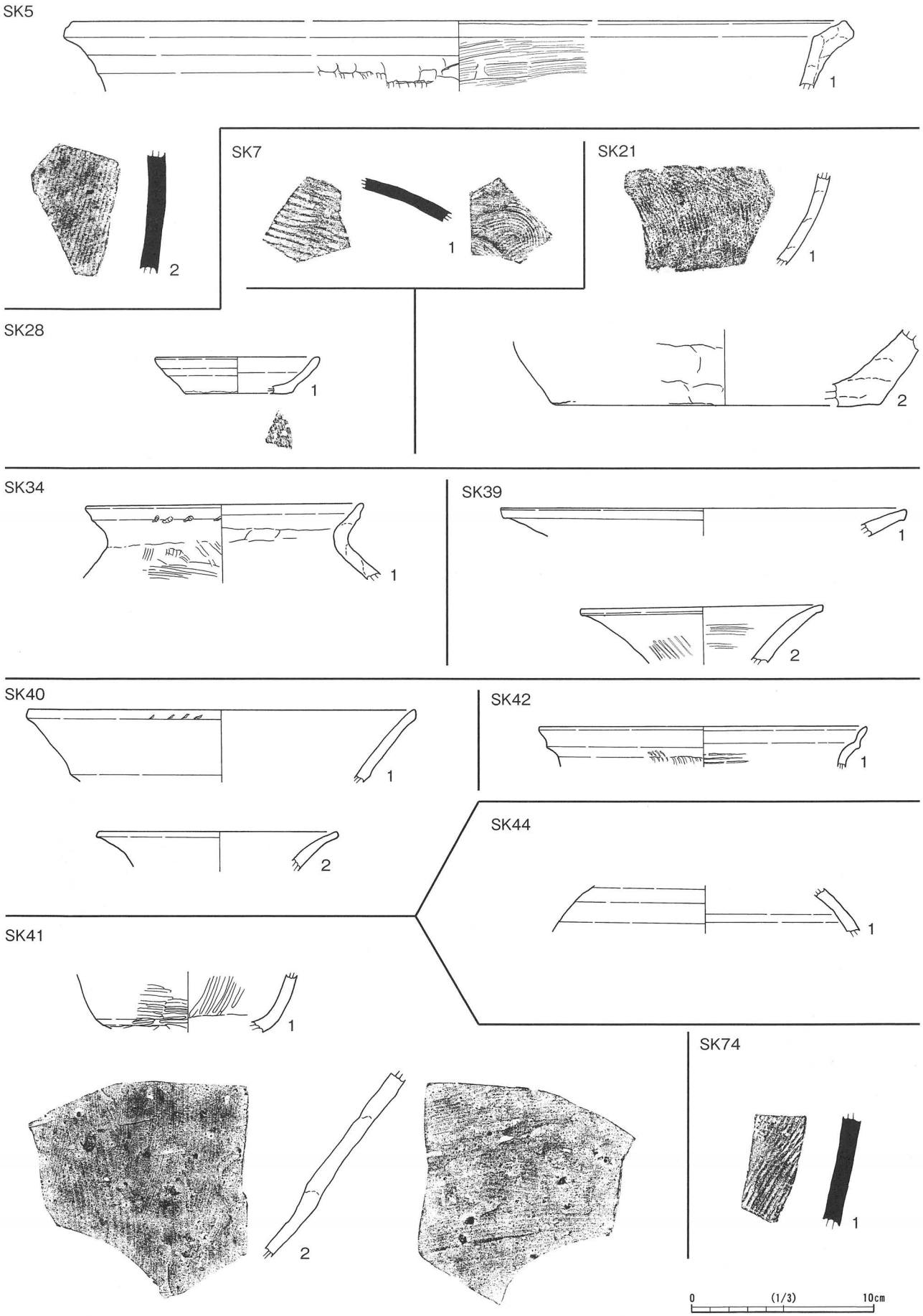
第54図　SI24(2)～26(1)出土遺物



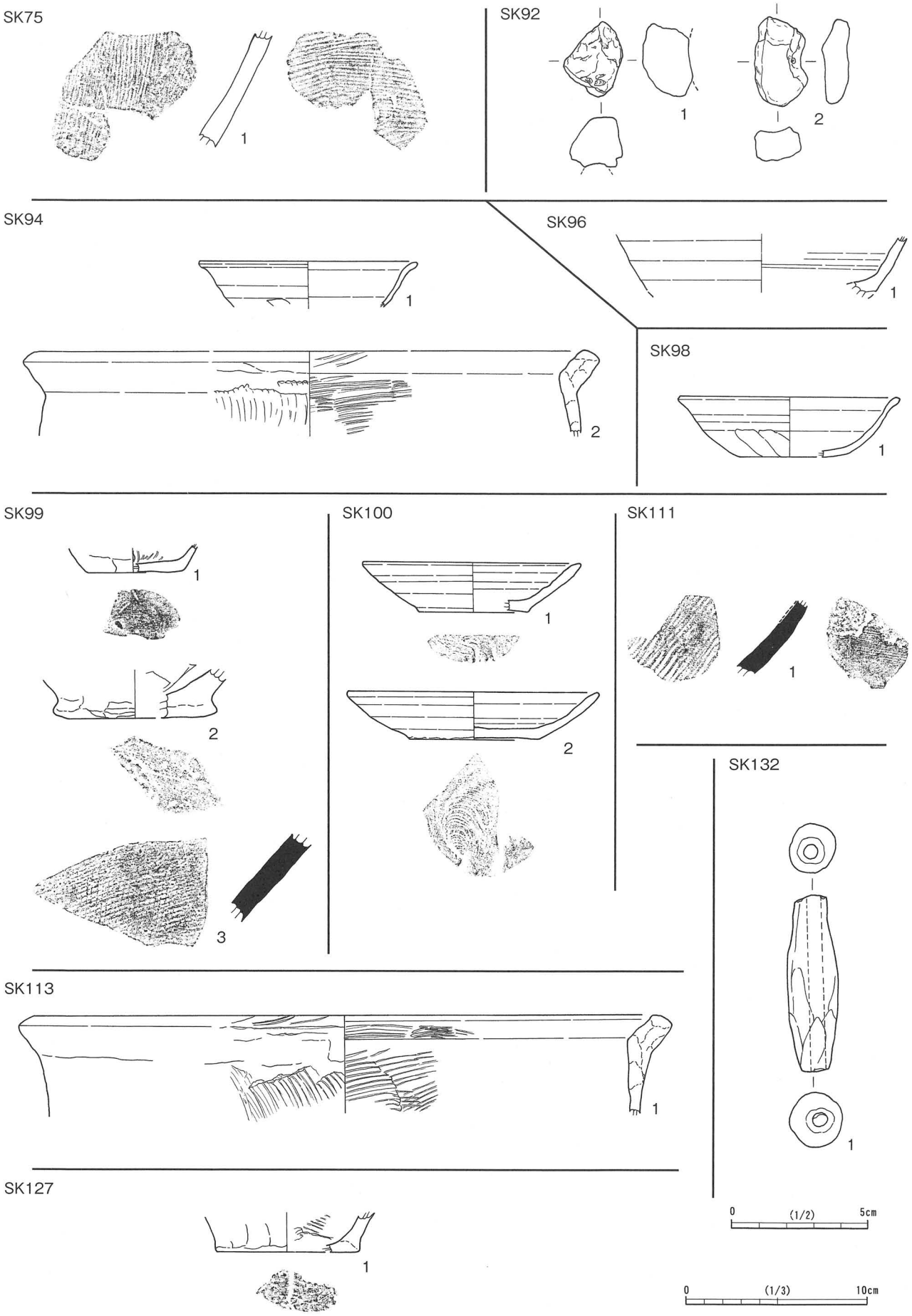
第55図　SI26(2)～28出土遺物



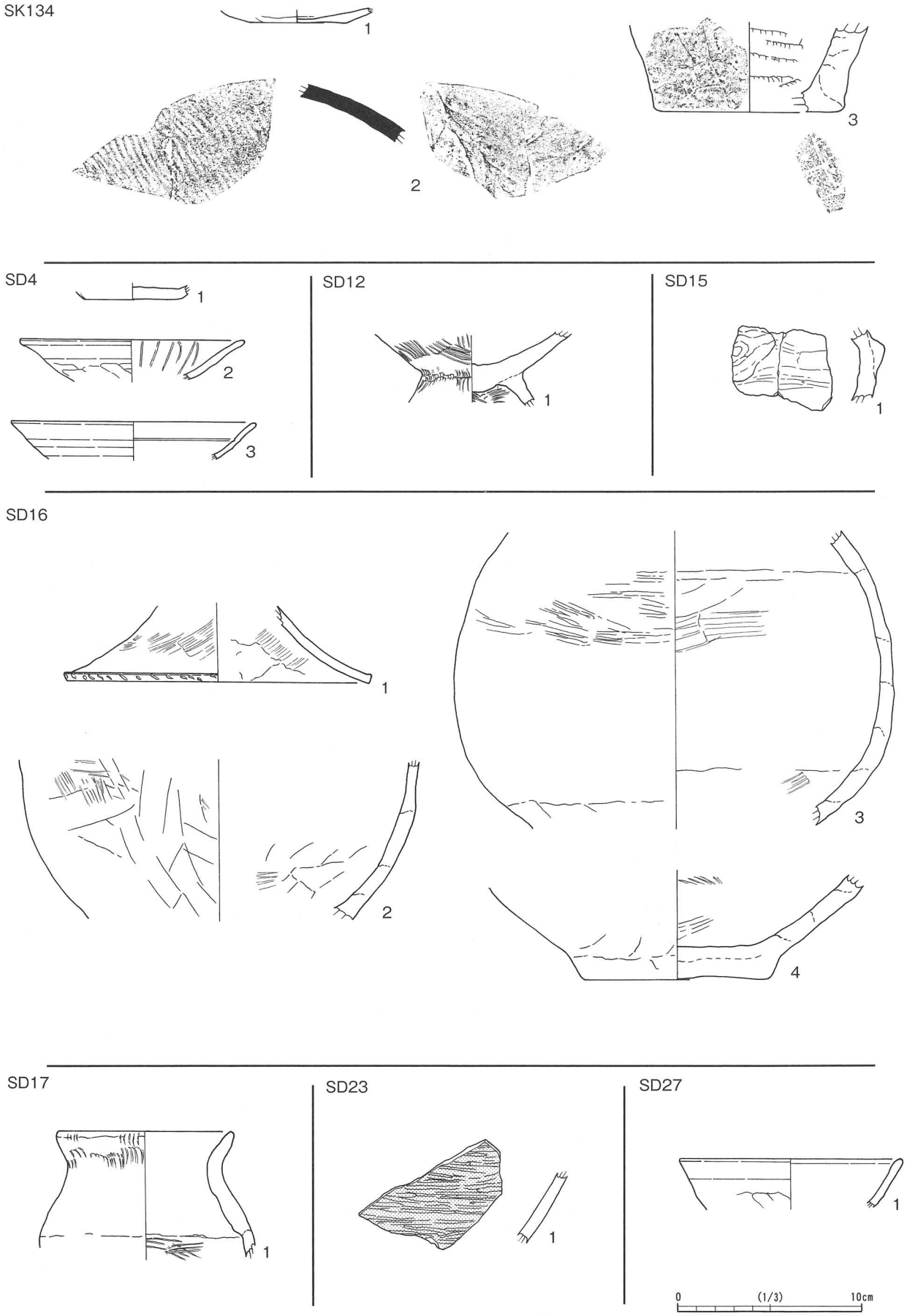
第56図　SI30～33出土遺物



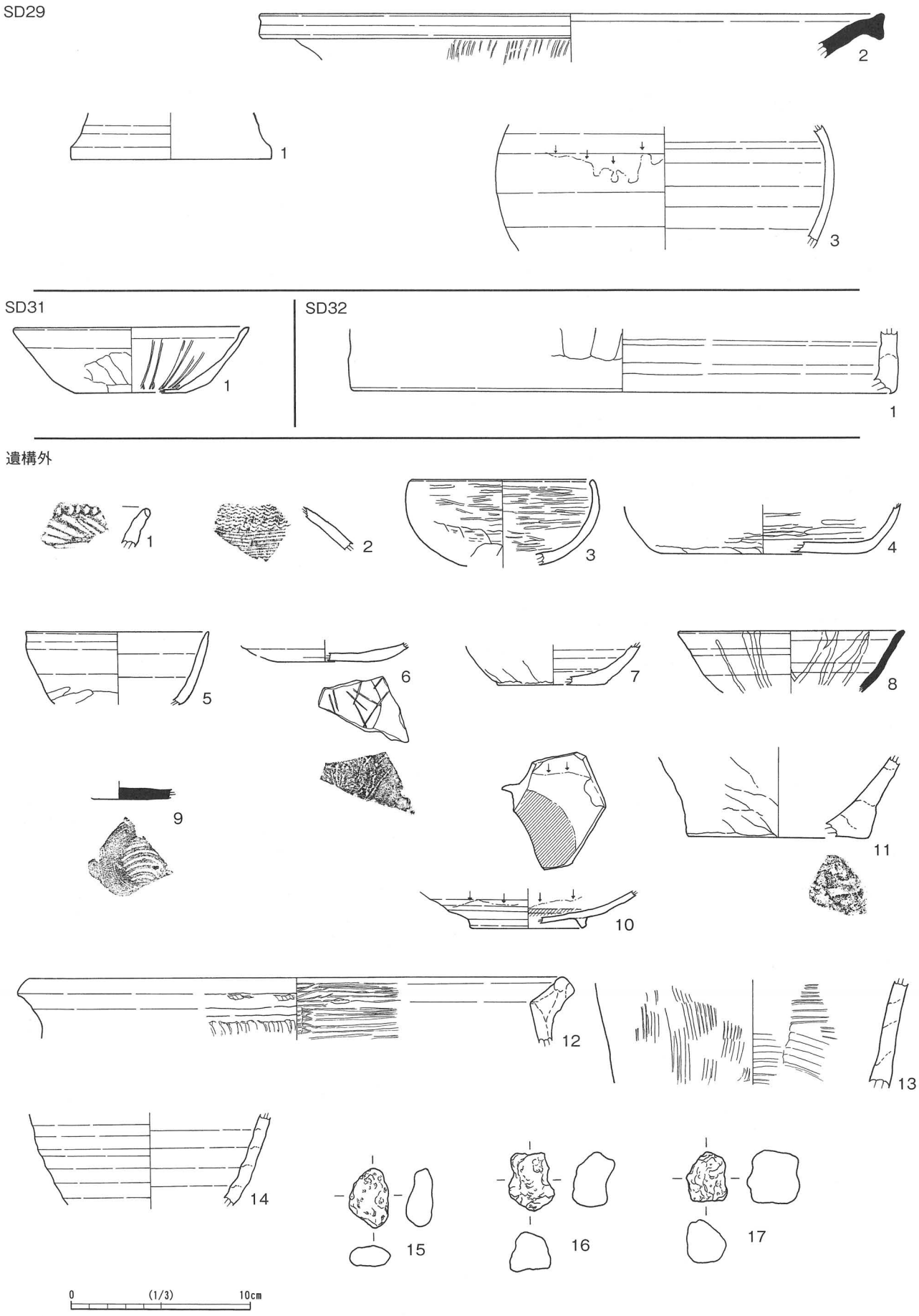
第57図　SK5・7・21・28・34・39～42・44・74出土遺物



第58図　SK75・92・94・96・98～100・111・113・127・132出土遺物

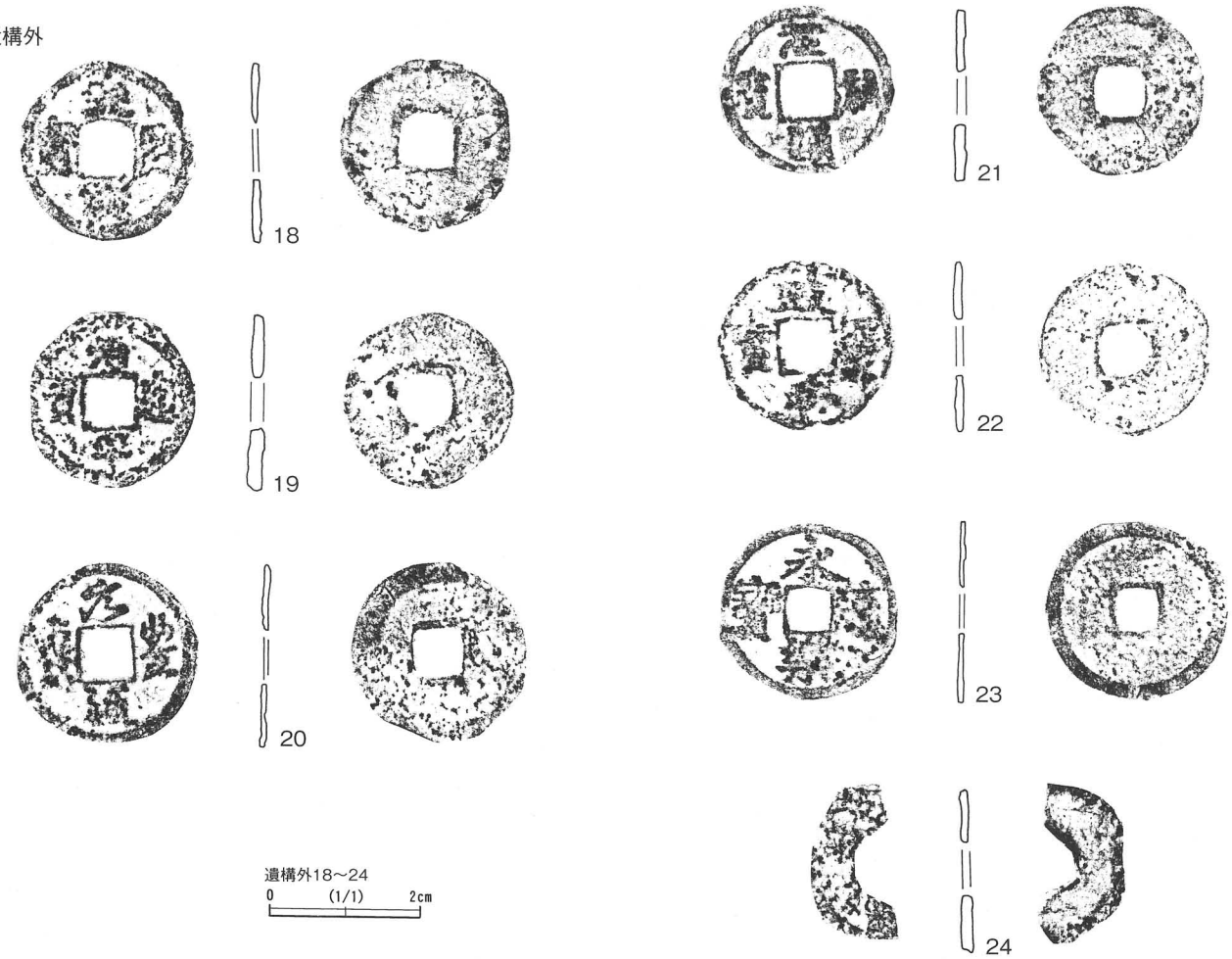


第59図　SK134、SD4・12・15～17・23・27出土遺物

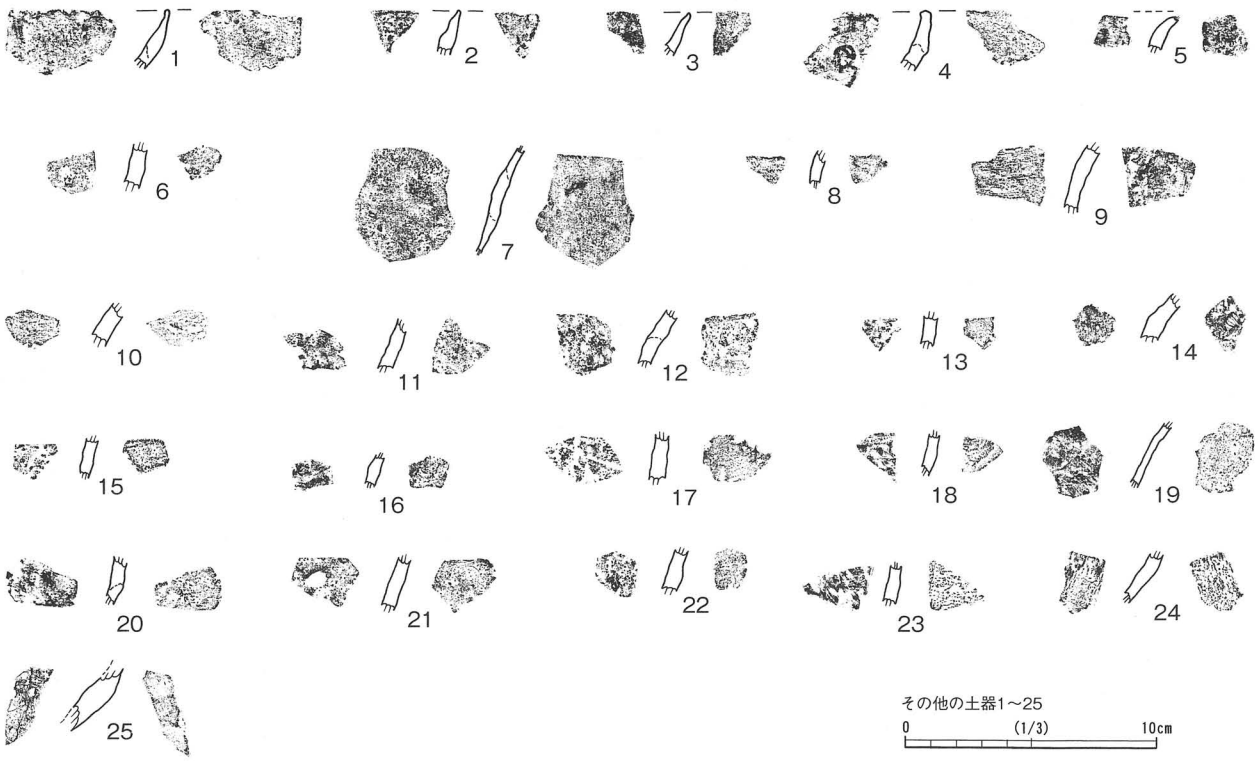


第60図　SD29・31・32、遺構外(1)出土遺物

遺構外



その他の土器（焼塩土器群）



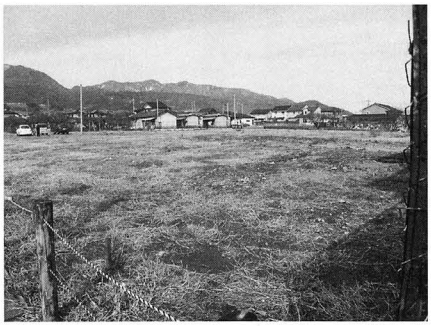
第61図　遺構外(2)出土遺物、その他の土器(焼塩土器群)

１．東出口遺跡景観空中写真１（東から）

２．東出口遺跡景観空中写真２（西から）

図版２

３．遺跡調査前状況１（南西から）



４．遺跡調査前状況２（南東から）

５．重機によるトレンチ掘削風景１

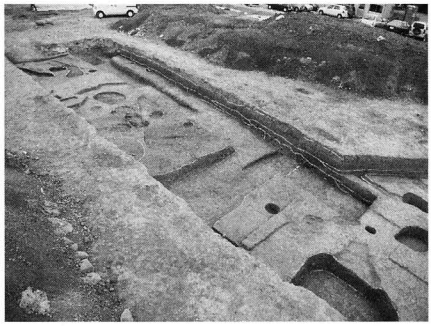
６．重機によるトレンチ掘削風景２

７．調査区(1トレンチ)完掘近景1(南西から)

８．調査区(1トレンチ)完掘近景2(北西から)

９．調査区(1トレンチ)完掘近景3(西から)

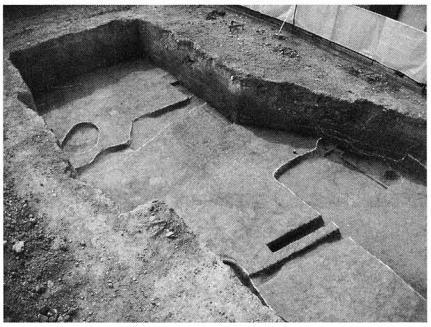
10．調査区(1トレンチ)完掘近景4(北から)



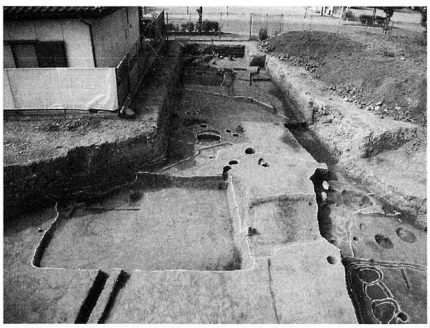
11．調査区(1トレンチ)完掘近景5(北西から)

12．調査区(2トレンチ)完掘近景1(東から)

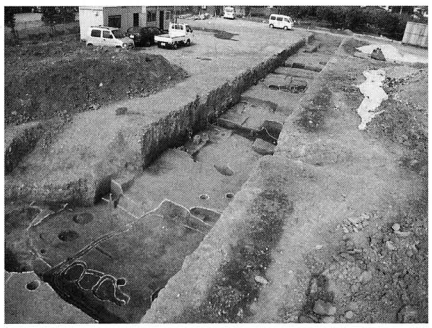
13．調査区(2トレンチ)完掘近景2(南東から)



14．調査区(3トレンチ)完掘近景1(北西から)



15．調査区(3トレンチ)完掘近景2(北から)



16．調査区(3トレンチ)完掘近景3(北東から)

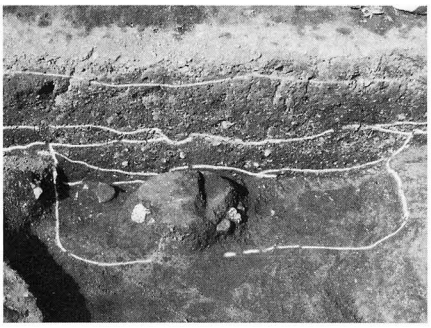
17．調査区(3トレンチ)完掘近景4(西から)

18. 調査風景１

19. 調査風景２

20. ラジコンヘリによる空撮実施状況

21. SI１完掘状況（西から）

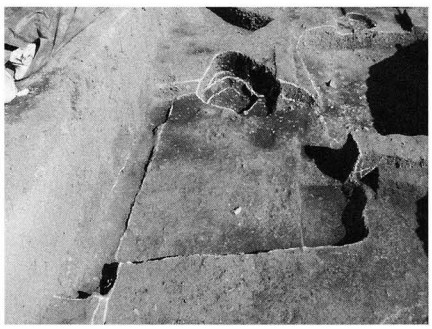

22. SI１遺物出土状況・セクション（東から）

23. SI１カマド内遺物出土状況

24. SI２・３完掘状況（北西から）

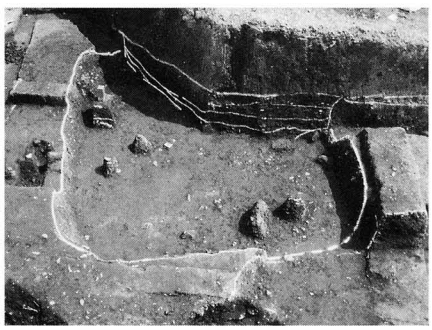
25. SI４、SD3・4、SK1～4完掘状況（西から）

26. SI４カマド完掘状況


27. SI５完掘状況（南から）

28. SI５カマド内遺物出土状況１

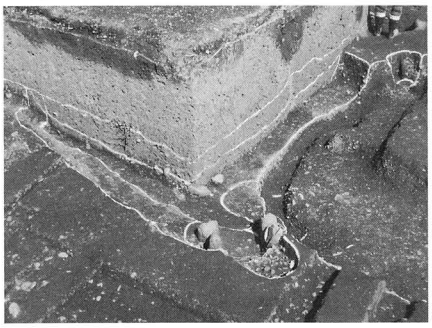
29. SI５カマド内遺物出土状況２


30. SI６完掘状況及び遺物出土状況（西から）

31. SI６遺物出土状況１

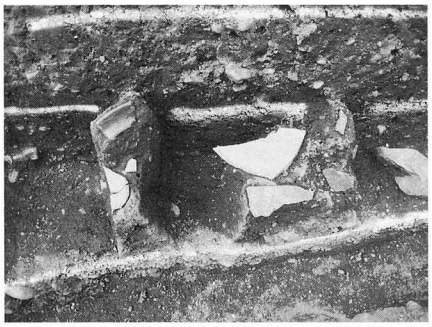
32. SI６遺物出土状況２

図版４


33. SI７・８完掘状況（南東から）

34. SI７・８遺物出土状況１（南東から）

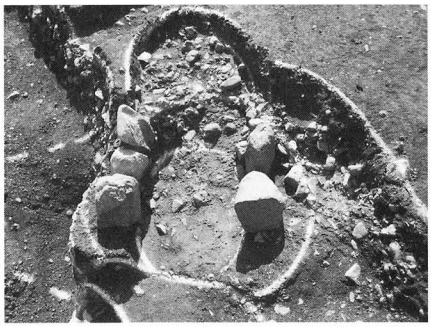
35. SI７遺物出土状況１（東から）

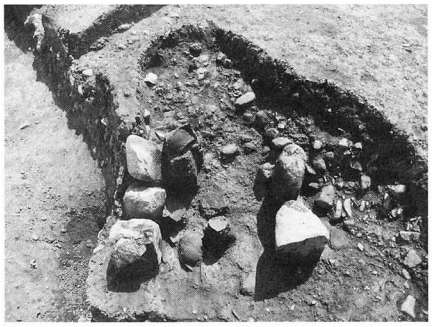

36. SI７遺物出土状況２

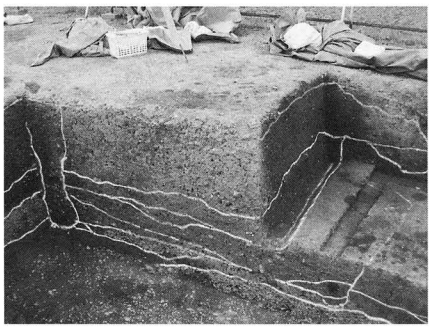
37. SI７遺物出土状況３

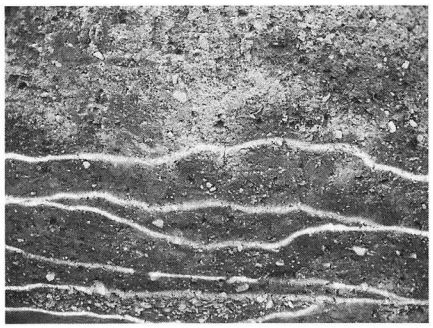
38. SI７カマド完掘状況（西から）

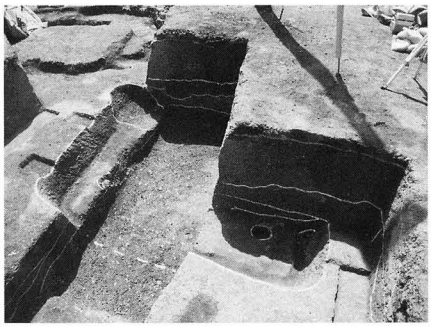
39. SI７カマド内遺物出土状況


40. SI８カマド完掘状況


41. SI８カマド内遺物出土状況


42. SI９セクション内検出状況（北東から）


43. SI９カマドセクション


44. SI10 完掘状況（北から）

45. SI10 カマド完掘状況（西から）

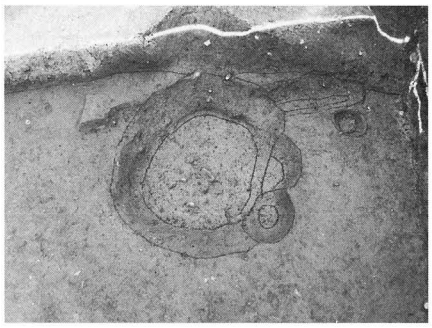
46. SI10 カマド内遺物出土状況１

47. SI10 カマド内遺物出土状況２

48. SI11 完掘状況（南から）

49. SI11 遺物出土状況（南から）

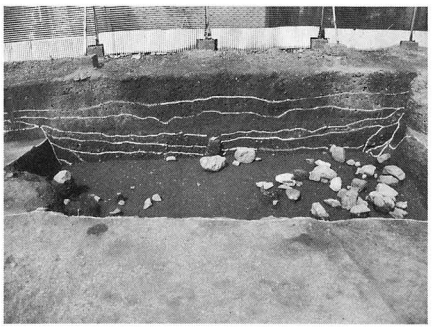
50. SI11 遺物出土状況近景

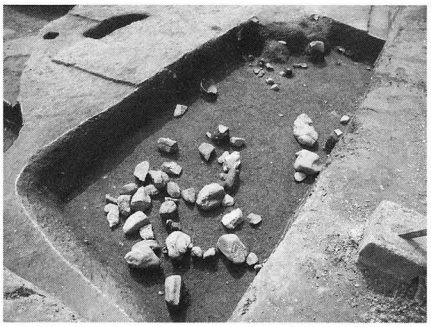

51. SI11 カマド完掘状況

52. SI11 カマド内遺物出土状況１

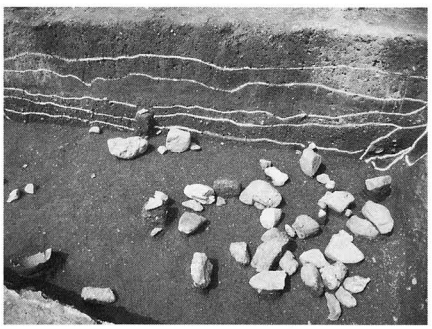
53. SI11 カマド内遺物出土状況２

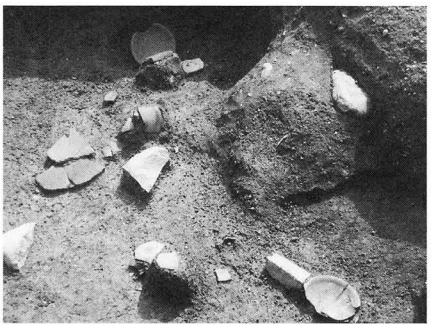
54. SI12 完掘状況（北東）


55. SI12 西面セクション


56. SI12 遺物出土状況全景（北西から）

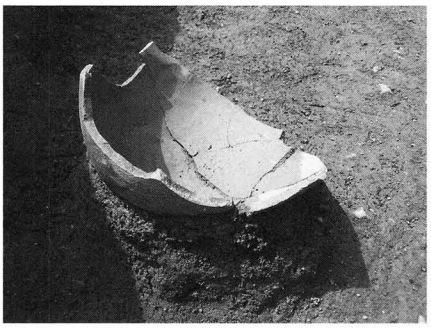
57. SI12 内遺物・礫出土状況１（西から）


58. SI12 内遺物・礫出土状況１（東から）


59. SI12 カマド周辺遺物出土状況

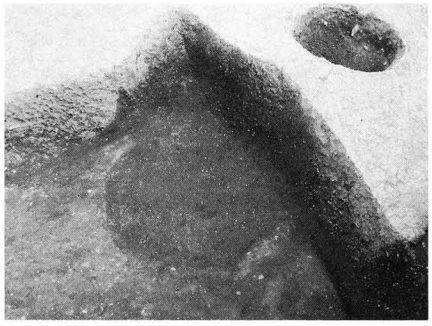
60. SI12 遺物出土状況１

61. SI12 遺物出土状況２

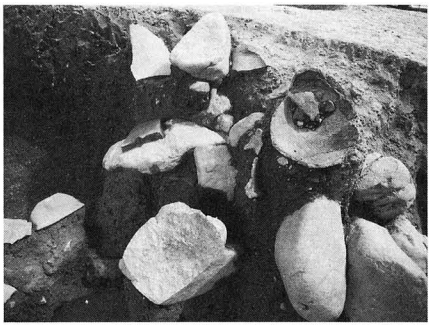

62. SI12 遺物出土状況３

63. SI12 遺物（62 に同じ）出土状況 4

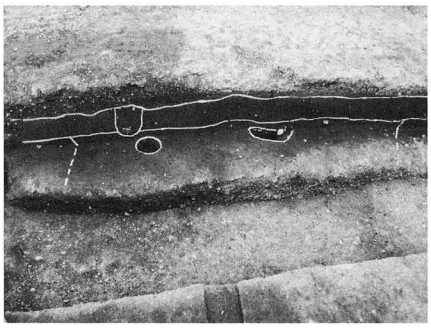
64. SI12 緑釉陶器香炉片出土状況

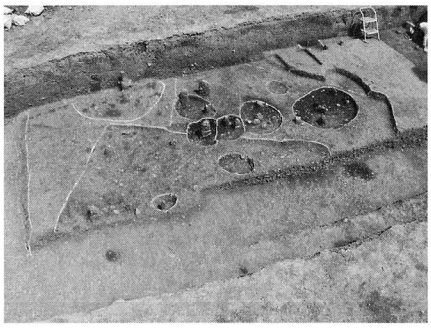

65. SI12 カマド完掘状況

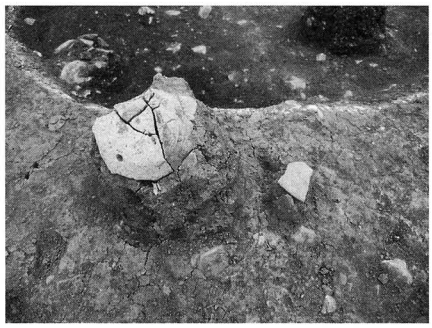
66. SI12 カマド内遺物出土状況 1

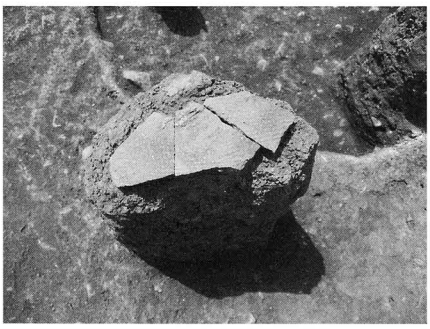

67. SI12 カマド内遺物出土状況 2

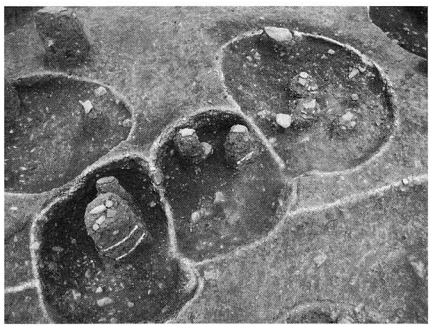
68. SI12 カマド内遺物出土状況 3


69. SI13 完掘状況（北から）


70. SI14・15、SK33～40遺物出土・完掘状況（南から）

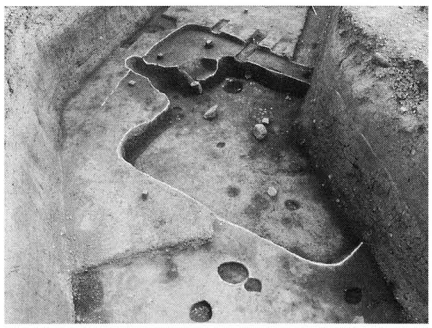

71. SI15 遺物出土状況 1


72. SI15 遺物出土状況 2


73. SI15 内 SK37～39完掘・遺物出土状況（南から）

74. SI15 内 SK40 完掘・遺物出土状況（南から）

75. SI16 完掘状況（西から）

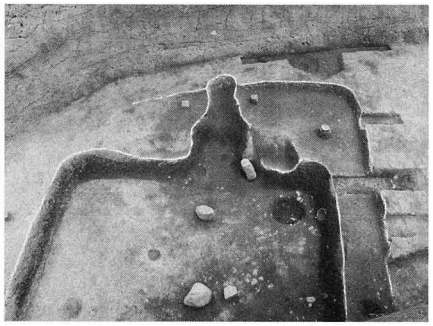

76. SI17 完掘状況（北から）

77. SI17 遺物出土状況（南西から）

78. SI17 遺物出土状況（南壁際）

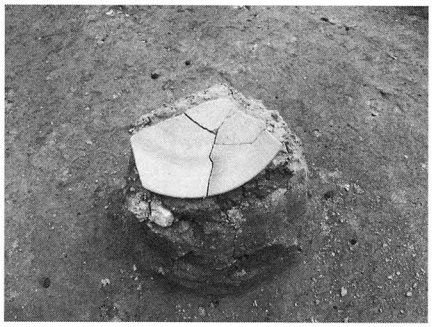
79. SI17 鉄製品出土状況

80. SI17 鉄滓出土状況



81. SI17 棚状施設遺物出土状況 1

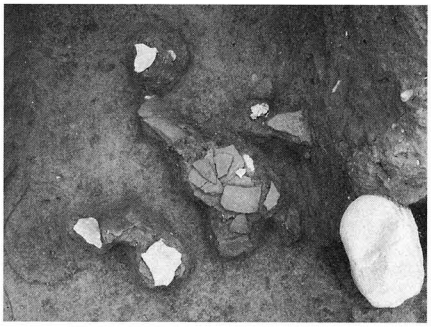
82. SI17 棚状施設遺物出土状況 2



83. SI17 棚状施設遺物出土状況 3

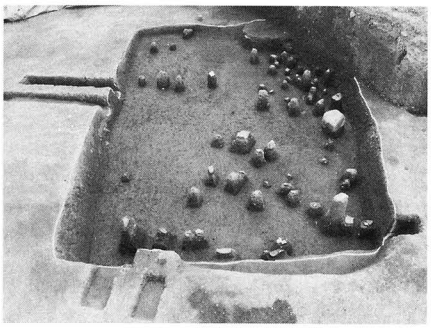
84. SI17 カマド完掘状況

85. SI17 カマド内遺物出土状況及び煙道部セクション

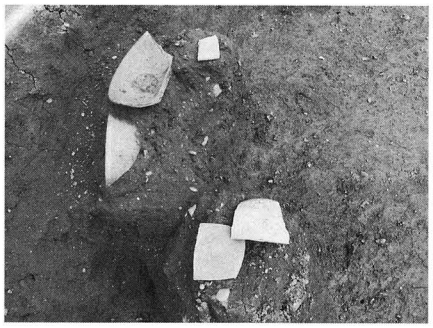


86. SI17 カマド内遺物出土状況

87. SI18 完掘状況（北西から）

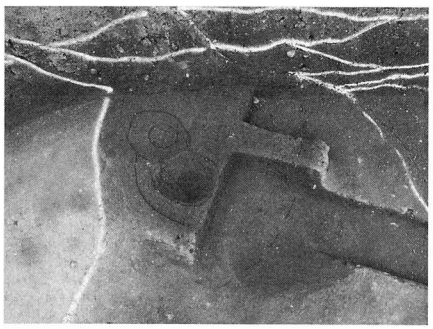


88. SI18 遺物出土状況 1（西から）

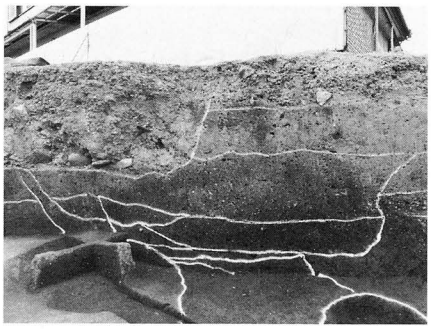


89. SI18 遺物出土状況 2

90. SI18 遺物出土状況 3



91. SI18 カマド完掘状況（北から）

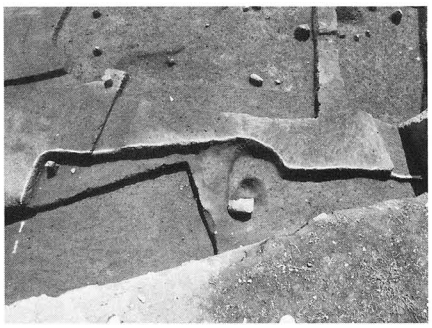


92. SI18 南面セクション（北西から）

図版８

93. SI19 完掘・遺物出土状況（南東から）

94. SI19 遺物出土状況


95. SI20 完掘状況（西から）

96. SI20 鉄製品出土状況

97. SI20 カマド完掘状況

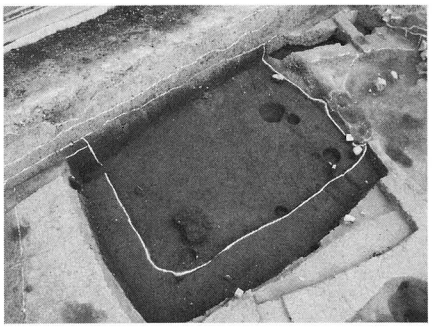
98. SI20 カマド内遺物出土状況

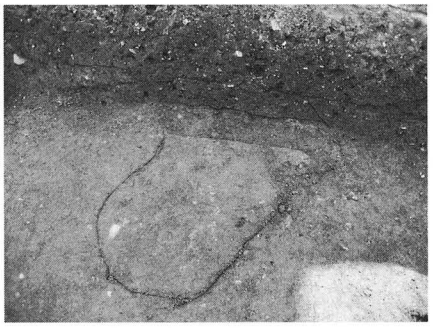
99. SI21 完掘・遺物出土状況（西から）

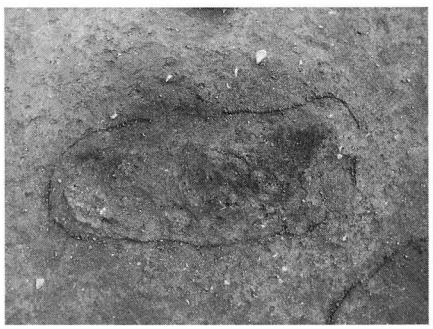
100. SI21 カマド周辺遺物出土状況

101. SI21 遺物出土状況

102. SI21 鉄製品出土状況

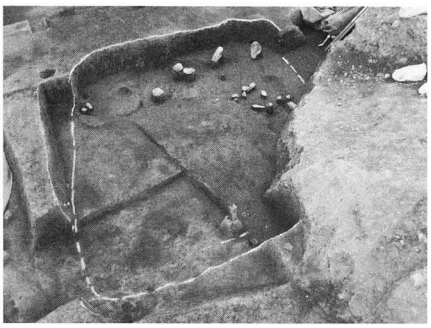

103. SI22 完掘・遺物出土状況（北西から）

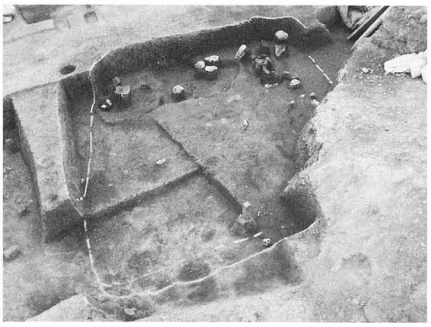

104. SI22 焼土硬化面確認状況

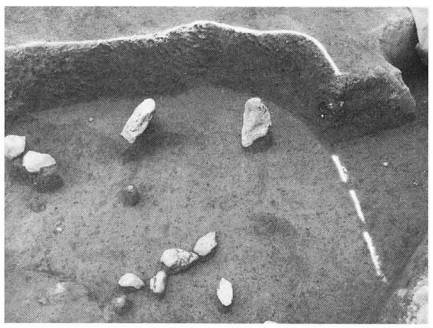

105. SI22 炭化材検出状況

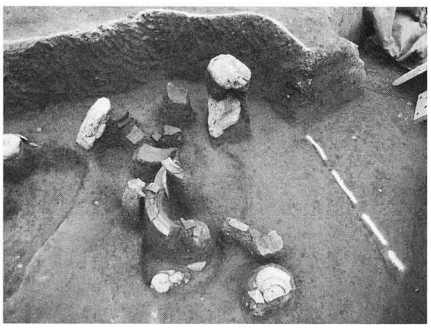
106. SI22 鉄滓出土状況

107. SI22 土錘出土状況


108. SI23 完掘状況（北西から）


109. SI23 遺物出土状況（北西から）

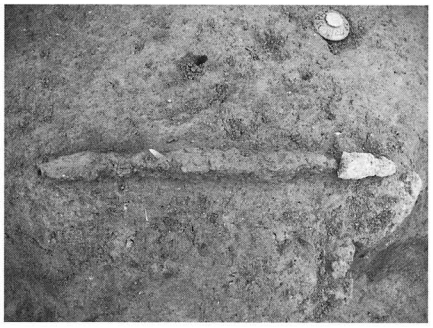

110. SI23 カマド１完掘状況（西から）

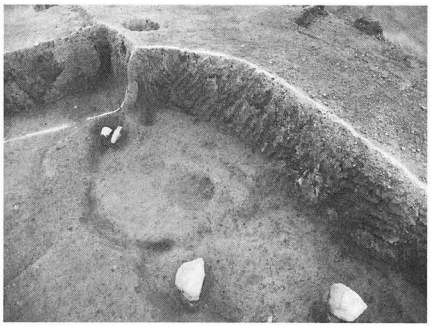

111. SI23カマド1内遺物出土状況1（西から）

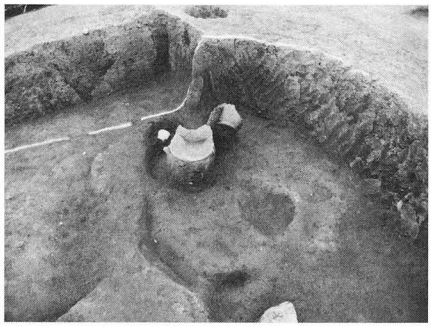
112. SI23 カマド１内遺物出土状況２

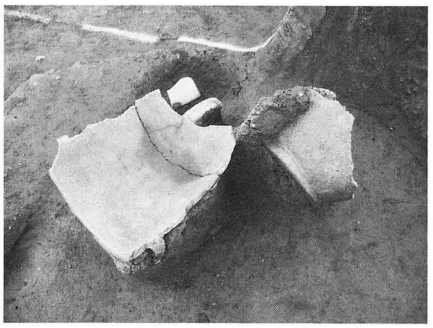
113. SI23 カマド１内遺物出土状況３

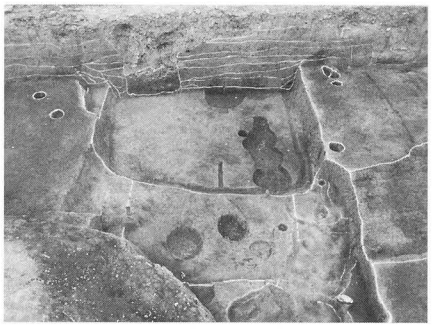
114. SI23 カマド１前面灰釉陶器出土状況

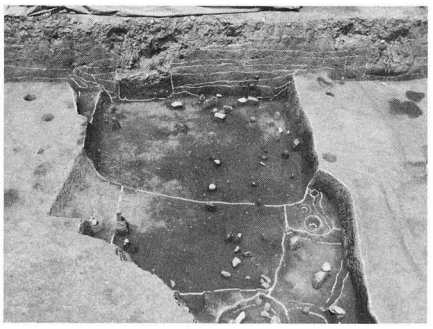

115. SI23 カマド１北脇鉄製品出土状況

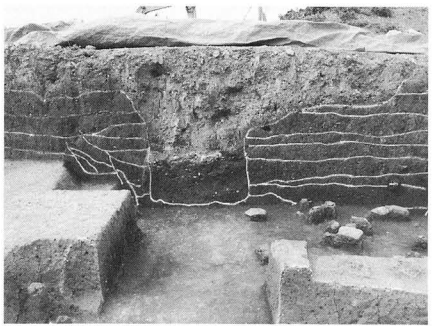

116. SI23 カマド２完掘状況（南西から）


117. SI23 カマド２内遺物出土状況１
（南西から）


118. SI23 カマド２内遺物出土状況２

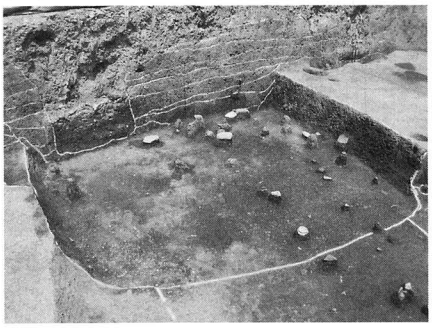

119. SI24・29・32 完掘状況（南から）


120. SI24・29・32 遺物出土状況全景
（南から）


121. SI24・29 北面セクション１

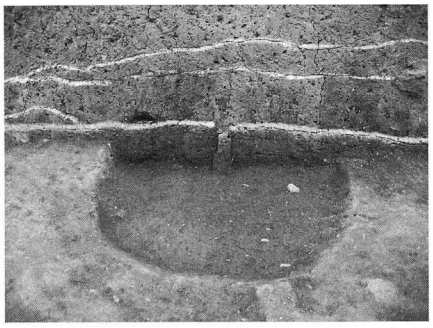
122. SI24・29 北面セクション２

図版10


123. SI24 遺物出土状況（南西から）

124. SI24 遺物出土状況 1

125. SI24 遺物出土状況 2

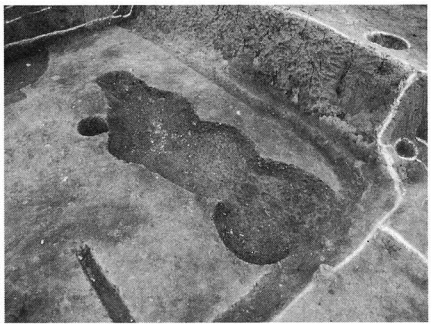

126. SI24 カマド完掘状況

127. SI32 遺物出土状況全景（南から）

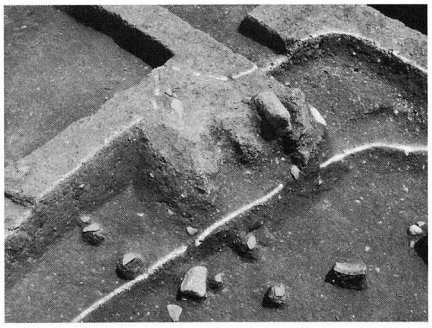
128. SI32 遺物出土 1

129. SI32 遺物出土状況 2

130. SI32 遺物出土状況 3

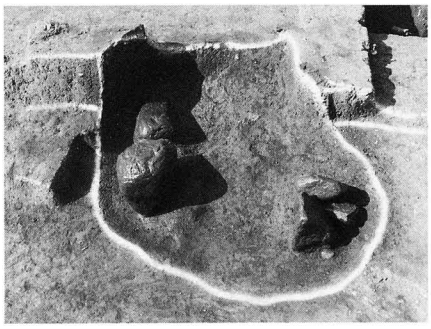

131. SI32 カマド状掘りかた完掘状況
（南西から）

132. SI25 完掘状況（南西から）

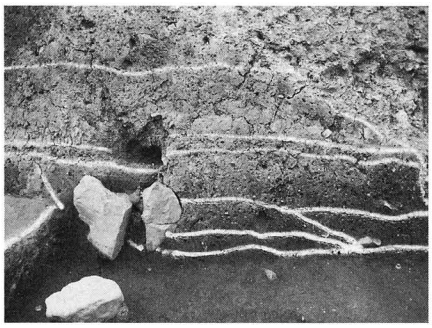

133. SI25 遺物出土状況（南西から）

134. SI25カマド完掘状況及び遺物出土状況

135. SI25 カマド内遺物出土状況


136. SI25 カマド掘りかた検出状況

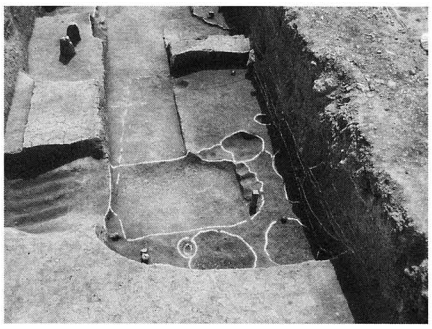
137. SI26 完掘状況（西から）

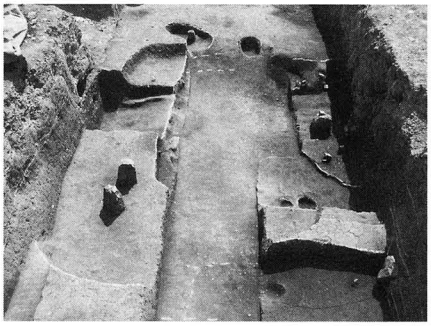

138. SI26 カマドセクション（北から）

139. SI26 遺物出土状況全景（西から）

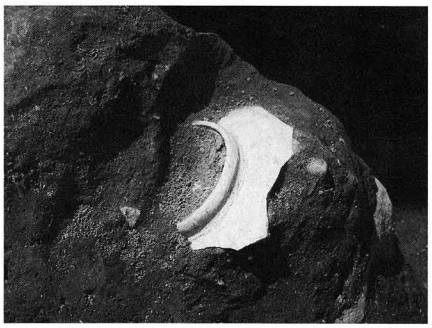
140. SI26 遺物出土状況近景（北西から）

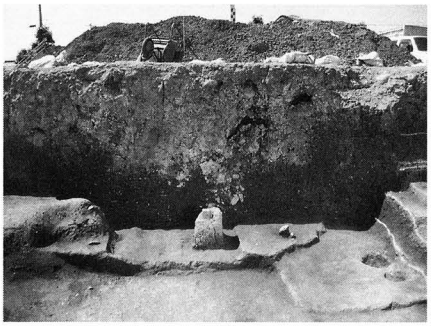
141. SI26 遺物出土状況

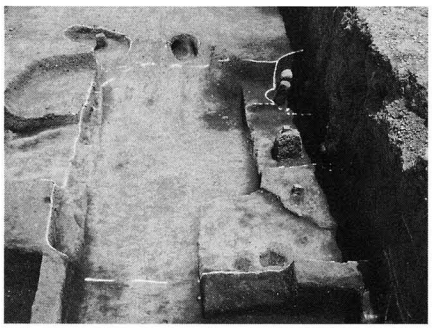

142. SI26 竪穴掘りかた検出状況（西から）


143. SI27・28 遺物出土状況（西から）

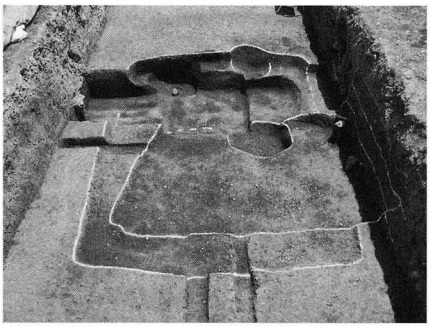
144. SI27遺物出土状況及び北面セクション


145. SI28 遺物出土状況


146. SI28 南面セクション


147. SI28 完掘完掘状況（西から）

148. SI28 カマド完掘状況


149. SI30・31 完掘状況（西から）

150. SI30・31遺物出土状況全景（西から）

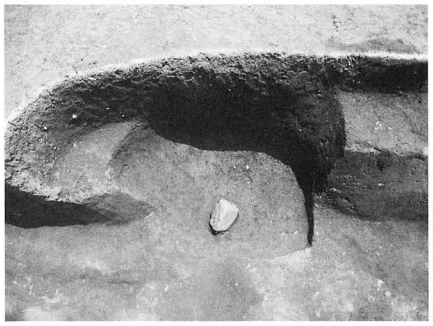
151. SI30 遺物出土状況 1

152. SI30 遺物出土状況 2

図版12

153. SI30 遺物出土状況 3

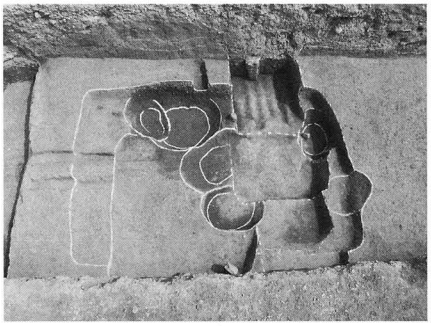
154. SI31 カマド完掘状況



155. SI31 北東コーナー部土坑検出状況

156. SI31 カマド内遺物出土状況 1

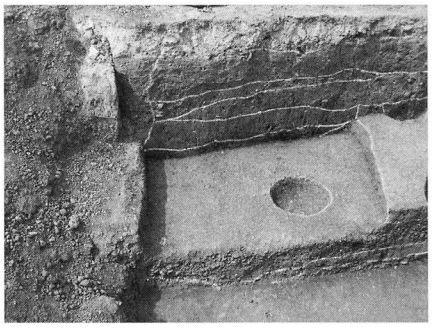
157. SI31 カマド内遺物出土状況 2



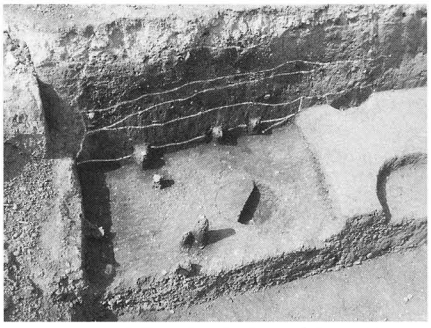
158. SI30・31 掘りかた検出状況（南から）

159. SI30・31 床下土坑（SK132 等）
セクション

160. SI30・31 床下土坑（SK132 等）
土錘出土状況



161. SI33 完掘状況（南から）

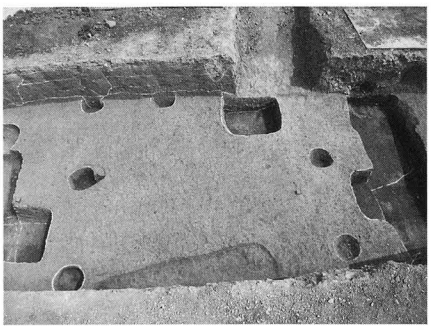


162. SI33 遺物出土状況全景（南から）

163. SI33 遺物出土状況 1

164. SI33 遺物出土状況 2

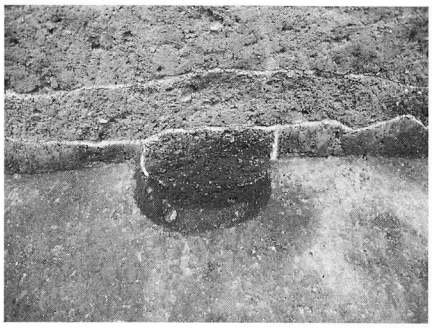
165. SI33 馬歯出土状況

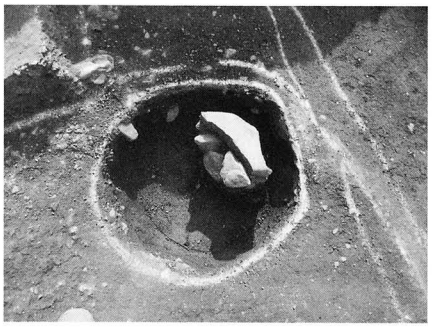


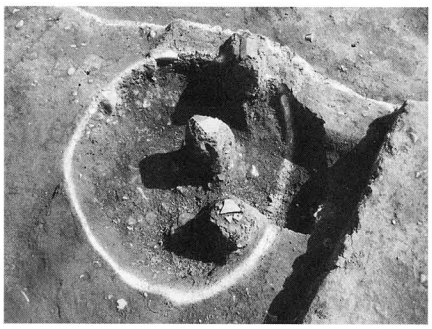
166. SB 1 完掘状況（南から）

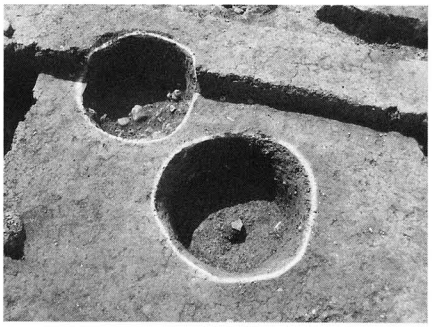
167. SB 1 完掘状況（東から）

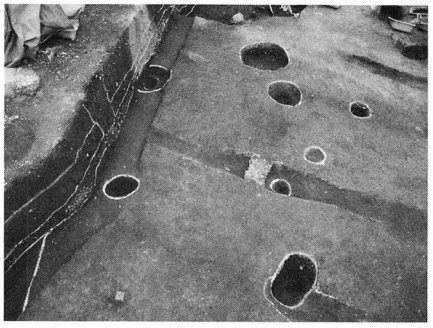
168. SB1柱穴掘りかた(SK117)セクション


169. SB1柱穴掘りかた(SK118)セクション

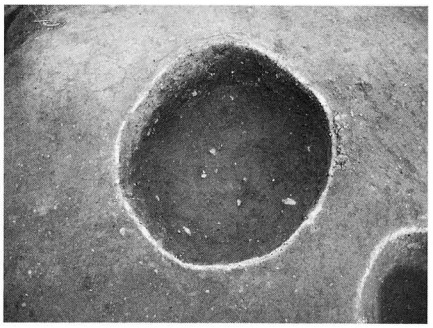

170. SK4 完掘状況（北西から）


171. SK5 完掘状況（北から）

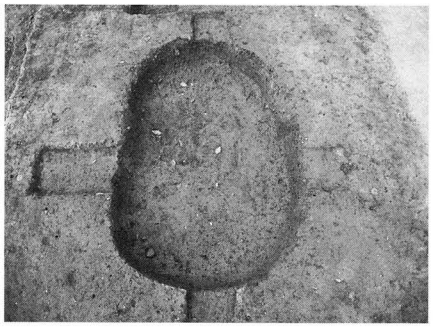

172. SK7・8 完掘状況（北東から）


173. SK15～20・25・26完掘状況(南から)

174. SK16 ～ 19 完掘状況（東から）

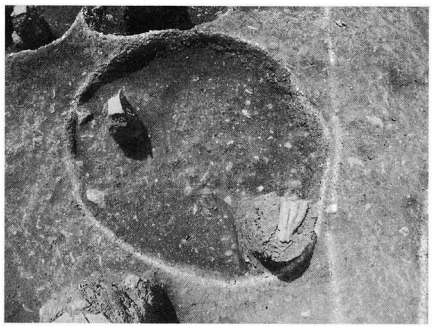

175. SK20 完掘状況（南西から）

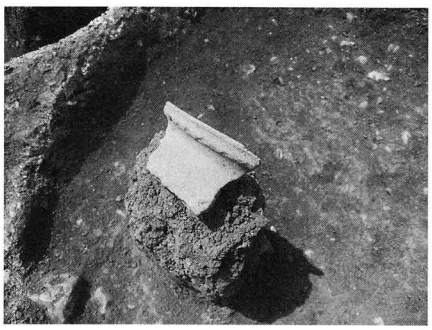
176. SK21 完掘状況（南から）


177. SK31 完掘状況（南から）

178. SK31 焼土検出状況（南から）

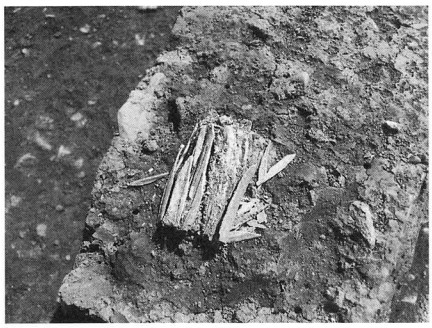
179. SK32 完掘状況（南西から）

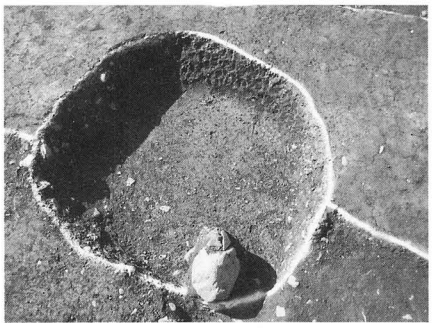

180. SK34（SI15 内）完掘状況（北西から）

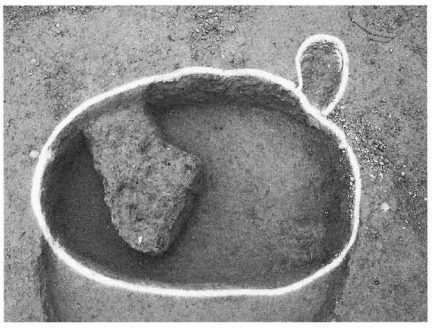

181. SK34（SI15 内）遺物出土状況

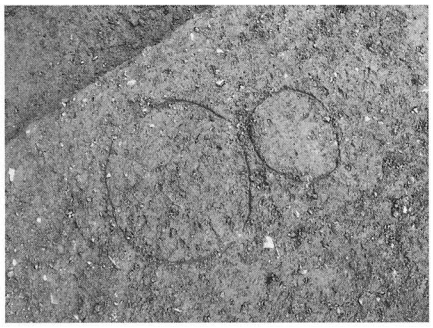
182. SK41 遺物土状況（南西から）

図版14


183. SK41 出土馬歯出土状況


184. SK44 完掘状況（南東から）


185. SK72 焼土・炭化物検出状況(南から)


186. SK88・89（SI27 内）確認状況

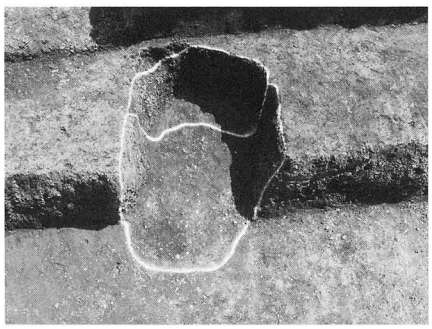
187. SK92 遺物出土状況 1（北東から）

188. SK92 遺物出土状況 2

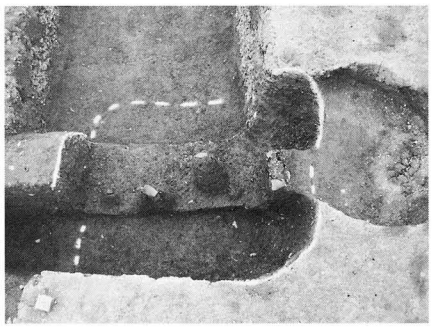
189. SK92 遺物出土状況 3

190. SK94 遺物出土状況（北から）

191. SK95 遺物出土状況（北から）


192. SK96・97 完掘状況（北から）

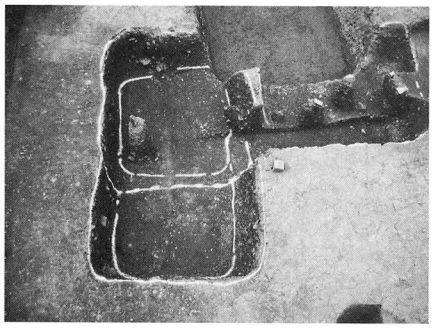
193. SK99 遺物出土状況（西から）


194. SK100 遺物出土状況 1（東から）

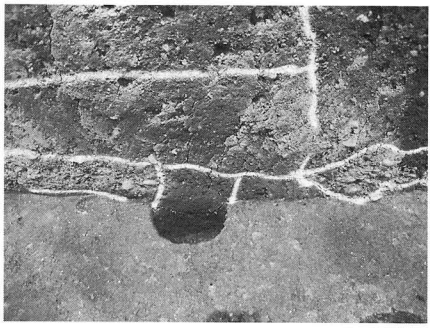
195. SK100 炭化材・土器覆土内混入状況

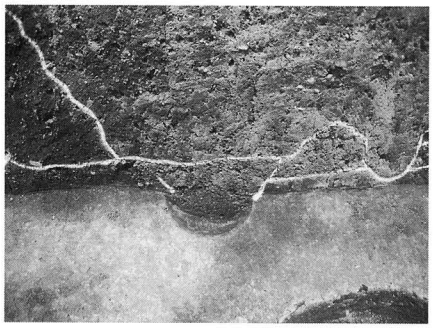
196. SK100 遺物出土状況 2

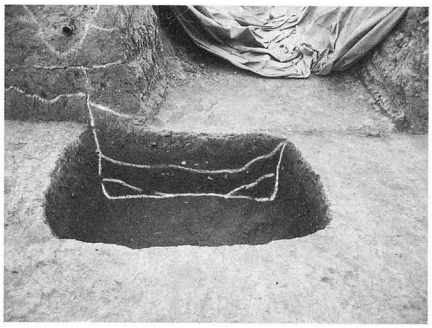
197. SK111 遺物出土状況（南から）

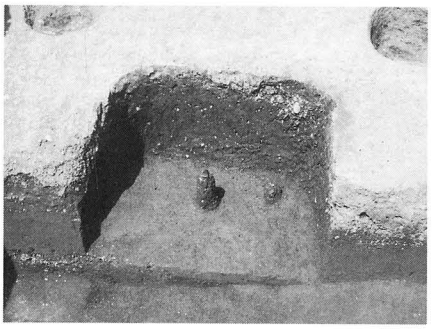

198. SK113・114 完掘状況（東から）

199. SK113 遺物出土状況

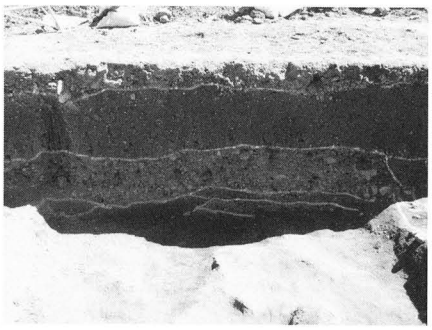

200. SK115 検出状況（南から）

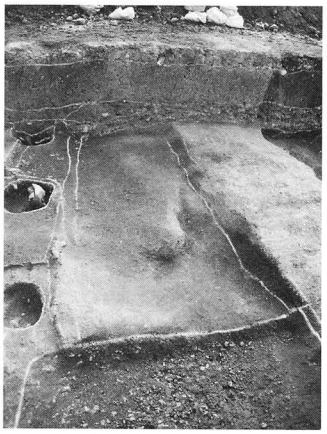

201. SK116 検出状況（南から）


202. SK125 検出状況（南から）

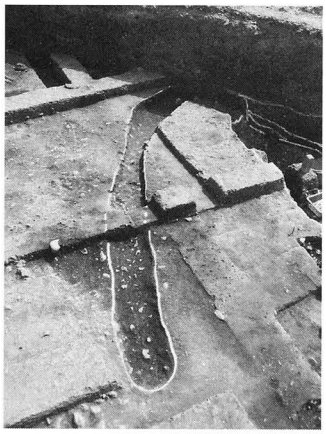

203. SK127 遺物出土状況（東から）

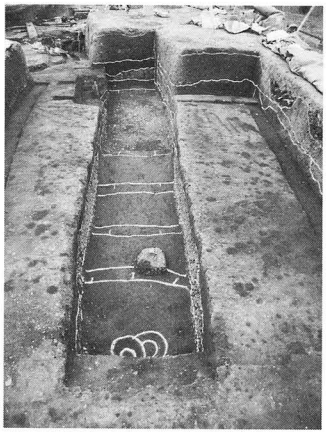
204. SD 1 完掘状況（北東から）

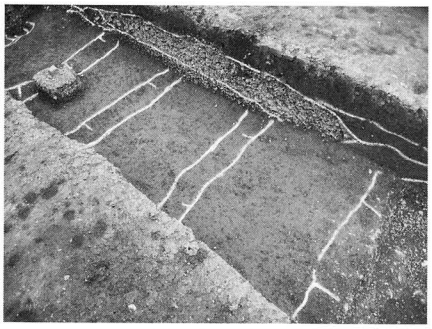

205. SD 2 西面セクション

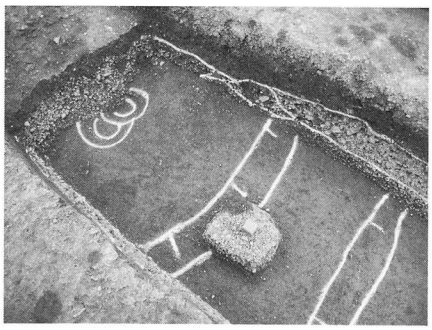

206. SD 3 完掘状況（西から）

207. SD4、SK1 ～ 4 完掘状況（西から）


208. SD5 完掘状況（北西から）

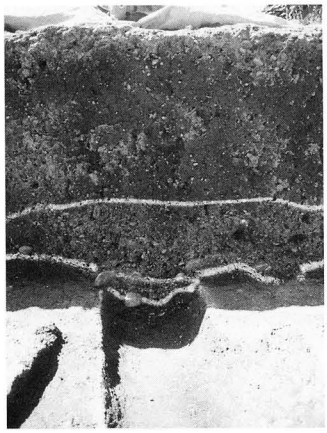

209. SD6 ～ 8、SK9・10 完掘（北から）


210. SD7・8 完掘状況（南西から）

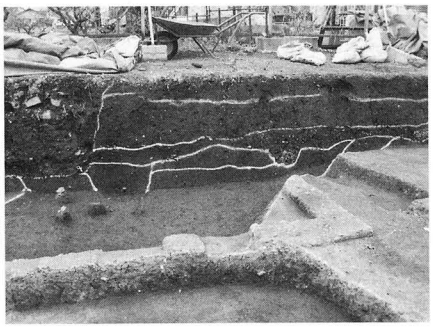

211. SD8、SK9・10 完掘状況（南西から）

212. SD9 完掘状況（東から）

図版16

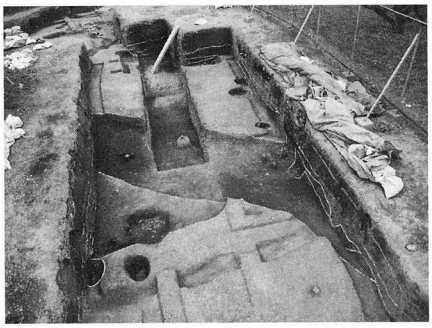


213. SD9 西面セクション

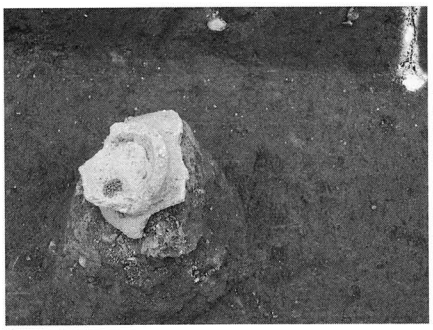


214. SD9・12、SK24セクション(東から)

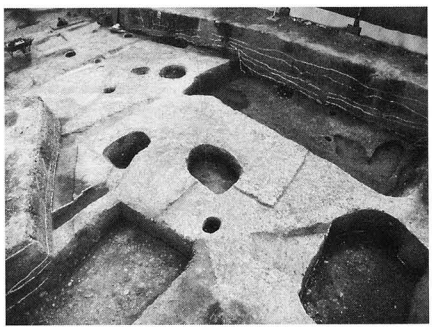
215. SD10・11 完掘完掘状況（北から）



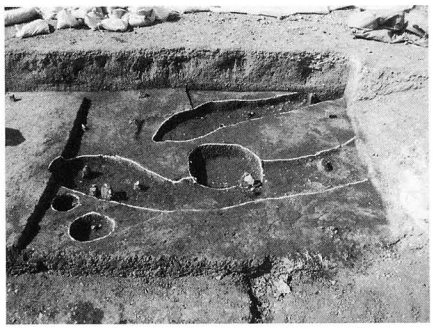
216. SD12 完掘状況（北から）



217. SD12 遺物出土状況



218. SD13・14、SK27～29完掘状況(北東から)



219. SD15・17、SK42～44完掘状況(南から)

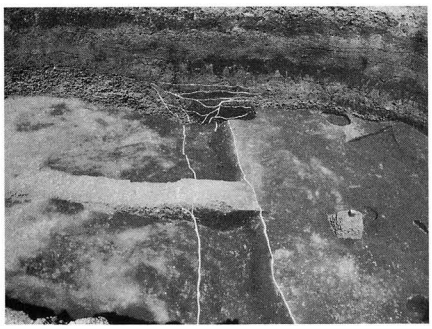
220. SD15 遺物出土状況

221. SD17 遺物出土状況

222. SD16 完掘状況（南から）

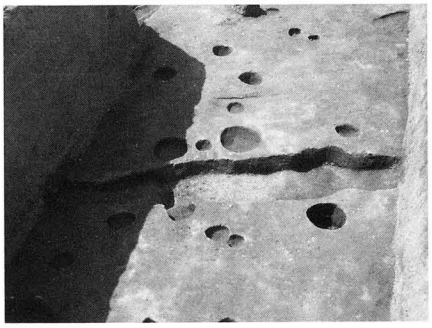
223. SD16 遺物出土状況 1

224. SD16 遺物出土状況 2

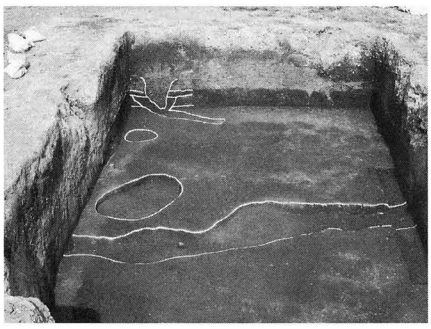


225. SD18 完掘状況（南から）

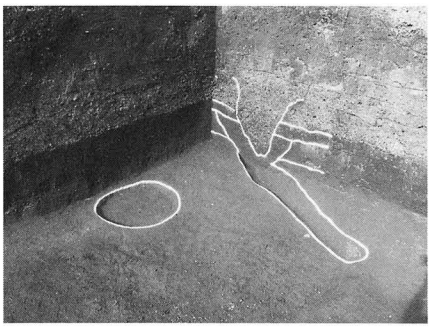
226. SD18 北面セクション



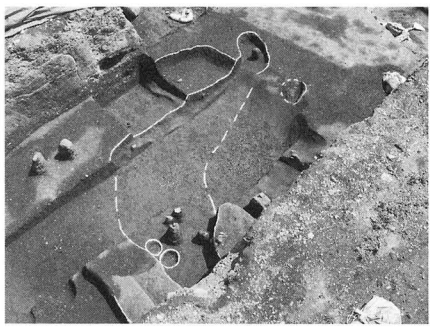
227. SD19及び周辺SK群完掘状況(南から)



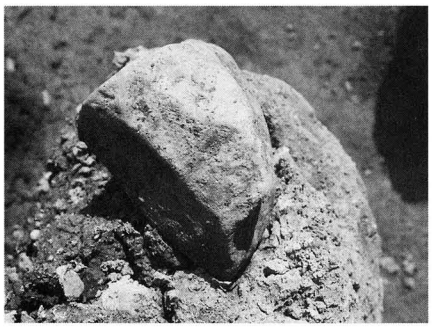
228. SD21 ～ 23、SK69・70 完掘状況（西から）



229. SD21・22、SK69 完掘状況及びセクション（南西から）



230. SD29 完掘状況（南西から）

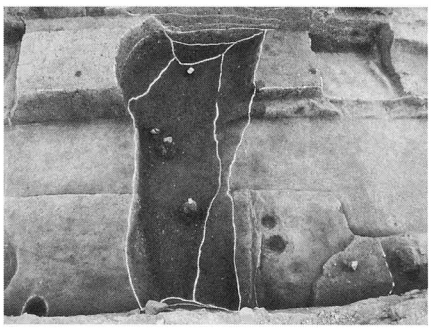


231. SD29 遺物出土状況 1

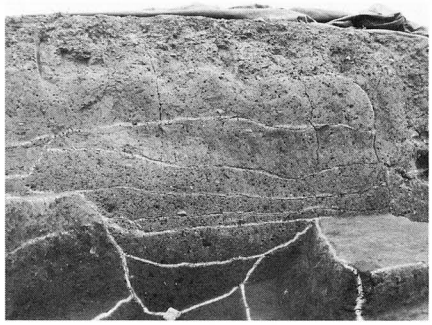
232. SD29 遺物出土状況 2

233. SD29 遺物出土状況 3

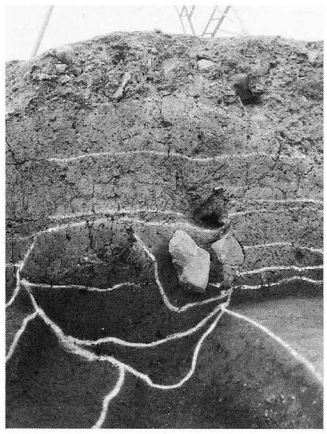
234. SD30 完掘状況（南西から）



235. SD31 完掘状況（南から）

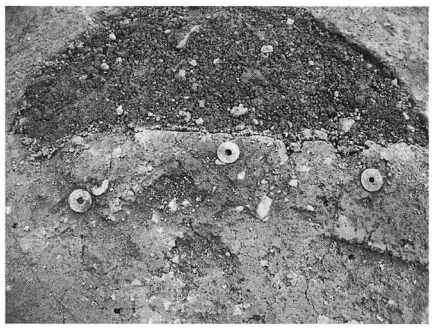


236. SD31 北面セクション



237. SD31 南面セクション

238. X9Y2グリット（遺構外）銭貨出土状況1（北西から）

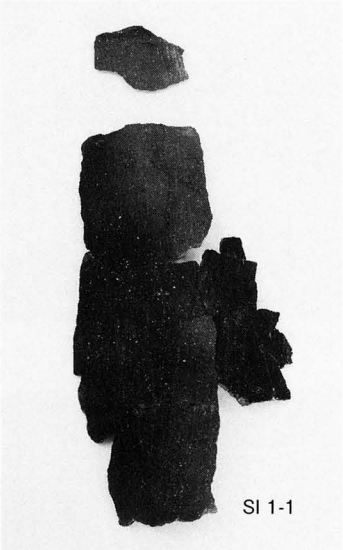


239. X9Y2グリッド（遺構外）銭貨出土状況2

240. X9Y2グリッド（遺構外）銭貨出土状況3

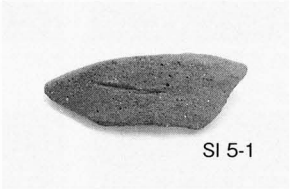
241. X9Y2グリッド（遺構外）銭貨出土状況4

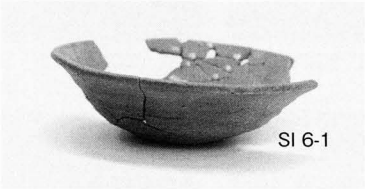
242. X9Y2グリッド（遺構外）銭貨出土状況5

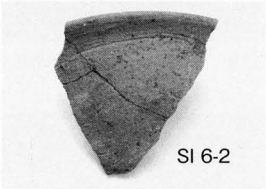

SI 1-1

SI 4-1

SI 4-2

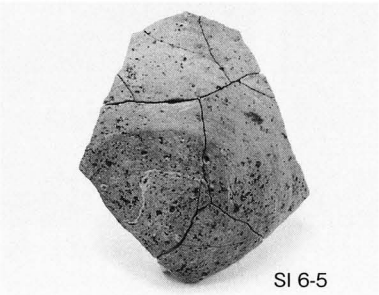

SI 5-1

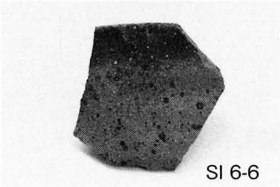

SI 6-1

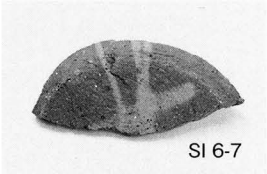

SI 6-2

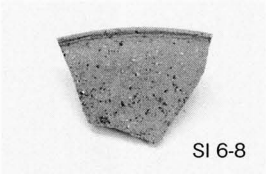
SI 6-3

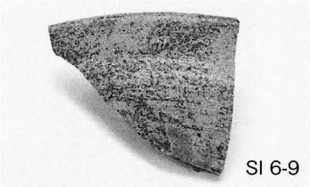
SI 6-4

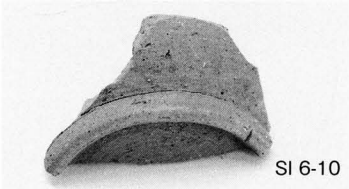

SI 6-5

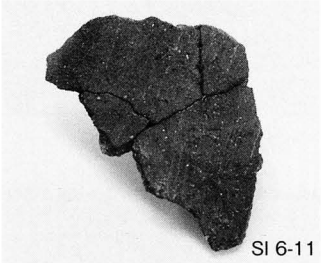

SI 6-6

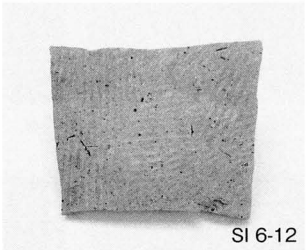

SI 6-7


SI 6-8

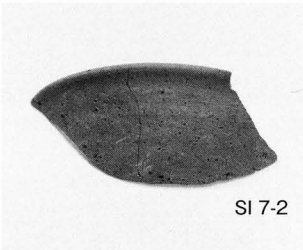

SI 6-9

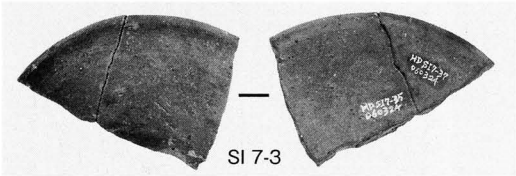

SI 6-10

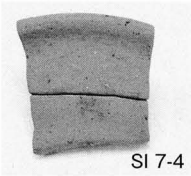

SI 6-11

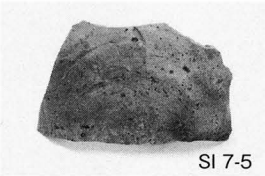

SI 6-12

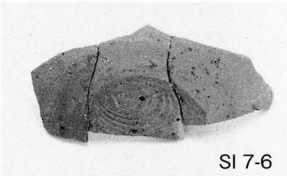
SI 7-1


SI 7-2

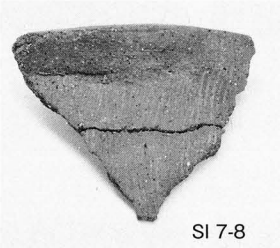

SI 7-3


SI 7-4


SI 7-5

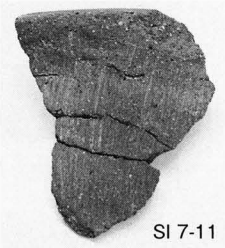

SI 7-6

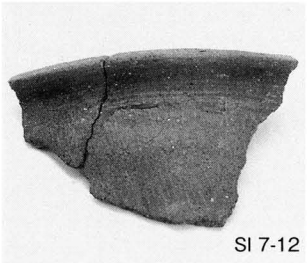
SI 7-7


SI 7-8

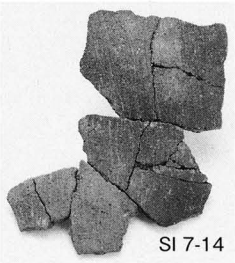
SI 7-9

SI 7-10


SI 7-11


SI 7-12

SI 7-13


SI 7-14

SI 7-15

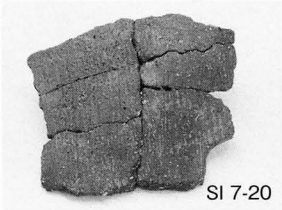
SI 7-16

出土遺物(1)

SI 7-17

SI 7-18

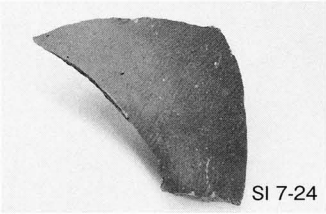
SI 7-19

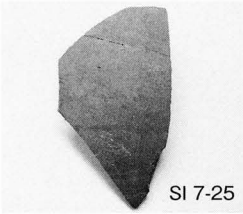

SI 7-20

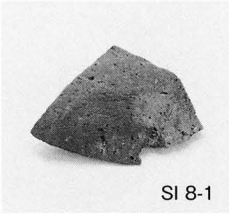
SI 7-21

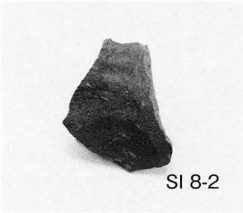
SI 7-22

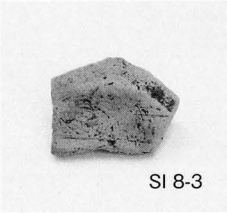
SI 7-23


SI 7-24


SI 7-25

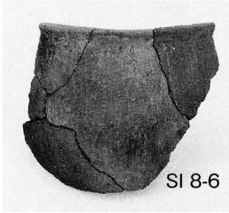

SI 8-1

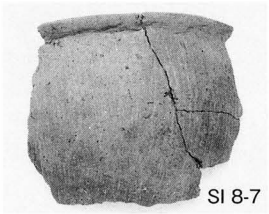

SI 8-2

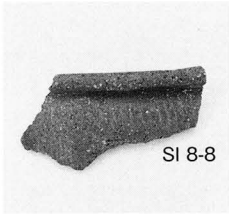

SI 8-3

SI 8-4

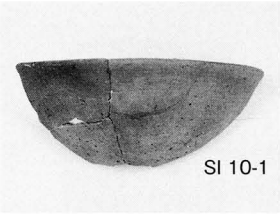
SI 8-5


SI 8-6

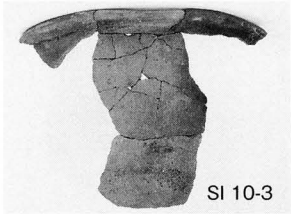

SI 8-7

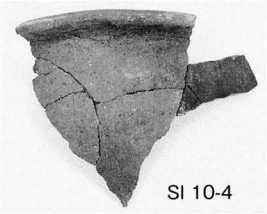

SI 8-8

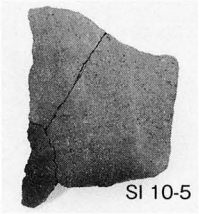
SI 8-9


SI 10-1

SI 10-2

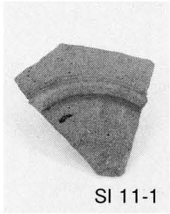

SI 10-3

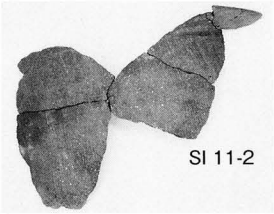

SI 10-4

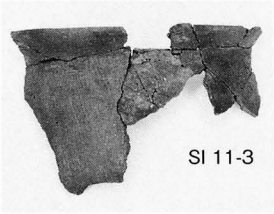

SI 10-5

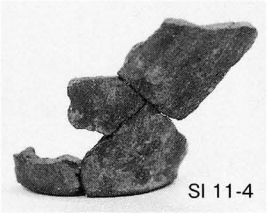
SI 10-6

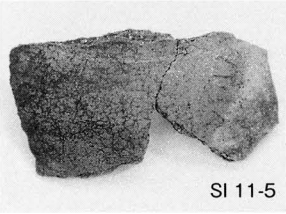
SI 10-7

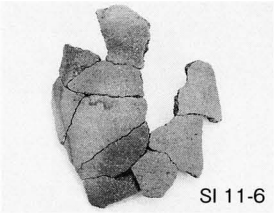

SI 11-1

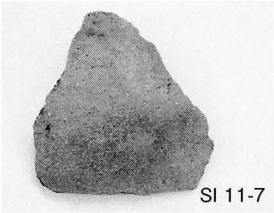

SI 11-2

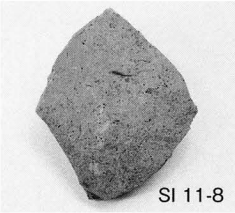

SI 11-3


SI 11-4

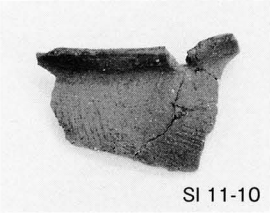

SI 11-5


SI 11-6

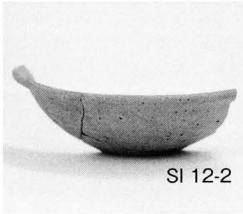

SI 11-7

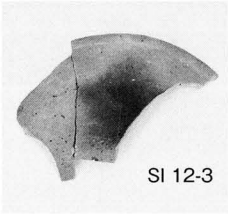

SI 11-8

SI 11-9

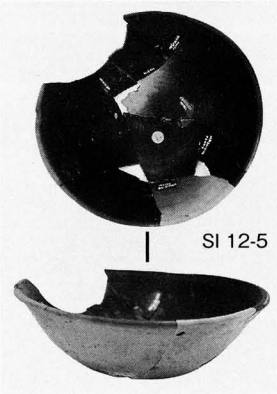

SI 11-10

SI 12-1


SI 12-2

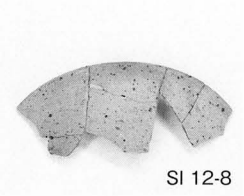

SI 12-3

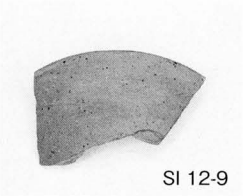
SI 12-4

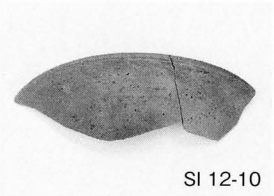

SI 12-5

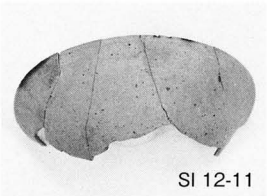
出土遺物(2)

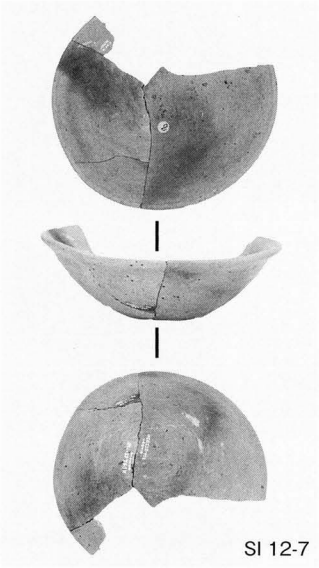
SI 12-6

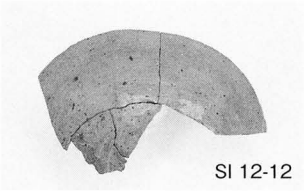

SI 12-8

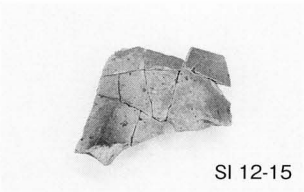

SI 12-9

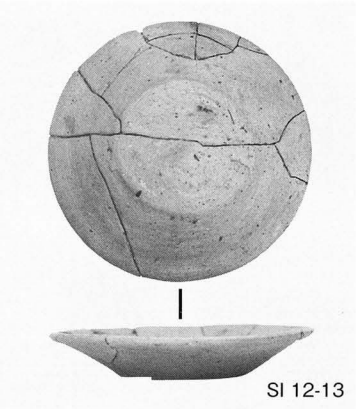

SI 12-10

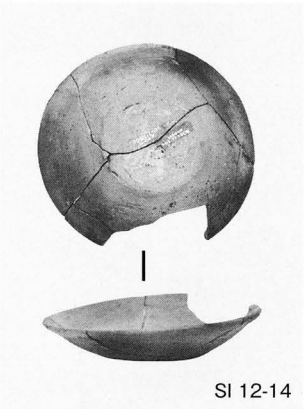

SI 12-11


SI 12-7


SI 12-12


SI 12-15


SI 12-13


SI 12-14

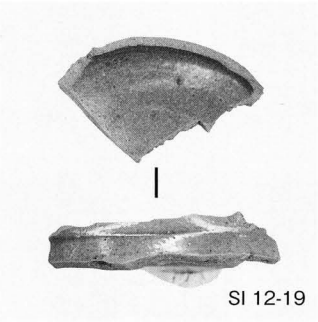
SI 12-16

SI 12-18

SI 12-20

SI 12-21

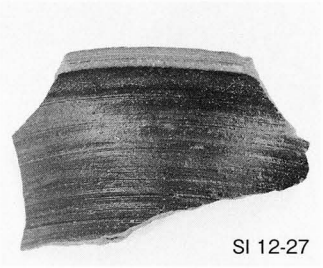
SI 12-17

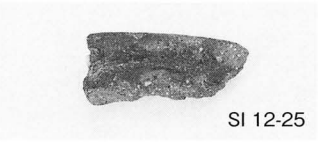

SI 12-19

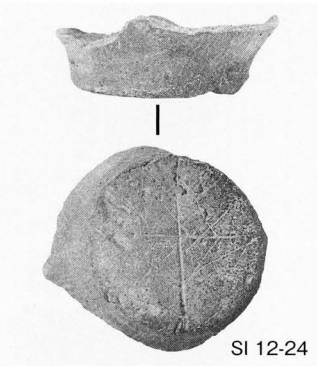
SI 12-22

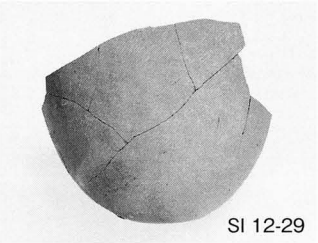
SI 12-23

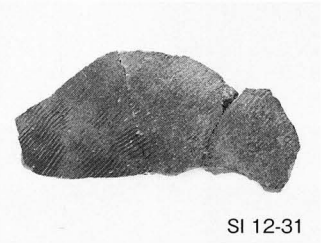
SI 12-26

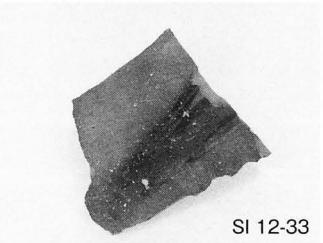

SI 12-27

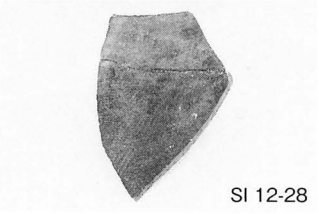

SI 12-25

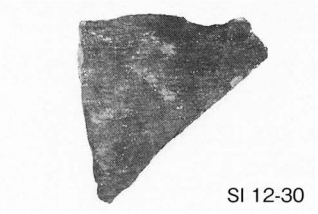

SI 12-24

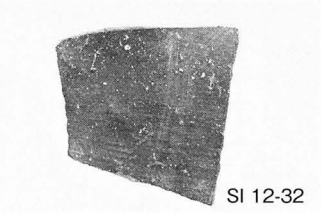

SI 12-29

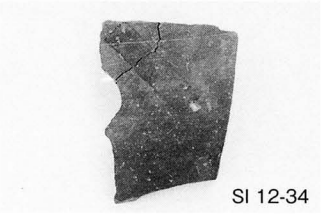

SI 12-31


SI 12-33

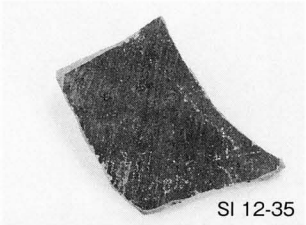

SI 12-28

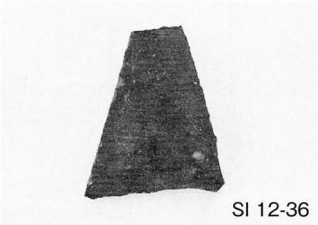

SI 12-30

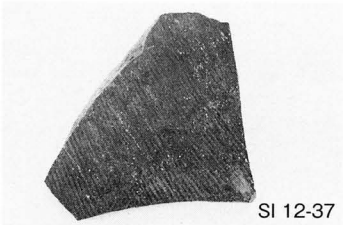

SI 12-32

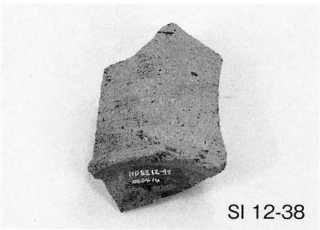

SI 12-34

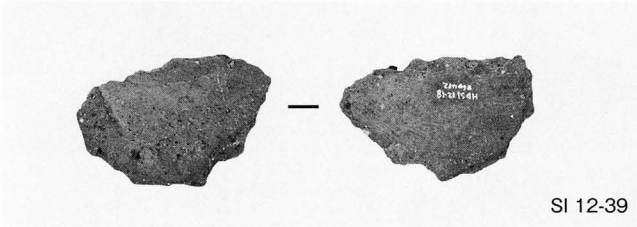
出土遺物(3)

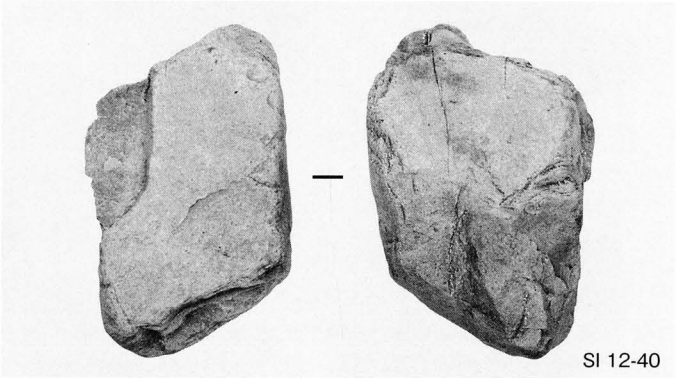

SI 12-35


SI 12-36

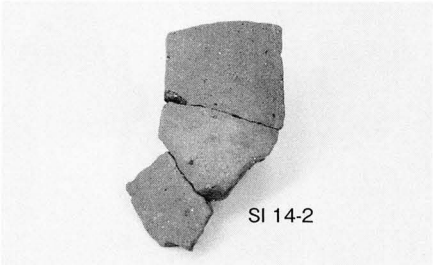

SI 12-37


SI 12-38

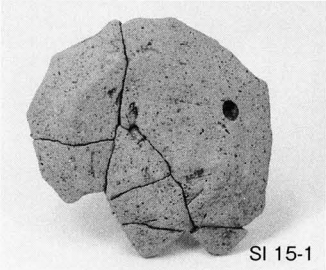

SI 12-39


SI 12-40

SI 14-1

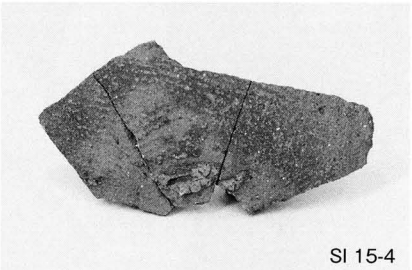

SI 14-2

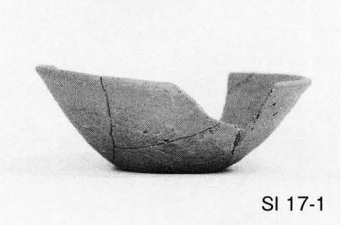
SI 14-3

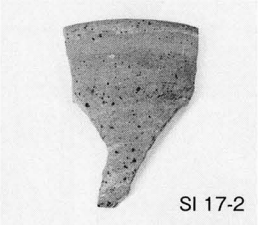

SI 15-1

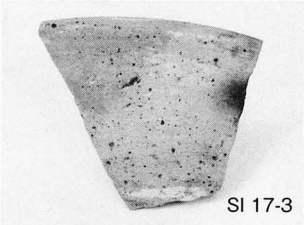
SI 15-2

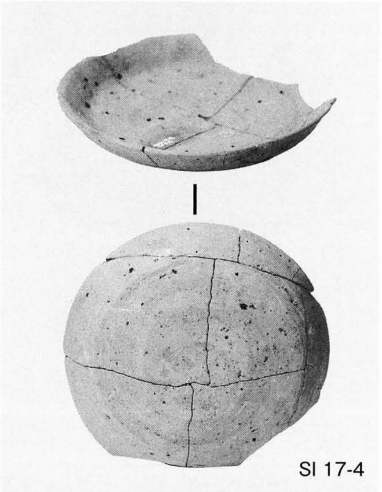
SI 15-3

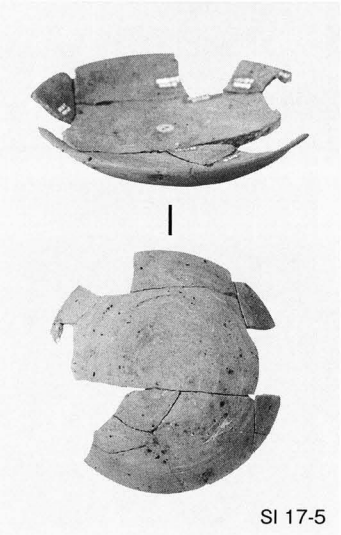

SI 15-4

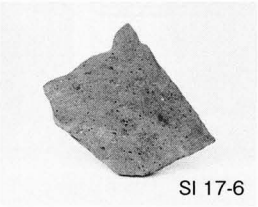

SI 17-1

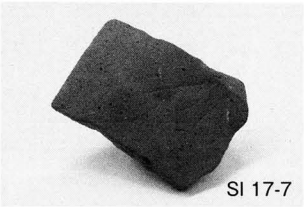

SI 17-2

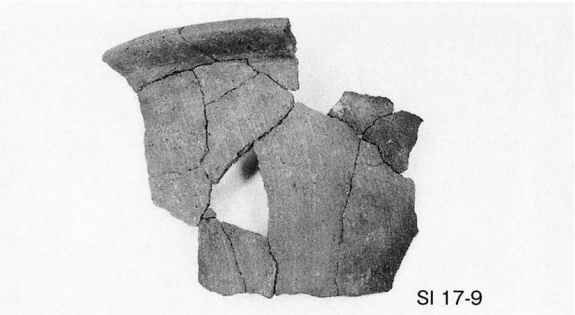

SI 17-3

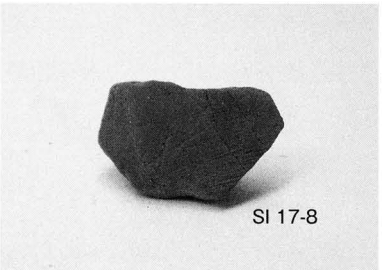

SI 17-4


SI 17-5


SI 17-6


SI 17-7

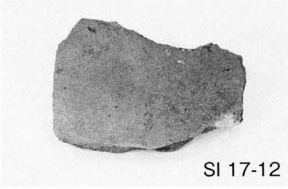

SI 17-9


SI 17-8

出土遺物(4)

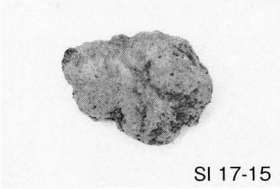
SI 17-10

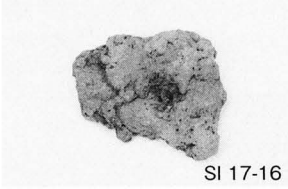
SI 17-11


SI 17-12

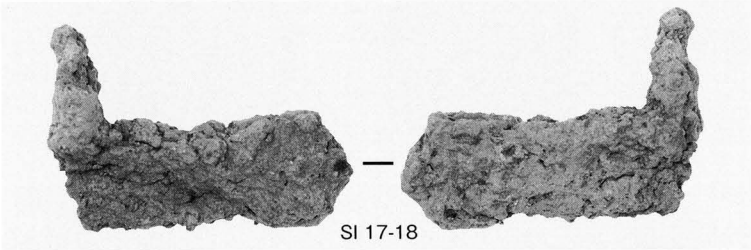
SI 17-13

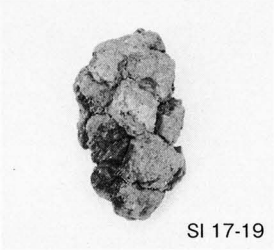
SI 17-14

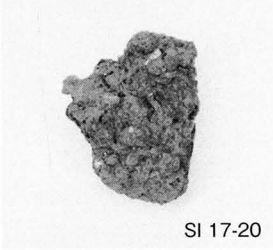

SI 17-15

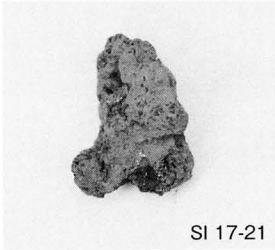

SI 17-16

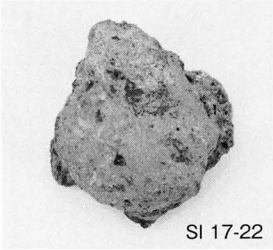
SI 17-17

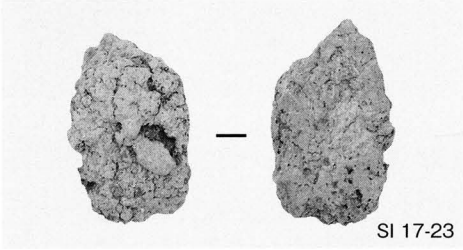

SI 17-18


SI 17-19

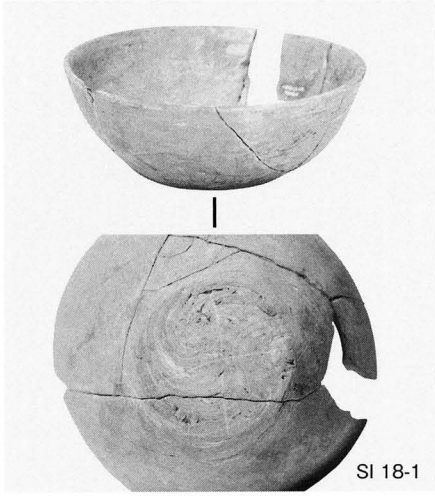

SI 17-20

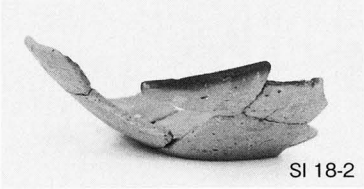

SI 17-21

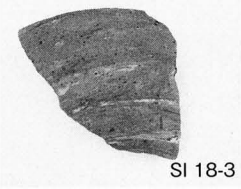

SI 17-22

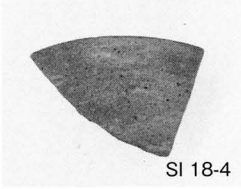

SI 17-23

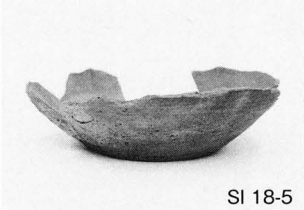
SI 17-24

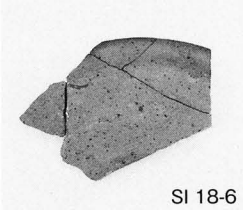

SI 18-1

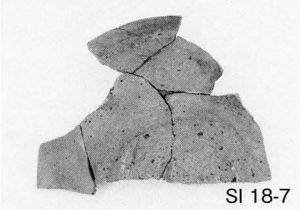

SI 18-2

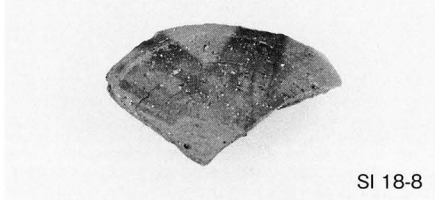

SI 18-3

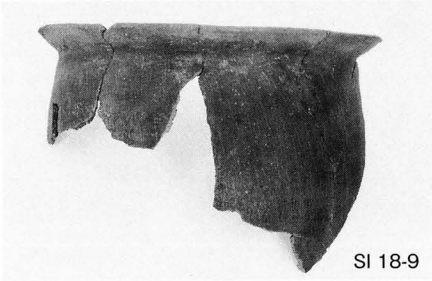

SI 18-4

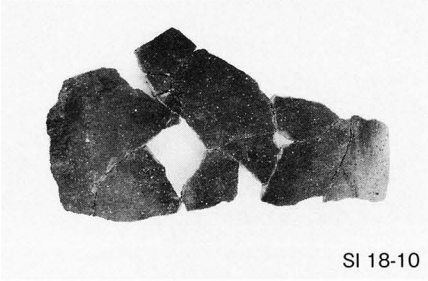

SI 18-5

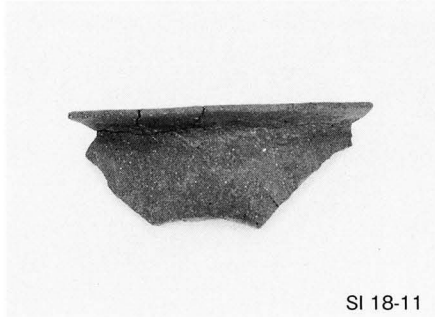

SI 18-6

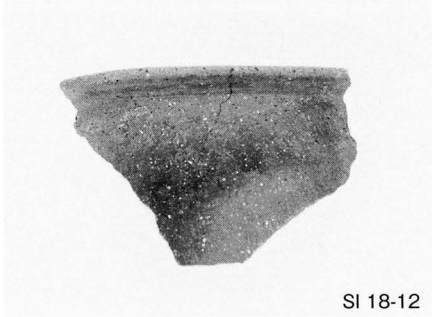

SI 18-7

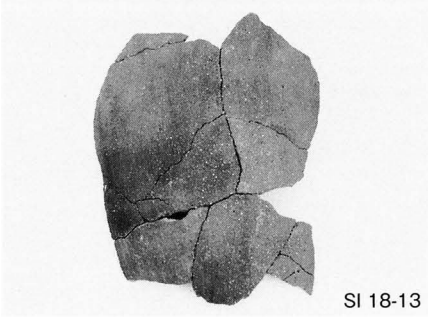

SI 18-8


SI 18-9

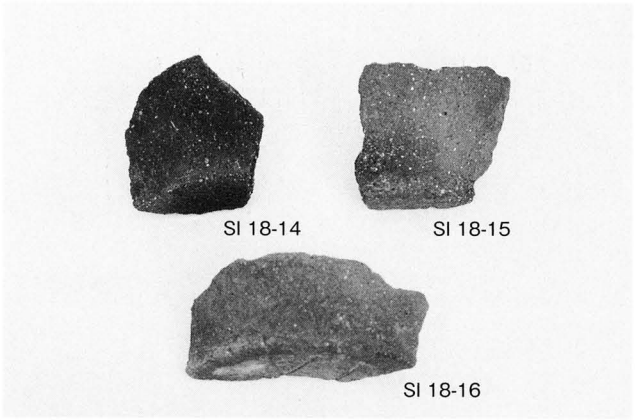

SI 18-10

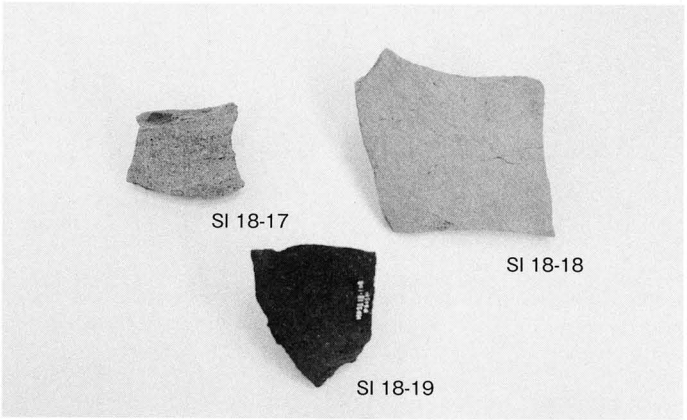

SI 18-11


SI 18-12


SI 18-13

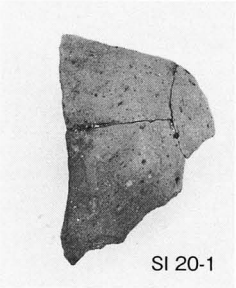
出土遺物(5)


SI 18-14
SI 18-15
SI 18-16

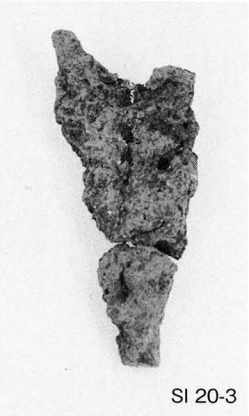

SI 18-17
SI 18-18
SI 18-19

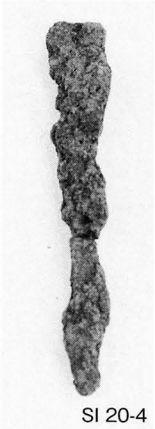
SI 19-1

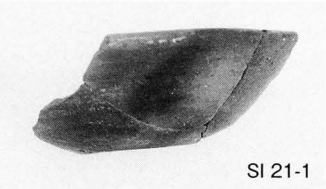
SI 19-2

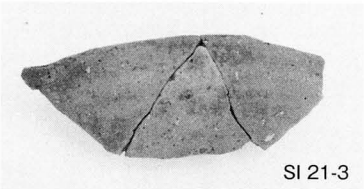

SI 20-1

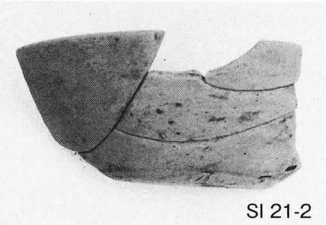
SI 20-2

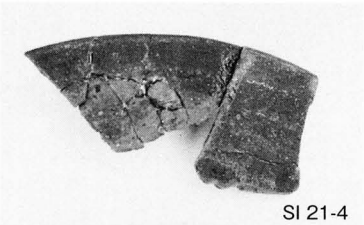

SI 20-3

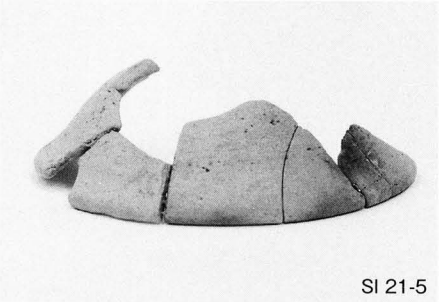

SI 20-4


SI 21-1


SI 21-3


SI 21-2

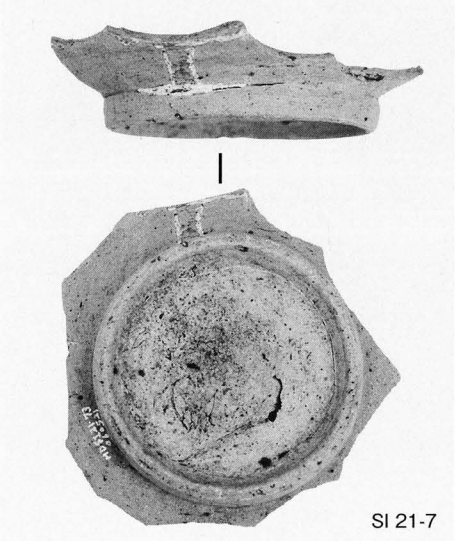

SI 21-4


SI 21-5

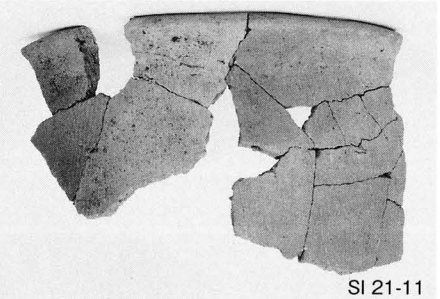
SI 21-6

SI 21-8

SI 21-9


SI 21-7

SI 21-10


SI 21-11

SI 21-12

SI 21-13

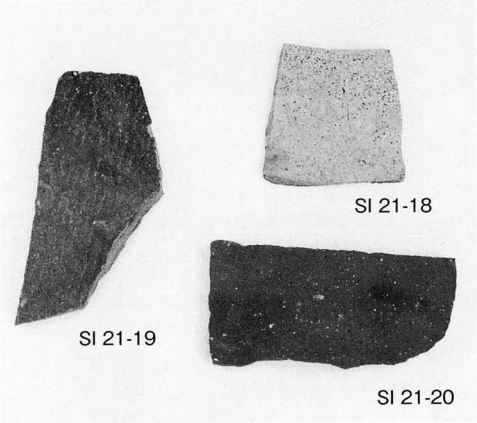
出土遺物(6)

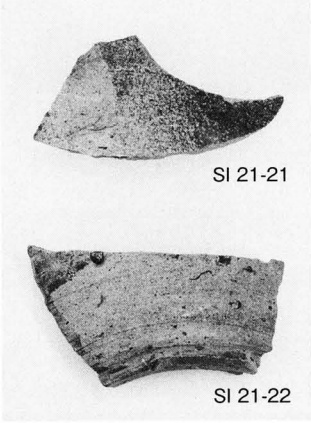
SI 21-14

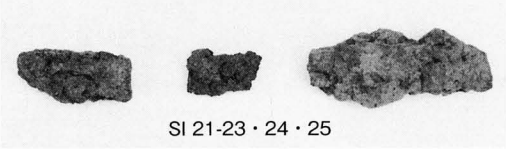
SI 21-15

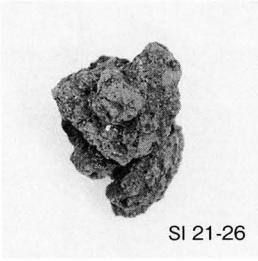
SI 21-16

SI 21-17


SI 21-18
SI 21-19
SI 21-20

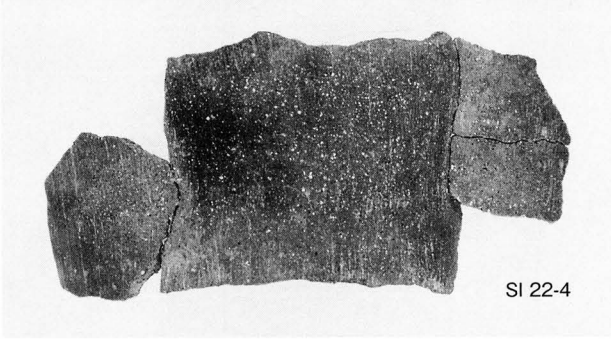

SI 21-21
SI 21-22


SI 21-23・24・25

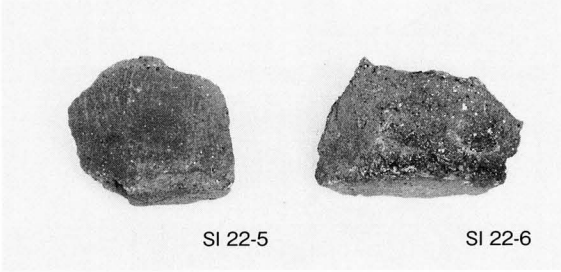

SI 21-26

SI 22-1

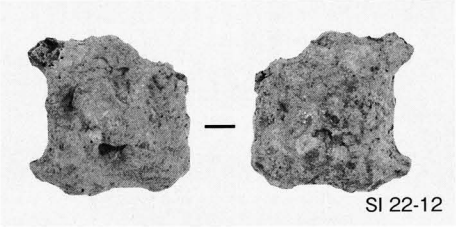
SI 22-2

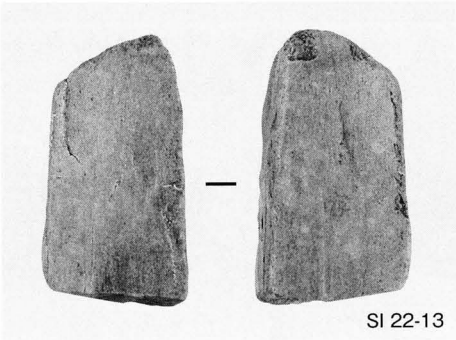

SI 22-4

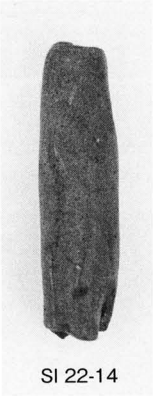
SI 22-3

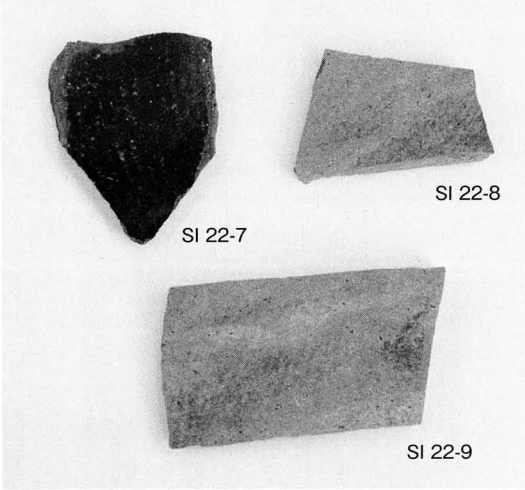

SI 22-5
SI 22-6

SI 22-10・11

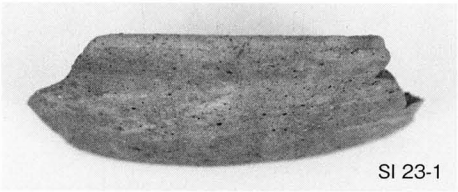

SI 22-12

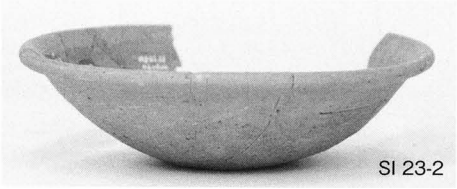

SI 22-13

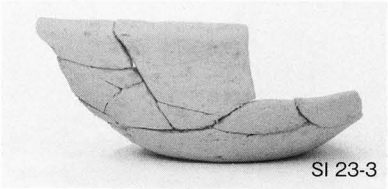

SI 22-14


SI 22-7
SI 22-8
SI 22-9

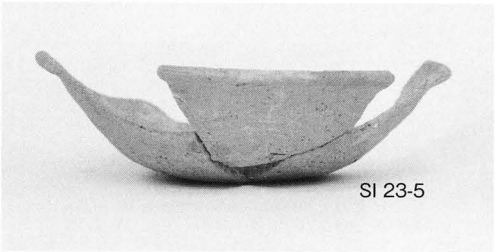
出土遺物(7)

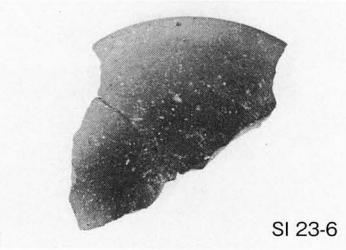

SI 23-1

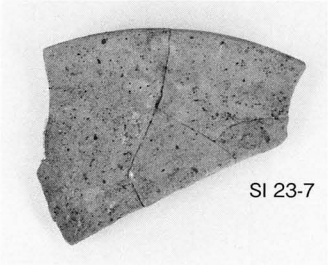

SI 23-2

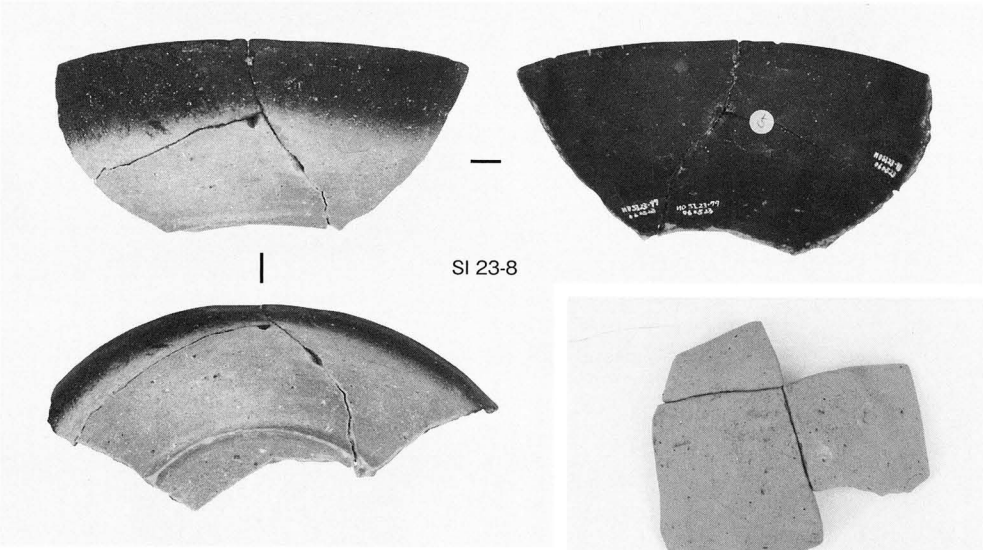

SI 23-3

SI 23-4

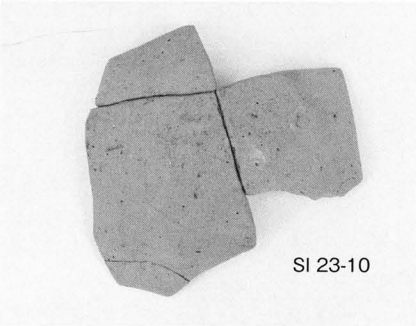

SI 23-5


SI 23-6

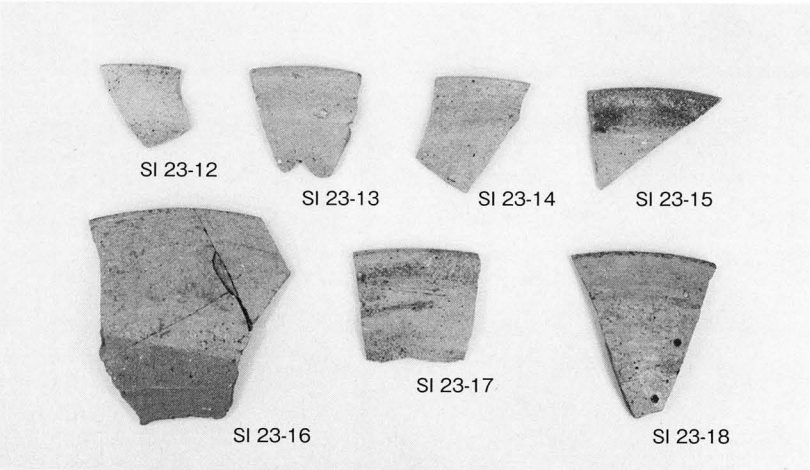

SI 23-7

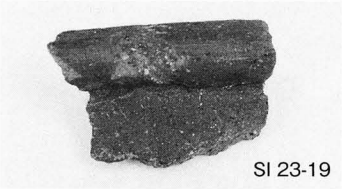

SI 23-8

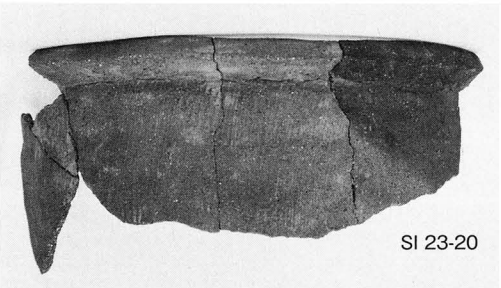
SI 23-9


SI 23-10

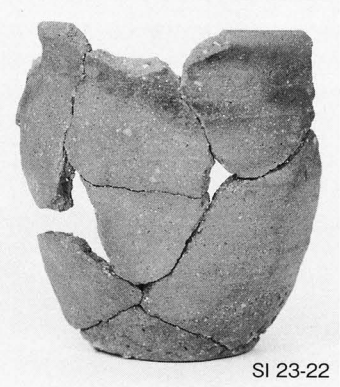
SI 23-11


SI 23-12
SI 23-13
SI 23-14
SI 23-15
SI 23-16
SI 23-17
SI 23-18


SI 23-19

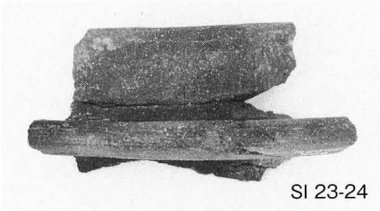

SI 23-20

SI 23-21

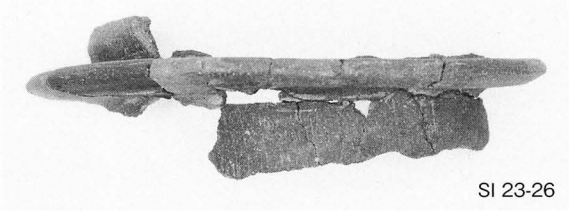

SI 23-22

SI 23-23

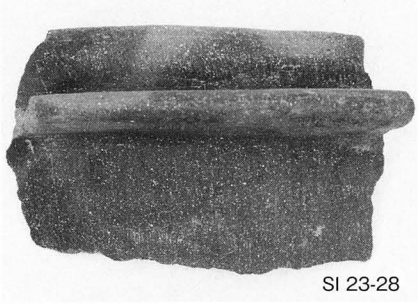
出土遺物(8)

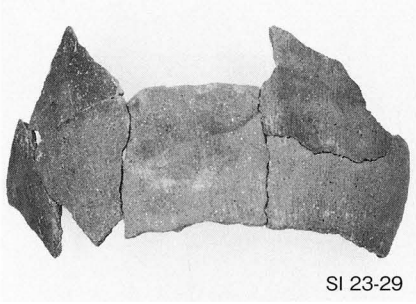

SI 23-24

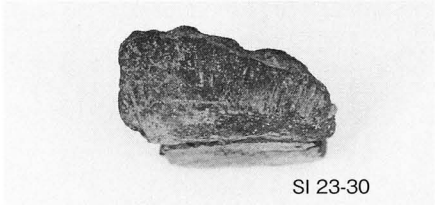
SI 23-25

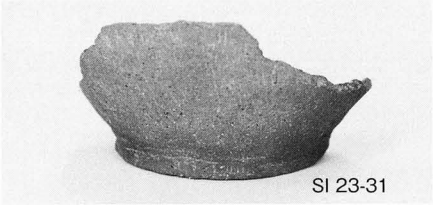

SI 23-26

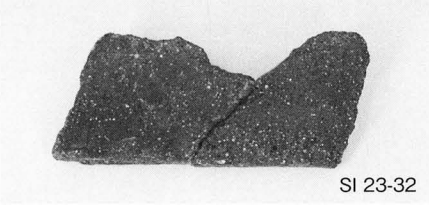
SI 23-27

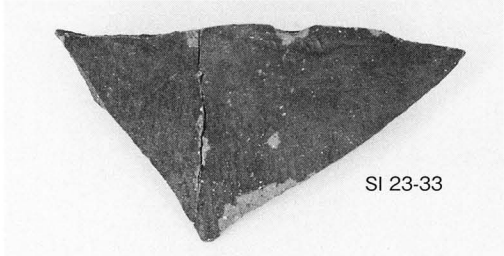

SI 23-28


SI 23-29


SI 23-30


SI 23-31


SI 23-32

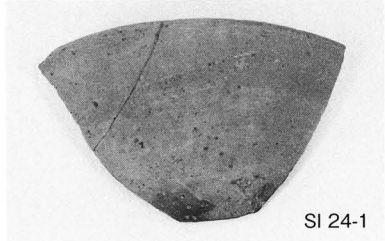

SI 23-33

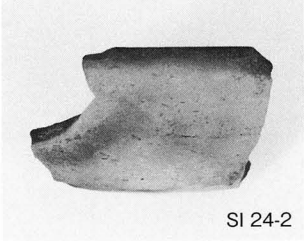
SI 23-34

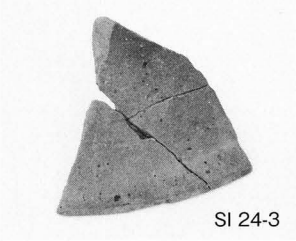
SI 23-35

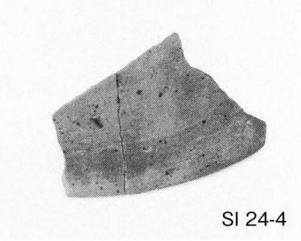
SI 23-36

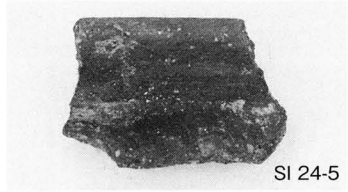
SI 23-37

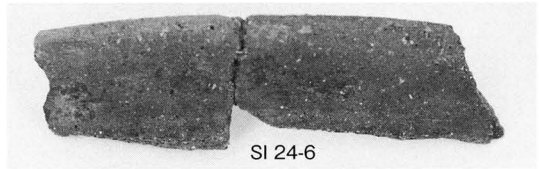

SI 24-1


SI 24-2


SI 24-3


SI 24-4


SI 24-5


SI 24-6

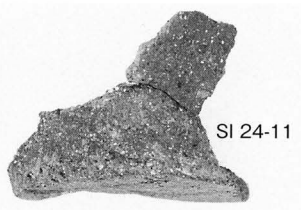
SI 24-7

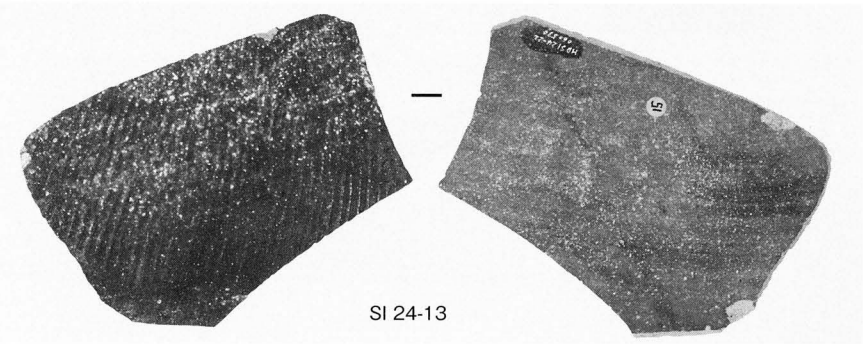
SI 24-8

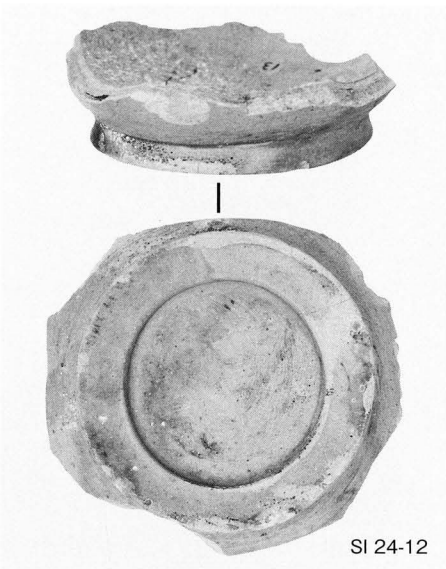
出土遺物(9)

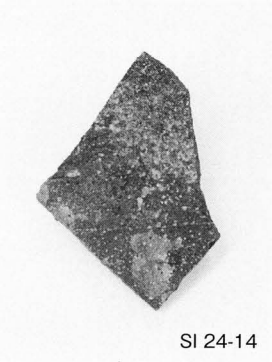
SI 24-9

SI 24-10

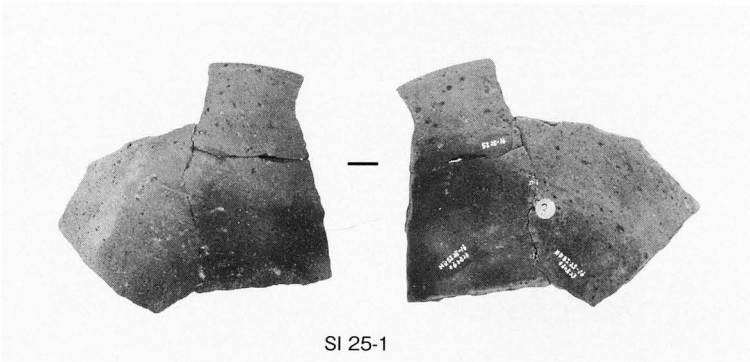

SI 24-11


SI 24-13

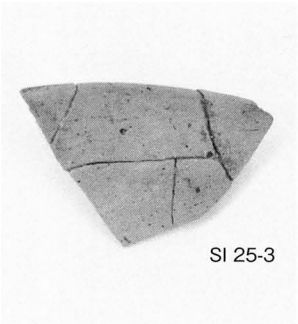

SI 24-12


SI 24-14

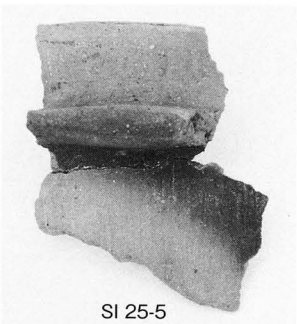
SI 24-15

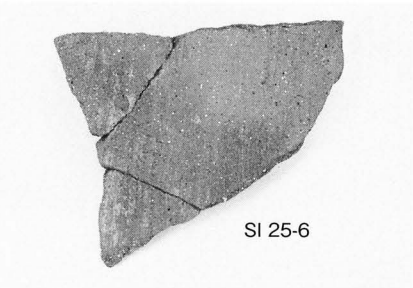

SI 25-1

SI 25-2

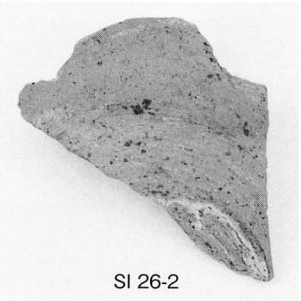

SI 25-3

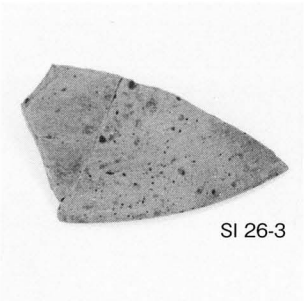
SI 25-4

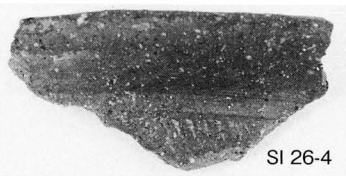

SI 25-5

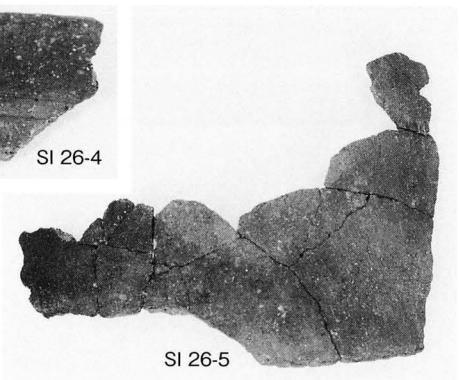

SI 25-6

SI 26-1

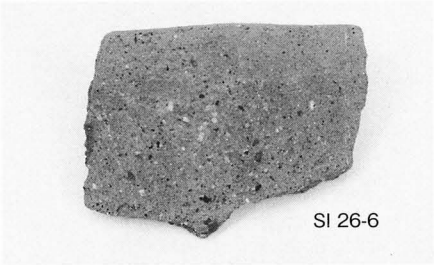

SI 26-2


SI 26-3

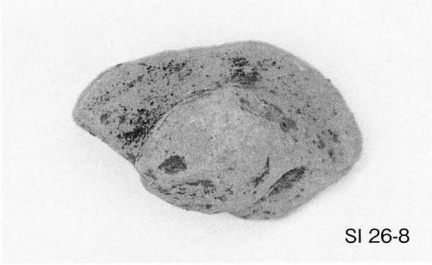

SI 26-4


SI 26-5

図版28

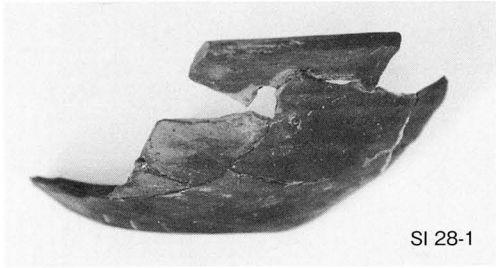

SI 26-6

SI 26-7


SI 26-8

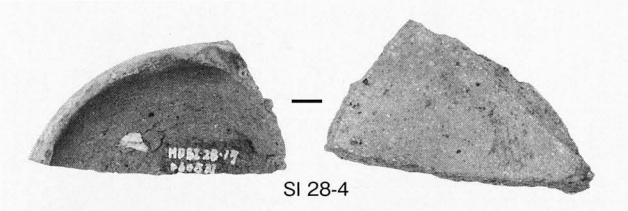
SI 26-9

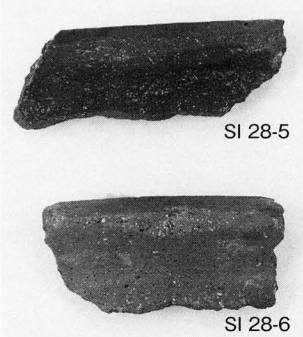
SI 27-1


SI 28-1

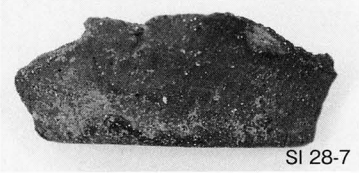
SI 28-2

SI 28-3


SI 28-4

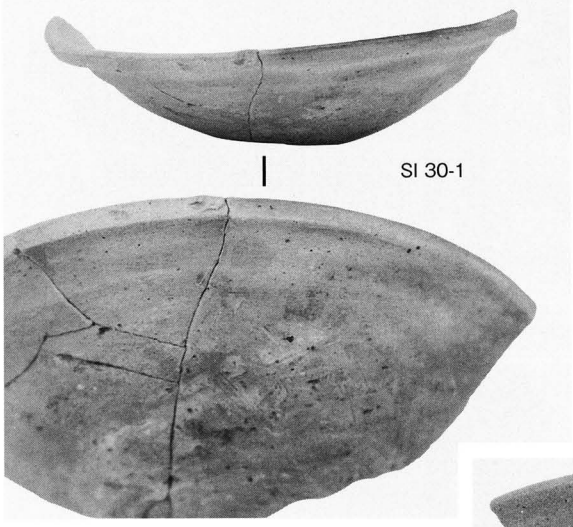

SI 28-5

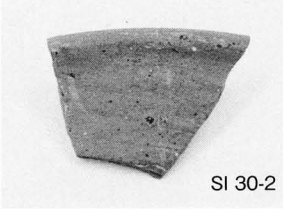
SI 28-6


SI 28-7

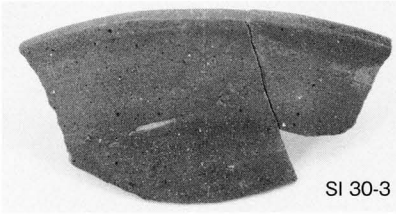
SI 28-8

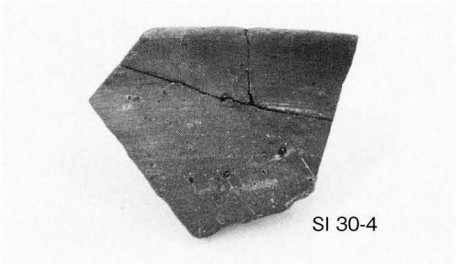
SI 28-9

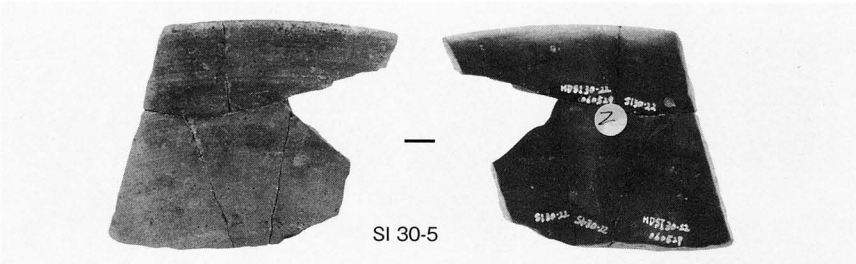

SI 30-1

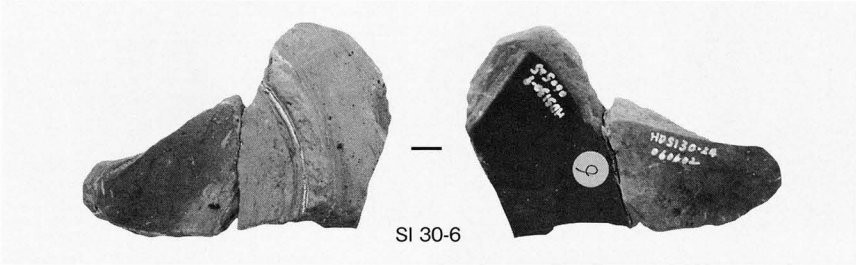

SI 30-2

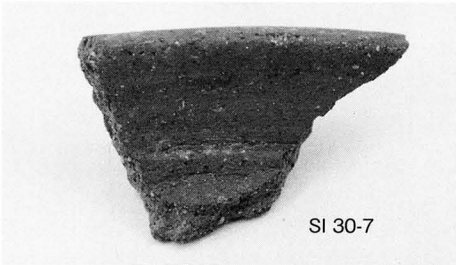
SI 28-10

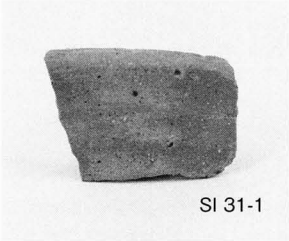

SI 30-3


SI 30-4

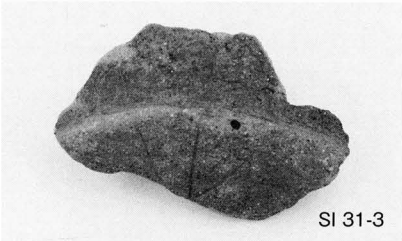

SI 30-5


SI 30-6

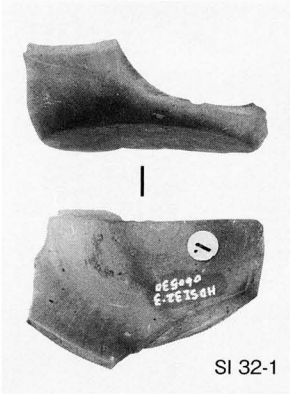

SI 30-7


SI 31-1

SI 31-2


SI 31-3

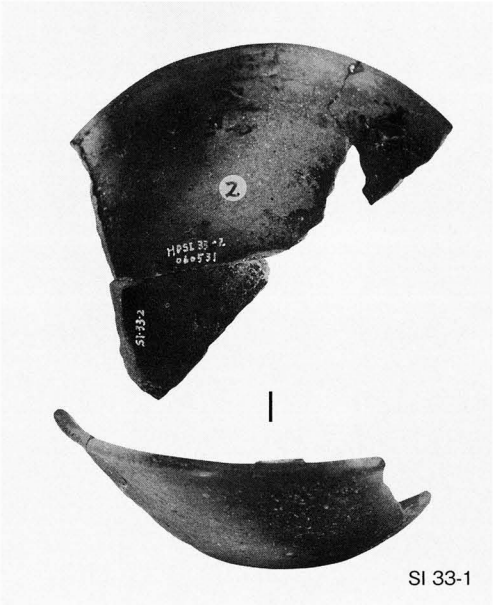
SI 31-4

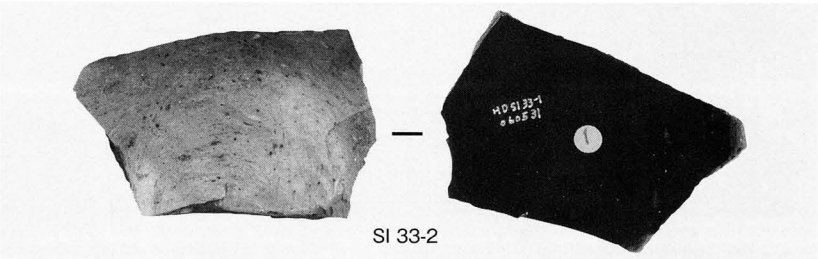

SI 32-1

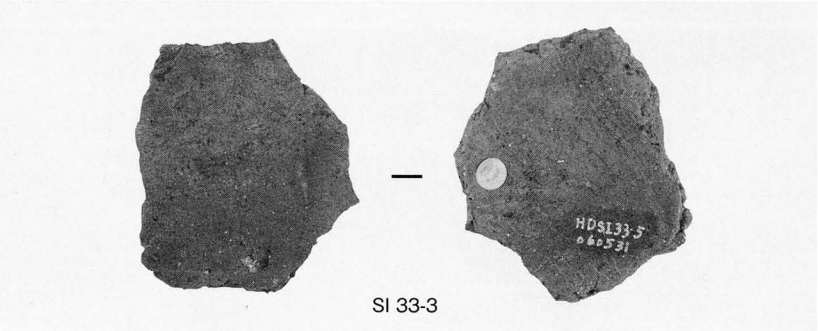
SI 32-2

SI 32-3

SI 32-4

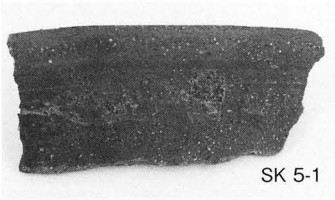

SI 33-1


SI 33-2

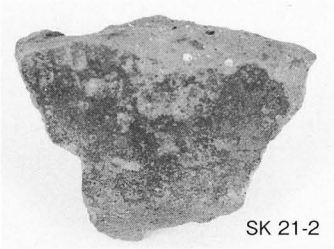

SI 33-3

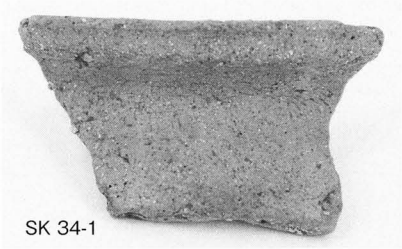
出土遺物(12)

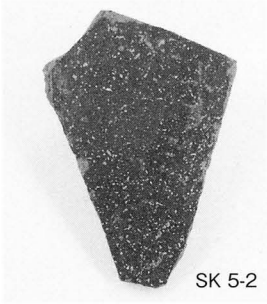
図版30

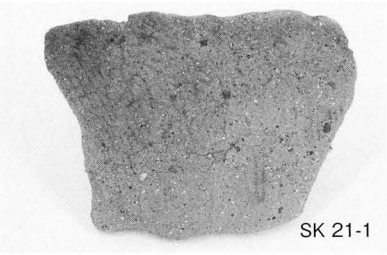

SK 5-1

SK 7-1

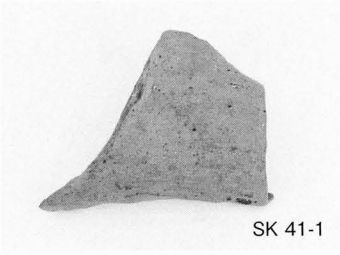

SK 21-2

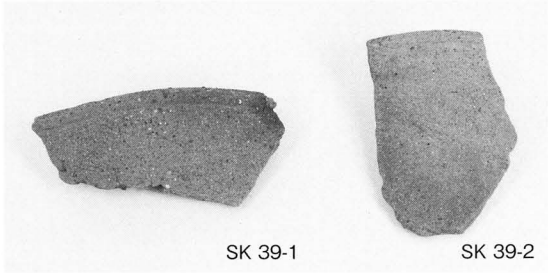

SK 34-1


SK 5-2

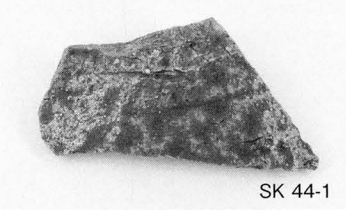

SK 21-1

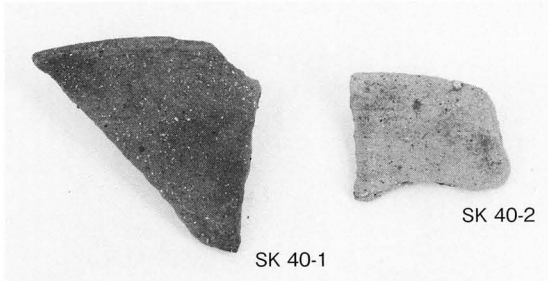
SK 28-1

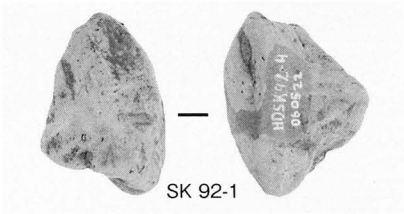

SK 41-1


SK 39-1
SK 39-2

SK 41-2


SK 44-1


SK 40-1
SK 40-2

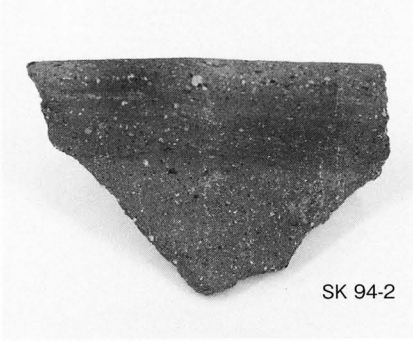

SK 92-1

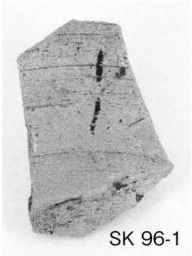
SK 74-1

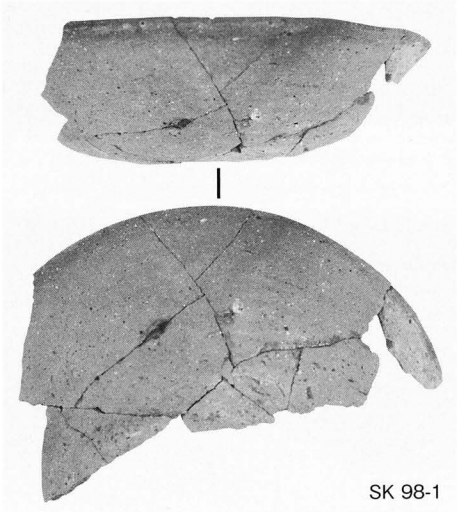
SK 75-1

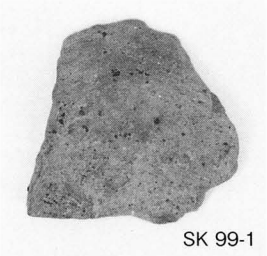
SK 92-2

SK 94-1

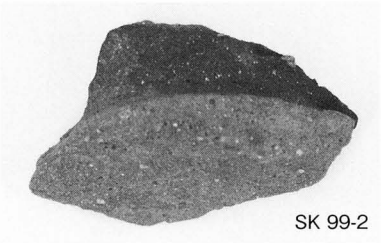

SK 94-2


SK 96-1


SK 98-1


SK 99-1

SK 99-3


SK 99-2

出土遺物(13)

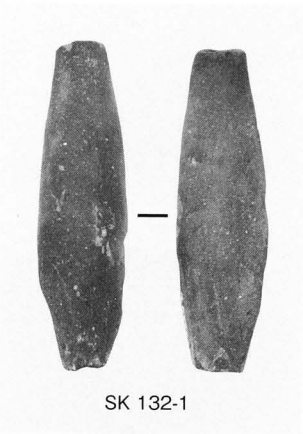
SK 100-1

SK 100-2

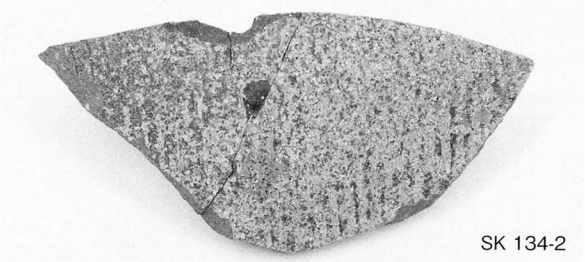
SK 111-1

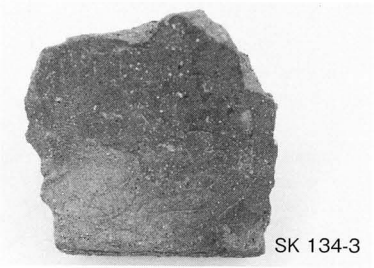
SK 113-1

SK 127-1

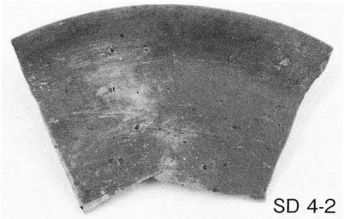

SK 132-1

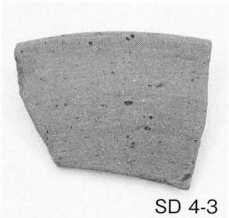
SK 134-1

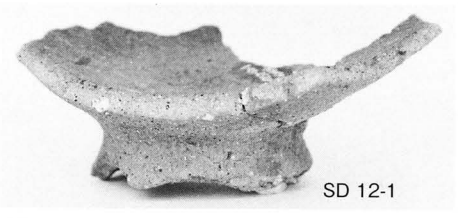

SK 134-2

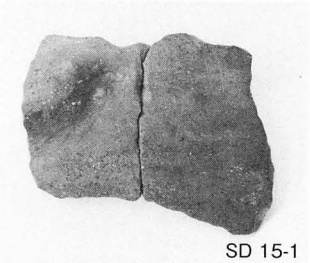

SK 134-3

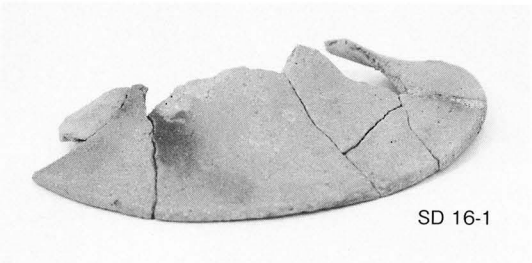
SD 4-1

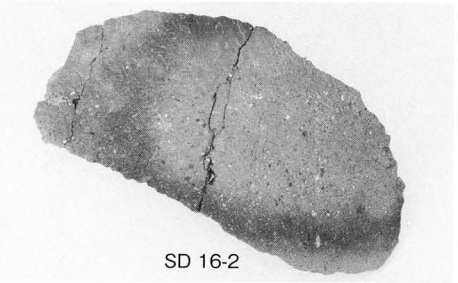

SD 4-2

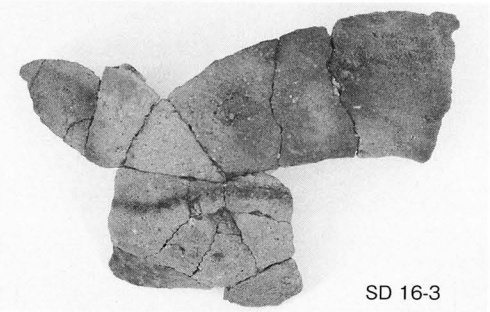

SD 4-3


SD 12-1

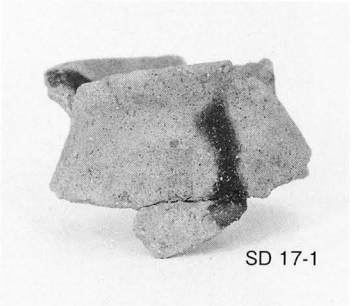

SD 15-1

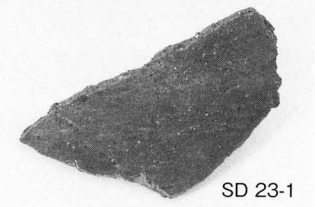

SD 16-1

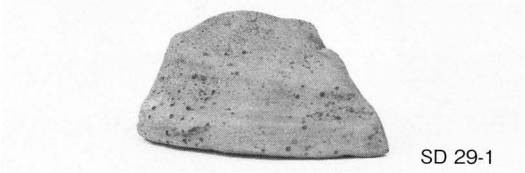

SD 16-2

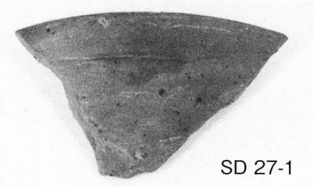

SD 16-3

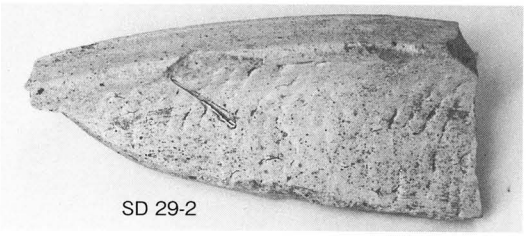
SD 16-4


SD 17-1


SD 23-1


SD 29-1

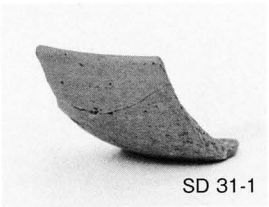

SD 27-1

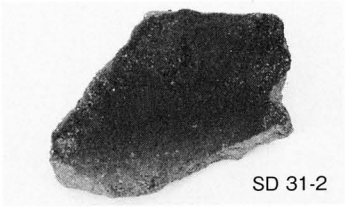

SD 29-2

SD 29-3

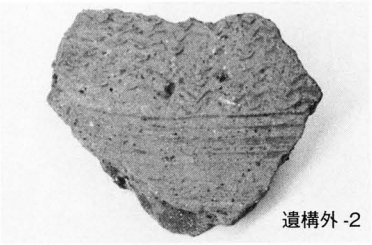
出土遺物(14)

図版32

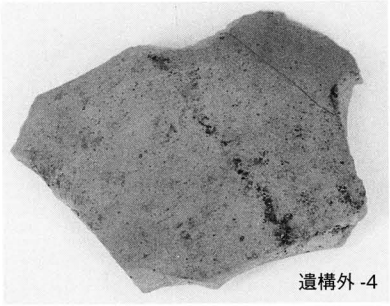

SD 31-1

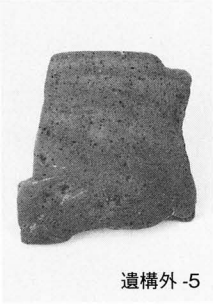

SD 31-2

遺構外 -1

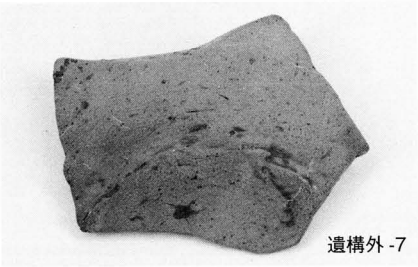

遺構外 -2

遺構外 -3


遺構外 -4

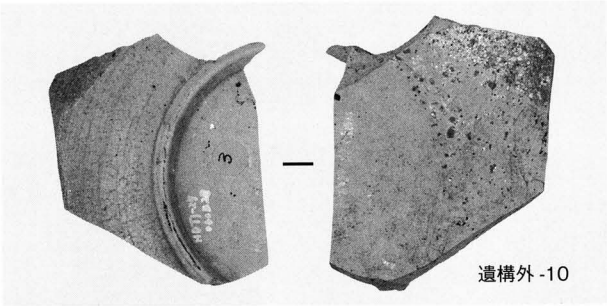

遺構外 -5

遺構外 -6


遺構外 -7

遺構外 -8

遺構外 -9

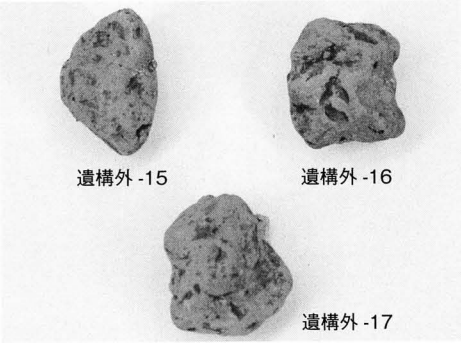

遺構外 -10

遺構外 -11

遺構外 -12

遺構外 -13

遺構外 -14


遺構外 -15
遺構外 -16
遺構外 -17

遺構外 -18

遺構外 -19

遺構外 -20

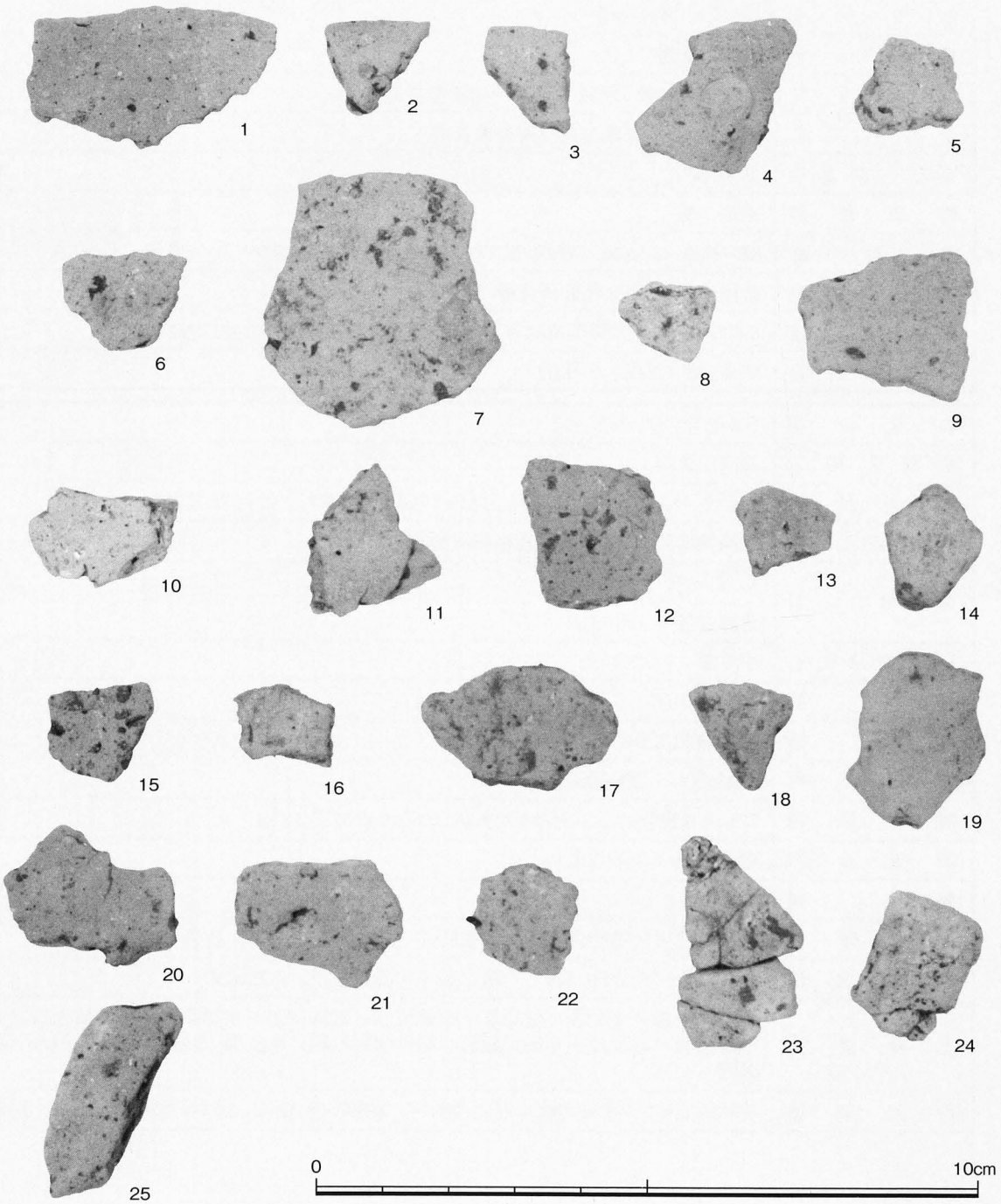
遺構外 -21

遺構外 -22

遺構外 -23

遺構外 -24

出土遺物(15)



出土遺物(16)

東出口遺跡報告書抄録

ふりがな	ひがしでぐちいせき
書名	東出口遺跡
副書名	宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ名	南アルプス市埋蔵文化財調査報告書
シリーズ番号	第18集
編著者名	平野　修
発行者	㈱パナホーム山梨、南アルプス市教育委員会、㈶山梨文化財研究所
編集機関	財団法人 山梨文化財研究所
所在地	〒406−0032　山梨県笛吹市石和町四日市場 1566　TEL 055-263-6441
発行年月日	平成20年(2008) 3月31日

ふりがな	ひがしでぐちいせき	
所収遺跡名	東出口遺跡	
ふりがな	やまなしけんみなみあるぷすししもみやじあざたきざわどおり678ばんち	
所在地	山梨県南アルプス市下宮地字滝沢通 678 番地	
市町村コード	市町村	19208
	遺跡番号	KG−139
1/25,000 地図名	小笠原	
北緯	35°36′20″.25	
東経	138°28′11″.35	
調査期間	20060306 ～ 20060605	
調査面積	778 ㎡（部分的に 2 面調査を実施したため実質 933.6 ㎡）	
調査原因	宅地造成（分譲住宅）	
種別	散布地	
主な時代	弥生時代／古墳時代前期／奈良時代／平安時代／中世／近世	
主な遺構	竪穴建物／掘立柱建物／土坑／ピット／溝状遺構／自然流路	
主な遺物	弥生式土器／土師器／須恵器／灰釉陶器／緑釉陶器／中世陶器／土師質土器／近・現代陶磁器／粘土塊／土錘／砥石／編み物用石錘／粘土塊／鉄製刀子／苧引鉄／雁股鏃／鉄滓	
特記事項	棚状施設をもつ平安時代の竪穴建物跡、須恵器壺(壺G)、緑釉陶器香炉、製塩(焼塩)土器	

南アルプス市埋蔵文化財調査報告書第18集

東出口遺跡

宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

発行日　平成20年(2008) 3月31日

編集・発行　南アルプス市教育委員会
〒400−0492　山梨県南アルプス市鮎沢1212
TEL　055-282-7777

財団法人 山梨文化財研究所
〒406−0032　山梨県笛吹市石和町四日市場1566
TEL　055-263-6441

印刷　㈱帝京サービス